

---

「豊島区子どもプランー次世代育成支援行動計画ー」  
改定のための区民意識・意向調査

報 告 書

---

平成 21 年（2009 年）3 月

豊 島 区

# 目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の概要	1
II. 調査結果の概要	3
1. 就学前児童保護者	3
2. 小学生保護者	4
3. 中学生・高校生などの保護者	4
4. 小学生	5
5. 中学生・高校生など	5
III. 調査結果	7
1. 就学前児童保護者	7
(1) 回答者等の属性について	7
(2) 主にお子さんの身の回りの世話をしている方について	10
(3) 子育てに関する経済的負担について	17
(4) あて名のお子さんの保育状況について	18
(5) あて名のお子さんの病児・病後児保育について	32
(6) あて名のお子さんの一時預かりのことについて	33
(7) 地域での支援や地域活動について	35
(8) 子育ての悩み等について	36
(9) 区の施設利用や子育て施策等について	39
2. 小学生保護者	55
(1) 回答者等の属性について	55
(2) 主にお子さんの身の回りの世話をしている方について	58
(3) 子育てに関する経済的負担について	64
(4) お子さんのふだんの生活状況について	65
(5) 学童クラブの利用状況について	67
(6) お子さんの病気の時の対応について	69

(7) ご家族の生活について	70
(8) 子育ての悩み等について	71
(9) 地域での支援や地域活動について	73
(10) 区の施設利用や子育て施策について	74
3. 中学生・高校生などの保護者	89
(1) 回答者等の属性について	89
(2) 主にお子さんの身の回りの世話をしている方について	91
(3) 子育てに関する経済的負担について	98
(4) 子育ての悩み等について	99
(5) 地域での支援や地域活動について	101
(6) 区の子育て施策について	102
4. 小学生	115
(1) 回答者の属性について	115
(2) 学校が終わってからの過ごし方について	116
(3) ふだんの生活について	118
(4) 家での生活について	122
(5) 困ったり悩んだりしていることについて	124
(6) 地域での活動について	126
(7) 区の施設や豊島区について	127
5. 中学生・高校生など	131
(1) 回答者の属性について	131
(2) 放課後や自由時間の過ごし方について	133
(3) ふだんの生活について	137
(4) 家での生活について	141
(5) 困ったり悩んだりしていることについて	143
(6) 地域での活動について	147
(7) 区の施設や豊島区について	148
6. 調査間比較、前回調査との比較	155
(1) 保護者への調査項目	155
(2) 子どもへの調査項目	166
<b>IV. 資料編</b>	<b>169</b>
アンケート調査票	169

# Ⅰ. 調査の概要

# I. 調査の概要

## 1. 調査の目的

本調査は、豊島区の0～18歳未満の子どもたちを取り巻く状況・生活実態・意識等について、子どもと保護者にアンケートを実施し、その結果を今後の子ども施策を展開していくための基礎資料とするとともに、平成21年度に改定する「豊島区子どもプラン―次世代育成支援行動計画―」に反映させることを目的として実施しました。

## 2. 調査の概要

区内にお住まいの0～18歳未満のお子さんをお持ちの保護者の方、ならびに、9～18歳未満の子どもを対象にアンケート調査を実施しました。

### ①配付・回収数



調査対象者	子どもの年齢	調査方法	配付数 (無作為抽出)	有効 回収数	有効 回収率	母集団数	有効回収数 ／母集団数
就学前児童保護者	0～5歳	調査票の 郵送配付 郵送回収	1,000	666	66.6%	8,826	7.6
小学生保護者	6～11歳		1,000	592	59.2%	8,423	7.0
中学生・高校生 などの保護者	12～17歳		1,000	484	48.4%	8,550	5.7
小学生 (子ども本人)	9～11歳		500	266	53.2%	4,177	6.3
中学生・高校生など (子ども本人)	12～17歳		1,000	436	43.6%	8,550	5.0
計			4,500	2,444	54.3%	—	—

※調査期間:平成20年10月20日～11月14日

※子どもの年齢は平成20年4月1日現在の満年齢

※母集団数は、平成20年10月1日現在区内在住で年齢区分別(4月1日現在)の子どもの人口

### ② 調査結果の留意点ならびに見方

- 集計数表の割合は、小数点第2位を四捨五入して算出しました。これにより、回答比率を合計しても、100%にならない場合があります。
- 回答比率(%)は、その設問の回答者数を母数として算出しました。これにより、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超えることがあります。
- 設問によっては、横軸に当該設問、縦軸に「家族類型別」「子どもの年齢別」「母親の就労形態別」などを配したクロス集計結果を掲載しました。集計表では、横方向に見た回答数(回答率)の多い順に、最も回答数が多かったものを太い実線(  )で、二番目に多かったものを太い破線(  )で数値に印をつけています。
- 自由回答は、記入のあったものを分野別にとりまとめ原則として原文のまま掲載していません。
- 表中に上下二段で数値が表示されている場合、特にことわりがある場合を除き、上段が回答数、下段が回答割合(%)を示します。
- 円グラフの中央部に表示している数値は「件数」を表しています。
- 居住地区は3地区で分類していますが、その内訳は以下のとおりです。  
東部地区：駒込、巣鴨、西巣鴨、北大塚、南大塚  
中央地区：上池袋、東池袋、南池袋、西池袋、池袋、池袋本町、雑司が谷、高田、目白  
西部地区：南長崎、長崎、千早、要町、高松、千川



## II. 調査結果の概要

## Ⅱ. 調査結果の概要

### 1. 就学前児童保護者

- 就学前児童保護者については、全調査対象者の中で最も高い回収率(66.6%)となり、保護者の関心の高さが伺えます。
- 家族の形態としては、子どもの数が1人(45.3%)もしくは2人(42.0%)、家族人数は3人(38.7%)もしくは4人(36.5%)の両親と子どもによる構成(81.7%)が大半を占めています。
- 主に子どもの身の回りの世話をしている人は多くが母親(94.7%)です。  
主に子どもの身の回りの世話をしている人の就労状況は、46.4%が就労し、40.4%が以前は就労していたが現在は就労していないとしています。また就労形態は、56.3%がフルタイムの勤めで、29.8%がパートタイム・アルバイトの勤めとなっています。  
育児休業制度の利用者は全体の42.1%であり、その96.2%が母親(父親は1.5%)で、取得期間は7~12か月(50.4%)が最も多くなっていますが、6か月以下も23.2%と2割を超えています。  
主に子どもの身の回りの世話をしている人で、現在、就労していない人(以前は就労していたが現在は就労していない/これまで就労したことはない/学生である)の今後の就労意向は、1年より先で子どもがある程度大きくなったらパートタイム・アルバイトで働きたい(42.2%)が最も多くなっています。  
就労意向を持ちながら現在働いていない理由は、子育てしながら働ける適当な仕事がないため(46.0%)が最も多くなっています。
- 定期的な保育サービス(保育園や幼稚園など定期的に子どもを預かるサービス)の利用状況は、利用している人が全体の61.6%で、子どもが3歳以上では、80%を超えています。
- 今後、利用したい、あるいは現在不足していると思われる保育サービスは、一時預かり(27.5%)、病児・病後児保育(26.1%)、認可保育園(22.4%)、幼稚園の通常就園時間外の預かり保育(21.0%)などが多くなっています。
- 子育てに関する祖父母や友人・知人による支援の状況をみると、祖父母については、日常的に支援してもらえる(30.3%)と緊急時には支援してもらえる(48.0%)を合わせ、8割弱が支援可能な状況にあります。友人・知人については支援はない(51.1%)とする回答が最も多くなっています。
- 子育てをする上での地域からの支援については、53.2%と半数以上があればよいと感じたことがあると答えています。
- 育児に関する不安や悩みは、仕事と子育ての両立に関すること(35.1%)や遊ばせ方やしつけに関すること(33.0%)、経済的な負担に関すること(32.7%)などが上位を占めています。
- 子育てに関して欲しい情報や不足している情報は、子どもと一緒に外出できる遊び場や施設等の情報が57.8%と最も多く、医療機関に関する情報(29.6%)、子育て支援に関する区の施策や事業等に関する情報(23.0%)などが続いています。
- 子どもを連れて外出する際に気にかかる点は、公園に不審者がいる等安全面で不安がある(41.1%)、雨の日に子どもを遊ばせる場所がない(39.5%)などが多くなっています。
- 子育て支援に関する施策や事業に対する要望は、休日・夜間診療などの小児医療体制の充実(66.8%)、子どもが事故や犯罪に巻き込まれない環境整備(59.9%)、子どもが安心して遊べる公園等の屋外遊び場の整備(58.7%)などが上位を占めています。



## 2. 小学生保護者

---

- 子どもが通う学校の種類は、区内の区立小学校が 86.0%と大半を占め、私立・国立の小学校は 10.8%です。
- 家族の形態としては、子どもの数が 2 人(51.0%)、家族人数は 4 人(41.4%)が多く、両親と子どもによる構成(74.8%)が4分の3を占めています。
- 主に子どもの身の回りの世話をしている人は多くが母親(95.9%)です。  
主に子どもの身の回りの世話をしている人の就労状況は、61.3%が就労しており、以前は就労していたが現在は就労していないのは 25.0%です。また就労形態は、43.3%がパートタイム・アルバイトの勤めで、29.2%がフルタイムの勤めとなっています。  
主に子どもの身の回りの世話をしている人で、現在、就労していない人（以前は就労していたが現在は就労していない／これまで就労したことはない／学生である）の今後の就労意向は、1 年より先で子どもがある程度大きくなったらパートタイム・アルバイトで働きたい(35.6%)が最も多くなっています。
- 学童クラブの利用状況は、1～3 年生の 28.5%が利用しており、利用者の 65.3%が利用時間について現状のままでよいとしています、31.6%が希望の利用時間があるとしています。
- 子育てに関する不安や悩みは、進学のこと(37.2%)、経済的なこと(35.8%)、生活態度のこと(32.1%)などが上位を占めています。
- 子育てに関して欲しい情報や不足している情報は、子どもと一緒に外出できる遊び場や施設等の情報(37.2%)、医療機関に関する情報(34.1%)、子育て支援に関する区の施策や事業等に関する情報(30.2%)などが上位を占めています。
- 子育てをする上での地域からの支援については、50.0%と半数があればよいと感じたことがあると答えています。
- 子育て支援に関する施策や事業に対する要望は、子どもが安心して遊べる公園等の屋外遊び場の整備(72.6%)、子どもが事故や犯罪に巻き込まれない環境整備(66.6%)、休日・夜間診療などの小児医療体制の充実(63.0%)などが上位を占めています。

## 3. 中学生・高校生などの保護者

---

- 家族の形態としては、子どもの数が 2 人(55.6%)、家族人数は 4 人(43.8%)が多く、両親と子どもによる構成(64.5%)が6割強を占めています。
- 主に子どもの身の回りの世話をしている人は多くが母親(94.0%)です。  
主に子どもの身の回りの世話をしている人の就労状況は、74.6%が就労しており、以前は就労していたが現在は就労していないのは 14.7%です。また、就労形態は、41.8%がパートタイム・アルバイトの勤めで、28.8%がフルタイムの勤めとなっています。  
主に子どもの身の回りの世話をしている人で、現在、就労していない人（以前は就労していたが現在は就労していない／これまで就労したことはない／学生である）の今後の就労意向は、わからない(31.0%)が最も多く、すぐにもしくは1年以内にパートタイム・アルバイト等で働きたい(23.3%)、働くつもりはない(20.7%)が続いています。
- 子育てに関する不安や悩みは、進学のこと(53.9%)が最も多くなっています。
- 子育てに関して欲しい情報や不足している情報は、子どもの進路や進学に関する情報(50.0%)、子どもの生活態度に関する情報(28.5%)などが上位を占めています。
- 子育てをする上での地域からの支援については、41.7%があればよいと感じたことがあると答えています。

- 子育て支援に関する施策や事業に対する要望は、子どもが事故や犯罪に巻き込まれない環境整備(60.5%)、休日・夜間診療などの小児医療体制の充実(57.0%)、子育てに関する手当の充実や経済的負担の軽減(49.8%)などが上位を占めています。

#### 4. 小学生

---

- 兄弟・姉妹の人数は2人(53.4%)、家族の人数は4人(50.0%)が最も多くなっています。
- 小学校の種類は、区立小学校が89.1%で、私立小学校と国立小学校はそれぞれ5.3%です。
- 放課後の過ごし方は、学習塾や習い事に行くが50.8%と最も多く、次いで、自宅で兄弟・姉妹や家族と過ごす(34.6%)となっています。
- 遊び相手は、クラスの友だちが79.7%を占め、遊びの内容は、スポーツなど体を動かす(68.8%)、ゲームをする(51.9%)などが多くなっています。
- 学習塾へは、9割強の方が通っており、このうち週4日より多く通っている割合が36.5%と最も多くなっています。
- インターネット利用は、ときどき使っている(38.0%)が最も多く、利用内容は、ホームページやブログを見る(50.0%)、インターネットでのゲーム(45.1%)などとなっています。
- 自分専用の携帯電話は、45.5%が所有しています。また携帯電話の利用頻度は、電話、メールともに毎日使っている人が3割を超えて最も多くなっています。一方、ほとんど使わない・ほとんどしない人は2割強となっています。
- 学校から帰宅した時の大人の在宅は、ほとんどいる(62.8%)が最も多く、在宅者の8割強がお母さんです。
- 家族との会話は、50.0%がよく話をするという回答しています。
- 学校に行きたくないと思うことがあるかどうかについては、たまにある(32.0%)、ほとんどない(29.7%)、まったくない(28.2%)がそれぞれ3割前後となっています。
- 悩んでいることや困っていることについては、特に悩んでいることや困っていることはないとする割合が46.2%と最も多く、勉強のこと(24.1%)、進路や進学・将来のこと(22.6%)が続いています。
- 悩んでいることや困っていることの相談相手は、お母さんが72.9%と7割強を占めています。
- 豊島区への愛着度は、好き(48.1%)、どちらかといえば好き(43.6%)がそれぞれ40%を超え、これらを合わせると9割が愛着を持っていると言えます。

#### 5. 中学生・高校生など

---

- 兄弟・姉妹の人数は2人(56.9%)、家族の人数は4人(46.6%)が最も多くなっています。
- 学校の種類は、中学生では区内の公立学校が58.9%、私立・国立の学校は32.5%、高校生では私立・国立の学校が63.3%、公立の学校が32.2%となっています。
- クラブ活動への参加は、中学生で79.2%、高校生で66.3%が参加しています。
- 放課後の過ごし方は、自宅で1人で過ごす(43.8%)が最も多く、自宅で兄弟・姉妹や家族と過ごす(39.9%)、学習塾や習い事に行く(37.4%)と続いています。
- 遊び相手は、クラスの友だちが50.7%を占め、遊びの内容は、友だちとおしゃべりする(58.3%)、お店を見たり買い物する(42.2%)などが多くなっています。
- インターネット利用は、ほとんど毎日使っている(53.4%)が最も多く、利用内容は、ホームページやブログを見る(62.2%)、メールのやりとり(51.0%)、音楽などのダウンロード(40.4%)などとなっています。

- 自分専用の携帯電話は、83.5%が所有しています。また、携帯電話の利用頻度は、電話は毎日使う(37.9%)、メールは毎日1~10通くらい送受信する(47.3%)が最も多くなっています。
- 学習塾は、通っていないが47.7%と最も多く、次いで、週に2回(19.7%)となっています。
- 学校から帰宅した時の大人の在宅は、ほとんどいる(64.4%)が6割強を占めています。
- 家族との会話は、43.8%がよく話をするという回答をしています。
- 学校は楽しいかについては、楽しいが47.0%、とても楽しいも36.2%となっており、8割強が楽しいとしています。
- 悩んでいることや困っていることについては、進路・進学・将来のこと(51.6%)、勉強のこと(48.2%)が多くなっています。
- 悩んでいることや困っていることの相談相手は、友だち・先輩が67.4%と最も多く、次いで家族(58.0%)となっています。
- 施設利用の中で、中高生センター(ジャンプ東池袋)の利用状況は、88.3%が利用したことはないという回答をしています。利用したことがない人に、その理由を聞いたところ、知らなかった(77.7%)が多くを占めています。
- 中学生や高校生が利用できる施設として望むものは、友人と雑談や飲食ができるスペースがある(55.5%)、気軽にスポーツができる(53.0%)、気軽に勉強や読書ができる(32.8%)などが主なものとなっています。
- 豊島区への愛着度は、どちらかといえば好きが48.4%、好きが37.8%となっており、これらを合わせると8割が愛着を持っていると言えます。

## **III. 調查結果**

### **1. 就学前兒童保護者**

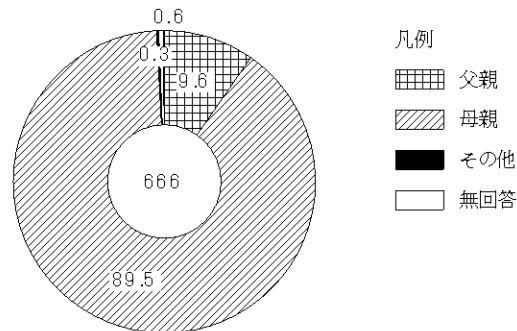
### Ⅲ. 調査結果

#### 1. 就学前児童保護者

(1) 回答者等の属性について

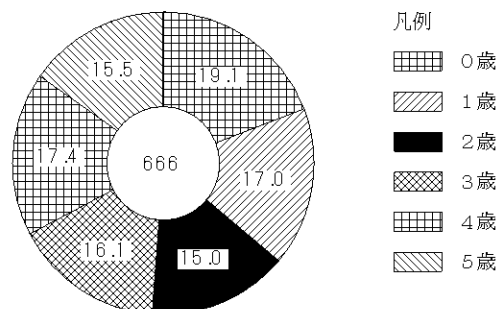
##### 問1. 回答者

●就学前児童保護者の回答者は、母親が9割、父親が1割となっています。



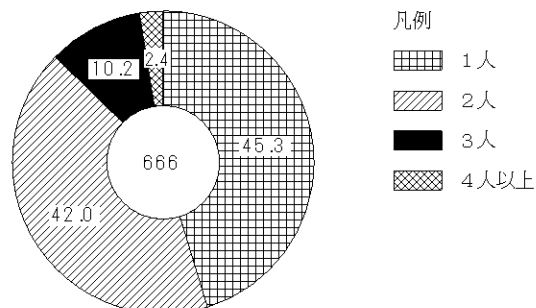
##### 問2. 子どもの年齢

●就学前児童の年齢は、0～5歳までそれぞれ15～20%程度で概ね均等に分布しています。



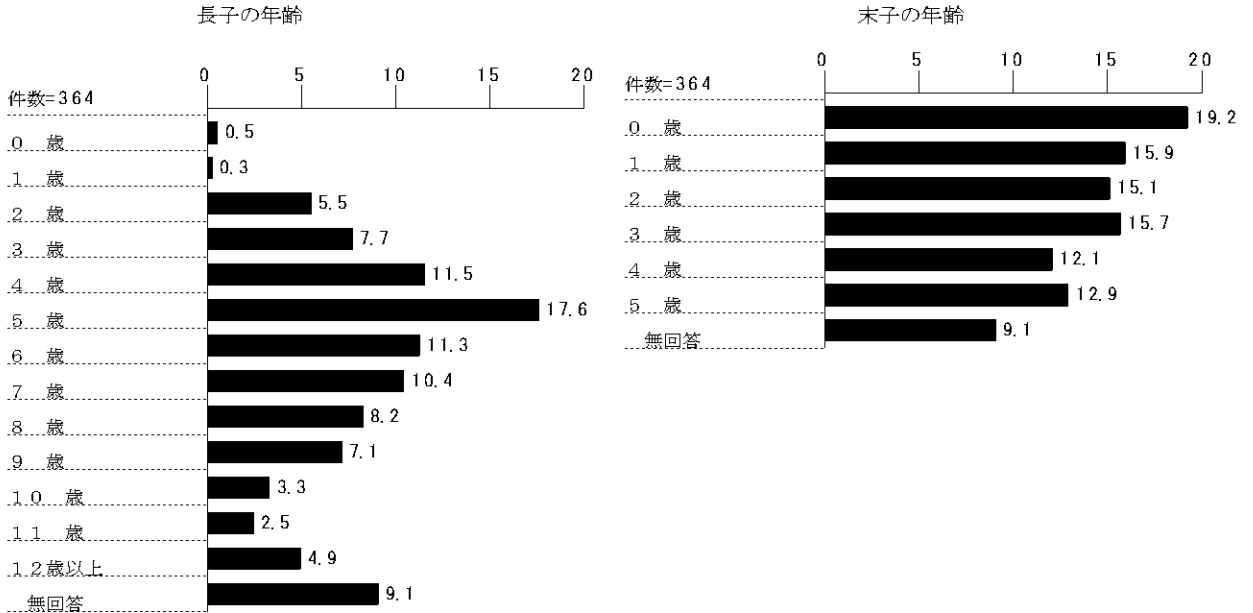
##### 問3. 兄弟・姉妹の人数

●対象者を含めた兄弟・姉妹の人数は、1人(45.3%)、2人(42.0%)で約9割を占めています。



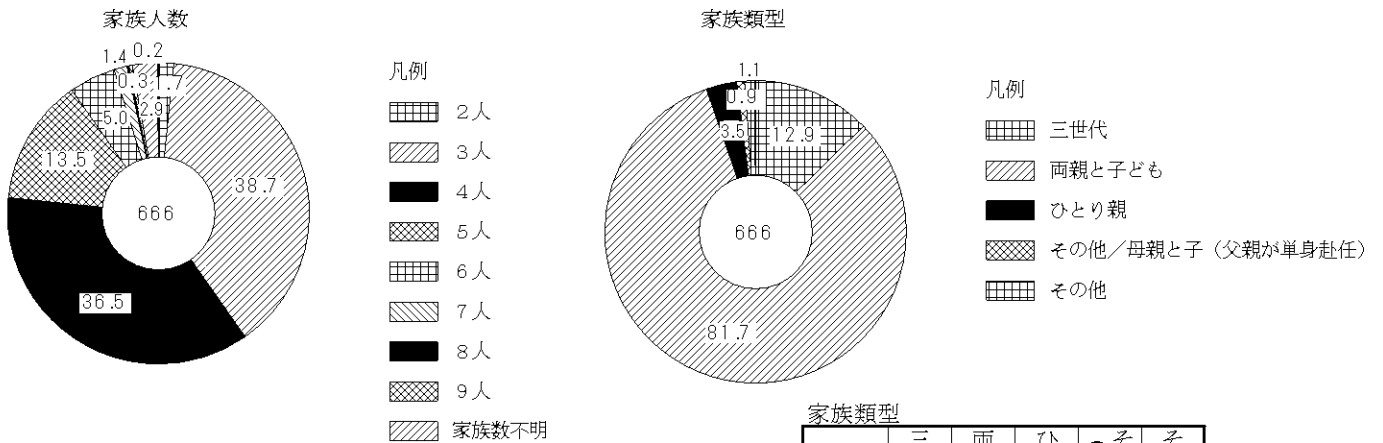
問4. 長子と末子の年齢(平成20年4月1日現在)

- 子どもが2人以上いる場合の長子(一番年長の子ども)の年齢は、5歳(17.6%)が最も多く、4歳(11.5%)、6歳(11.3%)がこれに続いています。
- 末子(一番年少の子ども)の年齢は、0歳(19.2%)が最も多く、1~3歳はそれぞれ15%台、4~5歳は12%台となっています。



問5. 同居している家族の人数と家族類型

- 家族人数は3人家族(38.7%)と4人家族(36.5%)とで約4分の3を占めており、家族類型は、両親と子どもが81.7%を占めています。



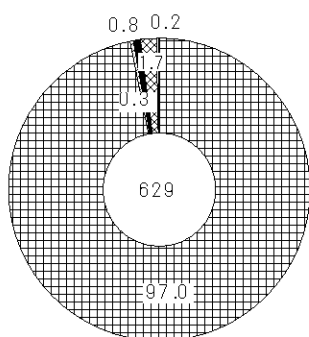
調査数	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	家族数不明
666	11	258	243	90	33	9	2	1	19
100.0	1.7	38.7	36.5	13.5	5.0	1.4	0.3	0.2	2.9

調査数	三世代	両親と子ども	ひとり親	その他/母親と子(父親が単身赴任)	その他
666	86	544	23	6	7
100.0	12.9	81.7	3.5	0.9	1.1

問6. 父親と母親の就労状況 (○は1つ)

- 父親の就労状況は、97.0%がフルタイムで就労しています。
- フルタイム就労の父親の平均帰宅時間帯は21時台(21.0%)を中心に20時台(18.5%)、22時台(15.2%)を合わせた20時~22時の3時間で半数以上(54.7%)を占めています。

父親の就労状況



凡例  
 ■ フルタイムで就労  
 ▨ パートタイムで就労  
 ■ 就労していない  
 ▩ その他  
 □ 無回答

父親の就労状況

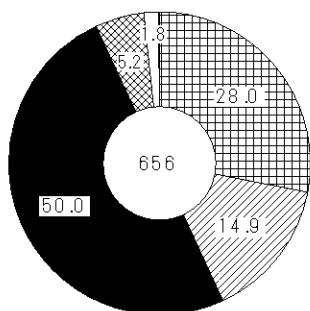
調査数	フルタイムで就労	パートタイムで就労	就労していない	その他	無回答
629	610	2	5	11	1
100.0	97.0	0.3	0.8	1.7	0.2

父親の平均帰宅時間帯 (フルタイム就労)

調査数	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時台	23時台	24時台	25時台	26時台	27時台	無回答
610	1	0	1	15	43	73	113	128	93	53	36	16	4	5	29
100.0	0.2	0.0	0.2	2.5	7.0	12.0	18.5	21.0	15.2	8.7	5.9	2.6	0.7	0.8	4.8

- 母親の就労状況については、半数が未就労(50.0%)であり、28.0%がフルタイムで就労、14.9%がパートタイムで就労となっています。
- フルタイム就労の母親の平均帰宅時間は18時台(47.8%)を中心に19時台(17.9%)、17時台(15.8%)の3時間で全体の8割強(81.5%)を占めています。
- 一方、パートタイム就労の母親の平均帰宅時間帯は、17時台(28.6%)を中心に16時台(21.4%)、18時台(15.3%)の3時間で65.3%を占めており、フルタイム就労に比べ1~2時間帰宅が早くなっています。

母親の就労状況



凡例  
 ■ フルタイムで就労  
 ▨ パートタイムで就労  
 ■ 就労していない  
 ▩ その他  
 □ 無回答

母親の就労状況

調査数	フルタイムで就労	パートタイムで就労	就労していない	その他	無回答
656	184	98	328	34	12
100.0	28.0	14.9	50.0	5.2	1.8

母親の平均帰宅時間帯（フルタイム就労）

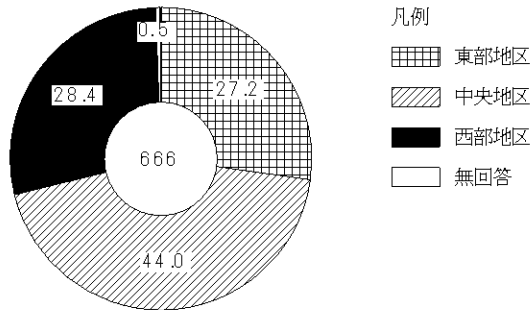
調査数	1 4 時台	1 5 時台	1 6 時台	1 7 時台	1 8 時台	1 9 時台	2 0 時台	2 1 時台	2 2 時台	2 3 時台	2 4 時台	2 5 時台	無 回 答
184	1	0	9	29	88	33	14	3	1	0	2	2	2
100.0	0.5	0.0	4.9	15.8	47.8	17.9	7.6	1.6	0.5	0.0	1.1	1.1	1.1

（パートタイム就労）

調査数	1 2 時台	1 3 時台	1 4 時台	1 5 時台	1 6 時台	1 7 時台	1 8 時台	1 9 時台	2 0 時台	2 1 時台	2 2 時台	2 3 時台	無 回 答
98	1	3	9	8	21	28	15	4	4	2	0	1	2
100.0	1.0	3.1	9.2	8.2	21.4	28.6	15.3	4.1	4.1	2.0	0.0	1.0	2.0

問7. 居住地区（○は1つ）

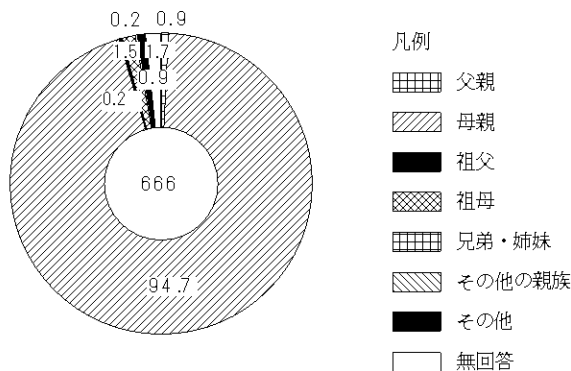
●回答者の居住地区を3地区別で見ると、中央地区(44.0%)が最も多く、東部地区および西部地区の両地区が、ほぼ同じ割合となっています。



(2) 主にお子さんの身の回りの世話をしている方について

問8. 主に子どもの身の回りの世話をしている人（○は1つ）

●主に子どもの身の回りの世話をしている人は、ほとんどが母親(94.7%)です。





問9. 主に子どもの身の回りの世話をしている人の就労状況 (○は1つ)

●主に子どもの身の回りの世話をしている人の就労状況は、46.4%が就労しており、40.4%が以前は就労していたが現在は就労していないと回答しています。

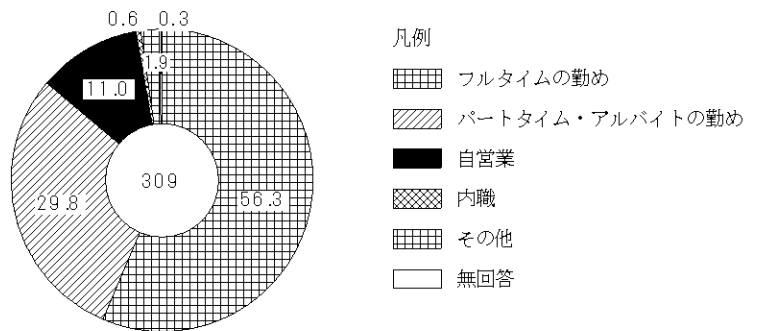
◇【子どもの年齢別集計】

	調査数	就労している	現以前は就労していたが、ない	これまで就労したことはない	学生である	無回答
調査数	666	309	269	68	2	18
	100.0	46.4	40.4	10.2	0.3	2.7
0 歳	127	51	68	4	0	4
	100.0	40.2	53.5	3.1	0.0	3.1
1 歳	113	53	45	13	0	2
	100.0	46.9	39.8	11.5	0.0	1.8
2 歳	100	41	43	11	0	5
	100.0	41.0	43.0	11.0	0.0	5.0
3 歳	107	47	42	15	1	2
	100.0	43.9	39.3	14.0	0.9	1.9
4 歳	116	69	30	12	1	4
	100.0	59.5	25.9	10.3	0.9	3.4
5 歳	103	48	41	13	0	1
	100.0	46.6	39.8	12.6	0.0	1.0

●主に子どもの身の回りの世話をしている人の就労状況を子どもの年齢別に見ると、0歳と2歳の場合は、以前は就労していたが現在は就労していない割合が第1位であり、1歳、3歳、4歳、5歳では、就労しているが第1位となっています。

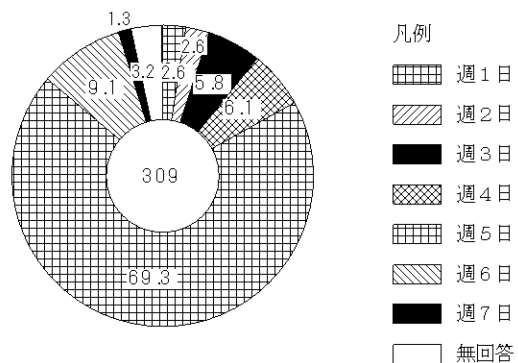
問9-1. 主に子どもの身の回りの世話をしている人の就労形態 (○は1つ)

●主に子どもの身の回りの世話をしている人が就労している場合の就労形態は、フルタイム勤務が56.3%と最も多く、パートタイム・アルバイトの勤めは29.8%となっています。



問9-2. 主に子どもの身の回りの世話をしている人の就労日数、家を出る時間と家に着く時間、土曜日や日曜日・祝祭日の就労状況、通勤時間

●主に子どもの身の回りの世話をしている人が就労している場合の就労日数は、週5日(69.3%)が最も多く、週6日(9.1%)がこれに続いています。



- 家を出る時間は、8 時台(41.4%)を中心に 7 時台(21.4%)、9 時台(17.2%)と合わせ、この 3 時間で全体の 80.0%を占めています。

◇【就労形態別家を出る時間帯】

	調査数	4時台	5時台	6時台	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	無回答
調査数	309	1	0	3	66	128	53	25	1	0	0	2	0	2	1	27
	100.0	0.3	0.0	1.0	21.4	41.4	17.2	8.1	0.3	0.0	0.0	0.6	0.0	0.6	0.3	8.7
フルタイムの勤め	174	0	0	2	59	85	16	8	0	0	0	0	0	1	0	3
	100.0	0.0	0.0	1.1	33.9	48.9	9.2	4.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	1.7
パートタイム・アルバイトの勤め	92	1	0	1	6	36	31	11	0	0	0	1	0	0	0	5
	100.0	1.1	0.0	1.1	6.5	39.1	33.7	12.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	5.4
自営業	34	0	0	0	0	6	5	6	1	0	0	1	0	0	1	14
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.6	14.7	17.6	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	2.9	41.2
内職	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
その他	6	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

- 主に子どもの身の回りの世話をしている人が就労している場合の家を出る時間帯を就労形態別に見ると、フルタイムの勤めもパートタイム・アルバイトの勤めも8時台が最も多くなっていますが、これに次ぐ時間帯は、フルタイムの勤めでは7時台、パートタイム・アルバイトの勤めでは9時台となっており、フルタイムの勤めは早い時間帯にシフトしていることがわかります。

- 家に着く時間は、18時台(34.3%)を中心に17時台(17.8%)と19時台(13.3%)の3時間で全体の65.4%を占めています。

◇【就労形態別家に帰る時間帯】

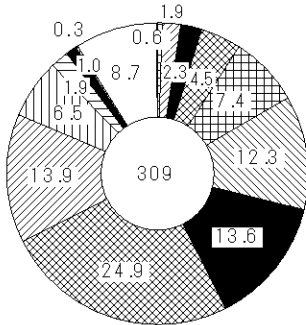
	調査数	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時台	23時台	24時台	25時台	無回答
調査数	309	1	3	10	8	30	55	106	41	17	8	1	0	2	2	25
	100.0	0.3	1.0	3.2	2.6	9.7	17.8	34.3	13.3	5.5	2.6	0.3	0.0	0.6	0.6	8.1
フルタイムの勤め	174	0	0	0	0	6	26	86	33	14	5	1	0	1	0	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	14.9	49.4	19.0	8.0	2.9	0.6	0.0	0.6	0.0	1.1
パートタイム・アルバイトの勤め	92	1	3	9	8	21	25	14	4	2	1	0	0	0	0	4
	100.0	1.1	3.3	9.8	8.7	22.8	27.2	15.2	4.3	2.2	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3
自営業	34	0	0	1	0	3	4	4	4	1	0	0	0	1	2	14
	100.0	0.0	0.0	2.9	0.0	8.8	11.8	11.8	11.8	2.9	0.0	0.0	0.0	2.9	5.9	41.2
内職	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
その他	6	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

- 家に着く時間帯を就労形態別に見ると、フルタイムの勤めは18時台が最も多く次いで19時台となっているのに対し、パートタイム・アルバイトの勤めでは、16時台から18時台とフルタイムの勤めよりも早い時間帯に分散しています。

●労働時間については、10～11時間未満(24.9%)が最も多く、これに次いで11～12時間未満(13.9%)、9～10時間未満(13.6%)が多くなっています。

●土曜日の就労については、6割弱が毎週休み(58.9%)となっており、土曜出社(月に何日か就労)は36.9%という状況となっています。

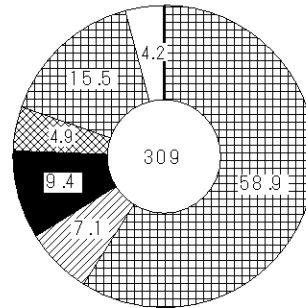
労働時間(通勤時間を含む)



凡例

- 3～4時間未満
- 4～5時間未満
- 5～6時間未満
- 6～7時間未満
- 7～8時間未満
- 8～9時間未満
- 9～10時間未満
- 10～11時間未満
- 11～12時間未満
- 12～13時間未満
- 13～14時間未満
- 14～15時間未満
- 15時間以上
- 無回答

土曜日の就労状況



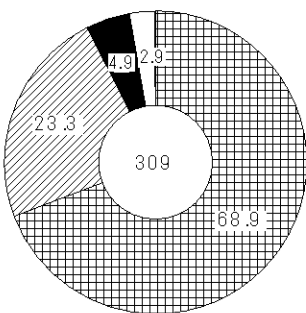
凡例

- 毎週休み
- 月に1日就労
- 月に2日就労
- 月に3日就労
- 月に4日就労
- 無回答

●日曜日・祝祭日の就労は、7割弱がすべて休み(68.9%)である一方、23.3%が時々就労となっています。

●通勤時間については、30分～1時間未満(40.1%)が最も多く、15分～30分未満(24.9%)、15分未満(16.2%)がこれに続いており、なし(6.5%)を含めると約9割(87.7%)が1時間未満となっています。

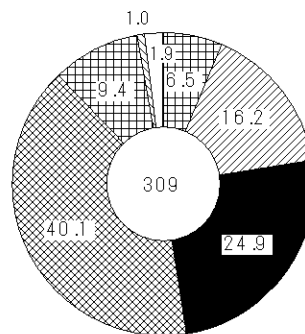
日曜日・祝祭日の就労状況



凡例

- すべて休み
- 時々就労
- ほとんど就労
- 無回答

通勤時間

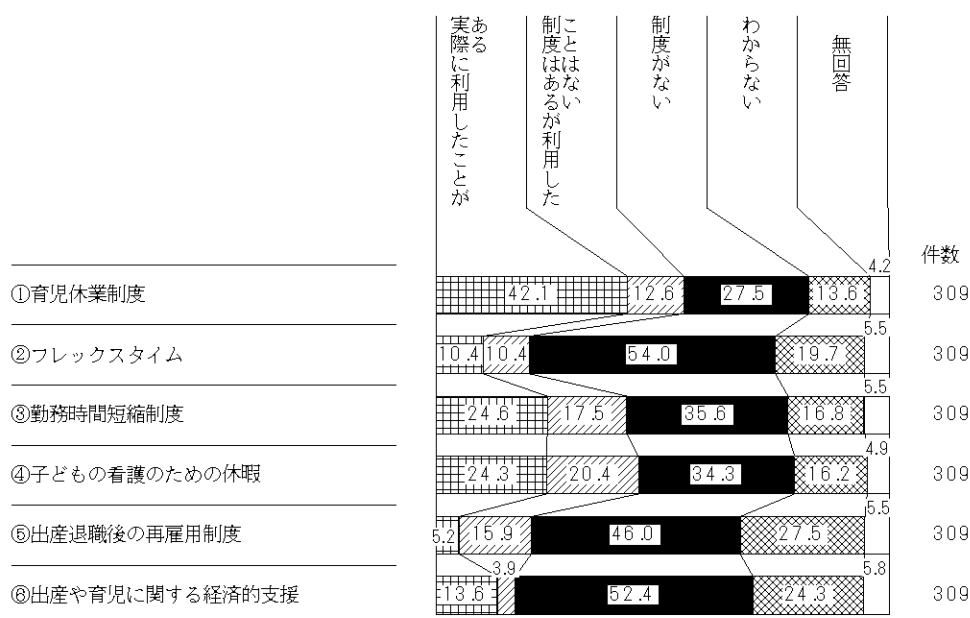


凡例

- なし
- 15分未満
- 15分～30分未満
- 30分～1時間未満
- 1時間～1時間30分未満
- 1時間30分以上
- 無回答

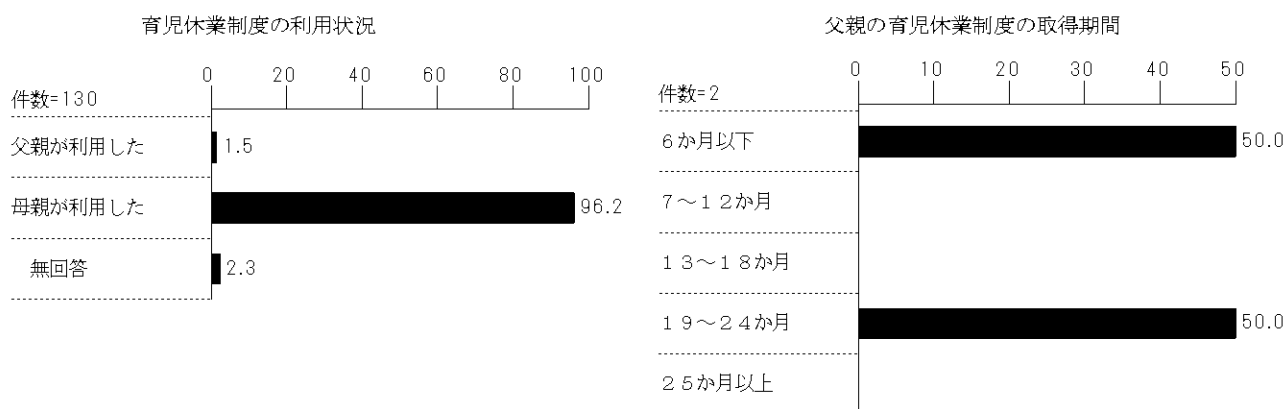
問 9-3. 子どもの身の回りの世話をしている人の職場における子育て支援施策（項目ごとに○は1つ）

- 職場における子育て支援施策としては、育児休業制度(42.1%)や勤務時間短縮制度(24.6%)、子どもの看護のための休暇(24.3%)が比較的に利用されています。
- 全体としては、職場に制度がないとする割合も高く、特にフレックスタイム(54.0%)、出産や育児に関する経済的支援(52.4%)、出産退職後の再雇用制度(46.0%)などは、整備されていないとする割合が半数近くを占めています。

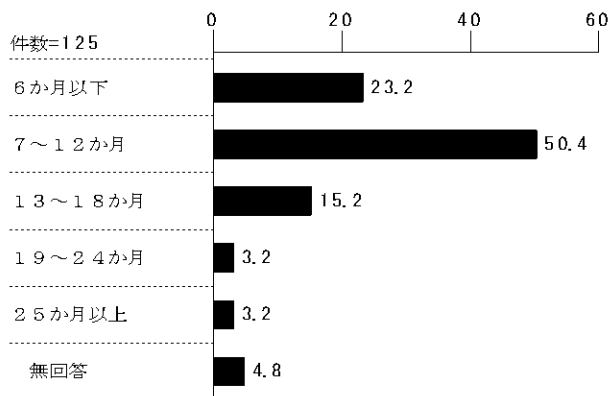


問 9-4. 育児休業の利用状況と職場復帰時の子どもの月齢（あてはまるものに○）

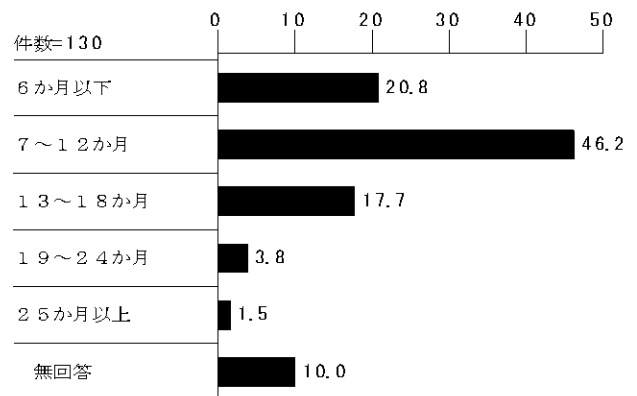
- 育児休業制度の利用状況は、母親利用(96.2%、125件)がほとんどであり、父親が取得した場合(1.5%、2件)には6か月以下(1件)と19~24か月(1件)とになっています。
- 母親が取得した場合には、取得期間は7~12か月(50.4%)が最も多く、取得期間が6か月以下も2割(23.2%)を占めています。
- 復帰時の子どもの月齢は7~12か月(46.2%)が最も多くなっています。



母親の育児休業制度の取得期間

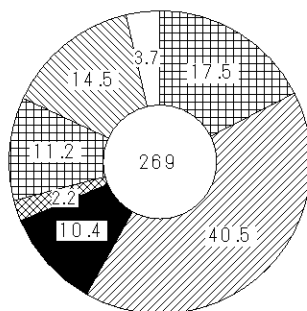


職場復帰した時の子どもの月齢



問9-5. 仕事をやめた理由 (○は1つ)

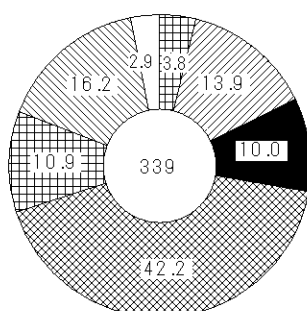
- 以前は就労していたが現在は就労していない人の退職理由としては、自分で保育したほうがよいと思った(40.5%)が最も多く、家事・育児の負担が大きくなった(17.5%)がこれに続いています。
- その他(14.5%、39件)の理由としては、結婚退職のため(8件)、妊娠・出産のため(7件)、病気・体調不良のため(6件)などとなっています。



- 凡例
- 家事や育児の負担が大きくなった
  - 自分で子どもの保育をしたほうがよいと思った
  - 配偶者の転勤や住宅の購入等による転居など
  - 子どもを預けて働くことへの家族の理解が得られない
  - 勤務先で子育てしながら働き続けられる環境が整っていない
  - その他
  - 無回答

問9-6. 今後の就労意向と就労希望日数、1日あたりの時間ならびに就労希望開始時期 (○は1つ)

- 現在就労していない人の就労意向については、1年より先で子どもがある程度大きくなってからのパートタイム・アルバイト勤務(42.2%)を希望する人が最も多く、わからない(16.2%)、すぐにもしくは1年以内にパートタイム・アルバイト等勤務(13.9%)がこれに続いています。



- 凡例
- すぐにもしくは1年以内に、フルタイムで働きたい
  - すぐにもしくは1年以内にパートタイム・アルバイト等で働きたい
  - 1年より先で子どもがある程度大きくなってからフルタイムで働きたい
  - 1年より先で子どもがある程度大きくなってからパート等で働きたい
  - 働くつもりはない
  - わからない
  - 無回答

●すぐにもしくは1年以内にパートタイム・アルバイト勤務を希望する人の就労希望日数（1週あたり）は、週3日（46.8%）が最も多く、次いで週4日（29.8%）となっています。

●すぐにもしくは1年以内にパートタイム・アルバイト勤務を希望する人の就労希望時間は、4時間（34.0%）および5時間（36.2%）が中心となっています。

問9-6 1年以内にパート・アルバイトでの就労希望者の1週あたり就労希望日数

調査数	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日	週7日	無回答
47	0	3	22	14	4	0	0	4
100.0	0.0	6.4	46.8	29.8	8.5	0.0	0.0	8.5

問9-6 1年以内にパート・アルバイトでの就労希望者の1日あたり就労希望時間

調査数	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	無回答
47	4	16	17	4	1	1	4
100.0	8.5	34.0	36.2	8.5	2.1	2.1	8.5

●1年より先でフルタイム勤務を希望する人の就労希望開始時期については、子どもが3歳（26.5%）とする人が最も多く、10歳（14.7%）、7歳（11.8%）がこれに続いており、子どもの入園・入学時期とする傾向が伺えます。

問9-6 1年より先でフルタイムでの就労希望者の就労希望開始時期（子どもの年齢）

調査数	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	無回答
34	1	2	9	2	2	3	4	2	0	5	0	0	1	0	1	2
100.0	2.9	5.9	26.5	5.9	5.9	8.8	11.8	5.9	0.0	14.7	0.0	0.0	2.9	0.0	2.9	5.9

●1年より先でパートタイム・アルバイト勤務を希望する人については、週3日（42.0%）、5時間（37.8%）程度の就労を希望しており、就労開始時期は6歳（17.5%）と7歳（14.7%）が多くなっています。

問9-6 1年より先でパート・アルバイトでの就労希望者の1週あたり就労希望日数

調査数	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日	週7日	無回答
143	0	3	60	44	26	0	0	10
100.0	0.0	2.1	42.0	30.8	18.2	0.0	0.0	7.0

問9-6 1年より先でパート・アルバイトでの就労希望者の1日あたり就労希望時間

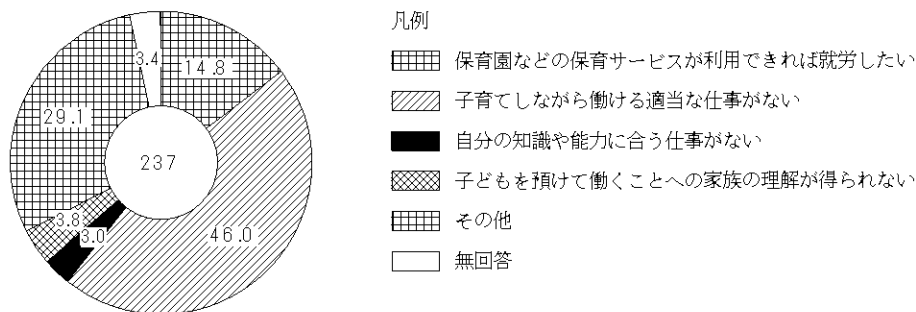
調査数	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	無回答
143	6	29	54	35	4	4	11
100.0	4.2	20.3	37.8	24.5	2.8	2.8	7.7

問9-6 1年より先でパート・アルバイトでの就労希望者の就労希望開始時期（子どもの年齢）

調査数	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	無回答
143	16	10	8	25	21	13	2	15	0	3	1	29
100.0	11.2	7.0	5.6	17.5	14.7	9.1	1.4	10.5	0.0	2.1	0.7	20.3

問 9-7. 現在働いていない理由 (○は1つ)

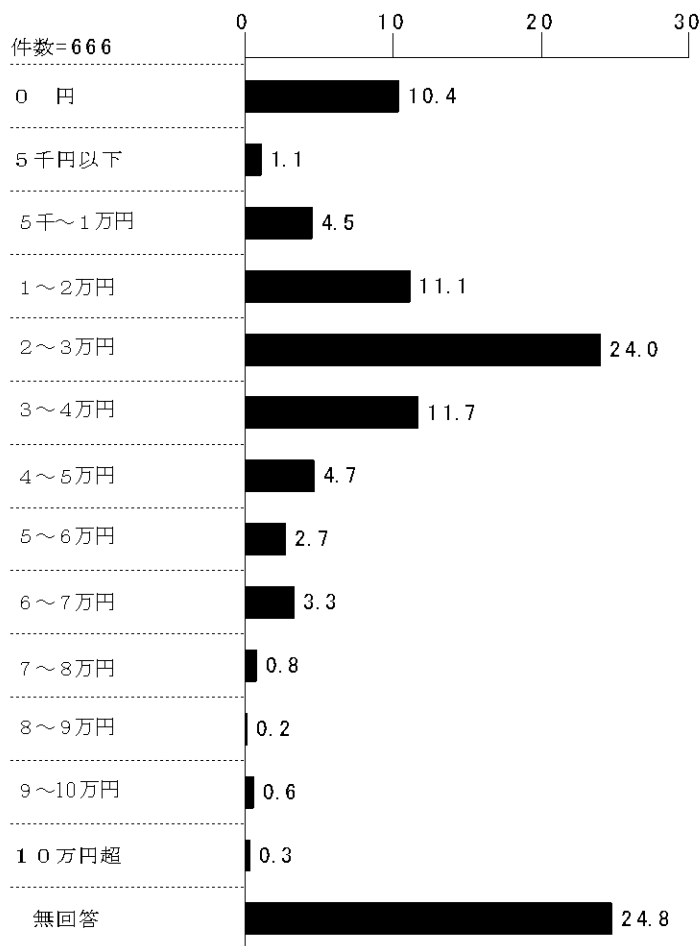
- 就労希望を持ちながら現在働いていない理由としては、子育てしながら働ける適当な仕事がない(46.0%)が最も多く、その他(29.1%)、保育サービスが利用できれば就労したい(14.8%)がこれに続いています。
- その他(69件)の内容を見ると、「子どもが小さいうちはそばにいたい」(24件)、「今は子育てに専念したい」(12件)、「自分で保育したほうがよいと思うから」(7件)などとなっています。



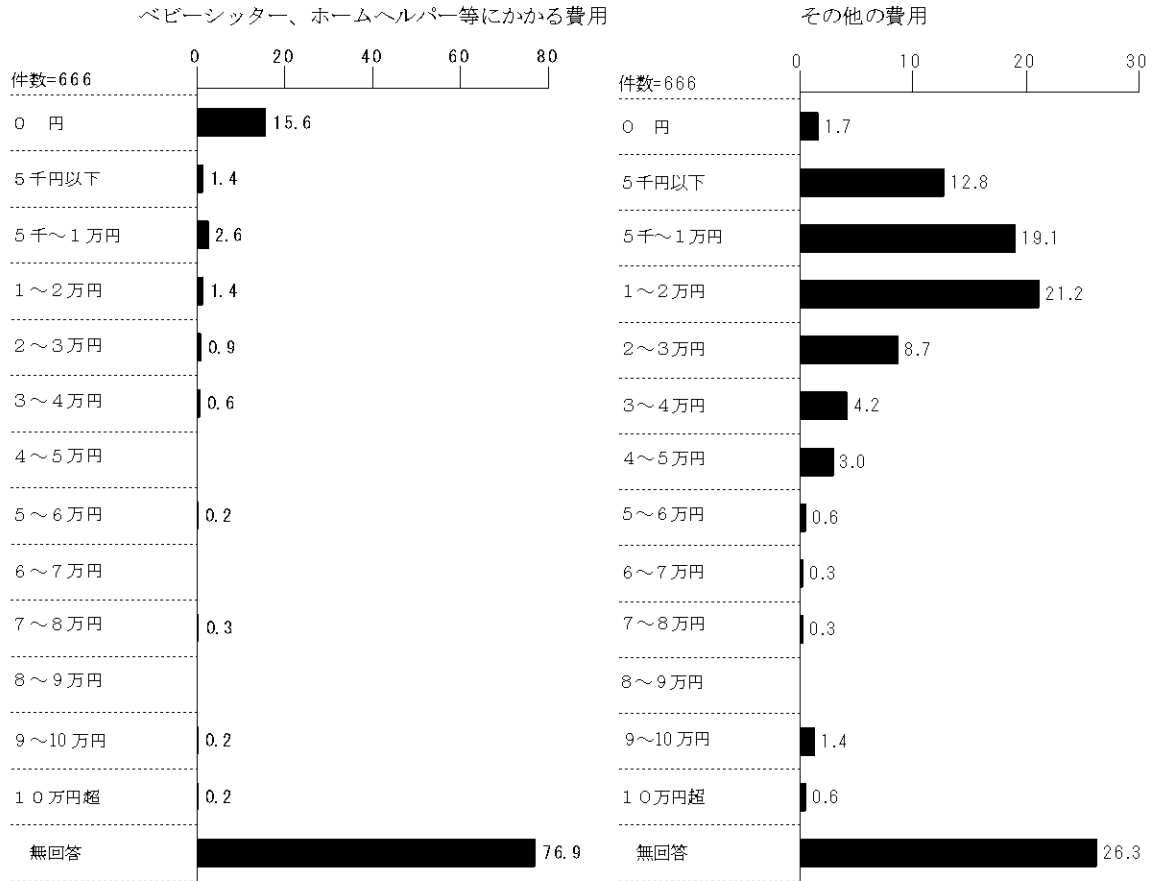
(3) 子育てに関する経済的負担について

問 10. 子育て(保育園等、ベビーシッター等、その他)にかかる1か月の費用

- 保育園や保育施設、幼稚園等にかかる費用は、2~3万円(24.0%)を中心に、3~4万円(11.7%)、1~2万円(11.1%)と合わせ、1~4万円で全体の半数弱を占めています。



- ベビーシッター等にかかる費用は、5千～1万円(2.6%)が最も多く、5千円以下(1.4%)、1～2万円(1.4%)がこれに続いています。
- その他(習い事、医療、レジャー、被服費など)にかかる費用は、1～2万円(21.2%)、5千～1万円(19.1%)、5千円以下(12.8%)で全体の半数以上(53.1%)を占めています。

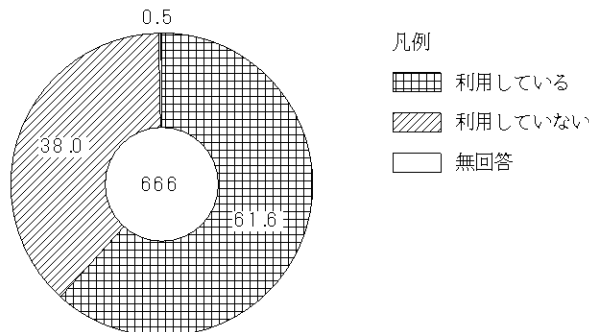


(4) あて名のお子さんの保育状況について

問11. 定期的な保育サービス※の利用状況 (○は1つ)

※この“保育サービス”とは、認可保育園、認証保育所、無認可保育施設、事業所内保育施設、保育ママ、ファミリー・サポート・センター、ベビーシッターやホームヘルパー、幼稚園などのお子さんを預けるサービスを指します。

- 定期的な保育サービスの利用は61.6%と全体の3分の2弱となっています。





◇【子どもの年齢別集計】

	調査数	利用している	利用していない	無回答
調査数	666	410	253	3
	100.0	61.6	38.0	0.5
0 歳	127	36	91	0
	100.0	28.3	71.7	0.0
1 歳	113	55	57	1
	100.0	48.7	50.4	0.9
2 歳	100	47	51	2
	100.0	47.0	51.0	2.0
3 歳	107	86	21	0
	100.0	80.4	19.6	0.0
4 歳	116	100	16	0
	100.0	86.2	13.8	0.0
5 歳	103	86	17	0
	100.0	83.5	16.5	0.0

●定期的な保育サービスの利用の有無を子どもの年齢別に見ると、0歳から2歳までは利用していない割合が多いのに対し、3歳からの利用が急増しています。これは、幼稚園の入園年齢と大きく関連していると思われます。

問 11-1. 保育サービス利用者の利用内容 (○はいくつでも)

●利用している保育サービスとしては、認可保育園(52.0%)と幼稚園(35.4%)が多くなっています。

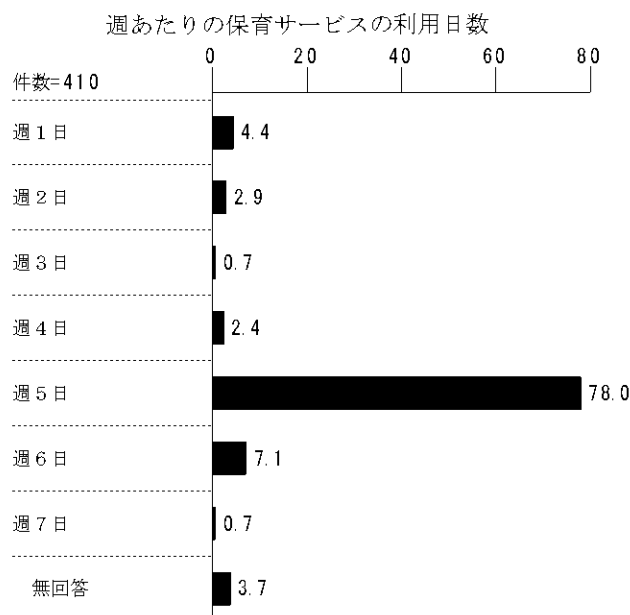
◇【子どもの年齢別集計】

	調査数	認可保育園	認証保育所	ベビーホテル等の無認	事業所内保育施設	保育ママ	ファミリー・センター・サポート	ムベーパーターやホームヘルパー	間幼稚園(通常の就園時)	間幼稚園(通常の就園時)	その他	無回答
調査数	410	213	18	5	5	1	27	18	145	50	18	3
	100.0	52.0	4.4	1.2	1.2	0.2	6.6	4.4	35.4	12.2	4.4	0.7
0 歳	36	27	2	1	1	0	1	3	1	0	2	0
	100.0	75.0	5.6	2.8	2.8	0.0	2.8	8.3	2.8	0.0	5.6	0.0
1 歳	55	44	3	2	0	1	5	4	0	0	4	0
	100.0	80.0	5.5	3.6	0.0	1.8	9.1	7.3	0.0	0.0	7.3	0.0
2 歳	47	28	5	0	0	0	8	2	3	1	5	1
	100.0	59.6	10.6	0.0	0.0	0.0	17.0	4.3	6.4	2.1	10.6	2.1
3 歳	86	33	3	1	1	0	6	4	40	13	4	0
	100.0	44.2	3.5	1.2	1.2	0.0	7.0	4.7	46.5	15.1	4.7	0.0
4 歳	100	43	2	1	3	0	1	2	44	21	3	2
	100.0	43.0	2.0	1.0	3.0	0.0	1.0	2.0	44.0	21.0	3.0	2.0
5 歳	86	28	3	0	0	0	6	3	57	15	0	0
	100.0	32.6	3.5	0.0	0.0	0.0	7.0	3.5	66.3	17.4	0.0	0.0

- 利用している保育サービスの種類を子どもの年齢別に見ると、認可保育園はどの年代でも多くなっていますが、特に0歳から2歳までで多くなっています。
- これに対し、3歳から5歳までは幼稚園の割合が高くなっています。
- また、0歳ではベビーシッターやホームヘルパーが、1歳ならびに2歳ではファミリー・サポート・センターが第2位となっています。

問 11-2. 保育サービスの利用状況（週あたりの日数と1日あたりの利用時間）

- 保育サービスの利用日数は、週 5 日 (78.0%) が最も多く、平日はほぼ毎日利用していることが伺えます。



- 1日あたりの保育サービス利用時間は、5～6 時間未満 (21.2%) が最も多くなっているものの、9～10 時間未満 (15.9%) や 8～9 時間未満 (15.4%)、10～11 時間未満 (13.2%) なども多く、8 時間以上の利用希望を合わせると全体の 50.6% となります。

◇ 【子どもの年齢別集計】

	調査数	1 ～ 2 時間 未満	2 ～ 3 時間 未満	3 ～ 4 時間 未満	4 ～ 5 時間 未満	5 ～ 6 時間 未満	6 ～ 7 時間 未満	7 ～ 8 時間 未満	8 ～ 9 時間 未満	9 ～ 10 時間 未満	10 ～ 11 時間 未満	11 ～ 12 時間 未満	12 ～ 13 時間 未満	13 ～ 14 時間 未満	14 ～ 15 時間 未満	無 回 答
調査数	410	1	4	13	30	87	28	32	63	65	54	13	9	2	8	
	100.0	0.2	1.0	3.2	7.3	21.2	6.8	7.8	15.4	15.9	13.2	3.2	2.2	0.5	2.0	
0 歳	36	0	0	0	1	2	3	4	12	9	2	0	1	0	2	
	100.0	0.0	0.0	0.0	2.8	5.6	8.3	11.1	33.3	25.0	5.6	0.0	2.8	0.0	5.6	
1 歳	55	0	1	1	1	0	3	1	6	15	16	4	4	0	3	
	100.0	0.0	1.8	1.8	1.8	0.0	5.5	1.8	10.9	27.3	29.1	7.3	7.3	0.0	5.5	
2 歳	47	1	3	5	1	2	0	4	10	7	8	3	2	1	0	
	100.0	2.1	6.4	10.6	2.1	4.3	0.0	8.5	21.3	14.9	17.0	6.4	4.3	2.1	0.0	
3 歳	86	0	0	5	13	19	6	8	10	11	10	3	1	0	0	
	100.0	0.0	0.0	5.8	15.1	22.1	7.0	9.3	11.6	12.8	11.6	3.5	1.2	0.0	0.0	
4 歳	100	0	0	1	6	28	8	8	19	16	10	1	0	1	2	
	100.0	0.0	0.0	1.0	6.0	28.0	8.0	8.0	19.0	16.0	10.0	1.0	0.0	1.0	2.0	
5 歳	86	0	0	1	8	36	8	7	6	7	8	2	1	0	1	
	100.0	0.0	0.0	1.2	9.3	41.9	9.3	8.1	7.0	8.1	9.3	2.3	1.2	0.0	1.2	

- 保育サービス利用時間を年齢別に見ると、0 歳から 2 歳で 8 時間から 11 時間が高い割合を示し、3 歳から 5 歳では 4 時間から 7 時間が高くなり、3 歳から幼稚園入園するケースが多いことが影響していると思われます。

- 保育サービスの利用開始時間帯は 9 時台(56.8%)が過半数を占め、次に 8 時台(27.1%)と 8 時から 9 時に集中していますが、利用終了時間帯は 17 時台(21.7%)、14 時台(21.5%)、18 時台(21.0%)が多くなっており、開始時間に比べ分散しています。

問 1 1 - 2 保育サービスの利用開始時間帯

調査数	7 時台	8 時台	9 時台	10 時台	11 時台	12 時台	13 時台	14 時台	15 時台	16 時台	17 時台	18 時台	無回答
410	26	111	233	16	0	3	1	5	2	1	0	1	11
100.0	6.3	27.1	56.8	3.9	0.0	0.7	0.2	1.2	0.5	0.2	0.0	0.2	2.7

問 1 1 - 2 保育サービスの利用終了時間帯

調査数	1 時台	1 時 2 時台	1 時 3 時台	1 時 4 時台	1 時 5 時台	1 時 6 時台	1 時 7 時台	1 時 8 時台	1 時 9 時台	2 時 0 時台	2 時 1 時台	2 時 2 時台	2 時 3 時台	無回答
410	4	4	31	88	21	40	89	86	20	9	5	1	1	11
100.0	1.0	1.0	7.6	21.5	5.1	9.8	21.7	21.0	4.9	2.2	1.2	0.2	0.2	2.7

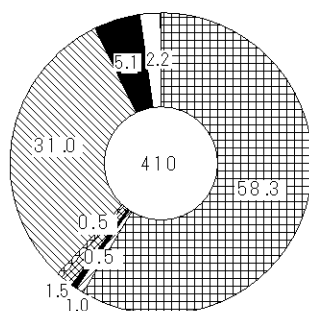
- 1 週間の保育サービス利用時間は、35 時間以上が 55.9%、35 時間未満が 40.0%となっています。

問 1 1 - 2 1 週間の保育サービス利用時間

調査数	35 時間未満	35 時間以上	無回答
410	164	229	17
100.0	40.0	55.9	4.1

問 11-3. 利用している主な理由 (○は1つ)

- 保育サービスを利用している人の主な利用理由は、就労している(58.3%)が最も多く、子どもの教育のため(31.0%)がこれに続いています。
- その他(5.1%、21 件)の理由としては、下の子の育児のため(3 件)、習い事や勉強(3 件)などとなっています。

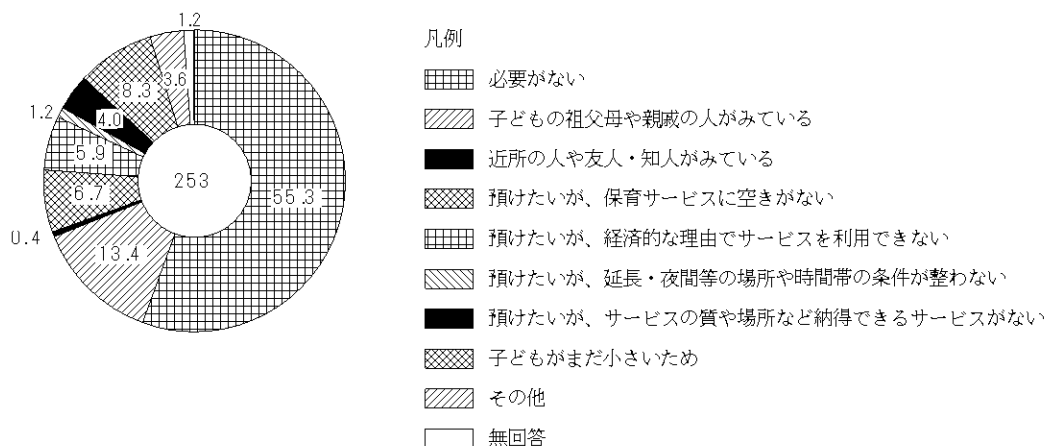


凡例

- 現在就労している
- 就労予定がある/求職中である
- 家族・親族等の介護
- 病気や障害をもっている
- 学生である
- 1~5 までの事情はないが子どもの教育のため
- その他
- 無回答

問 11-4. 保育サービスを利用していない主な理由 (○は1つ)

- 非利用者の利用していない主な理由としては、必要がない(55.3%)が最も多く、子どもの祖父母や親戚の人が見ている(13.4%)が続いています。
- 利用していない理由を子どもがまだ小さいためと回答した方に、利用希望開始時期を聞いたところ、半数近くが3歳(47.6%)としています。

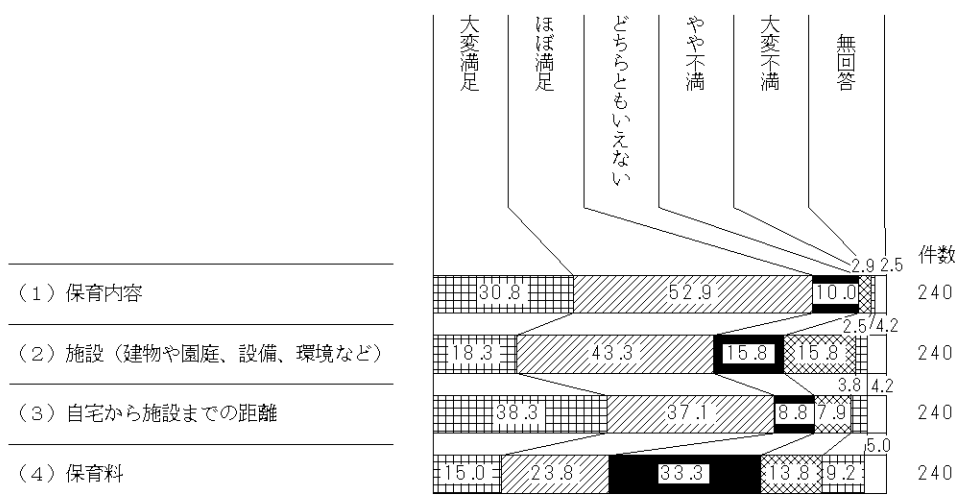


子どもが小さいため利用していない  
人の利用希望時の子どもの年齢

調査数	1歳	2歳	3歳	4歳	無回答
21	4	2	10	2	3
100.0	19.0	9.5	47.6	9.5	14.3

問 1 2. 保育サービスの満足度 (項目ごとに○は1つ)

- 保育サービスの利用満足度については、満足している(“大変満足”と“ほぼ満足”の合計)割合で見ると、保育内容については約8割(83.7%)が、立地場所(距離)については7割強(75.4%)となっていますが、保育料については、38.8%と低くなっています。



問13. 幼稚園の通園時間と入園理由（入園理由：○は1つ）

- 幼稚園利用の開始時間は9時台(97.9%)、終了時間は14時台(60.0%)が最も多く、利用時間としては5時間～5時間30分(52.4%)が中心となっています。

幼稚園（通常の就園時間）の利用開始時間帯

調査数	9時台	10時台	11時台	無回答
145	142	0	0	3
100.0	97.9	0.0	0.0	2.1

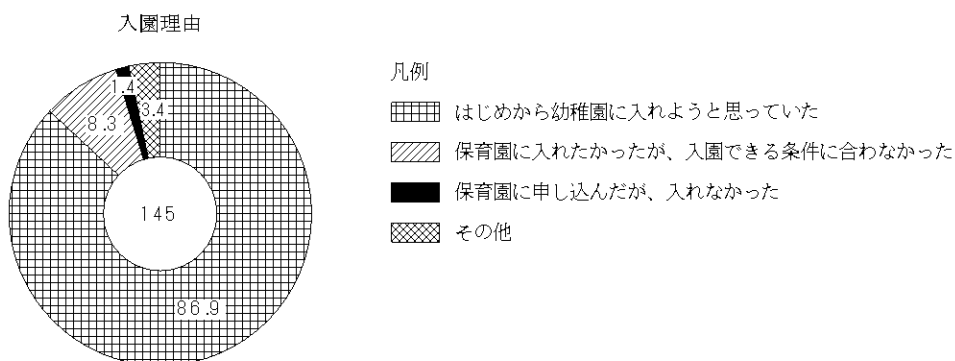
幼稚園（通常の就園時間）の利用終了時間帯

調査数	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	無回答
145	2	3	25	87	21	4	3
100.0	1.4	2.1	17.2	60.0	14.5	2.8	2.1

幼稚園（通常の就園時間）の1日の利用時間

調査数	2時間～30分未満	3時間～30分未満	4時間～30分未満	5時間～30分未満	6時間～30分未満	7時間～30分未満	8時間～30分未満	無回答					
145	2	0	2	1	7	18	76	11	14	7	3	1	3
100.0	1.4	0.0	1.4	0.7	4.8	12.4	52.4	7.6	9.7	4.8	2.1	0.7	2.1

- 幼稚園への入園理由は、初めから考えていた(86.9%)が9割弱を占めています。



問14. 利用したい、あるいは不足していると思う保育サービス（○はいくつでも）

- 今後利用したい、あるいは現在不足していると思われる保育サービスは、一時預かり(27.5%)や病児・病後児保育(26.1%)といったサービスに加え、現在、多く利用されている認可保育園(22.4%)あるいは幼稚園（通常の就園時間外の預かり保育）(21.0%)に対する要望も高くなっています。

◇【子どもの年齢別集計】

	調査数	認可保育園	認証保育所	ベビーホテル等の無認可保育施設	事業所内保育施設	保育ママ	ファミリー・サポート・センター	ホームヘルパーやベビシッター	幼稚園（通常の就園時間）	幼稚園（通常の就園時間外の預かり保育）	その他の保育施設	一時預かり	病児・病後児保育	特にない	無回答
調査数	666 100.0	149 22.4	71 10.7	13 2.0	81 12.2	39 5.9	79 11.9	77 11.6	81 12.2	140 21.0	22 3.3	183 27.5	174 26.1	170 25.5	70 10.5
0歳	127 100.0	49 38.6	33 26.0	3 2.4	19 15.0	11 8.7	21 16.5	13 10.2	23 18.1	30 23.6	3 2.4	47 37.0	35 27.6	20 15.7	7 5.5
1歳	113 100.0	41 36.3	21 18.6	4 3.5	22 19.5	8 7.1	16 14.2	11 9.7	17 15.0	30 26.5	4 3.5	39 34.5	34 30.1	13 11.5	12 10.6
2歳	100 100.0	17 17.0	3 3.0	2 2.0	8 8.0	6 6.0	10 10.0	6 6.0	21 21.0	25 25.0	5 5.0	30 30.0	25 25.0	30 30.0	7 7.0
3歳	107 100.0	13 12.1	6 5.6	1 0.9	10 9.3	4 3.7	13 12.1	16 15.0	10 9.3	20 18.7	3 2.8	26 24.3	30 28.0	31 29.0	11 10.3
4歳	116 100.0	13 11.2	6 5.2	0 0.0	10 8.6	6 5.2	10 8.6	17 14.7	1 0.9	15 12.9	2 1.7	21 18.1	26 22.4	37 31.9	23 19.8
5歳	103 100.0	16 15.5	2 1.9	3 2.9	12 11.7	4 3.9	9 8.7	14 13.6	9 8.7	20 19.4	5 4.9	20 19.4	24 23.3	39 37.9	10 9.7

- 今後利用したい、あるいは現在不足していると思われる保育サービスを子どもの年齢別で見ると、0歳と1歳の子どもの小さいケースで認可保育園が第1位となり、2歳から5歳までは特にない、病児・病後児保育が高い割合を占めています。
- また、0歳から2歳まででは、一時預かりも高い割合となっています。

◇【今後の就労意向別集計】

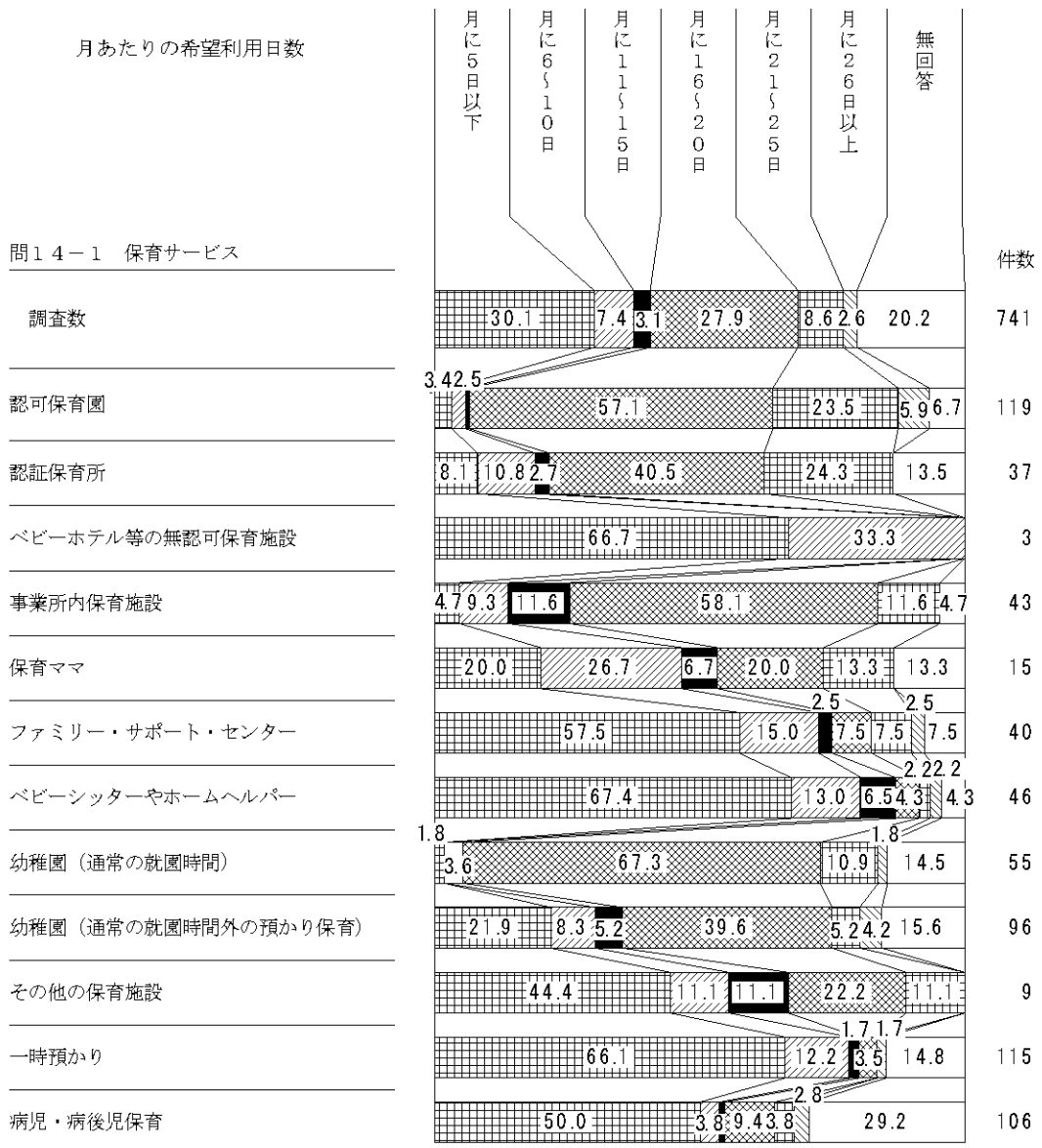
	調査数	認可保育園	認証保育所	ベビーホテル等の無認可保育施設	事業所内保育施設	保育ママ	ファミリー・サポート・センター	ホームヘルパーやベビシッター	幼稚園（通常の就園時間）	幼稚園（通常の就園時間外の預かり保育）	その他の保育施設	一時預かり	病児・病後児保育	特にない	無回答
調査数	339 100.0	85 25.1	44 13.0	7 2.1	52 15.3	6 1.8	31 9.1	34 10.0	63 18.6	97 28.6	9 2.7	111 32.7	54 15.9	94 27.7	20 5.9
すぐにもしくは1年以内に、フルタイムで働きたい	13 100.0	9 69.2	7 53.8	0 0.0	4 30.8	1 7.7	3 23.1	2 15.4	1 7.7	2 15.4	2 15.4	8 38.5	7 53.8	1 7.7	0 0.0
すぐにもしくは1年以内にパートタイム・アルバイト等で働きたい	47 100.0	18 38.3	10 21.3	0 0.0	4 8.5	2 4.3	3 6.4	3 6.4	9 19.1	19 40.4	0 0.0	21 44.7	12 25.5	8 17.0	3 6.4
1年より先で子どもがある程度大きくなったらフルタイムで働きたい	34 100.0	14 41.2	9 26.5	1 2.9	7 20.6	0 0.0	5 14.7	5 14.7	11 32.4	14 41.2	1 2.9	11 32.4	6 17.6	8 23.5	2 5.9
1年より先で子どもがある程度大きくなったらパート等で働きたい	143 100.0	31 21.7	12 8.4	4 2.8	29 20.3	2 1.4	16 11.2	13 9.1	28 19.6	48 33.6	2 1.4	50 35.0	21 14.7	36 25.2	6 4.2
働くつもりはない	37 100.0	3 8.1	1 2.7	1 2.7	1 2.7	0 0.0	2 5.4	1 2.7	6 16.2	3 8.1	1 2.7	9 24.3	0 0.0	19 51.4	2 5.4
わからない	55 100.0	6 10.9	2 3.6	1 1.8	5 9.1	0 0.0	2 3.6	9 16.4	7 12.7	10 18.2	2 3.6	14 25.5	7 12.7	20 36.4	7 12.7
無回答	10 100.0	4 40.0	3 30.0	0 0.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	2 20.0	0 0.0

- 今後利用したい、あるいは現在不足していると思われる保育サービスを未就労者の今後の就労意向別で見ると、高い割合を占めている保育サービスは、すぐにもしくは1年以内にフルタイム勤務を希望する人では認可保育園や認証保育所、すぐにも

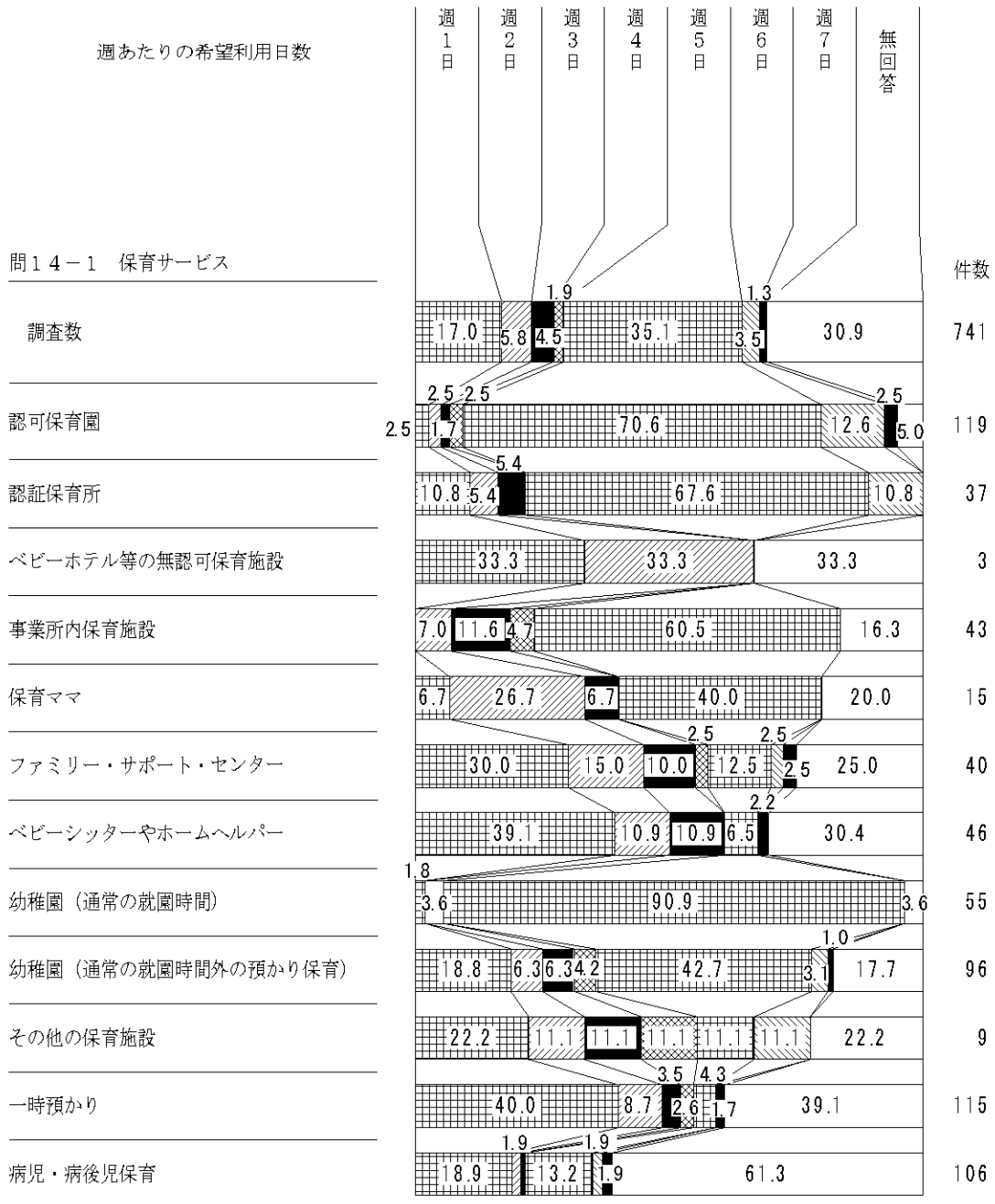
しくは1年以内にパートタイム・アルバイト勤務を希望する人では一時預かりや幼稚園の通常時間外の預かり保育、1年より先でフルタイム勤務を希望する人では認可保育園や幼稚園の通常時間外の預かり保育、1年より先でパートタイム・アルバイト勤務を希望する人では一時預かりや幼稚園の通常時間外の預かり保育となっています。

問 14-1. 希望する保育サービスの月あたり日数、週あたり日数、日あたり時間（何時から何時まで）

●月あたりの利用日数に関しては、ベビーシッターや無認可保育施設、一時預かり、病児・病後児保育では、月に5日以下など比較的短期間に対する要望が多く、一方、保育園や幼稚園（通常の就園時間）では、月に16～20日程度などの長期間の利用要望が高くなっています。

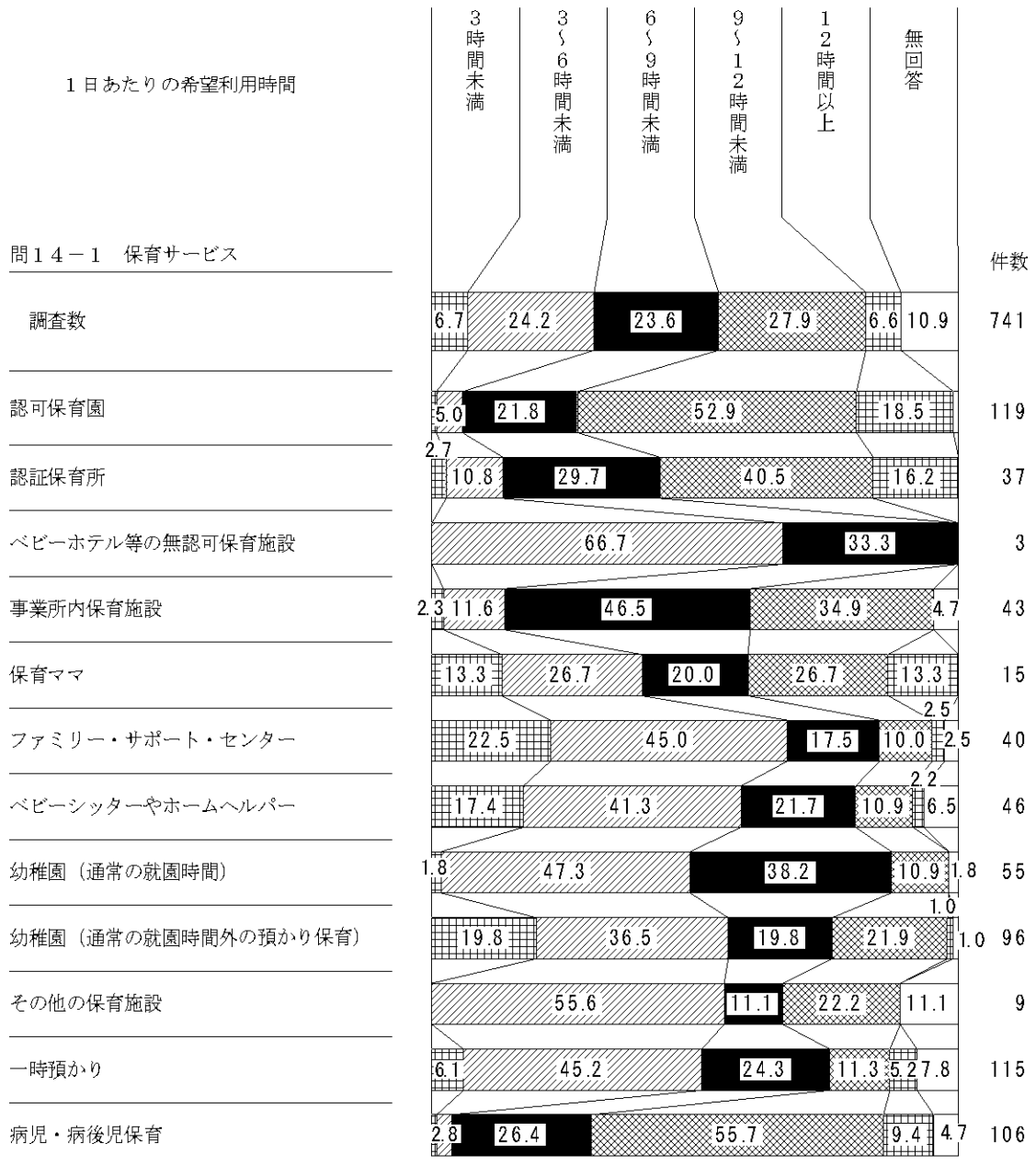


●週あたりの利用日数については、月当たりの利用日数と同様に、一時預かり、ベビーシッター、無認可保育施設等の短期的な利用サービスは、週1日が、保育園や幼稚園（通常の就園時間）等の日常的な利用サービスは、週5日が中心となっています。

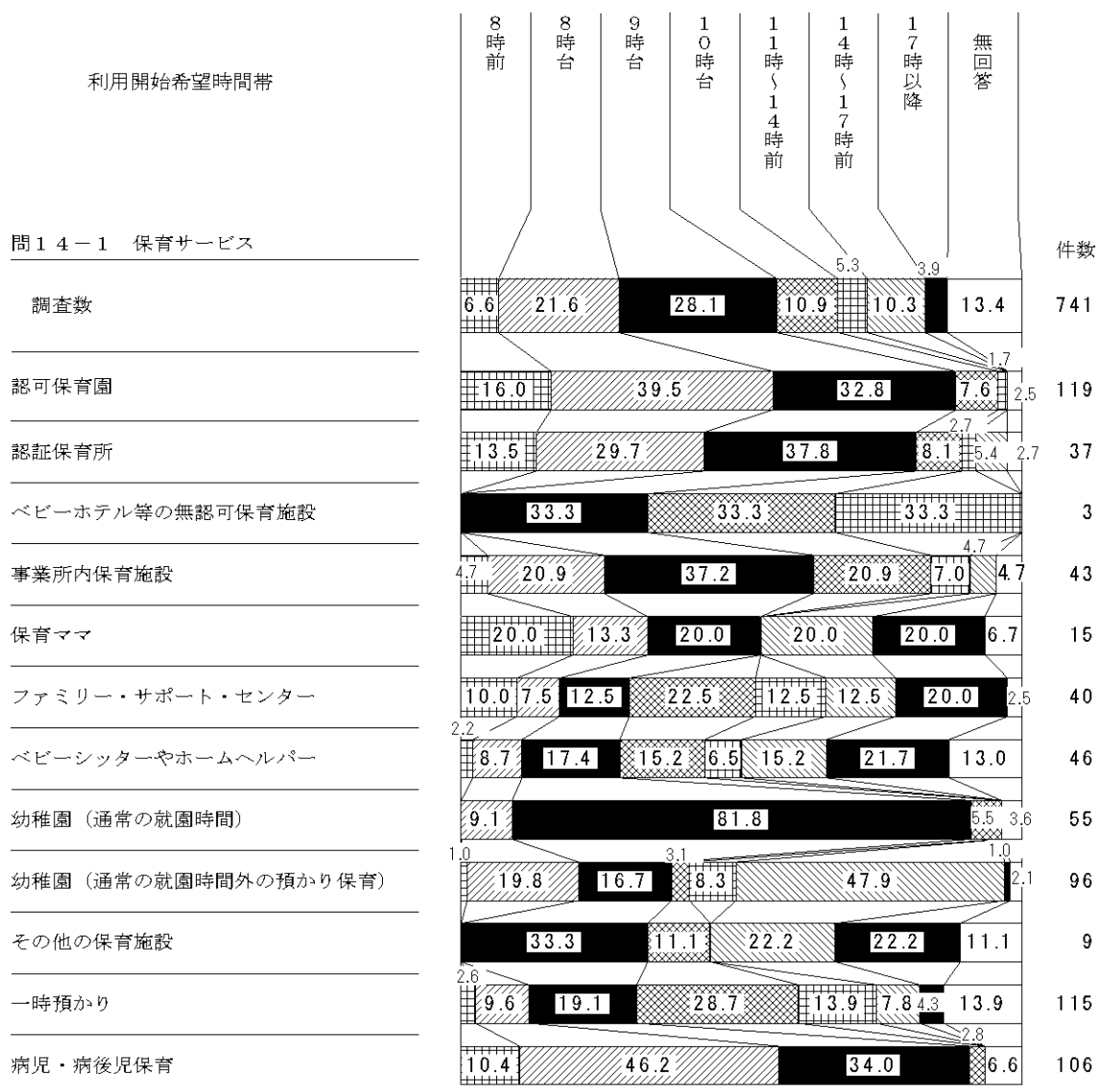




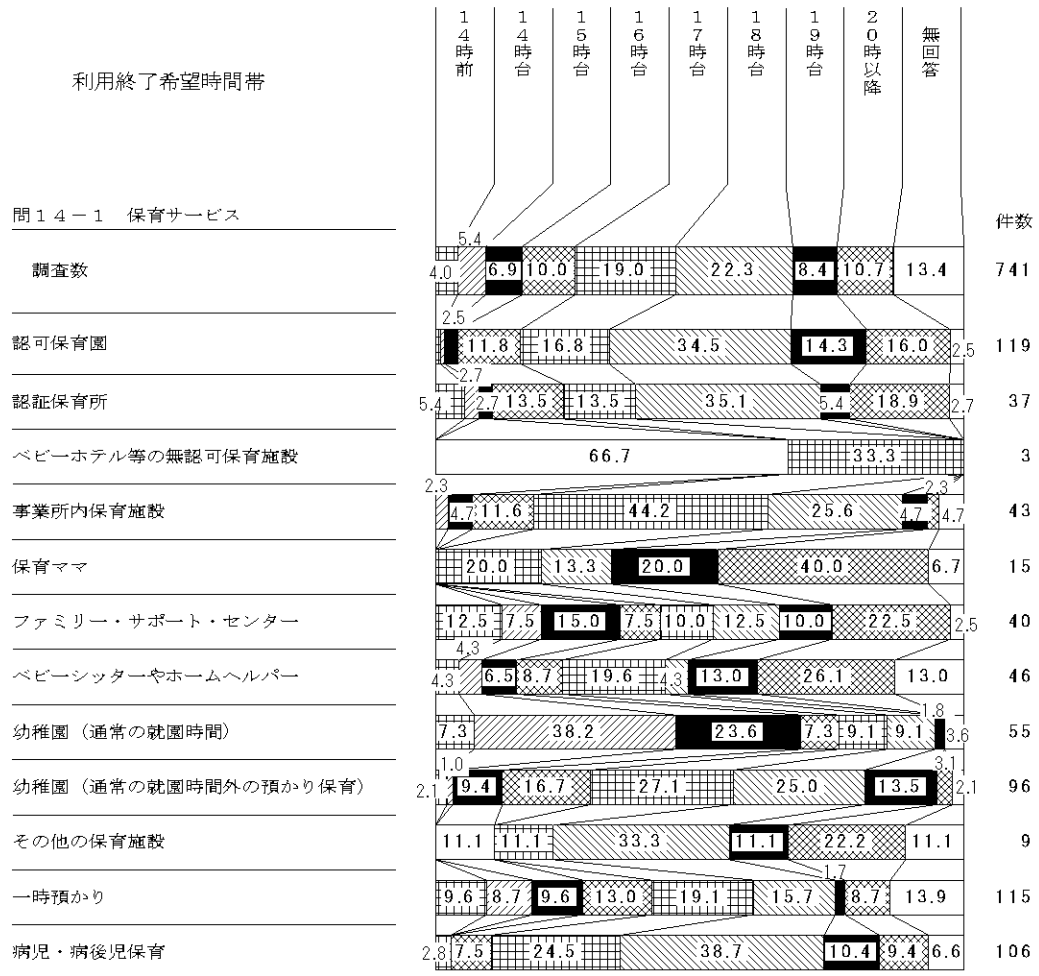
●希望する1日あたりの利用時間としては、認可保育園と病児・病後児保育では、9～12時間未満と長時間希望の割合が高く、事業所内保育施設では6～9時間未満、無認可保育施設と幼稚園、一時預かりでは3～6時間未満が多くなっています。



●利用開始希望時間帯については、いずれのサービスも8時台および9時台を中心に午前中からの利用希望が多くなっています。

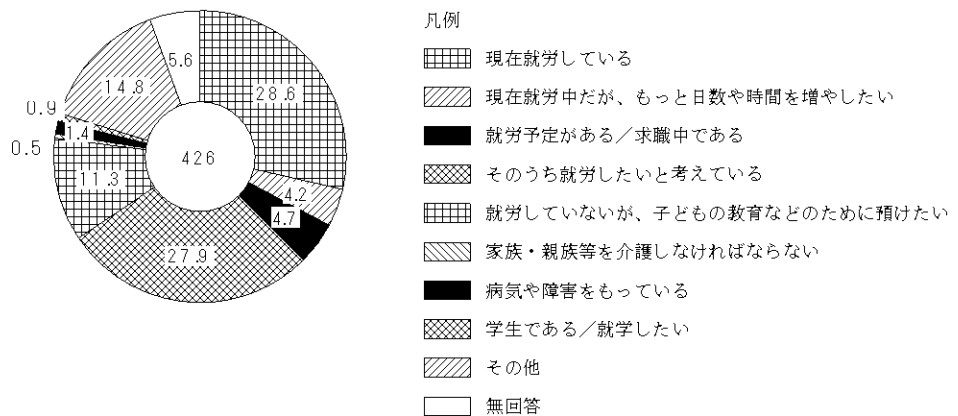


- 利用終了希望時間帯については、開始時間帯に比べ分散傾向を示しています。
- 認可保育園、認証保育所では18時台、無認可保育施設では15時台、事業所内保育施設では17時台、幼稚園（通常の就園時間）では14時台が多くなっています。



問 14-2. サービスを利用したいと考えている理由 (○は1つ)

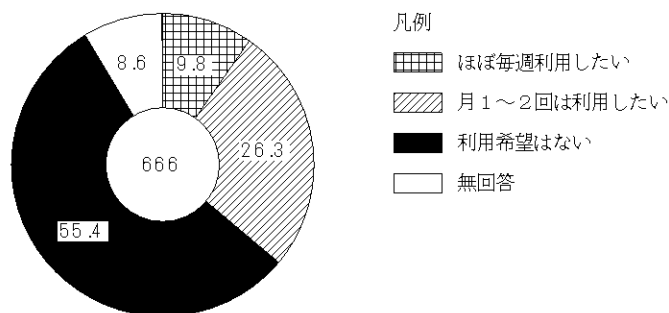
- サービスを利用したいと考えている理由としては、就労している(28.6%)やそのうち就労したいと考えている (27.9%)など就労と関係するものが多くなっています。
- その他(14.8%、63件)の理由としては、リフレッシュや自分の時間、趣味など(19件)、兄弟の学校行事などへの対応(9件)、通院(8件)、病児・病後児保育の充実がなくてはフルタイムで働くのは難しい(3件)などでした。



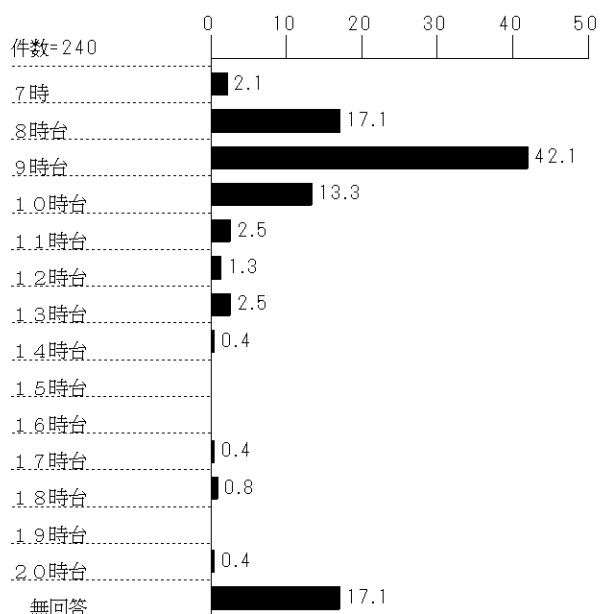
問15. 土曜日と日曜日・祝日での保育サービスなど（一時的な利用は除く）の利用希望  
【土曜日】

- 土曜日における保育サービスの利用希望としては、利用希望はないが過半数（55.4%）を占め、次いで月1～2回利用したいが26.3%となっています。
- 利用希望のうち土曜日の保育サービス利用開始希望時間帯は9時台（42.1%）が、終了希望時間帯は17時台（25.8%）が最も多くなっています。

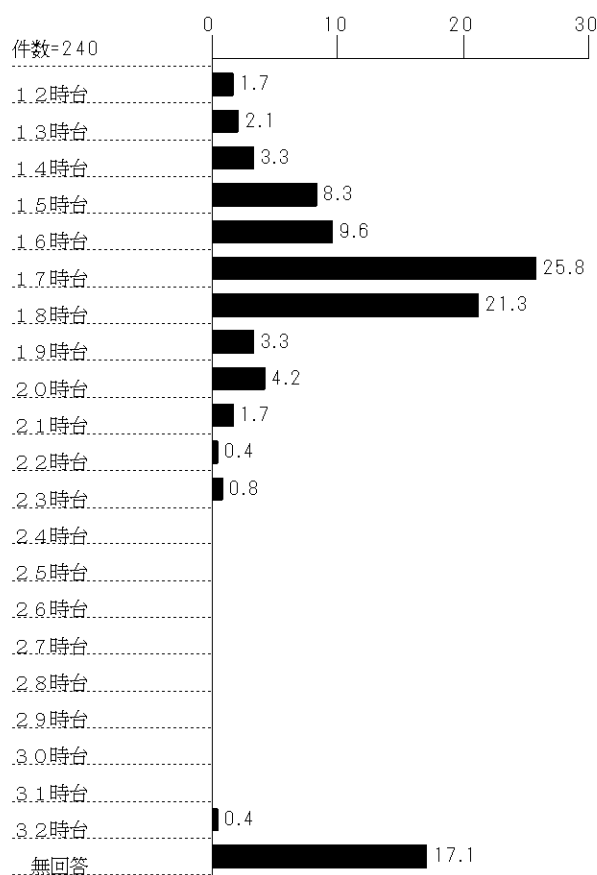
土曜日の保育サービス希望



土曜日の保育サービス希望の開始時間



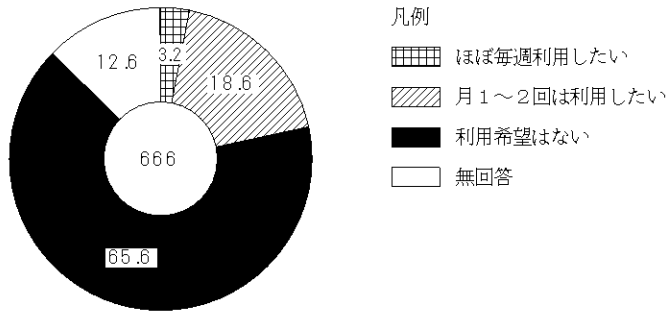
土曜日の保育サービス希望の終了時間



【日曜日・祝日】

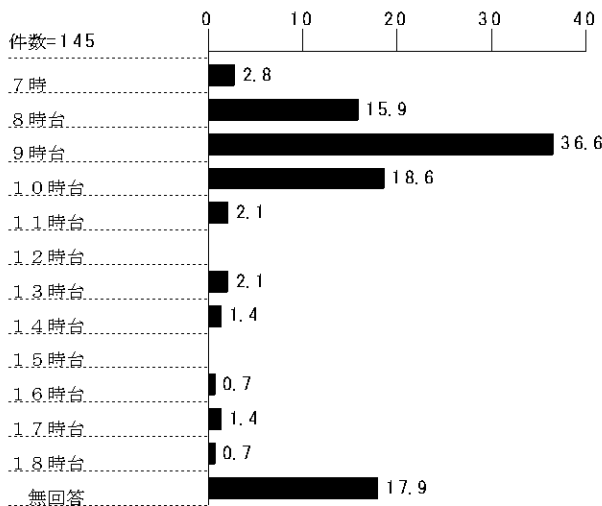
- 日曜日・祝日における保育サービスの利用希望は、利用希望はないが約7割(65.6%)を占め、月1~2回は利用したいが18.6%となっています。

日曜・祝日の保育サービス希望

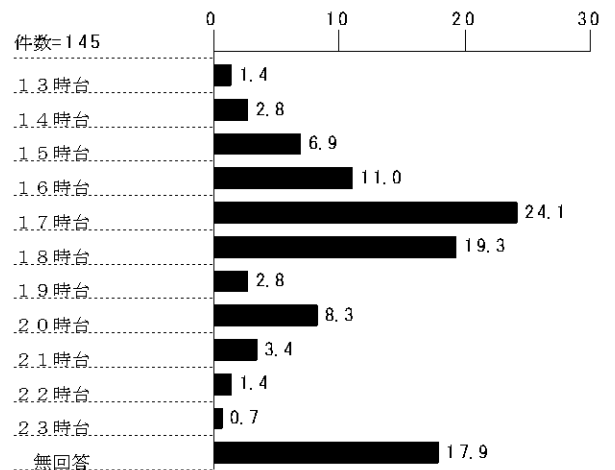


- 利用開始希望時間帯は9時台(36.6%)、終了希望時間帯は17時台(24.1%)が最も多くなっています。

日曜・祝日の保育サービス希望の開始時間



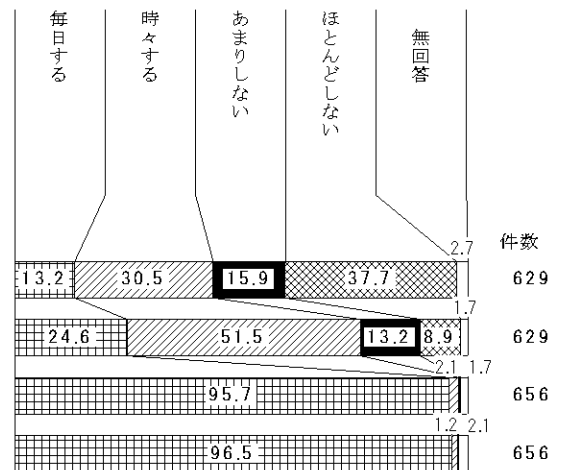
日曜・祝日の保育サービス希望の終了時間



問16. 両親の家事や子育てへの関わり方 (○は1つ)

- 父親の家事や育児への関わり方については、家事はほとんどしないが37.7%を占め、育児では時々するが51.5%となっています。
- 母親は家事・育児共に95%以上が毎日しているとなっています。

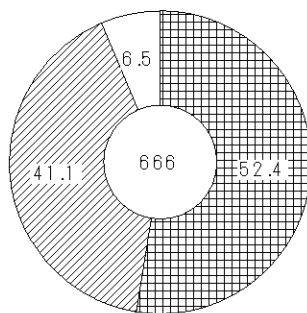
父親の関わり方①家事(食事、掃除、洗濯等)  
 父親の関わり方②育児(食事の世話、遊び相手、寝かしつけ等)  
 母親の関わり方①家事(食事、掃除、洗濯等)  
 母親の関わり方②育児(食事の世話、遊び相手、寝かしつけ等)



(5) あて名のお子さんの病児・病後児保育について

問17. この1年間における病気やケガでの保育施設や保育サービスの休み (○は1つ)

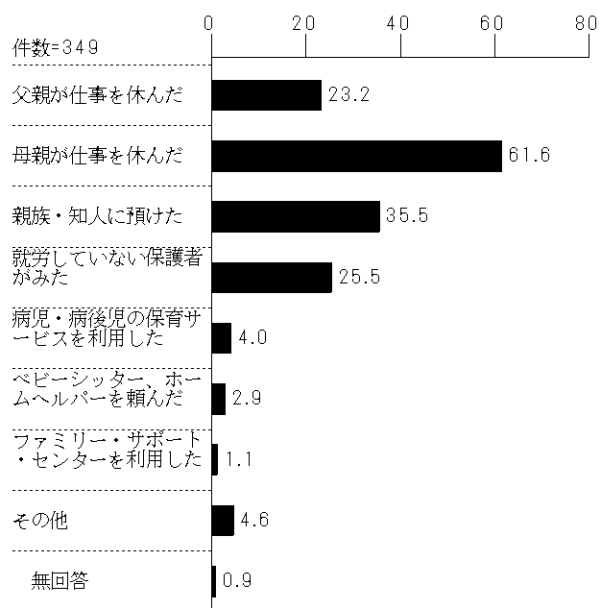
- 半数以上(52.4%)が病気やケガにより保育サービスを休んだ経験をもっています。



凡例  
 あった  
 なかった  
 無回答

問17-1. 休みの対処方法とその日数 (あてはまる項目に○はいくつでも)

- 保育サービスを休んだ時の対処方法は、母親が仕事を休んだ(61.6%)が最も多く、親族・知人に預けた(35.5%)、就労していない保護者が見た(25.5%)、父親が仕事を休んだ(23.2%)などとなっています。
- 年間の対処別の日数については、母親が仕事を休んだ場合は5日(18.1%)、8~10日(17.2%)、11~20日(13.0%)が上位を占めています。
- 親族・知人に預けたでは、8~10日(18.5%)、3日(17.7%)、5日(16.1%)が主な対応日数となっています。
- 一方、父親が仕事を休んだ場合には、勤務形態の関係と考えられるますが、2日(24.7%)、3日(22.2%)、1日(17.3%)と短くなっています。

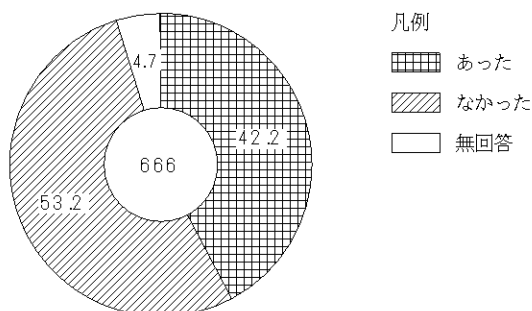


	調査数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8~10日	11~20日	21~30日	31日以上	無回答
父親が仕事を休んだ	81	14	20	18	4	14	0	1	6	1	0	0	3
母親が仕事を休んだ	215	17	18	19	16	39	9	13	37	28	5	3	12
親族・知人に預けた	124	6	15	22	7	20	2	8	23	10	1	2	8
就労していない保護者が見た	89	3	8	10	5	9	2	6	18	9	3	1	17
病児・病後児の保育サービスを利用した	14	2	5	1	1	0	1	0	3	1	0	0	0
ベビーシッター、ホームヘルパーを頼んだ	10	2	0	2	0	2	0	0	1	2	0	1	0
ファミリー・サポート・センターを利用した	4	0	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0
その他	16	1	0	1	0	4	1	1	3	4	0	0	1
合計	349	6	18	29	23	31	10	23	57	76	23	16	37
合計(就労していない保護者及びその他を除く)	257	3	13	19	21	22	9	15	43	59	20	14	19
	100.0	1.7	5.2	8.3	6.6	8.9	2.9	6.6	16.3	21.8	6.6	4.6	10.6
	100.0	1.2	5.1	7.4	8.2	8.6	3.5	5.8	16.7	23.0	7.8	5.4	7.4

(6) あて名のお子さんの一時預かりのことについて

問18. この1年間における保護者の用事による家族以外への一時預かり (〇は1つ)

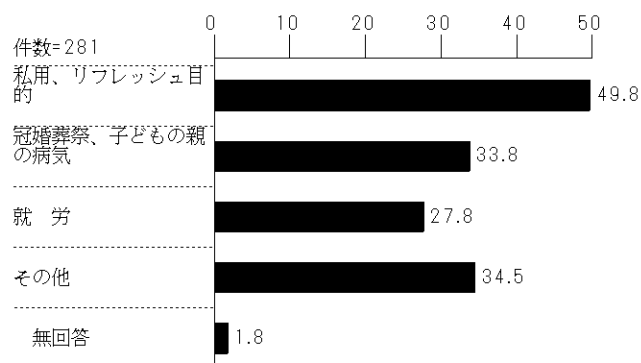
●ショートステイや日帰りなどの家族以外への一時預かりは、42.2%が利用しています。



問18-1. 子どもを預けた理由と日数、ならびに対処方法

●保護者の用事で家族以外に子どもを預けた理由としては、冠婚葬祭・子どもの親の病気 (33.8%) や就労 (27.8%) を上回り、私用・リフレッシュ目的 (49.8%) が最も多くなっています。

●その他 (34.5%、97 件) は、兄弟・姉妹の行事や用事が 41 件、出産・通院・病気等が 21 件などとなっています。



●理由別の一時預かりの1年間での利用日数については、私用・リフレッシュでは8～10日 (15.7%) や11～20日 (14.3%)、冠婚葬祭などでは2日 (21.1%) や1日 (17.9%)、就労では11～20日 (15.4%) や8～10日 (14.1%) が、それぞれ中心となっています。

問18-1 子ども1年間の理由別一時預かり日数 (日帰り)

	調査数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日以上	無回答				
私用・リフレッシュ目的	140	10	14	14	5	14	9	2	22	20	8	8	14	100.0	7.1	10.0	10.0	3.6	10.0	6.4	1.4	15.7	14.3	5.7	5.7	10.0
冠婚葬祭、子どもの親の病気	95	17	20	17	2	10	2	1	6	4	0	0	16	100.0	17.9	21.1	17.9	2.1	10.5	2.1	1.1	6.3	4.2	0.0	0.0	16.8
就労	78	3	7	8	3	6	2	1	11	12	2	14	9	100.0	3.8	9.0	10.3	3.8	7.7	2.6	1.3	14.1	15.4	2.6	17.9	11.5
その他	97	15	9	9	2	11	1	3	18	7	2	8	12	100.0	15.5	9.3	9.3	2.1	11.3	1.0	3.1	18.6	7.2	2.1	8.2	12.4
合計	276	22	29	24	6	21	13	6	35	42	17	33	28	100.0	8.0	10.5	8.7	2.2	7.6	4.7	2.2	12.7	15.2	6.2	12.0	10.1

- 理由別の一時預かりの1年間での宿泊数については、私用・リフレッシュでは1日(2.9%)が、冠婚葬祭等では2日(4.2%)が、就労では1日(5.1%)が、それぞれ主な利用となっています。

問18-1 子どもの1年間の理由別一時預かり宿泊数

	調査数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日以上	無回答
私用、リフレッシュ目的	140 100.0	4 2.9	0 0.0	2 1.4	1 0.7	2 1.4	2 1.4	0 0.0	3 2.1	1 0.7	1 0.7	1 0.7	1 0.7	1 0.7	123 87.9
冠婚葬祭、子どもの親の病気	95 100.0	2 2.1	4 4.2	3 3.2	2 2.1	3 3.2	0 0.0	1 1.1	0 0.0	1 1.1	0 0.0	0 0.0	2 2.1	2 2.1	77 81.1
就 労	78 100.0	4 5.1	0 0.0	2 2.6	2 2.6	1 1.3	0 0.0	1 1.3	2 2.6	2 2.6	2 2.6	2 2.6	1 1.3	1 1.3	61 78.2
その他	97 100.0	1 1.0	2 2.1	2 2.1	0 0.0	3 3.1	1 1.0	0 0.0	3 3.1	0 0.0	1 1.0	1 1.0	0 0.0	0 0.0	84 86.6
合 計	276 100.0	8 2.9	4 1.4	10 3.6	6 2.2	9 3.3	3 1.1	2 0.7	8 2.2	5 1.8	4 1.4	4 1.4	4 1.4	4 1.4	215 77.9

- 対処方法別の一時預かりの1年間での日数については、親族・知人に預けたでは11～20日(14.1%)、子ども家庭支援センターでの一時保育では2日(21.4%)、ファミリー・サポート・センターでは1日(29.4%)、ベビーホテル・ベビーシッターでは8～10日(26.3%)となっています。

問18-1 子どもの1年間の対処別一時預かり日数(日帰り)

	調査数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日以上	無回答
親族・知人に預けた	220 100.0	21 9.5	24 10.9	23 10.5	6 2.7	22 10.0	10 4.5	3 1.4	25 11.4	31 14.1	5 2.3	21 9.5	29 13.2	29 13.2	
子ども家庭支援センターなどの一時保育を利用した	42 100.0	9 21.4	9 21.4	2 4.8	0 0.0	3 7.1	1 2.4	1 2.4	5 11.9	2 4.8	5 11.9	4 9.5	1 2.4	1 2.4	
ファミリー・サポート・センターを利用した	17 100.0	5 29.4	4 23.5	2 11.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 23.5	2 11.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
ベビーホテルやベビーシッターなどを利用した	19 100.0	1 5.3	1 5.3	2 10.5	0 0.0	0 0.0	1 5.3	0 0.0	5 26.3	1 5.3	2 10.5	3 15.8	3 15.8	3 15.8	
仕方なく子どもを同行させ	65 100.0	5 7.7	9 13.8	10 15.4	1 1.5	13 20.0	1 1.5	0 0.0	12 18.5	7 10.8	1 1.5	0 0.0	6 9.2	6 9.2	
その他	27 100.0	3 11.1	4 14.8	5 18.5	1 3.7	4 14.8	0 0.0	1 3.7	1 3.7	5 18.5	1 3.7	1 3.7	1 3.7	1 3.7	
合 計	276 100.0	22 8.0	28 10.1	24 8.7	6 2.2	20 7.2	14 5.1	6 2.2	35 12.7	43 15.6	17 6.2	33 12.0	28 10.1	28 10.1	

- 対処方法別の一時預かりの1年間での宿泊日数は、親類・知人に預けたでは3日(4.5%)、ベビーホテル・ベビーシッターでは2日(10.5%)となっており、宿泊での対処は比較的少なくなっていることがわかります。

問18-1 子どもの1年間の対処別一時預かり宿泊数

	調査数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日以上	無回答
親族・知人に預けた	220 100.0	8 3.6	7 3.2	10 4.5	5 2.3	8 3.6	3 1.4	2 0.9	7 3.2	4 1.8	4 1.8	4 1.8	4 1.8	4 1.8	158 71.8
ベビーホテルやベビーシッターなどを利用した	19 100.0	0 0.0	2 10.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	17 89.5
仕方なく子どもを同行させ	65 100.0	0 0.0	0 0.0	1 1.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	64 98.5
合 計	276 100.0	8 2.9	5 1.8	10 3.6	6 2.2	9 3.3	3 1.1	2 0.7	6 2.2	5 1.8	4 1.4	4 1.4	4 1.4	4 1.4	214 77.5



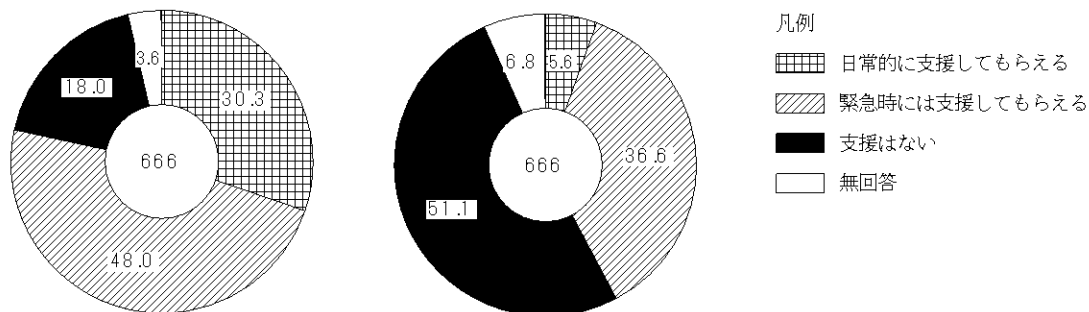
(7) 地域での支援や地域活動について

問19. 子育てに関する祖父母や友人・知人による支援状況 (○は1つ)

- 子育てに対する祖父母の支援は、緊急時支援可が 48.0%、日常的支援可が 30.3%であり、これらを合わせると8割弱が支援可能な状況にあると言えます。
- 友人・知人による支援は、過半数 (51.1%) が支援はないと答えています。

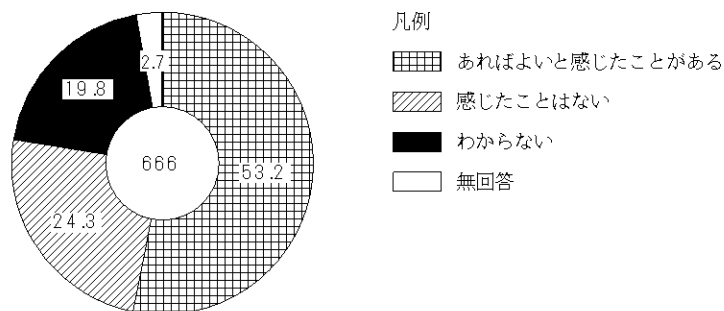
祖父母による子育ての支援状況

友人・知人による子育ての支援状況



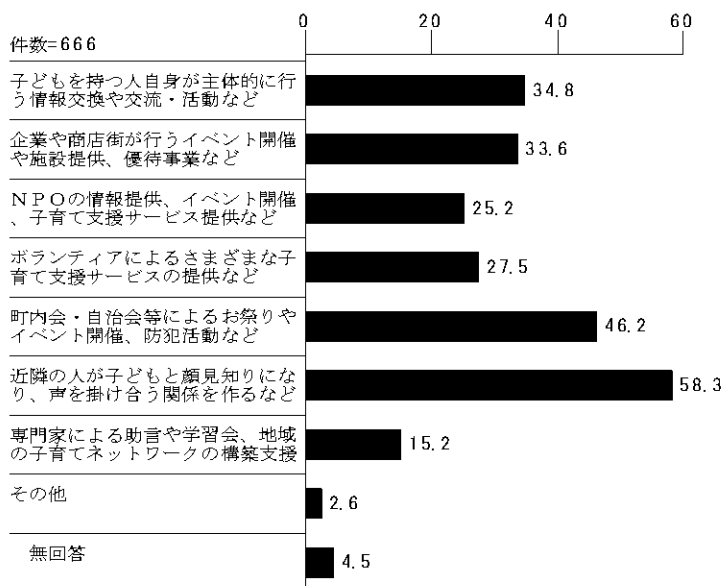
問20. 子育てをする上での地域からの支援 (○は1つ)

- 子育てに関する地域からの支援を半数以上 (53.2%) が望んでいる一方、4分の1弱 (24.3%) が必要を感じていないと答えています。



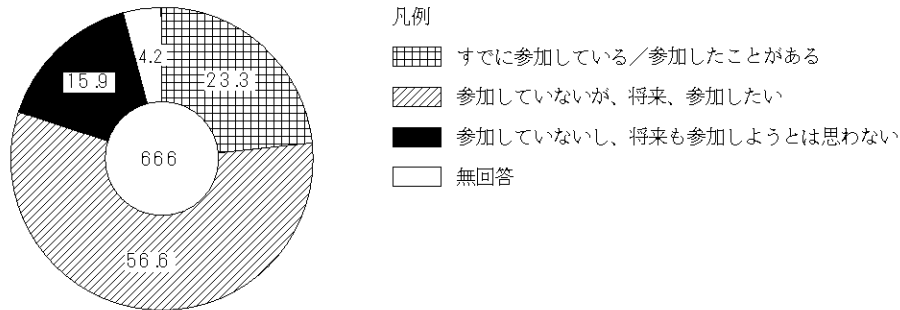
問21. “地域の子育て力”の向上に有効な取り組み (○は3つまで)

- “地域の子育て力”を向上させるための取り組みとしては、近隣の人による声掛け等の関係づくり (58.3%) や町内会等によるイベント開催など (46.2%) を有効と考える人が多く、これらに次いで、子どもを持つ人の主体的な情報交換や交流・活動 (34.8%) や企業・商店街によるイベント開催など (33.6%) となっています。



問22. 地域の子育て支援活動への参加状況 (○は1つ)

●地域の子育て支援活動への参加状況は、すでに参加している／参加したことがある (23.3%)、参加していないが将来、参加したい (56.6%)となっており、これらを合わせると全体の約8割が参加意向を示していることになります。



(8) 子育ての悩み等について

問23. 育児に関する不安や悩み (○はいくつでも)

●育児に関する不安や悩みとしては、仕事と子育てとの両立(35.1%)、遊ばせ方・しつけ(33.0%)や経済的負担(32.7%)が比較的多くなっています。

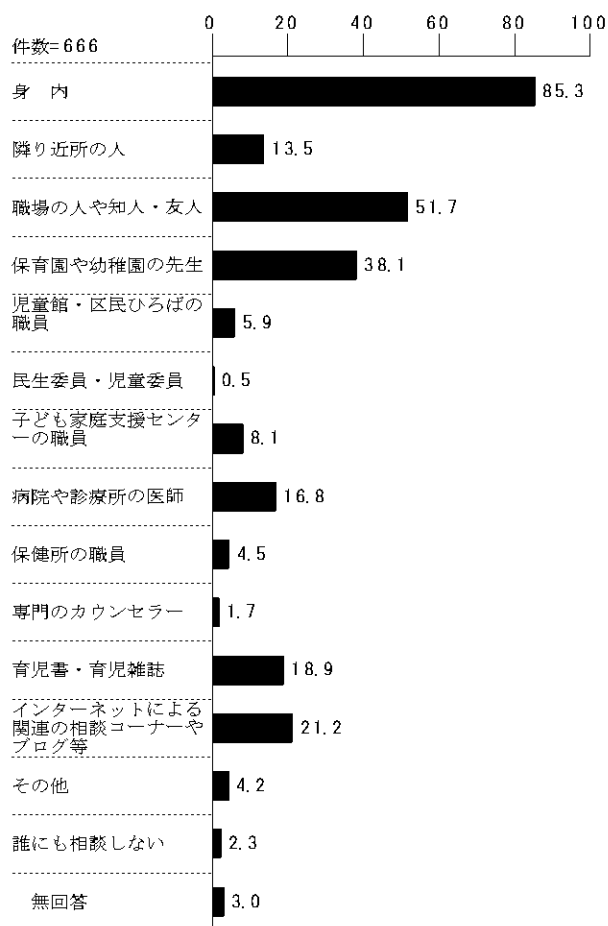
◇【子どもの年齢別集計】

	調査数	と病 気や 発育 に関 する こ と	しど にに の関 する こ と	区 にの 関 する こ と	す遊 ばせ 方 や し つ け に 関 する こ と	ろ気 が軽 か わ ら か ら な い こ と	と食 事 や 栄 養 に 関 する こ と	な子 つ育 て が 精 神 的 負 担 に 関 する こ と	関仕 事 と 子 育 て の 両 立 に 関 する こ と	こ経 済 的 な 負 担 に 関 する こ と	そ の 他	特 に な い	無 回 答
調査数	666	174	133	220	82	108	67	234	218	52	95	20	
	100.0	26.1	20.0	33.0	12.3	16.2	10.1	35.1	32.7	7.8	14.3	3.0	
0 歳	127	50	25	45	21	35	14	52	45	5	15	3	
	100.0	39.4	19.7	35.4	16.5	27.6	11.0	40.9	35.4	3.9	11.8	2.4	
1 歳	113	28	27	43	13	22	11	43	36	10	10	6	
	100.0	24.8	23.9	38.1	11.5	19.5	9.7	38.1	31.9	8.8	8.8	5.3	
2 歳	100	19	18	31	13	14	11	33	27	12	18	4	
	100.0	19.0	18.0	31.0	13.0	14.0	11.0	33.0	27.0	12.0	18.0	4.0	
3 歳	107	21	17	37	9	16	9	38	34	15	15	2	
	100.0	19.6	15.9	34.6	8.4	15.0	8.4	35.5	31.8	14.0	14.0	1.9	
4 歳	116	30	27	32	15	12	15	42	41	5	20	3	
	100.0	25.9	23.3	27.6	12.9	10.3	12.9	36.2	35.3	4.3	17.2	2.6	
5 歳	103	26	19	32	11	9	7	26	35	5	17	2	
	100.0	25.2	18.4	31.1	10.7	8.7	6.8	25.2	34.0	4.9	16.5	1.9	

●育児に関する不安や悩みを子どもの年齢別に見ると、仕事と子育ての両立に関することは、5歳を除く年齢で第1位であり、経済的な負担に関することは4歳や5歳と年齢が上がると多くなり、病気や発育に関することは0歳児で多くなっています。

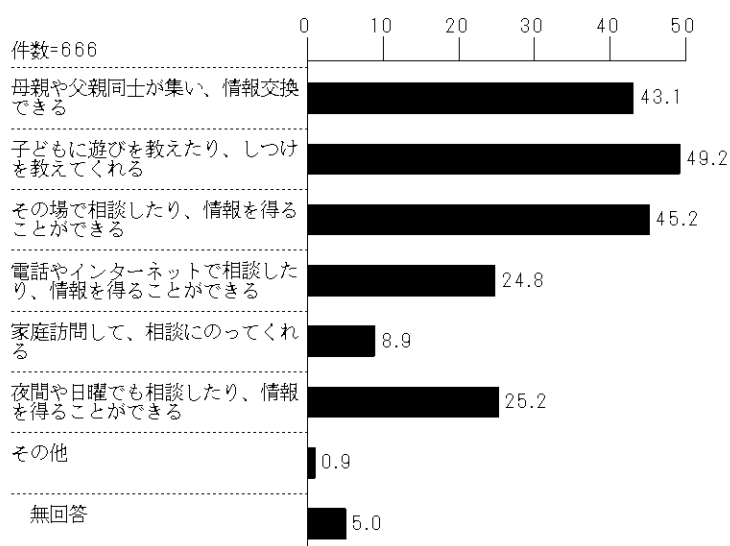
## 問24. 育児に関する不安や悩みの相談相手 (〇はいくつでも)

●育児に関する不安や悩みの相談相手としては、身内(85.3%)が最も多く、職場の人や知人・友人(51.7%)、保育園・幼稚園の先生(38.1%)がこれに続いています。



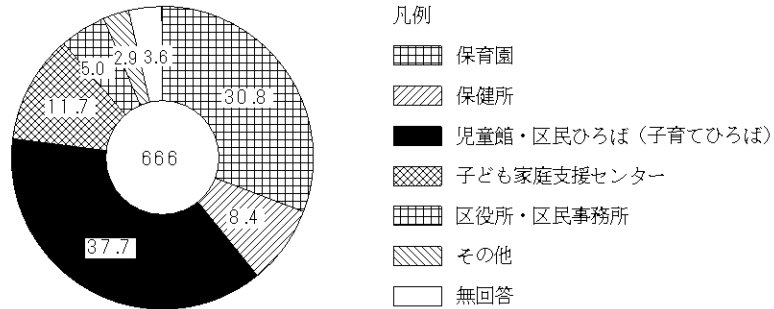
## 問25. 育児に関する望ましい情報・相談の場 (〇はいくつでも)

●育児に関する情報・相談の場に関する要望としては、遊びやしつけを教える(49.2%)、その場での相談・情報の収集(45.2%)、保護者同士の情報交換(43.1%)が上位を占めています。



問26. 子育てに関する情報・相談を受けられる場所 (〇は1つ)

●子育てに関する情報・相談を受けられる場所としては、児童館・区民ひろば(子育てひろば) (37.7%)や保育園(30.8%)を望む声が多くなっています。



問27. 子育てに関する欲しい情報や不足している情報 (〇は3つまで)

●子育てに関して欲しい情報や不足している情報としては、子どもと一緒に外出できる遊び場や施設等 (57.8%)が最も多く、これに次いで医療機関 (29.6%)、子育て支援に関する区の施策や事業等(23.0%)、保育園・保育施設・幼稚園等(22.8%)、子どもの遊ばせ方やしつけ (20.6%)が続いています。

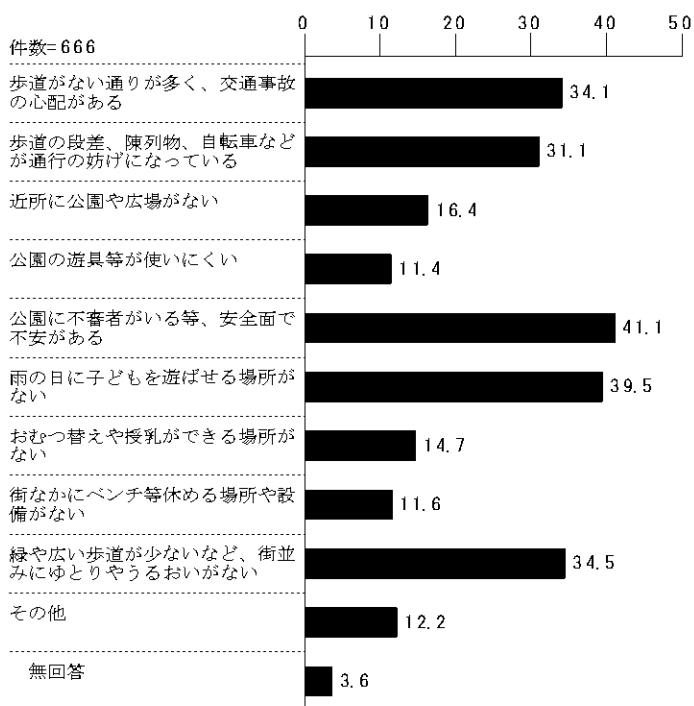
◇【子どもの年齢別集計】

	調査数	子どもの病気や発育に関する情報	子どもの食事や栄養に関する情報	子どもの遊び方やしつけに関する情報	子どもと遊ぶ場や施設等に関する情報	子育てに関する情報	子どもと一緒に外出できる遊び場や施設等に関する情報	虐待防止に関する情報	ベース等のおむつ替えや授乳先のおむつ替えに関する情報	外出先のおむつ替えや授乳先のおむつ替えに関する情報	保育園・保育施設・幼稚園等に関する情報	子育て支援に関する区の施策や事業等に関する情報	保育ヘルパー等自宅でのサポートに関する情報	医療機関に関する情報	子育てに関する相談窓口に関する情報	子育てのネットワーク等に親が参加している情報	その他	特になし	無回答
調査数	666	91	51	137	385	8	113	152	153	96	197	39	80	16	43	16			
	100.0	13.7	7.7	20.6	57.8	1.2	17.0	22.8	23.0	14.4	29.6	5.9	12.0	2.4	6.5	2.4			
0歳	127	12	12	24	84	1	38	47	23	21	24	8	22	3	3	3			
	100.0	9.4	9.4	18.9	66.1	0.8	29.9	32.3	18.1	16.5	18.9	6.3	17.3	2.4	2.4	2.4			
1歳	113	10	7	25	71	0	22	43	19	15	32	4	14	1	6	2			
	100.0	8.8	6.2	22.1	62.8	0.0	19.5	38.1	16.8	13.3	28.3	3.5	12.4	0.9	5.3	1.8			
2歳	100	18	6	20	57	2	17	26	22	11	26	5	15	3	9	0			
	100.0	18.0	6.0	20.0	57.0	2.0	17.0	26.0	22.0	11.0	26.0	5.0	15.0	3.0	9.0	0.0			
3歳	107	14	12	21	56	1	16	19	25	23	37	9	8	3	5	2			
	100.0	13.1	11.2	19.6	52.3	0.9	15.0	17.8	23.4	21.5	34.6	8.4	7.5	2.8	4.7	1.9			
4歳	116	24	9	24	63	2	12	14	34	14	43	5	9	5	9	3			
	100.0	20.7	7.8	20.7	54.3	1.7	10.3	12.1	29.3	12.1	37.1	4.3	7.8	4.3	7.8	2.6			
5歳	103	13	5	23	54	2	8	9	30	12	35	8	12	1	11	6			
	100.0	12.6	4.9	22.3	52.4	1.9	7.8	8.7	29.1	11.7	34.0	7.8	11.7	1.0	10.7	5.8			

●子育てに関して欲しい情報や不足している情報を子どもの年齢別で見ると、子どもと一緒に外出できる遊び場や施設等は、全ての年齢で第1位となっていますが、保育園、保育施設、幼稚園等は0歳から2歳まで、医療機関は2歳から5歳が多くなっています。

問28. 子どもを連れて外出する際に気にかかる点 (〇は3つまで)

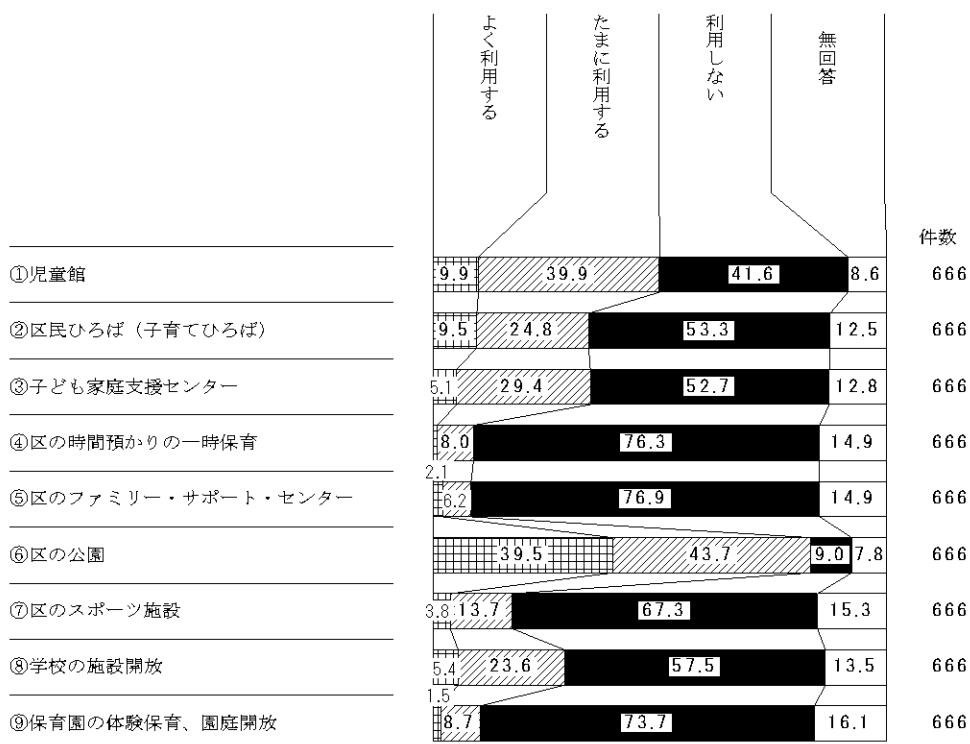
●子どもを連れて外出する際、気にかかる点としては、公園の安全面(41.1%)、雨の日の遊び場所(39.5%)、歩道・街並みのゆとり等(34.5%)、交通事故(34.1%)、歩道の段差など(31.1%)などが上位を占めています。



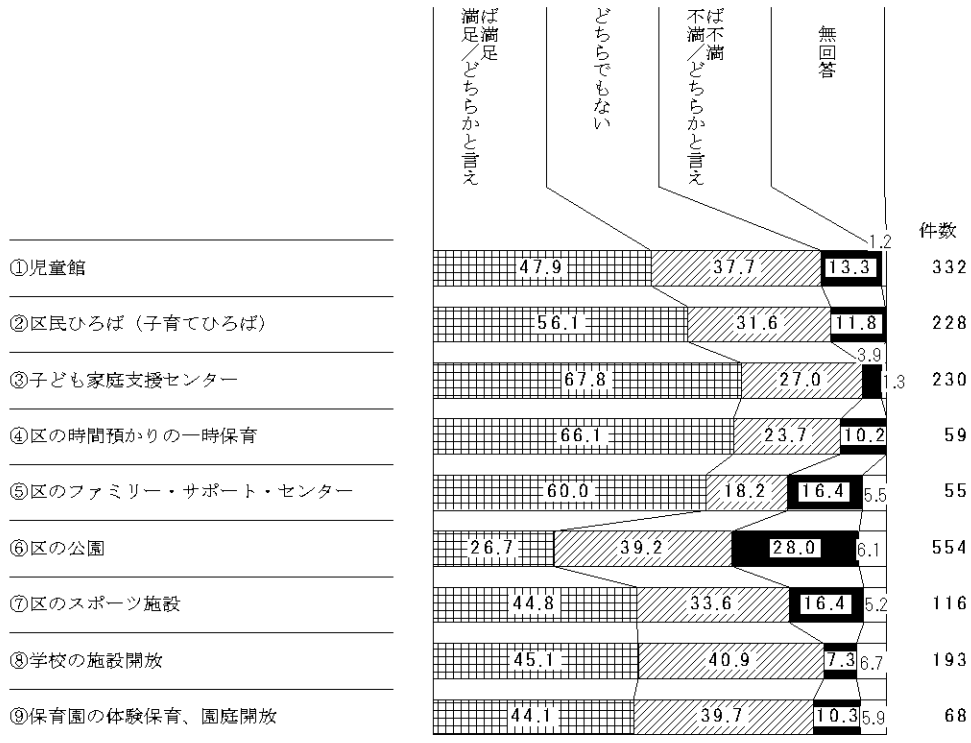
(9) 区の施設利用や子育て施策等について

問29. 区の施設やサービスの利用状況と満足度 (〇は1つ)

●区の施設やサービスの利用状況については、区の公園(39.5%)が比較的良好に利用されており、その他の施設やサービスについては利用頻度は低くなっています。

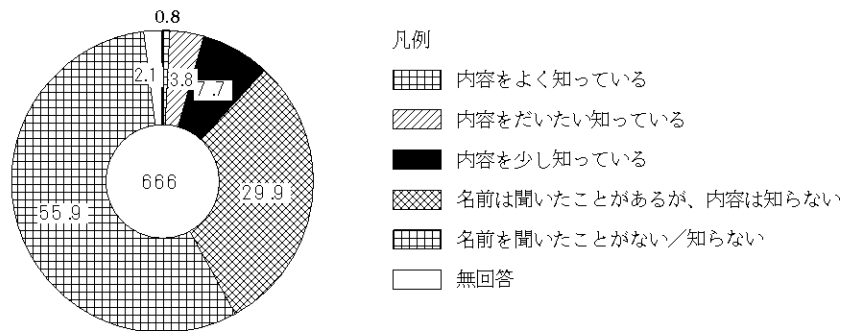


- 区の施設やサービスを利用した方に対して、利用満足度を聞いたところ、よく利用されている区の公園の評価があまり高くない反面、その他の施設やサービスについては概ね良い評価を得ています。



### 問30. 「子どもの権利に関する条例」の認知状況 (〇は1つ)

- 「子どもの権利に関する条例」は、名前を聞いたことがない/知らない(55.9%)が過半数を超え、知っている(「内容をよく知っている」「内容をだいたい知っている」「内容を少し知っている」の合計)との回答は、12.3%でした。



問3 1. 子育て支援に関する施策や事業への要望 (〇は5つまで)

- 子育て支援に関する施策や事業に対する要望としては、小児医療体制の充実(66.8%)や事故や犯罪に巻き込まれない環境整備(59.9%)、屋外遊び場の整備(58.7%)、手当の充実や経済的負担の軽減(53.2%)などが高い割合になっています。

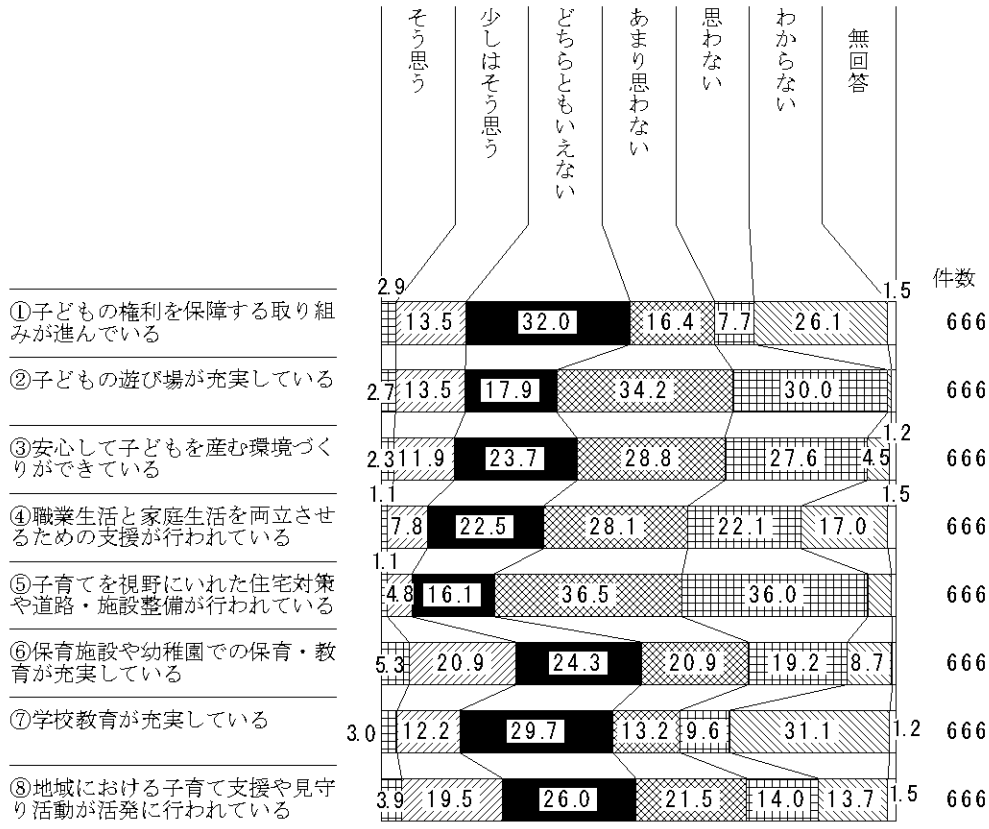
◇【母親の就労形態別集計】

調査数	母親や乳幼児の健康診査・予防接種等の充実	休日・夜間診療などの小児医療体制の充実	子育て期の生活環境・住環境の整備	子どもが安心して遊べる公園等の屋外遊び場の整備	子どもが事故や犯罪に巻き込まれない環境整備	幼稚園・小中学校における教育内容や教育環境の充実	活動の場の整備	小・中高生が安心して過ごす、子ども同士の交流・拒否の軽減	子育てに関する経済的負担の軽減	在宅での子育てをしている家庭への支援サービスの充実	在宅での子育てをしている家庭への支援の充実	障害児や、ひとり親家庭などへの特に配慮を必要とする支援の充実	子育てに関する相談支援・情報提供・学習機会の充実	仕事と子育ての両立を支援する保育サービスの充実	取組の促進	育児休業制度拡充、労働時間の短縮等の子育て支援	家事・育児への男女共同参画の意識づくりの推進	子育て支援グループや地域団体などの活動支援等	児童虐待やいじめなどの権利侵害に対する対応の強化	その他	無回答
調査数	656	231	438	154	385	393	198	141	349	70	42	46	234	88	33	43	63	19	15		
	100.0	35.2	66.8	23.5	58.7	59.9	21.5	10.7	53.2	10.7	6.4	7.0	35.7	13.1	5.0	6.6	9.6	2.9	2.3		
フルタイムで就労	184	52	130	45	93	107	52	48	88	4	10	12	96	32	10	17	10	9	3		
	100.0	28.3	70.7	24.5	50.5	58.2	28.3	28.1	47.8	2.2	5.4	6.5	52.2	17.4	5.4	9.2	5.4	4.9	1.6		
パートタイムで就労	98	34	63	17	48	63	25	24	58	4	6	3	50	14	10	6	7	1	3		
	100.0	34.7	64.3	17.3	49.0	64.3	25.5	24.5	59.2	4.1	6.1	3.1	51.0	14.3	10.2	6.1	7.1	1.0	3.1		
就労していない	328	129	214	79	219	200	107	60	177	58	21	28	77	33	12	17	40	7	8		
	100.0	39.3	65.2	24.1	66.8	61.0	32.6	18.3	54.0	17.7	6.4	8.5	23.5	10.1	3.7	5.2	12.2	2.1	2.4		
その他	34	13	22	11	18	15	11	6	19	2	5	2	9	6	1	3	4	2	1		
	100.0	38.2	64.7	32.4	52.9	44.1	32.4	17.6	55.9	5.9	14.7	5.9	26.5	17.6	2.9	8.8	11.8	5.9	2.9		
無回答	12	3	9	2	7	8	3	3	7	2	0	1	2	1	0	0	2	0	0		
	100.0	25.0	75.0	16.7	58.3	66.7	25.0	25.0	58.3	16.7	0.0	8.3	16.7	8.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0		

- 子育て支援に関する施策や事業に対する要望を母親の就労形態別で見ると、フルタイムで就労の場合もパートタイムで就労の場合も、小児医療体制の充実が第1位となっていますが、パートタイムで就労では、子どもが事故や犯罪に巻き込まれない環境整備も第1位となっています。また、パートタイムで就労では、子育てに関する手当の充実や子育てにかかる経済的負担の軽減も多くなっています。
- 一方、母親が就労していない場合は、子どもが安心して遊べる公園等の屋外遊び場の整備が第1位であり、小児医療体制の充実が第2位となっています。

問3 2. 豊島区の中での「子どもが育ち、子どもを育てていく環境」に対する評価（○は1つ）

- 子どもが育ち、育てて行く環境としての豊島区の評価で評価の高い（そう思う、少しはそう思う）項目は、保育施設や幼稚園での保育・教育の充実(26.2%)、地域における子育て支援や見守り活動が活発(23.4%)などです。
- 一方で、職業生活と家庭生活を両立させるための支援(8.9%)や住宅対策や道路・施設整備(5.9%)などは低くなっています。





### 問33. 豊島区の子育て支援への意見（自由回答）

【記入者：341人】

#### 1) 施設整備

- 私は大田区に住んでいたことがあり、その頃第1子の子育てしておりました。近くの児童館では週2回、0才、1才児を対象に集う時間があり、そこで母子ともに多くの方と出会い、親たちはコミュニケーションをとりながら、育児の悩みも話し合うことができました。時には、専門の方が、それぞれの分野で育児について講義して下さいました。0才、1才の頃は家の中にこもりがちで、公園へ行っても、なかなか持続的にコミュニケーションがとれる方とは接しにくいものです。是非、気軽に、そして家の近所で、集える場所を作って欲しいと思います。親同士のネットワークが作れば、子育ては大変な事も楽しみになるのではないのでしょうか。又、子どもも同世代の集いの中で成長していくと思います。
- 幼稚園に入れるまでは大塚にある子ども家庭支援センターをよく利用させていただき、自分が通院する時、一時預りもお願いしたり、大変良い施設・制度だと思いました。ただ少し遠いので(特にその頃はまだ駒込・大塚両駅ともエレベーター・エスカレーターがなく)坂もキツかったので腰痛もちの私には通うのが大変でした。支援センターのような施設をもっと沢山、是非、作っていただきたいと思います。
- 子育て支援センターなど、子どもも親も楽しめる場所を増やしてほしい。  
ひとり親が相談できるような場所がほしい。何かと不安になることが多いので。
- 子どもと一緒にゆっくり食事ができる様な飲食店があったら嬉しいです。子どもが遊べるスペースもあったり…。外食すると、ろこつに嫌な顔する店員がいたり、肩身がせまい。区で設立！はむずかしいのかな？
- 子ども家庭支援センターや区民ひろばをよく利用させて頂いておりとても満足しております。センターのように気軽に一時保育をお願いできる施設が小規模でも、もう少し数を増やしてもらえると助かります。
- 区内の公園の遊具が少なすぎ。  
公園が汚い。狭い。怖い。  
使わなくなった電車車輛を置いて中を図書館にしているニュースを見てとても良い案だと思った。豊島区でも真似して欲しい。(図書館でなくても何か別の用途でも)
- 公園で子どもを遊ばせて思う事は、公園を利用する人たちの意見が全く反映されていないという事です。(ブランコの柵が広すぎて、子どもが入り込んであぶない、子どもが登りやすい登ってはいけないオブジェ、子どもがころぶとあぶないジャリの地面、子どもが見えなくなってしまう植木etc...)作る側の意見より、使う側の意見を取り入れてほしいと思います。また、そういう意見を聞いてくれる所があると良いと思います。
- 雨の日でも自由に遊べて学べるような施設があるとても良いと思います。
- 広くて安心して遊べる公園が欲しいです。砂場や遊具を秩序管理する人が公園にいたら良いかと思います。
- 保育園は多いですが、幼稚園が少ないと思います。上の子(3才)は北区の幼稚園に通わせてます。大塚周辺に幼稚園があったらいいなと思います。赤ちゃん(0才)と幼児が共に遊べる場所が少ないと思います。家庭支援センターだと走りまわったりする上の子は迷惑がられるような気がする。幼稚園が休みの日に幼児が遊べる場所がほしいです。(公園は安全性に不安があります)
- 区立幼稚園を増やしてほしいし、保育時間の延長などのサービスがあっても良いと思います。私立幼稚園に通っているが(授業料)保育料の補助を拡大してほしい。区立幼稚園が充実していれば、わざわざ私立に行かなくてもいいと思う。
- 公園や施設のトイレが汚かったりすると、子どもに使わせたくないし、オムツが替えられません。バリアフリーで清潔なトイレを設置して欲しいです。
- 近所に新しく公園が出来ることもあり、期待して行ってみると、見た目はキレイで整備されているようでも、日かげが出来るような箇所がほとんどない所が多くて、残念です。気温が上がると遊具も熱もってしまい使用出来なかったり、公園でお弁当でも…と思っても強い日差しの為、出来ない事も多いです。
- 小学校や保育園周辺のスクールゾーンの充実、徹底させて欲しい。
- 児童館の廃止、学童の専任担当の廃止、人手不足により学童のおやつ出しが17時と正直、少子化が叫ばれる中、逆行しているように思える。児童館は幼児から中・高生までの憩いの場として、とても貴重です。子どもが安全に友達同士で心おきなく遊べる場としても！！児童館の廃止はやめて頂きたい。
- お金を払って入場するのでもいいので、室内のアスレチックなどを作ってほしい。
- エレベーター・エスカレーターなどベビーカーでの移動のための設備を全て整えてほしい。(公共の交通機関はとくに)
- 公園で遊ばせて汚れた手を洗いたいと思っても、水道の蛇口が外れていたり、水が飛びちって足までビショビショになったり、小さい子どもが使い難い所がよく見られるので、困っています。
- 他区に比べて区民ひろばの設備や保育園の設備が古いと思います。また、近くにいい公園(子どもを遊ばせるのに)がない。病後児保育が近くにないの

で子どもが病気のときとても困ります。

- まず住居不足です。そこかしこに独身者向けマンションが建設され、結局、埼玉・練馬区・板橋区に転居した友人も多いです。区民住宅は毎年家賃が上がるし、区営住宅は少ないし、これから豊島区で子育てしようと転居してくるファミリーは、少なくなっていくと思います。ただ、池袋が近くて便利という利点しかありません。
- 子どもたちが安全に歩けるような道路作りをしてください。毎日、危険と隣り合わせです！！
- 図書館がすぐそばにないことに不満を感じます。

## 2) 施設運営や運営内容、仕組みなど

- 一方的に冊子などが送られてくるのではなく、こちらが欲しいと思った時に、欲しい情報が得られればいいなと思います。保健所のWEBサイトにいけば、すべてわかる、など。冊子や紙は、保管に困るしもったいないと思います。(情報も古くなるし)
- 区の子ども支援サービスや施設があることは知ってはいますが、こちらが積極的にインターネットや電話等で調べない限り、情報が得られません。もっと気軽に、区の方から宣伝するような形で、私達に情報提供する手段はないのでしょうか？(企業であればTVC、雑誌等で宣伝しますが、自治体はそういった事をほとんどしていないように思います)もっとアピール力をつけて欲しいと思います。
- 区での子育て支援が具体的にどんなサービスをしているのかが、サービスを受ける立場に全くわからない。もっと支援の受け手に区から積極的にサービスをPRしてもらい、気軽にサービスを受けられるようにしてほしい。
- 当日の予約で、一時預かりを受付けてほしい。
- 在宅で子育てしている親への支援サービスを充実してほしいです。  
リフレッシュの為、子どもを保育園へ預ける為の一時預り保育の経済的負担を軽減してほしい。  
私立幼稚園の父母に対する補助金の所得制限を無くしてほしい。公立幼稚園と私立幼稚園の格差(負担)是正をして頂きたいです。
- モデル校の学校のまわりは盛り上がりつつもその他の地域はあまり無関心な気がする。格差がなくなると良いかと思えます。
- 小学校を区内ならどこに通ってもよいしてほしい  
小学校の授業見学、学童などの説明をたくさん行ってほしい
- 専業主婦に手厚い支援をするのが一番望ましいと思われる。家事・育児に専念できる方が、子どもにとっての影響も良いし、経済効率も良い。女性が社会に進出することばかりを促すのが良いとは思えない。一時保育や保育園は、365日利用できるよう、少なくとも土・日・祝も絶対に利用できるようにしてほしい。土・日・祝こそ、なかなか預けられる人が見つからないものであるし、急用ではなくリフレッシュをするにも週末の保育は欠かせないものだと思う。いくら空があっても、前日までに予約しないと利用できないという拘り定規な一時保育も不便ではない。空きがあるのなら、すぐに受け入れて欲しい。区立の幼稚園は2年ではなく3年保育にして欲

しい。

- 児童館は各地域にあるので、児童館や保育園をもっと地域の子育てママに開放、一時預り、相談できる場所にしていただけると大変助かります。
- ヘリコプターが飛んでいると、何か事件が起きたか不安になるので小さな事件でも住民に知らせしてほしい。危険な場所から避けて生活したいので。町内や地域でイベントを増やして、顔見知りの人を増やしたい。
- 高齢者が増えていく現在、介護に関しての問題もずいぶん取り上げられていますが、シルバー世代の方々でもまだまだご健在で働ける方はいると思います。しつけや教育、昔ながらの遊び等、教えてもらえることは多々あると思います。核家族で相談する場所・人に悩んでいる母親は沢山いると思います。良きものを取り入れるという意味でもベビーシッターや子育て支援の手伝いをして頂けると心強いと思います。
- 私学に通う子どもも地域の子といっしょにあそべる場があるとよい
- 夏場の水遊び場(公園)の期間が短すぎる。他の区では遊べる期間に豊島区の公園では水がでていないとききました。梅雨の時など…。歩きタバコの禁止の強化をしてもらいたい。歩いている子どもの顔やベビーカーに乗っている子どもに灰やけむりがよくとんでくるので…。危ない…。
- 千葉県ではおもちゃ病院というリタイアした元エンジニアや機械好きの人がボランティアでおもちゃを無料もしくは材料費のみで修理してくれる(又、修理後リサイクルで児童館においたり、欲しい人がもらえる)システムがある。(受渡は各児童館で行う)そういうのが東京にもあるといいなと思った。
- 区内の小児科のしまる時間が早く、仕事を終えてから子どもを受診させることが出来ない。少なくとも19:00までやっていてもらいたい。
- 子どもが小さいとなかなか親の友人づくりが難しいので(幼稚園等の就園前)交流できる場をもっとつってほしいです。
- ファミリーサポートがもう少し使いやすい(援助会員拡大)といいと思います。世帯数500家族超の大規模マンションに住んでいます。年齢的問題等で、援助会員になれない方などでも短時間であれば子どもの面倒を見る事は可能といった方は案外いらっしやるのでは?!と思うのですが、その辺の情報交換の場がない所が残念です。
- ファミリーサポートの仕組みをもっと利用し易くしてほしい。他の区は利用者が会員に直接連絡を取れるのですが、豊島区は区が仲介に入り、連絡もお願ひも両方にtelをしなければならぬ。自分で好きな会員にお願いできない等、子どもの為になるように工夫してほしいです。
- 幼稚園と小学校が、水曜日は時間が短いので、通常通りの終了時間にしてもらえればと思います。そうすれば、保育園や学童に入れなくても、仕事が探しやすいと思います。(パートだと週5という条件が多いので)
- 自分達が現在困っていることをどこに誰に相談したらいいのか自体が分からない。相談窓口の充実と

住民への告知方法の研究をして欲しい。また、住民間や組織・サークル等による支援体制を創り上げると共に住民誰もが知っているような状況づくりが必要と思われる。

- 病児・病後児保育についてもっと充実していただけたらと思います。(豊島区にそのような保育をしている所があるのかも全く分かりませんが)
- 保育園・幼稚園等の情報が分かりづらいので区のHPなどでもっと載せてもらえたらと思います。中央図書館が新しく移転したのは良いのですが、以前は子どもは1F、大人は2Fと区別されていたので行きやすかったのが、今は子ども(2才)が少し大きめの声で話をするだけで絵本の周囲の席に座っている大人達がジロジロ見るのでとても居づらいです。せめてパーテーションなどで区切ってもらえると有難いのですが…。小さな事ですが、よく利用させて頂いているので少しでも改善していただけたら嬉しいです。
- こういったアンケートを行ったりするわりに保育園の民営化など予算減の動きがあったり区の方向性に一貫性を感じない。設備などのインフラの前に子育てに対する区民の意識づくりの促進をしてほしい。企業などにも働きかけて、デパートのトイレなどにおむつ替えコーナーや授乳スペースなど作って欲しい。  
※現状は女性トイレにあっても男性トイレになかったり授乳コーナーも少ない。街が全体的に子育てしやすい感じになればイメージもUPし買い物客がふえたり、住民がふえたり企業の誘致もできるのでは？！
- 豊島区立のスポーツセンターの利用料が高すぎる。
- 土・日曜日でも気軽に習いごと(スポーツなど)ができるとうれしいです。気軽にとは金銭的に、です。
- 子ども幼児健診を午前中に行ってほしい。(予防注射含む)午後だと、子どもが眠い時間になってしまうし、ぐずりだす。上の子どもが幼稚園等から帰ってきてしまうので。
- 子育て中のママ、(特に生後2~6ヶ月位)を支援するプログラムの充実を希望。母子に対して、保健師さん等の職員数は不足していると感じるので、そうであるなら、自主グループが出来る様なプログラムを実施してほしい。この間、参加していて、その様なアプローチは少ない様に感じる。ママの中には、力を発揮する人が必ずいるはず…と思う。
- 公園で喫煙・キャッチボール・自転車乗り入れ・サッカー・バドミントン等、幼児にとって危険な行為が行われているため、(注意してもやめてくれない人もいる)注意書きや、小中学校への呼びかけ・注意を徹底してほしい。
- 子どもが小学生になったら毎日働きたいという希望があるが、学童保育は保育園と同じように、すでに働いている実績がないと入れてもらえないと聞く。学校によってはボランティアさんが時間外でみってくれる所もあるようだが、越境が必要となり、現に越境させる人も多い。すべての学校でその制度が充実していれば働きやすく、経済的に楽になるのに、と思う。

- 区民ひろば・児童館など施設の数や立地条件には大満足です。しかし充分にいかしきれていない様に感じています。町内等を細かく分けているためか、お祭り等に関しても集客力が非常に低いです。特に高田地区は住民数も少ないので、目白地区と合併してもいいのではないのでしょうか？  
豊島区は他区と比べても制度や施設は比較的整っている様ですが、それを使いきれていないのは、広報の方法に問題があるのかもしれませんが。
- 区の体育館を利用して、子育て支援を充実してもらいたい。子育て支援以外でも、もっと体育館を利用(スポーツ以外でも)してもらいたい。宜しく願います。
- まだ生後1年に満たない為、今後直面する問題が出て来ると思います。また豊島区より文京区に隣接しているのでまだよくわからない点もあります。私の場合は高齢出産なので同世代に同じ位の年齢の子どもを持つ人が居ないのですが、子どもの物はあまり使わないうちに不要になる事が多いので、リサイクルの情報がさかんであれば役立てて頂ける機会も増えると思ったりします。
- いつも利用して思うのですが、児童館の職員数が足りてないように思います。窓口の人がいないことも。(これ、きげんな事だと思えます)中で忙しそうに仕事をされていて、常に人員不足なのかなと感じています。
- 区民ひろばというわりには、子どもが使えるスペースが1ヶ所しかなかったりする場所もあるので、もっと公平にしてほしいです。私の住んでいる雑司が谷には、区民ひろば等施設が少ないです。子どもが参加できるイベントも、もっとさかんにやって下さい。
- お年よりから子どもまでご近所同士でふれ合える公民館的な場所がもっとあればいいと思う。地方には多いが都会にはあまりない。※たとえば、そこで子どもの習い事(英語・習字・そろばん・ダンスetc)など区ならではの安さで習えるなど、低収入の人でも習い事をさせられる様な環境があればいいと思います。
- 文京区の児童館は施設や備品もきれいで1つ1つのイベント内容も充実しているので、豊島区の巢鴨や駒込よりも千石を利用しています。区の用事で文京シビックセンターに行っても支援センターなど同じ建物にあるのでうらやましいです…。保健所に用があっても授乳室もわからず(ない?)入口のベンチで仕方なく授乳やおむつ替えをしました。区役所やハローワークへ行っても母子と一緒に入れるトイレもなく、近くのデパートへかけこみました…。ベビーキープがあるだけでとても助かります。
- 我が家の場合保育園では延長保育をおねがいでいますが、学童では子どもの帰宅時間が早くなるようで不安に思っています。学童も30分延長してもらえると子どもをむかえに行けるので安心です。検討してもらいたいです。
- 現在、母は就労中ですが、子どもが来春小学校に入るにあたって仕事を増やす予定です。仕事が終わるのが遅くなる為、小学校下校後、遅くまで預って頂ける施設、又は、低料金で来て頂けるシッター

さんなどのサービスを利用できるようにして欲しいです。共働きを応援する環境をお願い致します。

- 幼稚園や保育園の時は、子どもを安心して預けて仕事をする事が出来るけれど、小学生になると、学童の枠をほめてた子ども達は、一人家で留守をしなければいけない状況にある。早く多くの小学校に「スキップ」のシステムを作って安心して仕事を出来る状況を作ってもらいたい。
- 旧児童館が、区民ひろばになってから、オモチャが減ったり、活動が減ったように思います。児童館の頃と比べ、物足りない気がします。
- 豊島区政の子育て支援に関する積極的な取り組みを知り、少子化が進まぬように願っております。私は産後サポートとファミリーサポート、産前産後の保育園入所を利用させていただいたことで第2子を無事に出産し、楽しく子育てをさせていただいております。御礼申し上げます。もしご意見させていただけるなら2つあります。1つ目は妊娠期間中、つわりがひどく、上の子(当時1才半)の世話ができず、大変でしたので、一時保育をもうすこし利用しやすくしてもらいたいということ。2つ目は病児・病後児保育の充実です。仕事を辞することになった最大の要因は子どもが病気になった時に預け先がなかったことでした。(このことは再就職を考える時も悩む内容です)子育てしやすい環境整備が更に進みますように願っております。
- 児童館は学童の大きな子どもも使うと、小さな子どもはあそべません。練馬区のような、幼稚園児までの児童館を作って欲しい。または、そのようなスペースが欲しい。児童館で、お昼お弁当を食べるスペースを作ってくれば、他の小さな子どものお母さんとの交流の場になるので、ゆっくり過ごせるし、作って欲しい。
- 一時保育を活用したいのですが、場所が遠かったり、時間帯が合わなかったり、土・日はやってなかったりとなかなかうまく活用できません。週2日か3日だけ預けられる保育園があればいいな一と思ったりします。
- 以前、新宿区に住んでいました。保育園の手続きなども地区別に担当者が決まっていたようで、不在でも折り返し担当者から連絡があるなど、顔のみえる対応とでもいうのでしょうか、安心感がありました。広く行きとどいてるよりも、ピンポイントで相談できるというのも大事かもしれません。役所内の課でわかるのではなく担任制みたいなイメージです。もう一つ、保育園で定期的に健診を受けているのに、区の健診(1.5才、3才など)が別にあるのはいけない気がします。毎日看護師さんもいるめぐまれた所にいるわけですし、その費用、他にまわしてはと思います。

### 3) 医療など

- 根本的な問題として妊婦の救急受入拒否の問題など早急に解決してほしい。高齢出産が増えている今、自分は大丈夫なのかと皆不安で仕方ないと思う。亡くなられた方々が本当にお気の毒だ。どうぞよろしくご対応お願いいたします。
- 夜間・休日における病院・医師をもっと増やして下

さい。→これは本当に切実な問題なので早くお願い致します。

- 最寄の小児科がなく、病気の時に困る。また病院へ行っても混んでしまう。予防接種(インフルエンザや水ぼうそうetc)を補助してほしい。
- 豊島区内に、産科や小児科の病院が少なく、小さな子ども、近所の内科医にみてもらっているのが現状です。病気のときに安心してみてもらえる病院が1つでも増えてほしいです。産科も少なく、ちがう区の病院に行っている人が多くいます。自分が住む地域の中で、安心して産み、育てられる環境をつくってほしいと思います。
- 医療費がかからないのは、非常に助かっています。が、以前はあった巣鴨出張所の休日診療がなくなり、とても不便になりました。是非復活させて下さい。
- 以前住んでいた葛飾区では、休日・夜間診療がもっと充実していた。広報でも毎号、当番医の住所等載っていた。豊島区では休日当番医がないのか、それとも私が知らないだけなのか…子どもの急な発熱等に対応できないと思った。
- 病後児保育には満足しているが、病児保育について、もっと支援がほしい。今はないに等しい。
- 小児だけでなく、休日救急の対応がもっとあればよい。かかりつけ医をつくる事が大事だと思うが、けがなど急におこるものに対して、とても気になる。
- 一時預かりを気軽に利用できるようにしてほしい。産後、腰痛や頭痛があり病院へ行きたくても「生後3ヶ月〜」「生後6ヶ月〜」など、「予約が必要」などで利用できませんでした。まわりに親せきもいないし夫は長期出張で不在。母の私がちょっと病院へと思っても行ける環境にないです。
- 就労家庭において、急な発熱などの子ども(重病でない)を預ってくれる(予約なしで)子ども病院を併設した一時預り所のような施設があると働きやすくなると思います。他の地域で行ってるニュースをみていいな、利用したいと思いました。
- 夜間の小児科の診察をしてくれる医院を増やしてほしい。大きい病院は待ち時間が長いので困る。

### 4) 安全・安心

- 安全ではない世の中になってしまったとなげくのではなく、安全に子ども達が過ごすことが出来ないのならば、パトロールをするなり、安全に過ごせる様に、考え方を改めて安全を守ってほしい。もちろん親も一生懸命我が子を守っていますが…今一度見直してほしいです。
- 車も多く、ホームレスなどが多く、このあたり(池袋)は安心して遊べる所がないので、パトロールなどもっとやってほしい。
- 道を歩いていてすごく感じるのは、歩きたばこです。子どもの目線の場所に丁度たばこの火があることが多く、いつも危険を感じています。歩きたばこ禁止、罰金制度を作るなど、できないものでしょうか。道の段差も気になります。芸術劇場という素晴らしい場があるのに、0~3才が聞くプログラムが全くないのは何故なのでしょう。これからの社会、今現在の子どもたちが支えていくと思うので、子育て支援にこ

そ力を入れるべきだと思います。

- 不審者が年々増えている為、小学生が危険です。地域のパトロールをもっと強化してほしい。不審者・事件等メール配信されているが、その後がメールされない為、余計に不安に思います。情報を流し、皆で注意したい。公園も安心して遊べなさすぎて、困る。明るく、人目に付く、広々とした公園を望みます。花火は毎年出来なくて、わざわざ遠出しています。残念。ファミリーがたくさん来てくれる様に、3LDKマンションを望みます。「住みたい場所No. 1の豊島区」になってほしいです。
- 子どもが中学生ぐらいになると日が暮れてからの帰宅もあるかと思しますので、一般公道の灯りをもっと増やしていただきたいです。
- 今は、自分が子どもの頃のように、5時のチャイムがなるまで、子どもだけで公園で遊ぶといった風景が都心では見られなくなりました。これは少子化だけが原因ではなく、治安の問題も大きいと思います。
- 公園にホームレスがいたりして、安心して遊ぶこともできない。目白、高田地区は、マンションが増え、子どもたちもとても増えています。もっともっと安全、教育面の充実をお願いします。

## 5) 保育園・幼稚園など

- 豊島区在住39年自分の子どもも保育園利用させてもらい大変助かりました。現在医療費等の援助も当初から比較すると変わり助けに成っております。但し園が徐々に民間に移行されはじめてますが出来るなら区の管理下では是非継続を願ってやみません。
- 保育園の数に地域差がありすぎる。働き続けたい、子どもを何人かうみたいと考えていても、一人目、二人目、もしくは三人目が同じ保育園に預けられなければ、送迎の負担が大きく、次の子どもを生むことに対して躊躇してしまうのではないかと思います。
- 共働きの親の家庭でも幼稚園へ行かせる選択があると良い。現状では預かり保育や幼保一体などの環境が整っていないため幼稚園へ行かせたくてもなかなか行かせられない。保育園で幼稚園で実施しているカリキュラムも取り入れることも検討して欲しい。文部・厚生という管轄ではなく子どもを育てるということで保育・教育を考えてもらいたい。
- 保育園でのお昼寝用シーツが支給されなくなったことや、オムツ代の値上げなどをとっても、子育て支援の進んだ区だとは思えません。さらに民営化を進めたり、少子化と言われても仕方ないと思います。
- 幼稚園と保育園のよい所をとり入れた様な設備を用意している自治体もあると聞いたことがあります。仕事をしたいけど子どもが小さいので9時~17時で仕事をおえたいという親はたくさんいるはず。17時迄働くには、どうしても18:00~18:30迄の預り保育が必要になりますが、現在の幼稚園では最長の所でも17:30でした。幼稚園で18:30位迄預ってくれる保育があれば保育園の待機児童もへるのではないのでしょうか？
- 子どもが2人いて、同じ保育園に入れないう意味がわからない。例えば片親でも、子どもが一人なら多少遠い保育園でも通える。2人の子どもを別々の保育園

に通わせることがどんなに大変か、区の職員は理解する気もない。やはり、ちょっとしたことで豊島区は、子育てしている家庭にとって優しくない。

- 保育園に駐輪場がないのは、不便だと思う。
- 就労時間の多様化がすすんでいるのに、保育園は変わりません。今の状況では、保育園と他のサービスも併用しないと子育てができない人が多いです。転職の人、9~17時までの人、パートの人ばかりが保育園にあずけているわけではありません。保育園の時間、都合に合わせて職業をかえないといけないのは区が支援しているといえるのでしょうか？障害児を受け入れるのなら、もっと設備をととのえた方がよいのではないのでしょうか？
- 保育園に第2子以降の子どもを入れる際、兄弟が通っているからという理由では希望の保育園への入園が優遇されないと聞きましたが、それは「子育て支援」に反しているのではないのでしょうか？
- 日曜日出勤しているので、ぜひ日曜日も保育できる環境にして頂きたい。
- 両親共にフルタイムで働いています。まだ子どもが小さいので保育園から連れて帰ると、家事がなかなかできません。区でベビーシッターや家事の手伝いをしてもらえる制度があるのは知っていますが、なんとなく敷居が高くて利用できません。保育園で預かってもらえると助かります。勤務時間外も少しお願いできるととてもうれしいです。また、仕事が遅くなると特例保育の19時では間に合わなくなり支障をきたしています。20時まで預かっていただける保育園が多くなるとありがたいです。保育園の先生だけでは大変なので、現在のシッターさん制度を家庭だけでなく、保育園への手伝いができるように区として取り組んでいただけないのでしょうか？
- 保育園の転園のシステムが不満。以前転園させていただきましたが、対応にも納得のいくものではありませんでした。
- 保育園についても兄弟一緒のところに通えるように小さい年齢0才~2才の子をもっと受け入れて欲しい。
- これ以上、保育園の民営化及び減らさないで下さい。保育不足につながり、安心して働けなくなります。
- なぜ、自宅が一番近い保育園に入園することができないのですか？もう3才になった子どもがなぜその年度と同じ保育料ずっと払わなければならないのですか？翌年の年度の変わり目じゃないと保育料は下がらない。でも、役所よりの手当はまん何歳になるとすぐ切れたのですか？
- 今は母親が育児休業中だが、まもなく復職予定です。保育園入園を希望しているが、希望する園に2人の子どもを同時に預けることが難しいようで、困っている。2人同じ園に入れないと仕事を続けることが困難になってしまう。もう少し人数枠を増やしてほしい。また、区内は朝7:15からしか受け入れがないが、他の所では朝7:00~20:00くらいまでの園も保育を行なっている所もあるのでもう少し保育時間、延長保育を拡充させてほしい。保育園+ファミサポ・ベビーシッターのような2重保育より子ども達の為になると思う。検討してほしい。

- 保育園の数をもっと増やしてほしい。産後2ヶ月の休業後、保育園に入れられないと復帰も難しく、肩身が狭い。制度の通りに現実はいまうまくいかない。保育料が多少上がってもいいので、ぜひ増やしてほしい。
- 保育園へ入園できない場合のサポートがないと感じる。私は子どもが1才の時、入園できず職場復帰を6ヶ月延ばしたが、それでも入園できず、本当に大変でした。現在第2子を妊娠中ですが、同じ保育園に入園できなかったり、また待機児童となりベビーシッター等の利用となると経済的負担、精神的負担となる。フルタイムで働く為の支援をお願いしたい。フルタイムで働き続ける為に第2子をあきらめる友人が沢山います。
- 保育園も少ない気がする。多くの方が育児休業を短縮して、入園しやすい4月入園の0才児クラスに入れている。4月でなければ、保育園に入園できないという事実に対し、豊島区では何の対策もとらないのか？
- 一時保育の時間が短すぎる。土日祝、早朝～夜等、拡大してほしい。また30分単位の計算など、体質がお役所的で、区民の気持ちがあわかっていない気がする。9:00～17:00では何もできない。保育園の拡充より、一時保育の拡大で、多くの方が就労可能になるのでは？(朝9:00～では働けなくても、7:00～にすれば働けるetc.)  
幼保一体型にしてはどうか？保育園では十分な教育が受けられないから、幼稚園+延長保育にすると、金銭的に大きな負担になる。もしくは、幼稚園の延長保育を拡充してほしい。
- 現在豊島区内の民間の保育園に預けています。その保育園は、4年前にたまたま自宅に入っていたチラシで知ったのですが、認可保育園によくある規制の多い保育時間や条件などがあまり無く、保育料は高いですが、共働きの私達両親にとってはそこそこ預けやすい所です。
- 働きたいけれど保育園に入れないという状況をもっと少なくしてほしいです。これから、仕事をみつけて働きたいのですが、仕事をみつけるにもあずけることが難しく、仕事が見つかってはすぐ保育園にあずけられないという状況が残念です。
- 両親が就労しておりますが、自宅から一番近い保育園に入学させていただきましたので大変助かっています。保育園の先生方はどなたもプロフェッショナルで愛情に満ちており、就業時間は安心して仕事に取り組むことができます。豊島区は数がとても充実しており質も高いと思います。(保育園)ただし、病児保育はもっと数多く対応していただければと考えます。こういったアンケートで保護者の声を吸い上げていただける取り組みは大変ありがたいと思います。ぜひどうぞよろしくお願い致します。
- 働きたいが双子の妊娠・出産で実家も遠く夫婦2人でのりきらなければならない為、仕事ができなかった。(病気や入院も多かった)ので3才になり子どもを保育園に入れたかったが双子を同じ園、歩いて行ける園、これから求職という状況は保育園は無理で、幼稚園しかなかった。幼稚園ではなかなかフルでは働けない。お金もかかる。
- 保育料がもう少し安いといい。毎月3万円以上払っていると友人知人に話すと、もっと安くいいのにな、といわれる。所得で決まる、というのは親が勤勉しての数字なのだから、所得によって保育の仕方を変えてるわけではないので、低く一律にしてほしい。
- あまり子育てに対して積極的ではないように感じる。保育園の民営化も進めていて、その上まだ何園か民営化しようとしている。子育てしやすい環境を整えていただきたい。
- 子どもを現在保育園に預けています。子どもを連れて買い物に行ったりするのはすごく大変です。現在1才で歩きまわったり、自我がでてきて言うことをきいてくれなくなりました。そんな子どもを連れて買い物に行くのは大変だし、重いものは買ってこれません。仕事をすると自分の休日がありません。たまには、ゆっくりしたり、ショッピングしたり、など子ども連れでは行けないところもたくさんあります。そんな時快く預かっていただけるといいのですが、もう少し延長保育ができる保育園が増えるといいのですが。子どもが熱や病気になった時でも対応できる保育園がほしいです。
- 現在子どもを保育園に預けてフルタイムで働いています。昔に比べると恵まれた環境で働くことができているので核家族でありながら子どもを預けられたことには感謝しています。保育園は厚生労働省、幼稚園は文部科学省と管轄が違うものの、文京区で前例があるように幼保一元化を目指し、保育園に預けながらふさわしい年齢に達した際に、幼稚園に就業に支障なく通わすことが出来ないものかと悩み始めました。幼稚園に通わすためには仕事を辞めなければなりません。幼児の発達に見合った時間の過ごし方や教育・しつけを考えた際、このまま保育園に預けて良いものか、保育園で幼稚園と同じようなプログラムに沿った年齢に見合った教育を受けさせられないものかと思っています。豊島区においても幼保一元化を実現させて下さい。もしくは、幼稚園に預かり保育を設置して下さい。
- 職場復帰を望んでいますが、なかなか保育園の空きがなく困難なため、もっと保育施設を増やしたり、情報提供を充実させて頂きたいです。
- 乳児を保育園に預けていますが、やはり幼稚園との教育内容の差などには不安を感じます。保育園でも、教育を充実させて頂きたいと思います。
- 現在育児休業中で、保育園の空きがなく、4月でも入れるのか不安な日々を過ごしています。保育園・認証保育園の増加又、幼保一体型の保育園が出来ればいいなと思います。
- 次々と保育園を民営化など子どもに対して予算を使う気がないのは明らか。このようなアンケートも本当に役立ててもらえるのかかなり疑問です。
- 保育園を増やしてほしい。区役所に「途中入園できますか？」と聞きにいったら、かなり冷たく対応された。豊島区は23区中、子どもに関する事は最低だと思う。
- 保育園については、予算削減のために民営化をすすめるのではなく、予算を充実させて公立・民営保育園両方が増えて質も維持してもらいたい。保育園が増えて子どもの受け入れがすすむようにならない

かぎり、親の就労もすまないと思います。子どもを安心して育てるには、家計がうるおうことが前提だと思います。

- 区立保育園の民営化に反対です。区民である保護者たちが求めている良質の保育が維持できなくなると考えます。逆に区立保育園を増やしてほしいです。区庁舎建設計画等に大切な税金を投入するよりも、もっと大切なことがあると思います。区民が求めている行政サービスに、税金を無駄なく使ってください。
- 保育園の空き(特に0才児・1才児)がこのところ全然ない様で安心して仕事を休んで子どもを産めない環境にある。産んだ後の子どもの預け先がとても不安である。もっと、定員を増やして欲しい。特に1才児。(←1年育休を取って復職したい為)
- とにかく保育園が少ないと思います。また、保育料が高いと思います。現預り時間では会社を早退せねばならず減給され、母親(私)の給料は全て保育園代にとられ経済的負担です。何のために働いているのか…と悲しくなります。

## 6) 補助制度、経済的支援など

- 子どもの休日・夜間診療は時々お世話になっています。ありがとうございます。  
子育て支援、サポートといってもいざ保育を利用しようとお金がかかるのが現実です。我が家は、母親の私が毎日子どもを見ているがストレスがたまりたまにリフレッシュしたいと思いつつ保育を利用しようとしても金銭的になかなか難しいところがあります。  
幼稚園入園、月額の補助金が新宿区の半分なのでびっくりしました。
- 子どもが3人いて経済的負担が多いです。もっと子育てしやすいように補助金が出たり買い物や乗り物などの割引などがあると助かります。
- 幼稚園の月謝に対する区の補助が少ないと思います。所得制限をなくして、一律で頂けると助かります。
- 子どもに対する経済的な支援が少なすぎる。区内で2人目つくりたいと思わない。
- 子どもに対しての手当金をもっと増やして欲しいです。現在の1人5,000円ではとても足りないと思います。1人3万円だと少子化にならないと思います。
- 小学校の低学年児童への支援が不足。仕事をもつ母親としては乳幼児の手厚い支援に比べ、就学したとたんほとんど支援がなくなるため非常に困る。子ども自身も就学した4/1から大変な負担となる。
- 妊婦健診の補助が拡充された事は、とても嬉しいです。
- これだけ少子化と言われてるのに双子、3つ子、4つ子などに対して区からの支援が無さすぎ!
- 直接の資金援助以外、必要ない。
- 毎月の負担(3万5千円前後)や、入園時負担(15~20万)が家庭の経済状況を圧迫。豊島区は隣接する北区・文京区・板橋区などに比べ、補助金も少ない。せめて、補助金を隣接区と同等レベルにしたい。年長と年少で重なりと更に厳しい状況になってしまう。

- 教育費に関する不安が強くあります。区の育児支援費については、年収の制限を廃止して頂きたいと思います。住宅ローンを抱えながらの育児では、経済的不安が最も大きくあります。現行の制度では必ずしも余裕のある家庭を除外したという事にはならないと思います。年収の高い家庭では、その分税金を多く納めています。すべての子どもに対して、均等に補助をすべきだと思います。
- 区の保育園に入園できなかった場合、認証保育等に預けますが、経済的負担が大きいのが実情です。他区のように認証保育園の補償金制度を考えてほしい。と思います。
- 豊島区内の私立の託児所などで使える優待券または補助券などを発行して頂けると用事がある時に近くの託児所へ気軽に預ける事ができるので助かります。
- 児童手当などの金額をあげてほしい。  
インフルエンザ等の予防接種もせめて子どもは無料化してほしい。
- 毎月支給される児童給付金(?)の所得制限を撤廃してほしい。制限を超えていて所得が多くても、その分多忙で出費は多い。ギリギリで支給を受けられず、非常に不公平感を抱いています。
- 少なくとも、子どもが4才になるまで、母親が就労しないで子育てをできる経済的支援が本当に必要だと思う。
- 妊娠・出産にかかる費用の補助や育児支援等、経済的な支援、助成金の増額を希望します。この不景気、子どもがもっと欲しくても経済的理由により産めない、又、働きたくても預けるのにまたお金がかかるなど悪循環となっています。
- 第二子出産の際、つわりや産後で体の調子が悪くても支援センターや認可保育園の一時保育に空きがなかったり、シッターサービスや認証保育サービスは高額で結局利用できませんでした。妊婦用のサービスチケットなどあるといいと思います。杉並区や武蔵野市が子育て支援は充実していると思います。
- 児童手当の申請に関して、提出書類に税務課への確定申告書が必要な点について、「住民税の確定申告書」が不可なのが、非常に納得がいきません。前年度所得税確定申告ができないケースもあり、結局、申請が通らず、児童手当が支給されてないケースも多いと聞きます。  
経済的支援に関して、申請の条件が色々あり、手続きが多かったりと、実際にはほとんど支援が活かされていないように感じます。
- 杉並区で年間6万円(?)程度の経済的なサポート(育児支援チケット)があるように、経済的支援がほしい。
- 母親のみで育てる事になってしまった場合、離婚届などが受理されてから、お金等の支援が2、3ヶ月たつてうけられる(そう聞いている)のではなく子どもと母親ですぐにでも住める場所と支援されるお金もすぐにおりたりしてほしい。でないと母・子は離婚してしまったらどこに住むのか?どうやってくらすのか?その辺ももう少し支援されたいなと思う。

## 7) 意識啓発

- 私たち家族が住んでいる地域は、お年寄り子どもも多く、子育てのしやすいところだと感じています。できれば住み続けて、子どもたちがきちんと就職しても豊島区内に住んで納税するということで恩返しができるいいなあと思っています。
- 区だけでなく国レベルになりますが…望んでいるのは、子どもの病気や学校行事に参加するために仕事を休めること、(親の介護などで)休んでも周囲から迷惑がられないこと、です。一緒に働いている人が快く思っていないければ、いくら制度があっても使えません。ですから、これから大人になってゆく子どもたちに、ワークライフバランスをうまくとることはあたりまえなのだ伝えてゆきたいです。教育現場でも、そうしてほしいです。会社の現場責任者に、そんな研修してほしい…。
- 子どもが3人おりますが、昔のように野放しで育てるわけにはいかず、情報化社会の中でお母さんたちも子育ての様々な情報にふりまわされながら、目の前の子どもをじっくり(ゆったり)みる時間がないように思います。子どもたちをきちんと教育、しつけをしたいとなると経済的負担が大きく、兄弟割引きなどの優遇も少なく、親がかしこく(頭がいいとはちがうイミで)完璧に育てたいと思う方ほど1人しかうめないと考えるのではないのでしょうか。家族が多いことが幸せ、心の豊かさを満たすものであることを感じられる世の中になってほしいです。
- 豊島区という場所から、仕方がない事だと考えていますが、子ども達には、やさしくない地域と考えています。あやしい人は多いし、無関心な人が多いし、子育てする上で、子どもを守るのは身内だけと思う事があります。地域でもう少し、小さい子達に声かけがあればと思います。
- 家族が内・外で孤立しがちな世の中で、大切なのはコミュニケーション、交流ができる機会をもつことかもしれません。今は子どもたちが小さいが大きくなってきて、共働きの為に一緒にすごせる時間が少ないので一緒に何かをするということがなくなってくるのではないかと不安がある。近所の人たちに顔を知ってもらい、声かけをしてもらって気にかけてもらえるのも安心につながる。地域の健全なイベントや祭のようなもので、こうした家庭内外の交流がもてるきっかけになるのではないかと。公園で不審者がいるとき、区に通報すると非常に迅速に対応してくれて大変助かりました。又、保育者・指導者・教師の方々自身もゆとりをもてる労働やカリキュラム・行事を考慮するのもサービス・教育を受ける側のメリットになってくると思っています。そういう方々が行きづまるようなシステムでは、子どもたちと向き合う余裕がなくなってしまう、情熱がなくなるのではないかと…と思います。
- 今の現代の大人が、だらしなく、しっかりしていないから、子どもたちを地域、また国の大切な存在として扱えなくなっているのではないのでしょうか。やたらとクレームをするような保護者もこれにあたります。他人の子をしかれない大人もしかり。区の子育て支援に取り組まれる職員の方々には、まず、大人同士の考え、コミュニケーションの強化=安心子育て、に

通じるといった観点からも、活動を進めて頂きたいと考えます。

## 8) 子どもの権利に関する条例について

- 「子どもの権利」という漠然としたスローガンなど、意味がないと思います。「非核平和都市宣言」と同様、単なるお題目にすぎないのでは？

## 9) 感想、意見など

- 基本的に、豊島区のインフラは非常に整っていると感じています。ありがとうございます。また、子育て世代の自主的なネットワーク、子育て経験世代のサポートについても、充実していると思います。発達障害について、0歳期からの早期療育の実施の重要性が説かれています。超早期発見のための情報の徹底、保健師の指導、機関の充実ができましたらと思っております。広く声を聞くアンケートも積極的で、いつもありがたく思っております。
- 3人の子どもがいます。近くに親類もなく、地方に居る母も介護で家を離れることが出来ないで、出産・育児共に夫の協力のみでした。出産時、出産後、私の病気で入院時の上の子ども達の世話(小学校入学・幼稚園入学)に悩みました。区のサポートがある事は知っていましたが、実際には手続きや準備等を考えると、電話するまでには及びませんでした。
- 豊島区として、地域として、子育て支援をしていこうと努力してくださっているのは紙面上でかんじるのですが、気軽に利用できるようなものではないように感じます。街全体が子連れに対して冷たく、危険な感じがして外出するのが嫌になります。もっと子育てしやすい、あたたかい街になって欲しいと思います。
- 普段遊びに行く先の施設を考えると、文京区・北区の施設がほとんど。豊島区の公園はあまり遊びに行きません。暗いし、きたない。スポーツ施設も、暗い雰囲気。どう考えても、他の区に比べると、行政の取り組みは遅れています。地域の人を利用することしか考えておらず、行政として計画的な取り組みは全く見られない。あと、産まない人・産めない人に、産むよう働きかけるのは困難。子育て家庭が豊島区に住みたいと思えるようにするのが大切なのでは？
- 子どもの目線ですべてを考えて欲しい。その立場でプランを立てて欲しい。
- 子育てひろば(朋有)は職員の方々がとても親切で手作りおもちゃやイベントがたくさんあり楽しい育児ができました。
- 学校教育、教職員の質の低下を感じます。人間関係が希薄になり、心のつながりがない環境の中では、子どもの権利を保障する取り組みは期待できません。家庭・地域・学校(幼稚園等)・行政がより連携して、問題点を出し合い、子ども達の為により良い環境づくりを目指していただきたいと願っています。
- 私が最も不安に思うのは、経済的負担です。何をするにもどんどんお金がかかり、経済的な不安が24



時間365日頭をはなれません。そこが緩和されれない限り、積極的に地域活動には参加出来ません。

- 保育園の充実 保育園難民、こんな事があるって子どもを生む前は知らなかった。知っていたら子どもを生まなかったかも。
- 住まいが駒込のため、北区の施設(公園など)を利用することが多く、友人も北区の方が多いのですが、施設や制度など、北区の方が充実しているように感じます。
- 駒込の区民ひろばは、児童館の時よりも利用しやすくなりました。職員の方も親切ですし、地域に根づいた活動をされているように感じます。
- まだ娘が1才ぐらいの時に公共の場でよくぐずって泣いたことがありました。何をしても泣きやまず、その時期は本当に大変な思いをしました。何が大変だったかという、「まわりの目」がとても冷たかったことです。近くにいた男性の「チッ」という舌打ちや、「虐待？」みたいな声が聞こえてきたからです。なるべくすいている時間帯を選んだり、子どもの機嫌の良い時に利用したりしていましたが、子どもが少しでもうるさくしたり、泣きやまなかったりすると「親は何をしているんだ!!」みたいな視線。赤ちゃんのお母さんで、赤ちゃんの世話だけでもとても大変なのに、まわりの人にまですごく気を使わなくちゃいけないのが現実です。このアンケートにある様なハードの部分も大切だと思いますが、もっと子育てしやすい環境を、まわりの方達のご理解を(特に男性の)得られる様な環境作りをして下さると、母親も精神的な余裕が出てきて、安心して子どもを預けて働くことが出来る様になると思います。
- 長男を出産して、3年後(あて名の)次男を出産しました。その数年で(特に遊び場が少ない!!)と感じていましたが)子育てひろばが充実してきたように思うし、ポイント、ポイントで良くなっている部分が増えてきたようにも思います。でも、点々としているだけで、今一つ線になっていない不便さを何かと感じます。
- 個人個人の負担にならない程度に、自然に、街全体の人子ども達を見守れるようになると良いですよ。
- ファミリーサポートを過去一度だけ利用した事がありましたが、時間800円は高いと思います。立場的に安くもなければ預けて安心という訳でもなく、どつちつかずで利用しにくいです。
- 遅れている子どもの療育を受けようとした時に、通所時間数の少なさを理由に、保育を受けられず、有償のサービスを手配したり、友人・知人に頭をさげて回りました。障害があると兄弟はどうしたら良いのかぐらいのアドバイスも無しに「つれてくるな」の一点張り。普通の感覚で相談に乗ることはできないのでしょうか。同じ区の施設にもかかわらず、1つのサービスを受けようすると、役所に数ヶ所電話をかけるのはこちらなのも、いつも疑問です。横に連絡はできないのでしょうか。ただ面倒なんだろうと考えます。
- 区の子育て支援の情報等いろいろ聞いたり見たりしていますし実際に利用したいと思うのですが、気軽に利用できません。区役所や区民事務所が遠く、何

となく区に助けてもらおうという気になりません。支援センターも未だにどこにあるのかわかりません。

- (有償)ボランティアなので仕方がないが、以前、ファミリーサポートを受けようとしたらいろいろ規制があり、本当に使いづらかった。というより結局利用できなかった。いろいろ条件がそろわないと結局ダメになるので、めんどくさいので、もう利用はしない。
- 公園はあっても環境が良くなかったり、児童館があっても学区内であるかどうかや、施設内設備状況等の詳細を知る手だてが簡単ではなく、幼い子どもがいる家庭、第一子育児中の者にとっては区の子育て支援のさらなる充実、活性化が望まれると思う。
- 児童館の数、立地条件、内容がイマイチの為、利用したいのに通えない。金銭的支援や肉体的・精神的支援も不十分の為、2人目の妊娠・出産にふみきれない。
- 近所には、私立(区外)の幼稚園・学校に通っている子どもが多いますが、区立の学校に通っていない児童館も利用しづらく、下校後、家の外へ出て遊ぶ場所がありません。先のことを考え、豊かな人間を育てることを念頭に、とりこんでいただきたいと思えます。(目先の親のエゴに対応すること、そうでないことを見極めてほしいと思えます)教育に対する意識が高い人が多いと思う反面、児童施設などの密度が低すぎ、住みにくいです。非文化的です。
- 子どもを育てる環境がだんだん悪くなっていくように思うのに区政がそれに対応しきれていないように思う。むしろ逆行のような。下の子が待機状態ですが保育園の充実も、これから産もうとしている人には大切な事だと思えますが、少子化対策は何もしていないのでしょうか？
- 区のファミリーサポートを利用したく、何回かお願いしましたが、預かってくれる方がいないとのことで、利用不可でした。いざという時に頼りにしたいサービスなのですが、こういつもことわられると非常に残念です。是非区の強力なバックアップをお願いしたいと思えます。
- ボランティアの方々や、支援をしてくれる方々は、ものすごく考えてくださっていると思うが、子どものいない、または関心のない人達からは、子どもはジャマ者以外の何もでも無いような扱いを受ける事が多々あり、とても育てにくく、親子で苦しむ事が多いです。
- 近くの小さな公園の入口が少きれいになりましたが砂場は1/4以下、スベリ台は無くなり、時計までもがはずされ、いったい子どもの遊び場である公園を良くするどころか何がしたかったのかわかりません。行かなくなりました。
- フルタイムで働くママにもうちょっと「気持ち的」に余裕のある対策はないでしょうか？現状は、幸い両親が近くにいますが、だから2人持ちながらフルタイムできます。そうでない方はどうしているのでしょうか？
- 公立保育の民営化など、質の確保がともなわない形で、子どもが育つ環境の劣化が進んでいる。将来の子どもの育つ環境に対するビジョンもないまま、場あたりの政策がすすめられている印象を持ちます。状況が変わらないようでしたら文京区か杉並区

へ引越します。

- 最近道路の段差とかがすくなくなっただけでベビーカーで走りやすい道がとてふえてうれしく思います。大塚駅にもエレベーターができて1人で出かけなければならないときでもとても便利になって利用できるようになったのでうれしいです。
- 妊婦健診補助の増額があり、非常に良いと思う。ひとえに、経済的負担が軽くなればもっと子どもを産みたいと思う。児童手当の増額もしくは税金の大幅な優遇など。近所は歩道も広く、公園もありハード面での環境は整っていると思うので、そういうところにお金をかけるより、直接支給して欲しい。お金をかけずに、住民の意識をかえる、企業にはたらきかけるなどで十分。
- ファミリーサポートにいつもお世話になっています。ありがとうございます。地域によって、援助して下さる方が少ないようで、困っている友人がたくさんいます。仕事と子育ての両立は大変ですが、夫と協力して、みんなで家庭をつくっていく大切さを勉強するのは、とても良いことだと思います。
- 文京区などでは子育て中の家庭に「金券」が配られている。施策や事業を検討するより、誰でも自分のペースで利用できる現物支給を考えてほしい。フルタイムで仕事をしていたら、どんなに環境がよくてもイベントがあっても参加できない！！もっと現実を見てほしい。
- 杉並区や世田谷区のように頑張っただけで欲しい。結婚して住んだ区ですが、出産した後だったら豊島区は選びません。
- 児童館がなくなり、子どもの遊び場が減ってしまい、さみしく思います。
- 保育園を民営化しようとしていると聞きます。中学校の数も少なくなってきたり、不安に感じます。子どもの教育環境は、充実したものにしてほしいです。税金を払うのはかまいませんが、有効に利用してほしいです。
- 保育園入所にあたり、祖父母の支援の有無の欄で支援することが前提であるかの様でした。近所に住んでいても、自身の健康状況により、支援できない祖父母がいることを、理解の上、行政は考慮してほしい。又、現状で、父親の子育て参加が、社会情勢により、することができないこと。子育てに参加しない父親が悪であるかの様に追いつめることのない様、配慮願います。
- 豊島区で子育てをしていくことは大変苦しいです。今まで10年間に、いろいろな形で直訴・相談してきましたが、助けてもらえませんでした。全部私一人で負担し、精神バランスを崩しました。豊島区は冷たいです。子育てという、世の中で最も重要な仕事をしている母親を、もっと積極的に支援すべきです。
- よく利用する保健所、東部子ども家庭支援センターの職員の方々は素晴らしく良く対応してくれている。
- 現在、少子化対策として地方団体などで「出産費用」を支援する運動がすすめられているが、少子化対策は、産むことより育てることに力を入れていただきたい。でも決して児童手当を増やすということを求めている訳ではありません。保育所を増やすなど、

安心して母親も働けるような環境づくりに力を入れて欲しいのです。現在の状況は、求職を理由に子どもを預けることは困難です。パート・アルバイトではなおさら。フルタイムで高額収入の方が優先です。そして兄弟姉妹別の保育施設の方も多いです。(実際、私もです。)毎年、基準が変わってしまったりすると1人産めても2人目、3人目を考えてしまいます。少子化対策をまず、産まない人に産ませる環境づくりに力を入れていたのを見直し、2人目、3人目を快く産める環境づくりに方向を変えてみるのも良いのでは…。保育園の人たちは皆、それを求めています！！

- 妊婦健診が無料になった事は、ママ世代にとっては本当にありがたい事。もっと早く実現して欲しかったなと思います。又、こどもはすぐ病気やケガをしてしまいます。医療費が無料で安心して病院に行ける事はありがたいと思います。
- 区主催の子育て講演会や保健所の催しにいろいろ参加しているが、無料で内容も充実しているので非常にありがたい。子どもを出産するまで、こんなにいろいろと行なわれているとは知らなかった。これから子どもが成長していくにつれて、さらに利用する機会が増えると思うので、さらに充実した支援を期待したい。
- 板橋区より昨年7月に引っ越してきましたが、1人目を板橋区で、2人目を豊島区で育休をとりました。板橋と比べると、いろいろなサポート環境や事業はあるものの、内容が充実していないと感じました。係の方の人柄というものが大きく影響しているとは思いますが、保健所での健診・育相・母乳教室etcのイベントの種類は多くあるものの、参加してみると、大したことなかったと思うこと数知れず。ただ行なうのではなく、内容の充実をもう少し検討してほしいと最近思いました。
- 公園について、豊島区は整備や発想がつかないです。ゴミやタバコが落ちていたり、花だんの花はかかれていたり、遊具がさびていたり、木がまったくない公園があったり、「子どもの心を育む」という発想はまったく感じられません。そのため、お隣りの新宿区や文京区の公園をよく使います。又、学校の建物を作ったりというのが好きなようですが、保育園の保育士の数がギリギリだったり、他の区にあるように出産時に母親が喜ぶサービスがなかったり、さみしさを感じます。「本当に区民が喜ぶサービスは何か」をきっちりとふまえて、区民の税金を使っていません。特に子育てをしてから、豊島区の行政のおそまつさを実感します。こんなことを続けてゆけば、どんどん豊島区を出てゆく家族が、増えるのではないのでしょうか。子育てをしやすいことを理由に、豊島区に居住する人は、いませんよね。
- 実家が埼玉ですが、それに比べて豊島区は公園も東京のわりに多いし、学校も私の近所には多く、努力してると思います。医療制度(乳児とか)も支援が厚く、すぐすみやすいです。通勤族なので友達にもすすめています。24時間制で預けたい時だけ預けられる一時預りが増えたいです。豊島区fight！！
- 児童館→区民ひろばへ移行しているが、前のように

児童館として独立している方が良かった。職員も減り(昔はよく子どもと遊んでくれた先生が多く、子ども達も楽しそうだった)、遊べる部屋もおもちゃも少なくなり、いろいろと規制が多くなり、幼稚園～小学生が、かなり使いにくくなった。お年寄りとの交流もイベント以外、全くない所が多いと思う。

- この周辺の公園の遊具の撤去(新しいものへの変更ではなく)、図書館の閉鎖→子どもたちにマイナスが続き、とても困っています。
- 子育て支援センターをよく利用しますが、土・日も開設していて父親も利用しやすく、助かっています。
- 役所に年収や養育費等プライベートを晒す書類を提出するのに、対応は感じ悪い。「収入が少ないと、働かなくても余裕があると見て、優先度が下がる」と言われたが、すでに提出した書類を見れば、夫の収入・労働時間・家賃・養育費等わかるはず。見ないで発言するなら、提出させないでほしい。又、見て「余裕ある」と言うなら、具体的に、いくらから「余裕」か明示してほしい。休日・夜間診療する病院を増やしてほしい。最低限ギリギリで生活しているので、行政が最後のたのみ。(保育園等)そこで、誠意ある対応をしてもらえないと悲しくなります。(入れる・入れないとは別)
- アンケートの結果とかをどう生かすか等気になるところです。区報などにのるのでしょくか？私は特に子育てのみの改善を望みません。区のお金の使い方と言えば、なるべくムダなお金を使わないで区民の意識を上げて、生活を向上させていくためにはどうしたらよいのでしょうか。(このアンケートの回収率はどのくらいですか？)(子育ては乳飲みの頃だけではないと思います。もっと幅広い意見もひろっていただけるとよかったです)(医療証の回収と同じ封筒が使えたらよかった)
- 文京区・北区の境目に隣接している、豊島区のハジに住んでいるが、豊島区の公園は子どもを安心して遊ばせられる所が少ないと感じる。大人が安らぎ、集える公園も必要だとは思いますが、子どもに対する視点が欠けているように思う。駒込の母親達は、わざわざ文京区・北区の公園へ出向き、そこで遊ばせているのが現実だ。豊島区の取り組みの遅さを感じる。又、駒込図書館の子どもの本コーナーと、一般の閲覧テーブルが近すぎ、子どもに絵本を読んであげることできない程、ちょっとした声も出しづらい。簡単な仕切りを設けてもらえれば、もう少し、親子で楽しく本を楽しむことができると思う。それか、小さい子どもの本を、一番奥に配置するなど、工夫次第で改善できると思う。
- 女性が安心して仕事と子育てを両立できる保育サービス・教育を充実させて欲しいと心から思います。残念ながら豊島区は積極的に対策をうっているという感じがしません。ぜひ他区をリードするような施策をすすめて欲しいです。そうでないと高齢者と単身者だけの街になっていってしまうと思います。
- 民間でも公的なものでもこの類のアンケートをたまに書かれています。質問自体がどれも似かよっていて、それにもかかわらず設問の回答の選択肢にあるような対応が一向に進まないのが気になります。私は働く母親ですが、このご時世では共働きでないと経

済的に安心して生めませんし、その為にはまず保育園の待機ゼロ(できれば生む前から予約したい)と病児保育です。今ある予約枠はあまりにも小さいです。

- 医療費はとても助かります。ぜひ続けて下さい。経済的援助が必要だと思います！
- 豊島区さんには児童、育成、扶養各手当、都営バス地下鉄乗車券の支給といろいろご支援頂き感謝しております。でも、もう少し欲を言うと、民間でも何でも良いので託児施設をもっともっと増やしてほしいです。現在、母と同居で区の保育園に入れませんが、認可外などの民間も近くにないの(ありますか?)毎朝、職場まで子連れで通ってます。周辺には保育、託児施設が沢山ありますが、それでもすぐ定員になって入園は難しいです。子どもを預けるのになぜそんなに苦労しないといけないんでしょうか？子どもが少ないのなら、なぜどこもすぐいっぱいになってしまっているのか？親としては少し高くても、安全できちんとかわいがって世話をしてくれればいいんです。必ずしも、庭付きの大きな建物でなくても、お散歩に連れていってくれればいいんです。最近、うちの近くに空家を多く見かけますが、そういう所を家主からお借りするとか、保育士が足りないなら子育てを終えた方々に少しでもお手伝い頂くとか・・・働いても、働いても生きていくのがやっとの時代。たまに見かける保育ママさん募集だけでは、本当に足りないと思います。
- 豊島区南大塚に住んでいます。商業地という事もあり保育施設がない。現在はマンションがあちこちに建っているのに人口も増えているのに保育施設があきらかに不足している！区民税という高い税金を払っているのに何の役にも立っていない気がしてならない。人口が増えて区民税財政が多くなっているのに有効に使っていないのでは！区舎を新しくしている時間があるのなら！本当に区民の為・事を考えているのならムダ金を使わないで保育施設を増やすべきなのではないでしょうか！！

## 10)その他

- もっと緑を増やして下さい。車・不審者を減らして下さい。子どもが食べる物に関して安心・安全の確保(例えば添加物の禁止など)をして下さい。
- 食の安全が脅かされるような(報道)事件が続いています。子育てのためによりよい食品を確保しようと努力していますが、一般の店ではなかなか手に入れることができません。
  - ①保育園では安全な食材と調理環境が確保しつけられるよう取り組みをお願いします。
  - ②食の安全に取り組んでいる店を支援する施策を検討して下さい。
- 子どもと公園で遊んでいても、不審者・ホームレスが必ずいるので安心できない。道路が狭く、汚いので、どうにかしてほしい。
- 自転車・歩きタバコなど、子育てするには、問題が多いので、それを改善して欲しい。
- 西椎名町公園・旧長崎中学校・旧第十中学校の整備を早急してもらいたい。

- 私立中学校へ行く子どもへの支援はないのですか？
- 幹線道路が多く、また、近隣の道路も交通量が多いため、乳幼児をつれて歩くのは行動範囲が限られてしまいます。せめて、幹線道路以外は法定速度が守られるような工夫が欲しいです。幼稚園の休園が増えており、豊島区内の場合バス通学が少ないため区外の園に通わざるを得なくなってしまいます。
- 豊島区高田は、高い家賃を払わないと住めないマンションが多いため子を持つ親達はこの地区に長く住む人がいない。だから高田に子どもが増えない。もっとどうにかするべきだと思う。
- 駅付近の風俗店がとにかく目ざわりです。近くには幼児や子どもが多く利用するスポーツ施設もあり、非常に不釣り合いに思います。子育て支援については、私は必要ないので利用していませんが、色々と実施されている様で心強く思います。
- 子ども達が安心して学び遊べる環境になって欲しいです。豊島区の街が住みやすい所になるよう、ボランティアの方や私達子育て中の方々と協力し合いたいと思っています。
- 現在、子どもと2人で住んでいる所がお風呂がなく都営住宅などの申込みをしているがなかなか入ることができない。住宅の整備の充実をお願いします。
- 学校のプールだけでなく、造幣局のプールも区民に開放すべきだ。子ども達が夏に楽しめる場所を提供してほしい。
- 小学校への自転車通学OK。
- マンションの住宅環境が悪い。子どもが少し泣くとすぐクレームがきて、非常に辛い。ベットではあるまいし、無理矢理泣かない様にする事は不可能。なのに虐待しているのでは？とまで言われた。引越を考えると今の保育園を転園することにもなりかねず、毎日叱りつけてばかりです。区にお願いすることでもありませんが、防音リフォームの助成とかがあると少し励みになります。新聞のコラムにありましたが少子化が子ども嫌いの環境を作り、更に少子化が進む本当にそうだと実感しています。
- 全てが池袋周辺に集中しており、サービスを使いにくい。(休日保育、病後児保育)  
他区に比べてサービスが悪いと感じている。(ブックファーストもない)保育料も高い。
- デパートや地域のお店(レストランなど)で、子どもを受入れる環境が整うとうれしい。
- 入園後、短時間でもパートができればと、求人誌を多数見ましたが、条件の合うものは全くありません。小さな子どもがいれば、急な欠勤もあり、春・夏・冬と休みがあり、とても働ける状態ではないとあきらめました。それでも働きたい主婦に、内職でも、雑用でも求人して頂けるとありがたいと思います。
- 家賃補助住宅をふやしてほしい。
- 歩道もデコボコが多く、特に水道管などの工事後はひどいです。危険な道が多く整備して頂きたい。住みやすい街づくりに期待します。子どもを育てやすい環境を期待します。家の前の道は、雨が降ると池のように水が溜まり子どもの外出時には危険だと思います。近所のスーパーなどの商業施設内に子どもの広場があると雨の日は特に嬉しいです。
- 無作為に1000世帯を選んだと書いてありましたが、昨年もアンケートを書きました。昨年も歩道に段差があると書いたが、すぐには直らないですよ。区役所の所は段差ありませんが、保育園の近くも早めに直してほしいです。
- 子育てには不向きな住環境にあります。所得も決して高いとは思わないのですが育児手当とソシエの条件にあわずこれらのサービスを特に受けたいのですが受けられません。サラリーマン世帯のため税金はかなり支払っています。上記サービスの条件緩和、充実を希望致します。
- 子育てをするには、やはり緑が少ない。自転車置き場がないのに、撤去する場所の方が多い。保育園の空きが無さすぎて、働けない。近所に安いスーパーがない。だめな所が目立ってしまうが…、サンシャインや買物には、すごくべんりだが…高い。何よりも子どもが外で遊べる環境をみんなでつくってほしい。
- 近く(家から)の豊島区の公園はホームレスなど多くいて、安心してあそべない為、来る子どもが少ない。なので、少し遠い新宿区の公園に行く。その公園は管理している人がいて安心してあそばせられる。そういう公園がすぐそばにあると、うれしい。近所には、あまり小さい子がいないので、公園などに行かないかぎり交流の場がないので…。

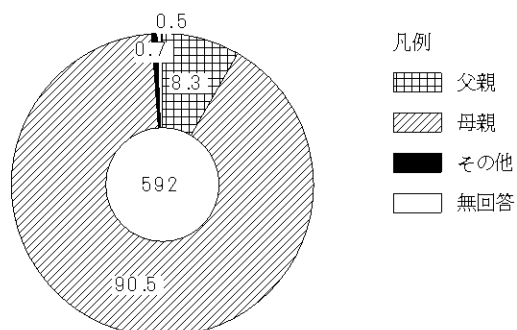
## 2. 小学生保護者

## 2. 小学生保護者

### (1) 回答者等の属性について

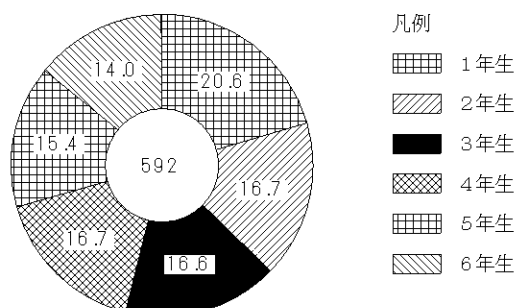
#### 問1. 回答者

●回答者は9割が母親で、父親は1割弱となっています。



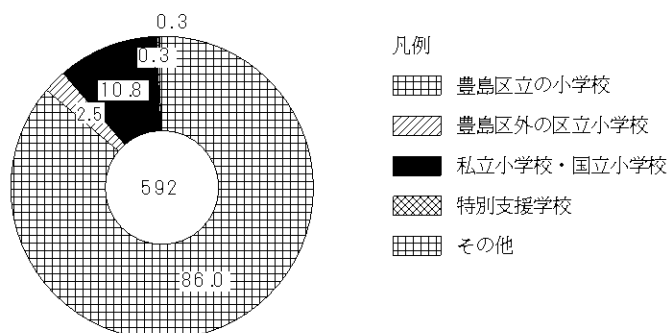
#### 問2. 子どもの学年

●子どもの学年は、1年生から6年生まで概ね均等になっており、その中でも1年生が20.6%と最も多くなっています。



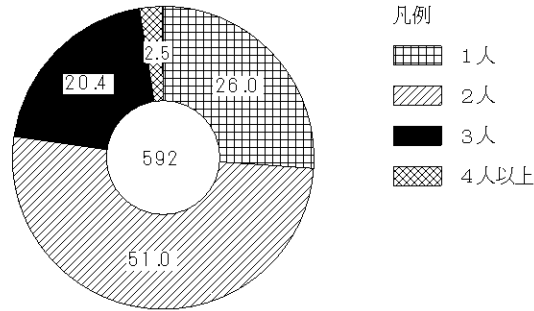
#### 問3. 小学校の種類

●子どもが通う小学校は、区内の区立小学校が86.0%、私立ならびに国立の小学校が10.8%となっています。



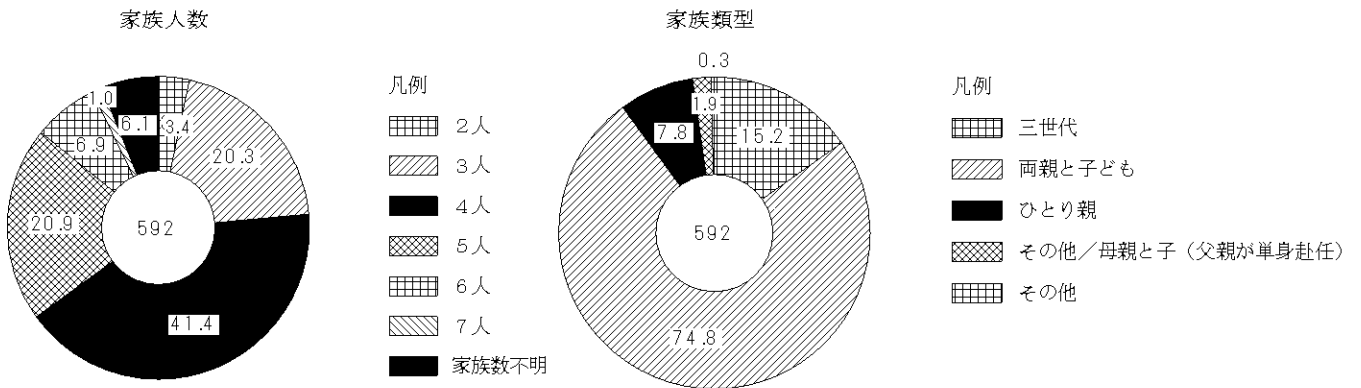
問4. 兄弟・姉妹の人数

●対象者を含めた兄弟・姉妹の人数は、2人が約半数(51.0%)を占め、1人(26.0%)、3人(20.4%)と続いています。



問5. 同居している家族の人数と家族類型

●家族人数は4人家族(41.4%)が最も多く、家族類型は両親と子どもが74.8%、三世代は15.2%となっています。

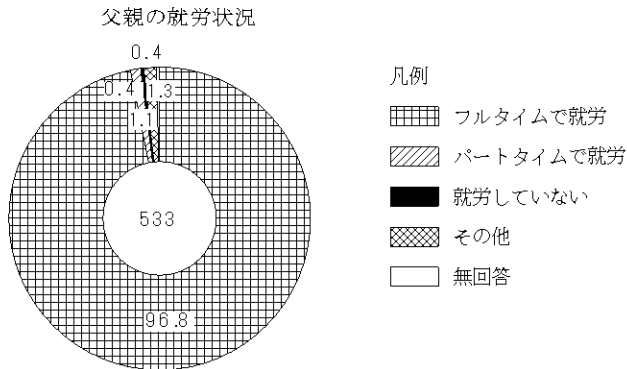


調査数	2人	3人	4人	5人	6人	7人	家族数不明
592	20	120	245	124	41	6	36
100.0	3.4	20.3	41.4	20.9	6.9	1.0	6.1

調査数	三世代	両親と子ども	ひとり親	その他/母親と子(父親が単身赴任)	その他
592	90	443	46	11	2
100.0	15.2	74.8	7.8	1.9	0.3

問6. 父親と母親の就労状況 (○は1つ)

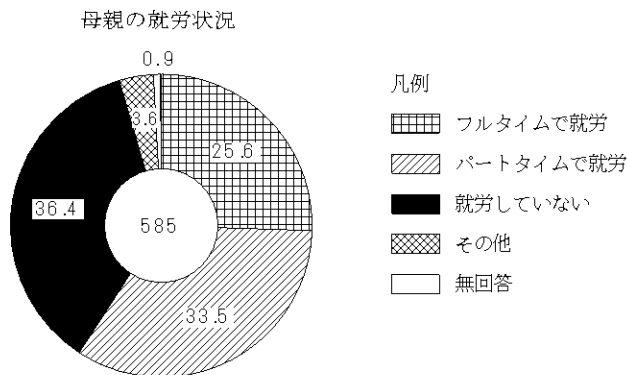
●父親の就労状況は、96.8%がフルタイムで就労しています。



問6 ①父親の就労状況

調査数	フルタイムで就労	パートタイムで就労	就労していない	その他	無回答
533	516	6	2	7	2
100.0	96.8	1.1	0.4	1.3	0.4

●母親の就労状況については、就労していないが36.4%と最も多く、パートタイムで就労が33.5%、フルタイムで就労が25.6%となっています。

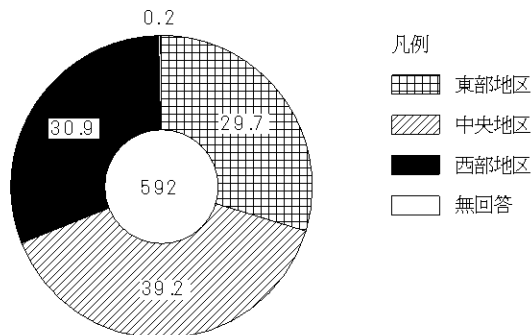


問6 ②母親の就労状況

調査数	フルタイムで就労	パートタイムで就労	就労していない	その他	無回答
585	150	196	213	21	5
100.0	25.6	33.5	36.4	3.6	0.9

問7. 居住地区 (○は1つ)

●回答者の居住地区を3地区別で見ると、中央地区(39.2%)が最も多く、東部地区(29.7%)と西部地区(30.9%)が、ほぼ同じ割合となっています。

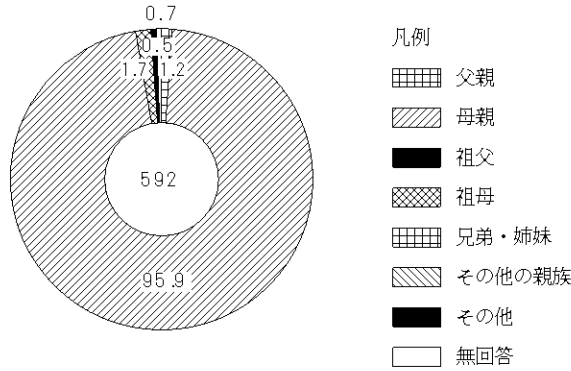




(2) 主にお子さんの身の回りの世話をしている方について

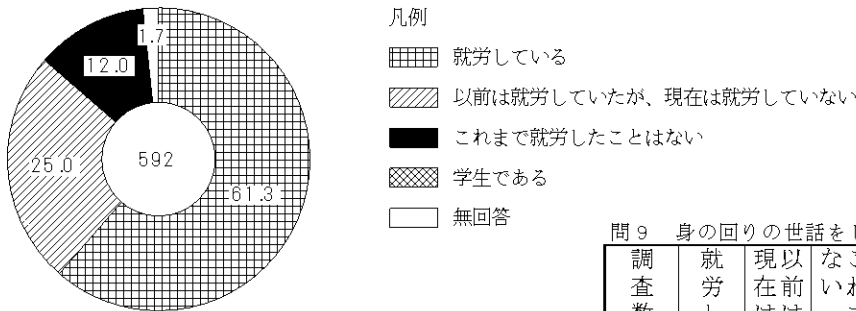
問8. 主に子どもの身の回りの世話をしている人 (○は1つ)

●主に子どもの身の回りを世話をしている人は、ほとんどが母親(95.9%)であり、そのほかは祖母(1.7%)、父親(1.2%)となっています。



問9. 主に子どもの身の回りの世話をしている人の就労状況 (○は1つ)

●主に子どもの身の回りの世話をしている人の就労状況は、61.3%が就労しており、25.0%が以前は就労していたが現在は就労していないと回答しています。



問9 身の回りの世話をしている人の就労状況

調査数	就労している	現以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことはない	学生である	無回答
592	363	148	71	0	10
100.0	61.3	25.0	12.0	0.0	1.7

問 9-1. 主に子どもの身の回りの世話をしている人の就労形態 (○は1つ)

●主に子どもの身の回りの世話をしている人が就労している場合の就労形態は、パートタイム・アルバイトが 43.3%と最も多く、フルタイム勤務は 29.2%となっています。

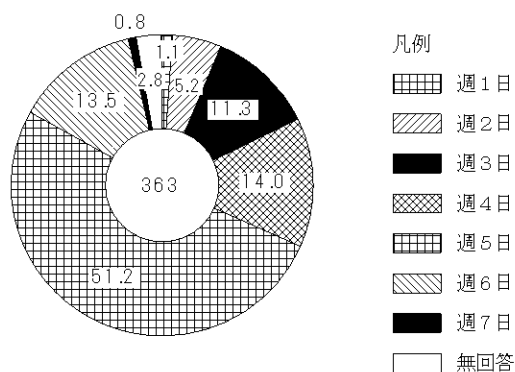
◇【家族類型別集計】

	調査数	フルタイムの勤め	パートタイムの勤め・ア	自営業	内職	その他	無回答
調査数	363	106	157	29	2	6	63
	100.0	29.2	43.3	8.0	0.6	1.7	17.4
三世代	53	10	22	10	0	1	10
	100.0	18.9	41.5	18.9	0.0	1.9	18.9
両親と子ども	266	76	121	19	2	4	44
	100.0	28.6	45.5	7.1	0.8	1.5	16.5
ひとり親	38	19	12	0	0	0	7
	100.0	50.0	31.6	0.0	0.0	0.0	18.4
その他／母親と子 (父親が単身赴任)	6	1	2	0	0	1	2
	100.0	16.7	33.3	0.0	0.0	16.7	33.3
その他	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

●主に子どもの身の回りの世話をしている人の就労形態を家族類型別に見ると、ひとり親ではフルタイムの勤めが高い比率を示していますが、三世代同居や両親と子どもの家族では、パートタイム・アルバイトの勤めの比率が高くなっています。

問 9-2. 主に子どもの身の回りの世話をしている人の週の就労日数、家を出る時間と家に着く時間、土曜日や日曜日・祝祭日の就労状況、通勤時間

●主に子どもの身の回りの世話をしている人が就労している場合の就労日数は、週 5 日 (51.2%) が最も多く、週 4 日 (14.0%)、週 6 日 (13.5%) がこれに続いています。



- 家を出る時間は、8時台(38.8%)～9時台(34.4%)が中心となっており、この2時間で全体の73.2%を占めています。

◇【就労形態別家を出る時間帯】

	調査数	5時台	6時台	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	無回答
調査数	363 100.0	1 0.3	0 0.0	21 5.8	141 38.8	125 34.4	30 8.3	4 1.1	4 1.1	3 0.8	0 0.0	1 0.3	1 0.3	32 8.8
フルタイムの勤め	106 100.0	1 0.9	0 0.0	12 11.3	54 50.9	30 28.3	4 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 4.7
パートタイム・アルバイトの勤め	157 100.0	0 0.0	0 0.0	5 3.2	35 35.7	69 41.9	13 8.3	3 1.9	2 1.3	2 1.3	0 0.0	1 0.6	1 0.6	9 5.7
自営業	29 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 17.2	7 24.1	5 17.2	1 3.4	1 3.4	1 3.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 31.0
内職	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
その他	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 66.7
無回答	63 100.0	0 0.0	0 0.0	4 6.3	26 41.3	21 33.3	7 11.1	0 0.0	1 1.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 6.3

- 主に子どもの身の回りの世話をしている人が就労している場合の家を出る時間帯を就労形態別に見ると、フルタイムの勤めでは8時台が最も多いのに対し、パートタイム・アルバイトの勤めでは、9時台が多くなっています。

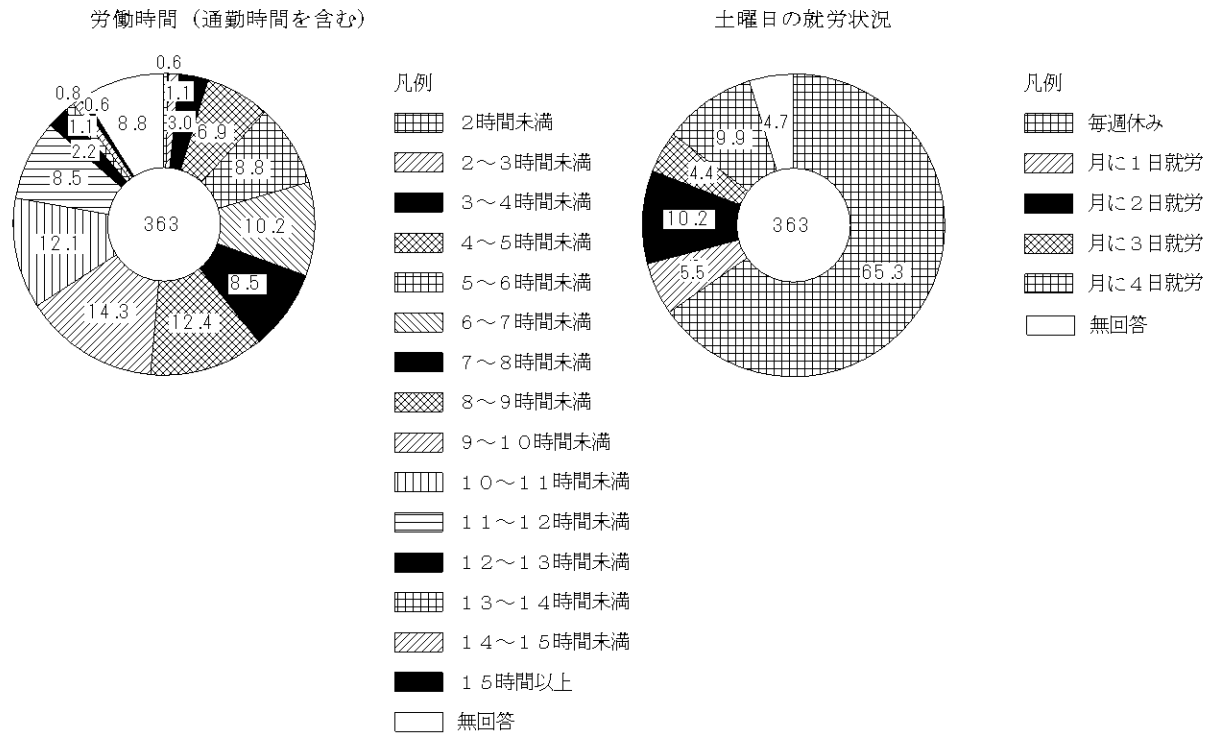
- 家に着く時間は18時台が21.8%で最も多く、17時台の16.5%、16時台の10.2%がこれに続いています。

◇【就労形態別家に着く時間帯】

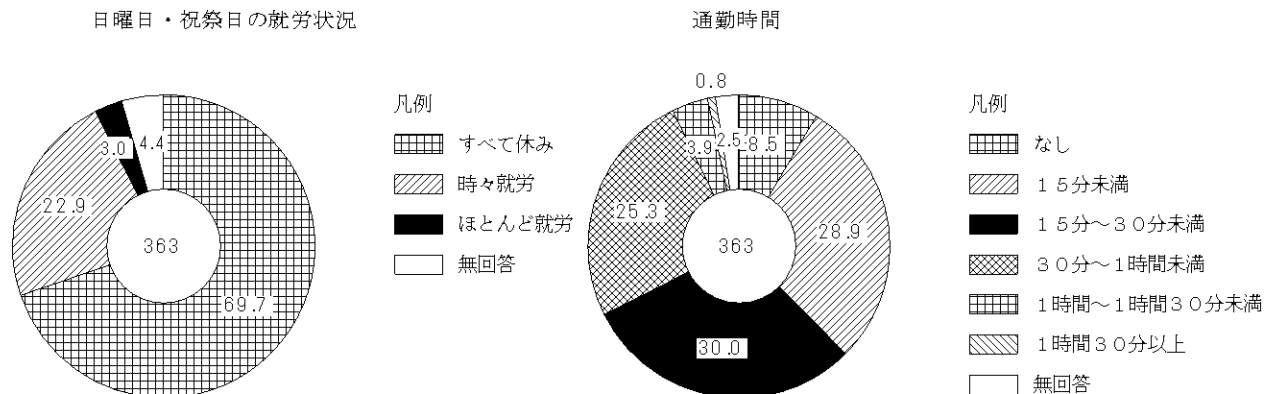
	調査数	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時台	23時台	無回答
調査数	363 100.0	2 0.6	7 1.9	22 6.1	38 9.9	34 9.4	37 10.2	60 16.5	79 21.8	33 9.1	11 3.0	4 1.1	3 0.8	3 0.8	32 8.8
フルタイムの勤め	106 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.9	5 4.7	21 19.8	36 34.0	24 22.6	8 7.5	2 1.9	3 2.8	1 0.9	5 4.7
パートタイム・アルバイトの勤め	157 100.0	2 1.3	6 3.8	15 9.6	27 17.2	24 15.3	26 16.6	25 15.9	20 12.7	3 1.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 5.7
自営業	29 100.0	0 0.0	0 0.0	3 10.3	3 10.3	3 10.3	2 6.9	3 10.3	2 6.9	0 0.0	1 3.4	1 3.4	0 0.0	2 6.9	9 31.0
内職	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
その他	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 66.7
無回答	63 100.0	0 0.0	1 1.6	3 4.8	5 7.9	6 9.5	4 6.3	11 17.5	20 31.7	6 9.5	2 3.2	1 1.6	0 0.0	0 0.0	4 6.3

- 家に着く時間帯を就労形態別に見ると、フルタイムの勤めは18時台から19時台が中心となっているのに対し、パートタイム・アルバイトの勤めでは、14時台から18時台に分散していることがわかります。

- 労働時間については、全体に分散しているものの、9～10時間未満(14.3%)、8～9時間未満(12.4%)、10～11時間未満(12.1%)が上位を占め、8時間以上の合計は全体の52.0%を占めていることがわかります。
- 土曜日の就労については、6割強が毎週休み(65.3%)となっており、土曜出勤(月に何日かは就労)は30.0%という状況です。

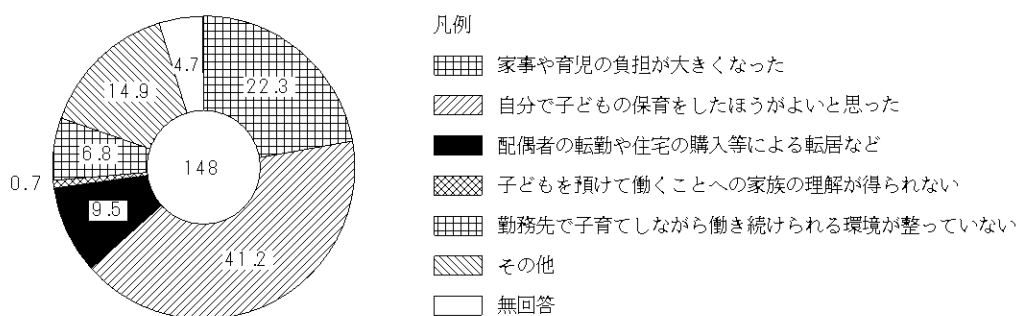


- 日曜日・祝祭日の就労は、7割弱がすべて休み(69.7%)である一方、22.9%が時々就労しています。
- 通勤時間については、15分～30分未満(30.0%)が最も多く、15分未満(28.9%)、30分～1時間未満(25.3%)がこれに続いており、なし(8.5%)を含めると9割強(92.7%)が1時間未満となっています。



問 9-3. 仕事をやめた理由 (○は1つ)

- 以前は就労していたが現在は就労していない人の退職理由としては、自分で保育をしたほうがよいと思った(41.2%)が最も多く、家事・育児の負担が大きくなった(22.3%)がこれに続いています。
- その他(14.9%、22件)の理由としては、結婚退職のため(5件)、妊娠・出産のため(3件)、病気のため(2件)などとなっており、「学童クラブの利用時間が早く終わるので、会社の帰宅時間まで子どもを預ける場所がなかったため」などの意見もありました。



問 9-4. 今後の就労意向と就労希望日数、1日あたりの時間ならびに就労希望開始時期 (○は1つ)

- 現在就労していない人の就労意向については、1年より先で子どもがある程度大きくなってからのパートタイム・アルバイト勤務(35.6%)を希望する人が最も多く、わからない(19.2%)、すぐにもしくは1年以内のパートタイム・アルバイト勤務(18.3%)がこれに続いています。

◇ 【学年別集計】

	調査数	すぐにもしくは1年以内	パートタイム・アルバイトに	すぐにもしくは1年以内	1年より先で子どもがある程度大きくなる	1年より先で子どもがある程度大きくなる	働くつもりはない	わからない	無回答
調査数	219	5	40	8	78	36	42	10	
	100.0	2.3	18.3	3.7	35.6	16.4	19.2	4.6	
1年生	44	0	5	5	18	6	7	3	
	100.0	0.0	11.4	11.4	40.9	13.6	15.9	6.8	
2年生	37	2	7	0	18	4	4	2	
	100.0	5.4	18.9	0.0	48.6	10.8	10.8	5.4	
3年生	33	0	6	0	14	5	5	3	
	100.0	0.0	18.2	0.0	42.4	15.2	15.2	9.1	
4年生	41	0	8	0	11	10	11	1	
	100.0	0.0	19.5	0.0	26.8	24.4	26.8	2.4	
5年生	33	1	5	1	12	5	8	1	
	100.0	3.0	15.2	3.0	36.4	15.2	24.2	3.0	
6年生	31	2	9	2	5	6	7	0	
	100.0	6.5	29.0	6.5	16.1	19.4	22.6	0.0	

●今後の就労意向を子どもの学年別で見ると、6年生ではすぐにもしくは1年以内でのパートタイム・アルバイト勤務の希望が最も多く、それ以外の学年では1年より先で子どもがある程度大きくなった時点でのパートタイム・アルバイト勤務の希望が最も多くなっています。

- すぐにもしくは1年以内にパートタイム・アルバイト勤務を希望する人の就労希望日数(1週あたり)は、週3日(50.0%)が最も多く、次いで週5日(20.0%)となっています。

- すぐにもしくは1年以内にパートタイム・アルバイト勤務を希望する人の就労希望時間は、5時間(30.0%)、4時間(20.0%)、6時間(17.5%)となっています。

問9-4 1年以内での就労希望日数 (パート・アルバイト)

調査数	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日	週7日	無回答
40 100.0	0 0.0	1 2.5	20 50.0	3 7.5	8 20.0	0 0.0	0 0.0	8 20.0

問9-4 1年以内での就労希望時間 (パート・アルバイト)

調査数	1日3時間	1日4時間	1日5時間	1日6時間	1日7時間	無回答
40 100.0	3 7.5	8 20.0	12 30.0	7 17.5	1 2.5	9 22.5

- 1年より先でパートタイム・アルバイト勤務を希望する人の就労希望日数(1週あたり)は、週3日(42.3%)が最も多く、就労希望時間は5時間(38.5%)が最も多くなっています。

問9-4 1年より先での就労希望日数 (パート・アルバイト)

調査数	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日	週7日	無回答
78 100.0	0 0.0	9 11.5	33 42.3	16 20.5	10 12.8	0 0.0	0 0.0	10 12.8

問9-4 1年より先での就労希望時間 (パート・アルバイト)

調査数	1日3時間	1日4時間	1日5時間	1日6時間	1日7時間	1日8時間	無回答
78 100.0	7 9.0	17 21.8	30 38.5	10 12.8	2 2.6	1 1.3	11 14.1

- 1年より先で就労を希望する人の就労希望開始時期については、フルタイム勤務の場合、子どもが10歳になってから(25.0%)が、パートタイム・アルバイト勤務の場合は13歳になってから(17.9%)が最も多くなっています。

問9-4 1年より先での就労希望時の子どもの年齢 (フルタイム)

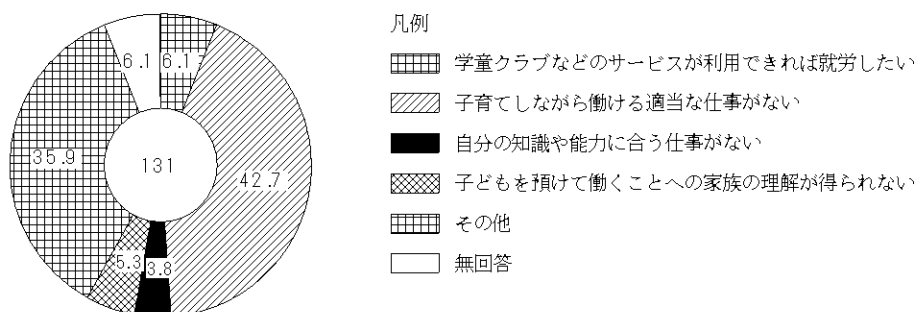
調査数	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	無回答
8 100.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	1 12.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5

問9-4 1年より先での就労希望時の子どもの年齢 (パート・アルバイト)

調査数	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	無回答
78 100.0	1 1.3	2 2.6	0 0.0	4 5.1	11 14.1	4 5.1	4 5.1	7 9.0	1 1.3	9 11.5	14 17.9	0 0.0	2 2.6	1 1.3	18 23.1

問 9-5. 現在働いていない理由 (○は1つ)

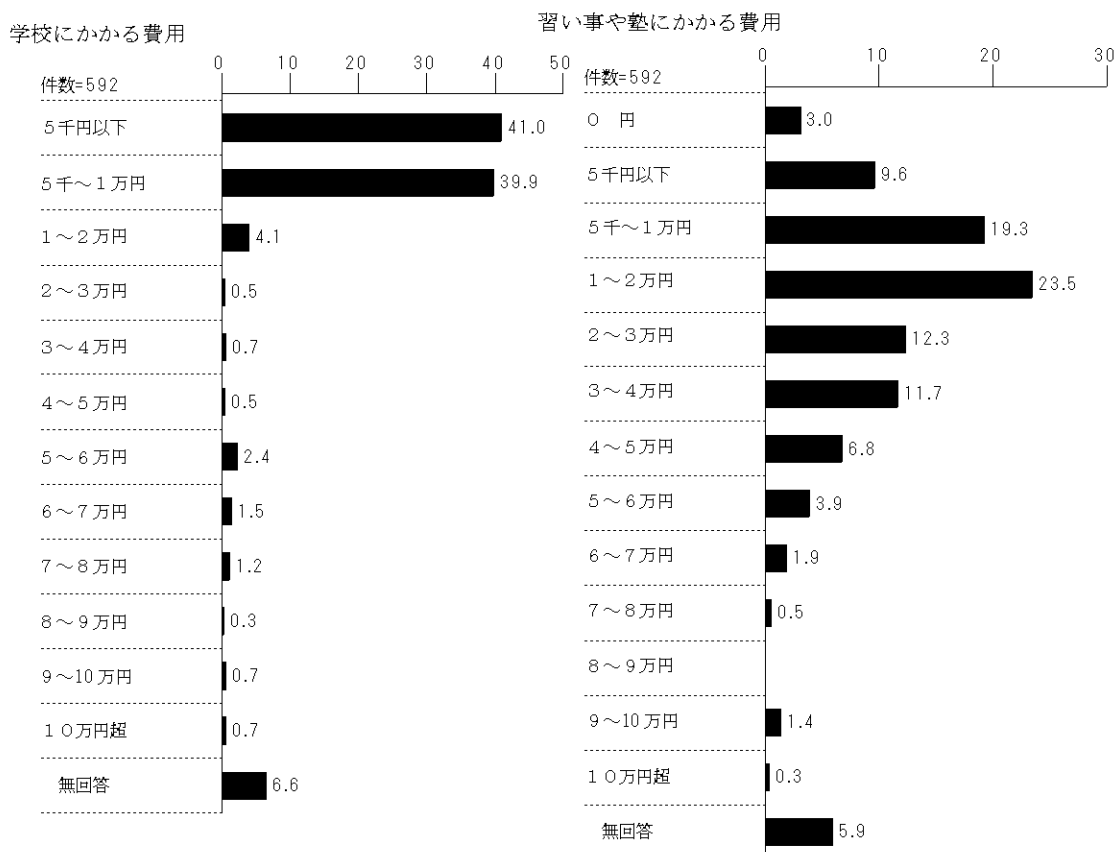
- 就労希望を持ちながら現在働いていない理由としては、子育てしながら働ける適当な仕事がない(42.7%)が最も多く、その他(35.9%)がこれに続いています。
- その他(47件)の内容を見ると、「子どもが小学生のうちには家にいて育児に専念したい」(9件)、「子ども達とまだたくさん触れ合いたい/小さいうちは仕事をしたくないなど」(6件)、「下の子どもがまだ小さいため」(4件)、「体調不良・病気のため」(4件)などとなっています。



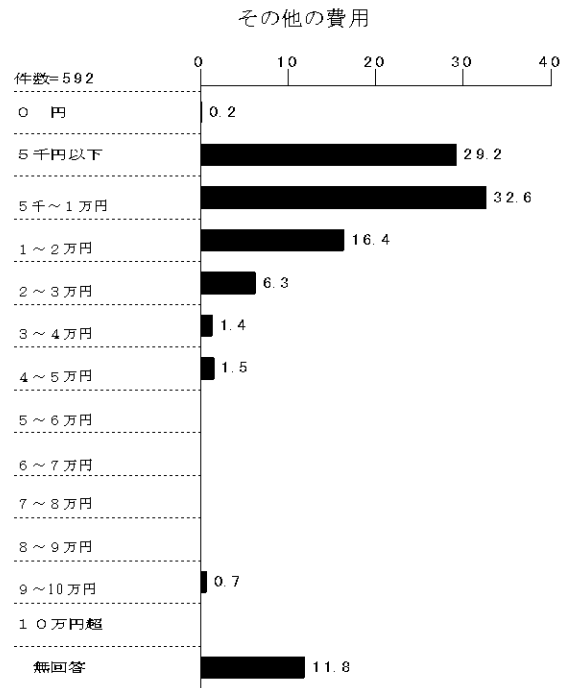
(3) 子育てに関する経済的負担について

問 10. 子育て(学校、習い事・塾、その他)にかかる1か月の費用

- 学校にかかる費用は、5千円以下(41.0%)と5千～1万円(39.9%)とが上位を占め、約8割が1万円以下となっています。
- 習い事や塾にかかる費用は、1～2万円の23.5%を中心に5千～1万円の19.3%、2～3万円の12.3%で半数以上を占めています。



●その他（医療、レジャー、被服費等）にかかる費用は、5千～1万円32.6%が最も多く、5千円未満の29.2%と合わせて1万円以下が6割強を占めています。



(4) お子さんのふだんの生活状況について

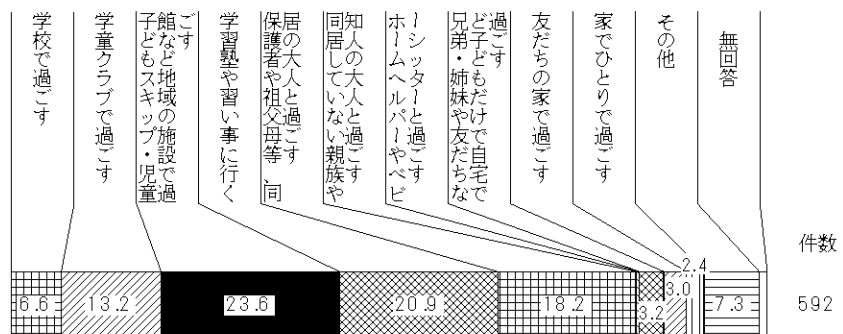
問11. 平日（月曜日～金曜日）の下校後の過ごし方

●下校後の過ごし方で多いパターンは、15時までは学校で過ごし、15時～17時は子どもスキップ・児童館など地域の施設で過ごす(23.6%)や学習塾や習い事に行く(20.9%)などで、17時～19時には学習塾や習い事に行く(32.6%)や同居の大人と過ごす(50.5%)というものです。19時以降には85.6%が家で過ごしています。

<13時～15時>

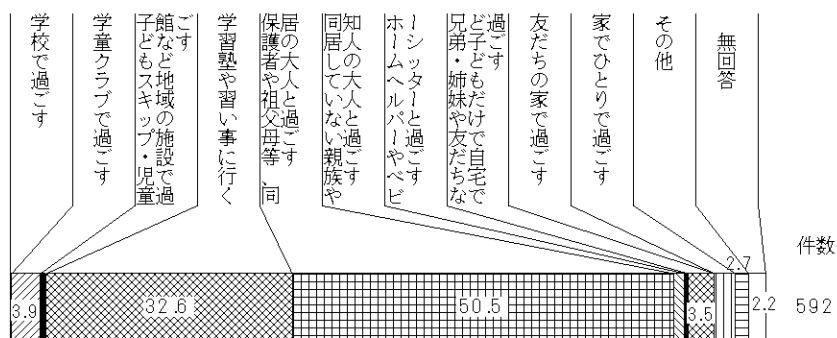


<15時～17時>

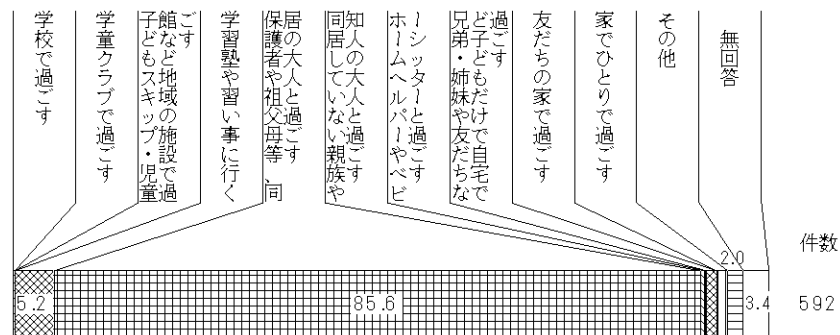




<17時～19時>



<19時以降>



◇【学年別 17時～19時の過ごし方集計】

	調査数	学校で過ごす	児童クラブで過ごす	子どもスキップ・児童館など地域の施設で過ごす	学習塾や習い事に行く	居の大人と過ごす	保護者や祖父母等、同居している親族や知人の大人と過ごす	ホームヘルパーやベビシッターと過ごす	兄弟・姉妹や友達など子どもだけで自宅ですごす	友だちの家で過ごす	家でひとりで過ごす	その他	無回答
調査数	592	1	23	4	193	299	9	2	21	0	16	11	13
	100.0	0.2	3.9	0.7	32.6	50.5	1.5	0.3	3.5	0.0	2.7	1.9	2.2
1年生	122	0	12	2	16	81	2	2	2	0	2	2	1
	100.0	0.0	9.8	1.6	13.1	66.4	1.6	1.6	1.6	0.0	1.6	1.6	0.8
2年生	99	1	8	0	18	58	1	0	5	0	1	4	3
	100.0	1.0	8.1	0.0	18.2	58.6	1.0	0.0	5.1	0.0	1.0	4.0	3.0
3年生	98	0	3	2	29	54	1	0	2	0	3	3	1
	100.0	0.0	3.1	2.0	29.6	55.1	1.0	0.0	2.0	0.0	3.1	3.1	1.0
4年生	99	0	0	0	39	48	1	0	4	0	5	1	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	39.4	48.5	1.0	0.0	4.0	0.0	5.1	1.0	1.0
5年生	91	0	0	0	41	36	2	0	3	0	4	1	4
	100.0	0.0	0.0	0.0	45.1	39.6	2.2	0.0	3.3	0.0	4.4	1.1	4.4
6年生	83	0	0	0	50	22	2	0	5	0	1	0	3
	100.0	0.0	0.0	0.0	60.2	26.5	2.4	0.0	6.0	0.0	1.2	0.0	3.6

●下校後の過ごし方で17時～19時を学年別で見ると、1年生から4年生までは同居の大人と過ごす最も多くなっていますが、5年生ならびに6年生では学習塾や習い事に行くが最も多くなり、6年生では60.2%と6割を超えています。

(5) 学童クラブの利用状況について

問 12. 学童クラブの利用状況 (○は1つ)

●学童クラブの利用は 16.6%となっており、学童クラブの対象学年である1年生から3年生までの利用率は 28.5%です。

◇【学年別集計】

	調査数	利用している	子ども利用が1年未満の3年生	子どもが4年未満の6年生	無回答
調査数	592	98	211	242	41
	100.0	16.6	35.6	40.9	6.9
1年生	122	48	67	0	7
	100.0	39.3	54.9	0.0	5.7
2年生	99	25	69	0	5
	100.0	25.3	69.7	0.0	5.1
3年生	98	18	75	0	5
	100.0	18.4	76.5	0.0	5.1
4年生	99	4	0	87	8
	100.0	4.0	0.0	87.9	8.1
5年生	91	2	0	85	4
	100.0	2.2	0.0	93.4	4.4
6年生	83	1	0	70	12
	100.0	1.2	0.0	84.3	14.5

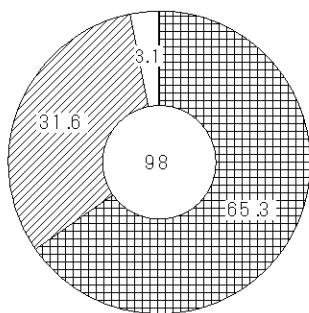
●学童クラブの利用状況を学年別に見ると、学童クラブの対象学年である1年生から3年生まででは、利用していないとする割合は3年生が最も高く、2年生、1年生と学年が下がるほど減少しています。

問 12-1. 学童クラブの利用時間と終了希望時間 (利用時間：○は1つ)

●学童クラブの利用時間については、65.3%が現状のままでよいとしています。

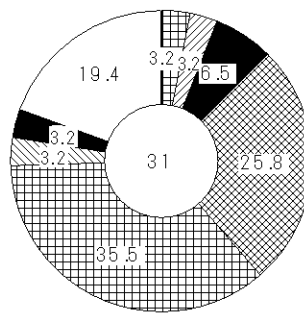
●希望の時間があると答えた人の平日の終了希望時間は、18 時台(25.8%)と 19 時台(35.5%)が多くなっています。

学童クラブの利用時間



凡例  
 現状のままでよい  
 希望の時間がある  
 無回答

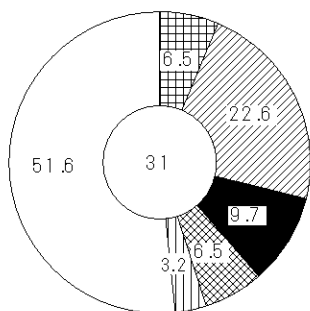
学童クラブの終了希望時間 (平日)



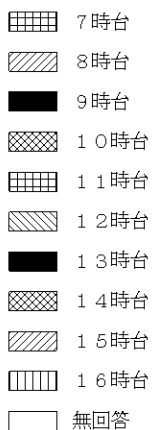
凡例  
 15時台  
 16時台  
 17時台  
 18時台  
 19時台  
 20時台  
 21時台  
 無回答

●土曜日の学童クラブに関しては、8時台(22.6%)に開始し、18時台(25.8%)に終了する希望が多くなっています。

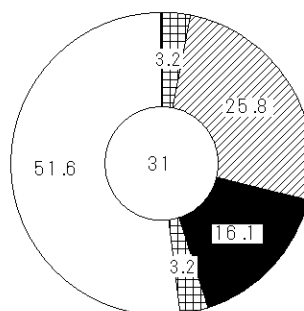
土曜日の開始希望時間



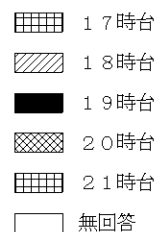
凡例



土曜日の終了希望時間

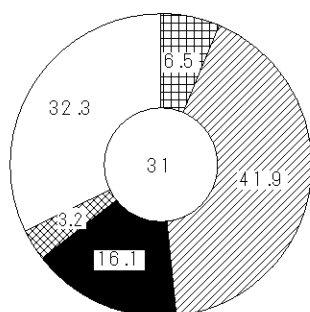


凡例

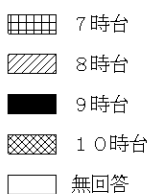


●土曜日と同様に、学校の休日における学童クラブについても、8時台(41.9%)に開始し、18時台(32.3%)に終了することを希望する割合が多くなっています。

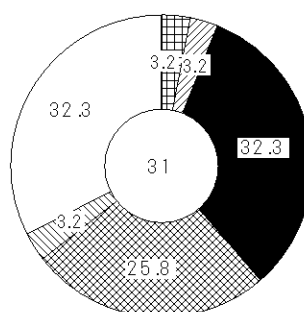
学校の休日における開始希望時間



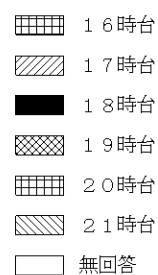
凡例



学校の休日における終了希望時間

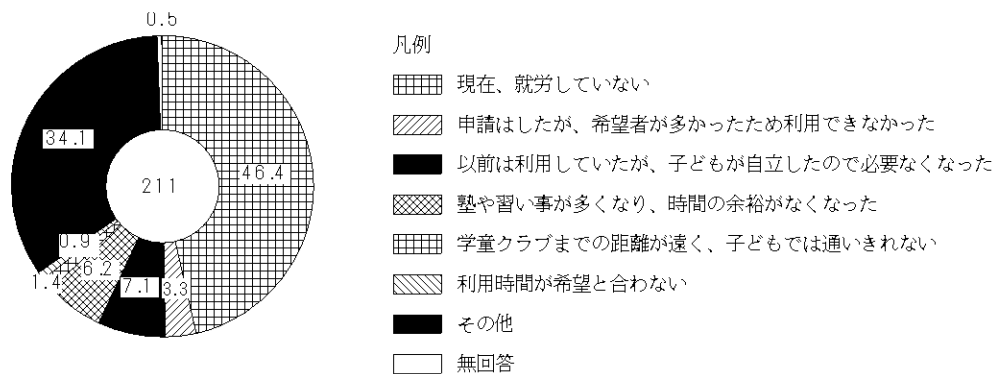


凡例



問 12-2. 学童クラブを利用していない理由 (○は1つ)

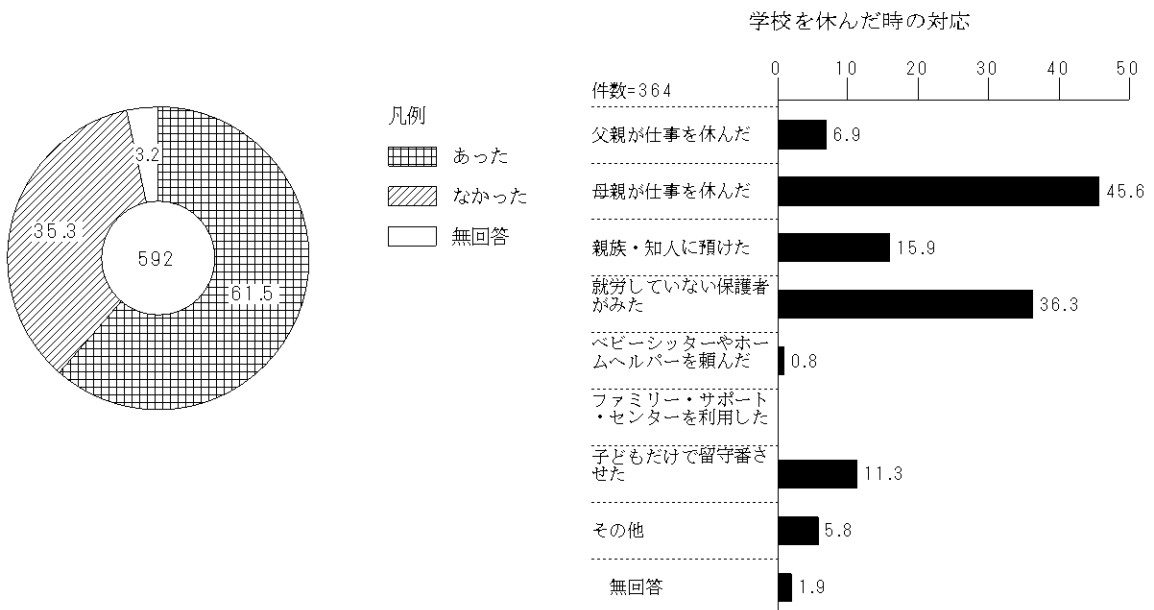
- 学童クラブを利用していない理由(子どもが1年～3年生)としては、就労していないが46.4%で最も多く、その他(34.1%)、自立したので必要ない(7.1%)、時間の余裕がなくなった(6.2%)、利用できなかった(3.3%)となっています。
- その他(72件)の内容を見ると、自宅に祖父母など誰か大人がいる(11件)、子どもの下校時には仕事から帰宅している(10件)、子どもが行きたがらない(5件)、子どもスキップを利用しているので、学童を利用する必要がない(4件)などとなっています。



(6) お子さんの病気の時の対応について

問 13. この1年間での子どもの病気やケガによる学校欠席の有無とその時の対応や対応ごとの日数 (学校を休んだ時の対応：○はいくつでも)

- 子どもが病気やケガで学校を休んだことは、6割強が経験しており、その対応は、母親が仕事を休んだ(45.6%)が最も多くなっています。



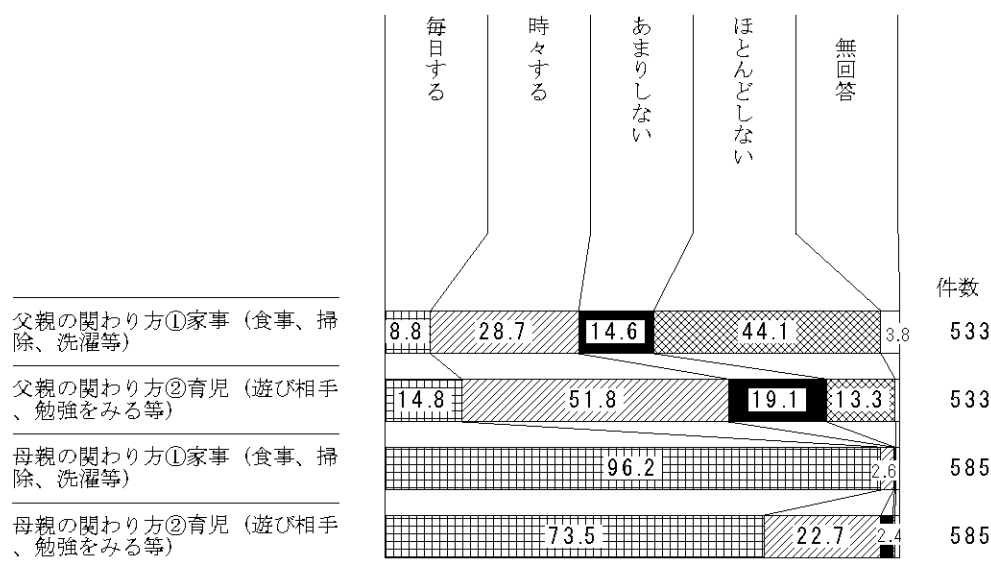
- 欠席時の日数はほとんどが1～2日程度であり、欠席日数が多くなると就労していない保護者や親族・知人が対応する比率が高くなっています。

	調査数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8～10日	11～20日	21～30日	無回答
父親が仕事を休んだ	25 100.0	11 44.0	6 24.0	3 12.0	1 4.0	1 4.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 12.0
母親が仕事を休んだ	166 100.0	68 41.0	42 25.3	19 11.4	5 3.0	4 2.4	1 0.6	1 0.6	3 1.8	0 0.0	0 0.0	23 13.9
親族・知人に預けた	58 100.0	17 29.3	18 31.0	10 17.2	0 0.0	3 5.2	1 1.7	0 0.0	3 5.2	0 0.0	0 0.0	6 10.3
就労していない保護者がみた	132 100.0	34 25.8	30 22.7	17 12.9	10 7.6	15 11.4	1 0.8	1 0.8	8 6.1	2 1.5	0 0.0	14 10.6
ベビーシッターやホームヘルパーを頼んだ	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3
ファミリー・サポート・センターを利用した	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
子どもだけで留守番させた	41 100.0	24 58.5	6 14.6	3 7.3	1 2.4	1 2.4	0 0.0	1 2.4	0 0.0	1 2.4	0 0.0	4 9.8
その他	21 100.0	4 19.0	2 9.5	3 14.3	0 0.0	3 14.3	1 4.8	2 9.5	1 4.8	0 0.0	1 4.8	4 19.0
合計	364 100.0	87 23.9	90 24.7	52 14.3	19 5.2	25 6.9	11 3.0	8 2.2	13 3.6	8 2.2	2 0.5	49 13.5

(7) ご家族の生活について

問14. 両親の家事や子育てへの関わり方 (○は1つ)

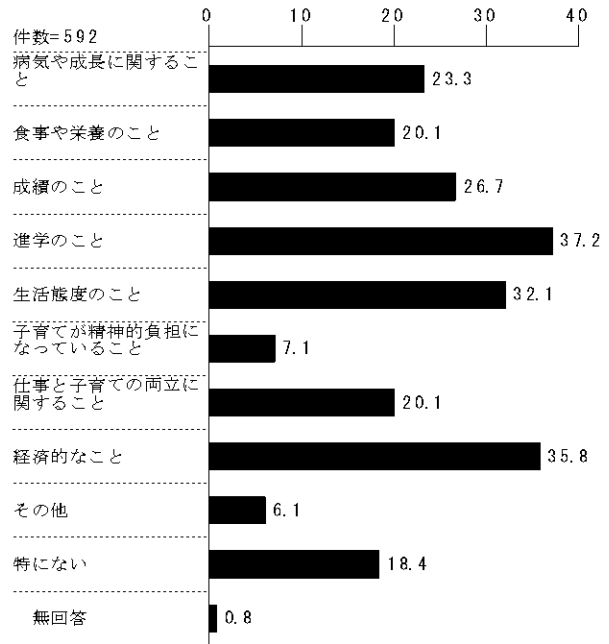
- 父親の家事や育児への関わり方については、家事はほとんどしないが44.1%を占め、育児では時々するが51.8%となっており、家事よりも育児への関わりの方が強い傾向を示しています。
- 母親は、家事については96.2%が毎日しており、育児については73.5%が毎日しているとなっています。



(8) 子育ての悩み等について

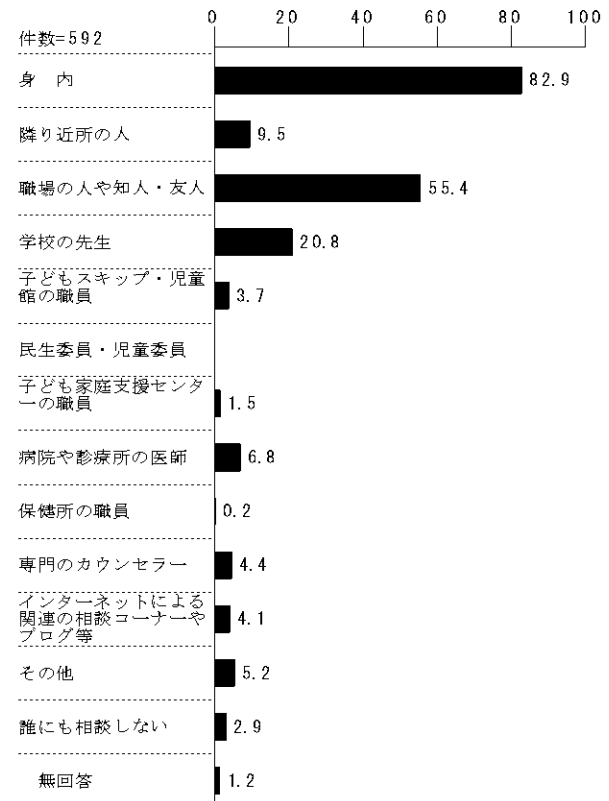
問15. 子育てに関する不安や悩みの状況 (〇はいくつでも)

●子育てに関する不安や悩みに関しては、進学のこと(37.2%)、経済的なこと(35.8%)、生活態度のこと(32.1%)などが上位となっています。



問16. 子育てに関する不安や悩みの相談相手 (〇はいくつでも)

●子育てに関する不安や悩みの相談相手としては、身内(82.9%)が最も多く、職場の人や知人・友人(55.4%)がこれに続いています。



問 17. 子育てに関する望ましい情報・相談の場（○はいくつでも）

●身近な地域で、子育てに関する望ましい情報・相談の場としての要望は、子どもに遊びやしつけを教えてくれる(45.6%)やその場で相談したり、情報を得ることができる(44.6%)が上位となっています。

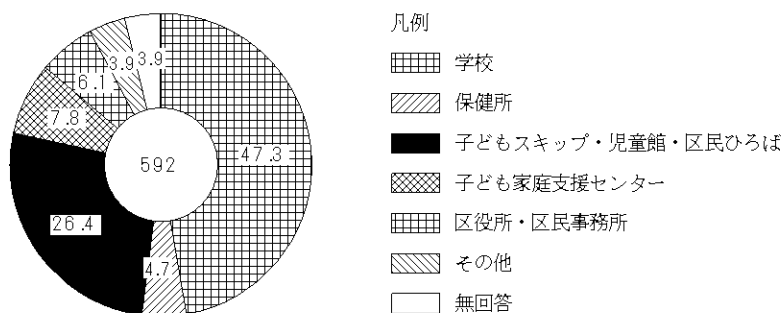
◇【学年別集計】

	調査数	母親や父親と交換できる	子どもに遊びを教えたり、しつけを教えることができる	その場で相談したり、情報を得ることができる	電話やインターネットで相談したり、情報を得ることができる	家庭訪問して、相談のつてくれる	夜間や日曜でも相談したり、情報を得ることができない	その他	無回答
調査数	592	173 29.2	270 45.6	264 44.6	170 28.7	41 6.9	109 18.4	20 3.4	29 4.9
1年生	122	37 30.3	64 52.5	63 51.6	36 29.5	10 8.2	29 23.8	8 6.6	4 3.3
2年生	99	34 34.3	51 51.5	44 44.4	25 25.3	8 8.1	16 16.2	3 3.0	2 2.0
3年生	98	31 31.6	53 54.1	42 42.9	27 27.6	6 6.1	16 16.3	3 3.1	3 3.1
4年生	99	26 26.3	42 42.4	43 43.4	30 30.3	5 5.1	19 19.2	2 2.0	6 6.1
5年生	91	20 22.0	33 36.3	37 40.7	29 31.9	7 7.7	17 18.7	2 2.2	7 7.7
6年生	83	25 30.1	27 32.5	35 42.2	23 27.7	5 6.0	12 14.5	2 2.4	7 8.4

●望ましい情報・相談の場としての要望を学年別に見ると、1年生から3年生の低学年では、子どもに遊びやしつけを教えてくれるが第1位となっており、4年生から6年生では、その場で相談したり情報を得ることが第1位となっています。

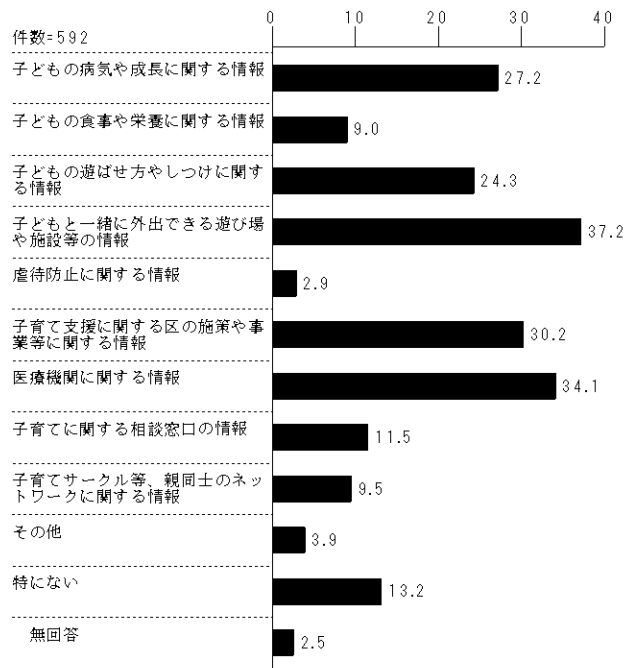
問 18. 子育てに関する情報・相談を受けられる場所（○は1つ）

●子育てに関する情報・相談を受けられる場所としては、学校(47.3%)が最も多く、子どもスキップ・児童館・区民ひろば(26.4%)などを望む声が多くなっています。



問19. 子育てに関する欲しい情報や不足している情報（○は3つまで）

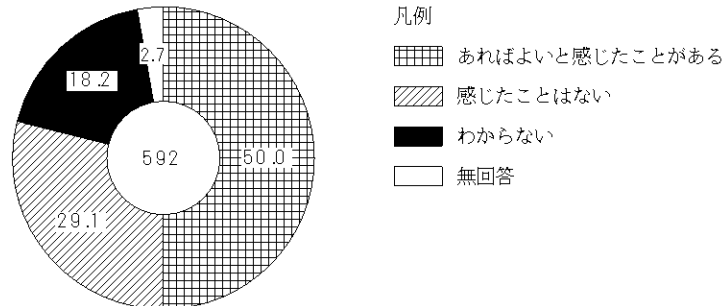
●子育てに関して欲しい情報・不足している情報は、遊び場や施設等の情報(37.2%)、医療機関に関する情報(34.1%)、子育て支援に関する区の施策や事業等に関する情報(30.2%)などが上位となっています。



(9) 地域での支援や地域活動について

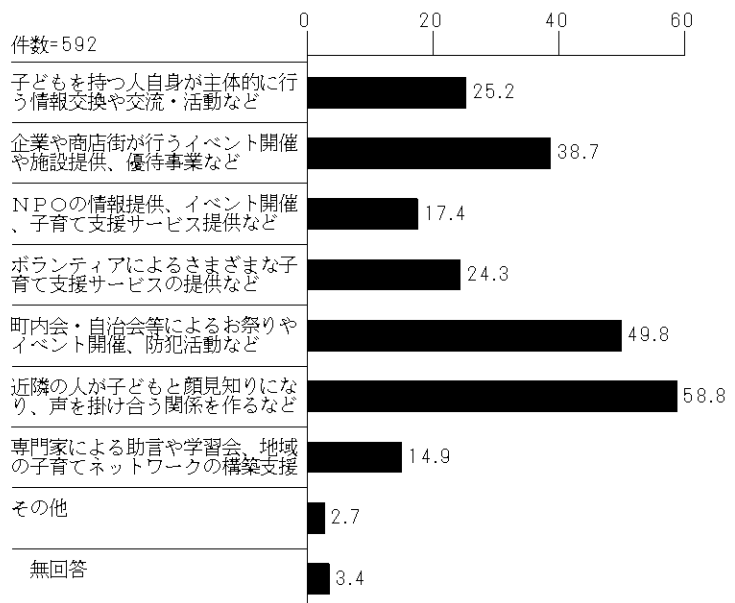
問20. 子育てをする上での地域からの支援（○は1つ）

●子育てに関する地域からの支援を半数(50.0%)が望んでいる一方、約3割(29.1%)が必要を感じていないと答えています。



問21. “地域の子育て力”の向上に有効な取り組み（○は3つまで）

●“地域の子育て力”を向上させるための取り組みとしては、近隣の人による声掛け等の関係づくり(58.8%)、町内会等のイベント開催など(49.8%)、企業・商店街によるイベント開催など(38.7%)が上位を占めています。





問 2 2. 地域の子育て支援活動への参加状況 (○は1つ)

●地域の子育て支援活動への参加に関しては、3割弱(28.4%)がすでに参加している／参加したことがあるとしており、45.4%が参加していないが将来参加したいと答えています。

◇【地域からの支援要望別集計】

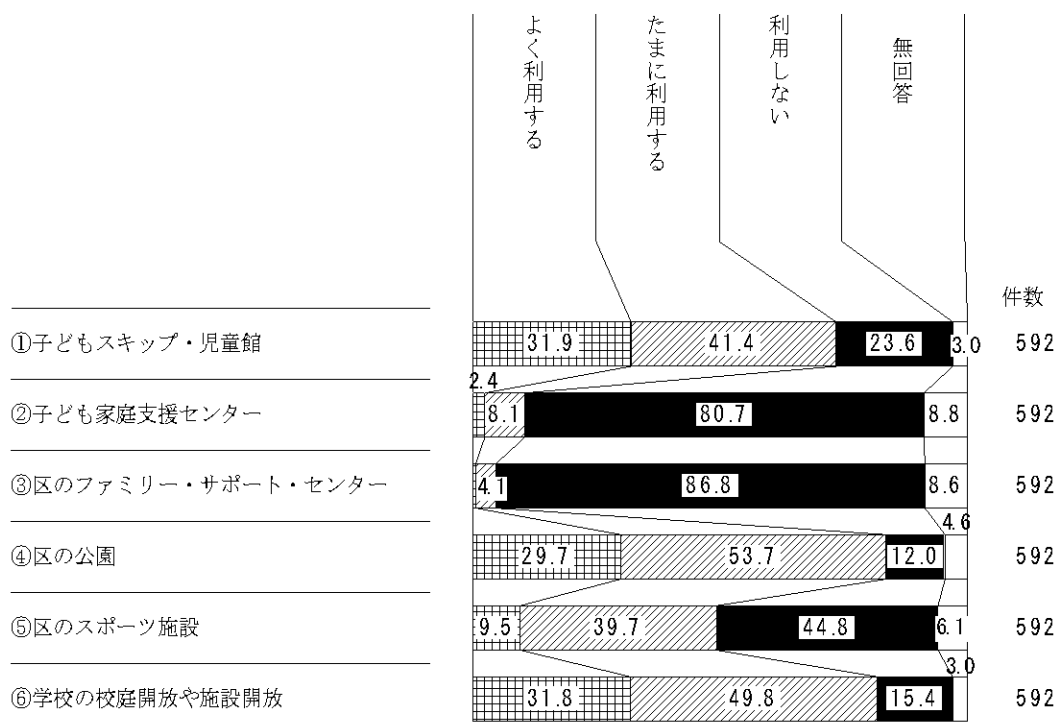
	調査数	参加すでに参加したことがある／	来、参加したいが、将来	わ来参 なも加 ない参 しい加 しい加 ういし は思将	無回答
調査数	592	168	269	138	17
	100.0	28.4	45.4	23.3	2.9
あればよいと感じたことがある	296	91	155	44	6
	100.0	30.7	52.4	14.9	2.0
感じたことはない	172	40	57	70	5
	100.0	23.3	33.1	40.7	2.9
わからない	108	30	53	21	4
	100.0	27.8	49.1	19.4	3.7
無回答	16	7	4	3	2
	100.0	43.8	25.0	18.8	12.5

●地域の子育て支援活動の参加状況を、地域からの支援要望の有無別に見ると、地域からの支援があればよいと感じたことがある人が、地域活動への参加意向が強い傾向にあることがわかります。

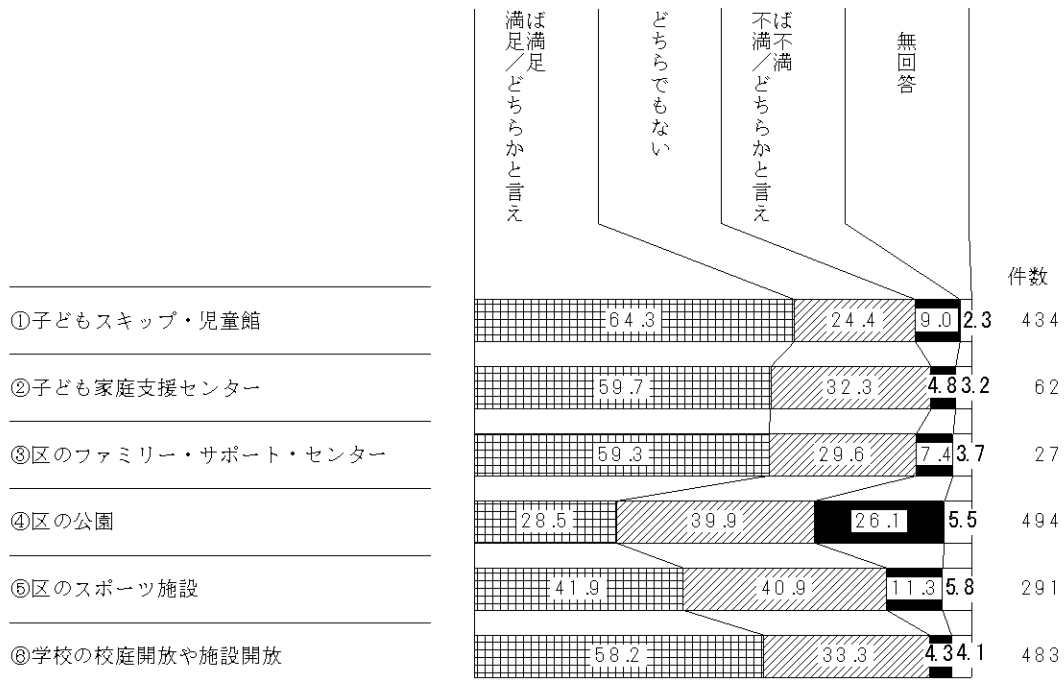
(10) 区の施設利用や子育て施策について

問 2 3. 区の施設やサービスの利用状況と満足度 (○は1つ)

●区の施設やサービスの利用状況については、子どもスキップ・児童館 (31.9%)、学校の校庭開放や施設開放(31.8%)、区の公園(29.7%)がよく利用されています。

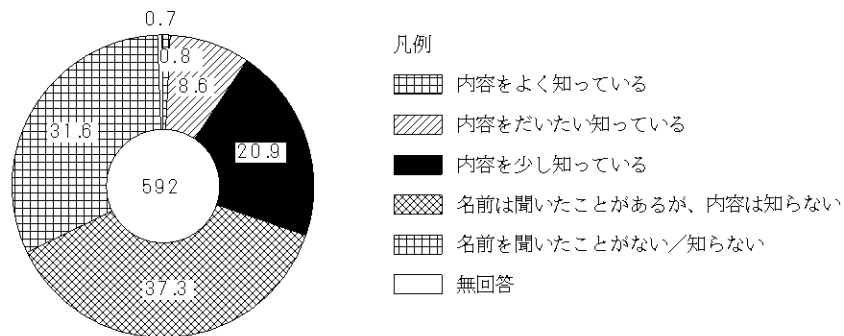


●区の施設やサービスを利用した方に対し、利用満足度を聞いたところ、公園が28.5%とやや低いものの、いずれの施設も40~60%が満足としています。



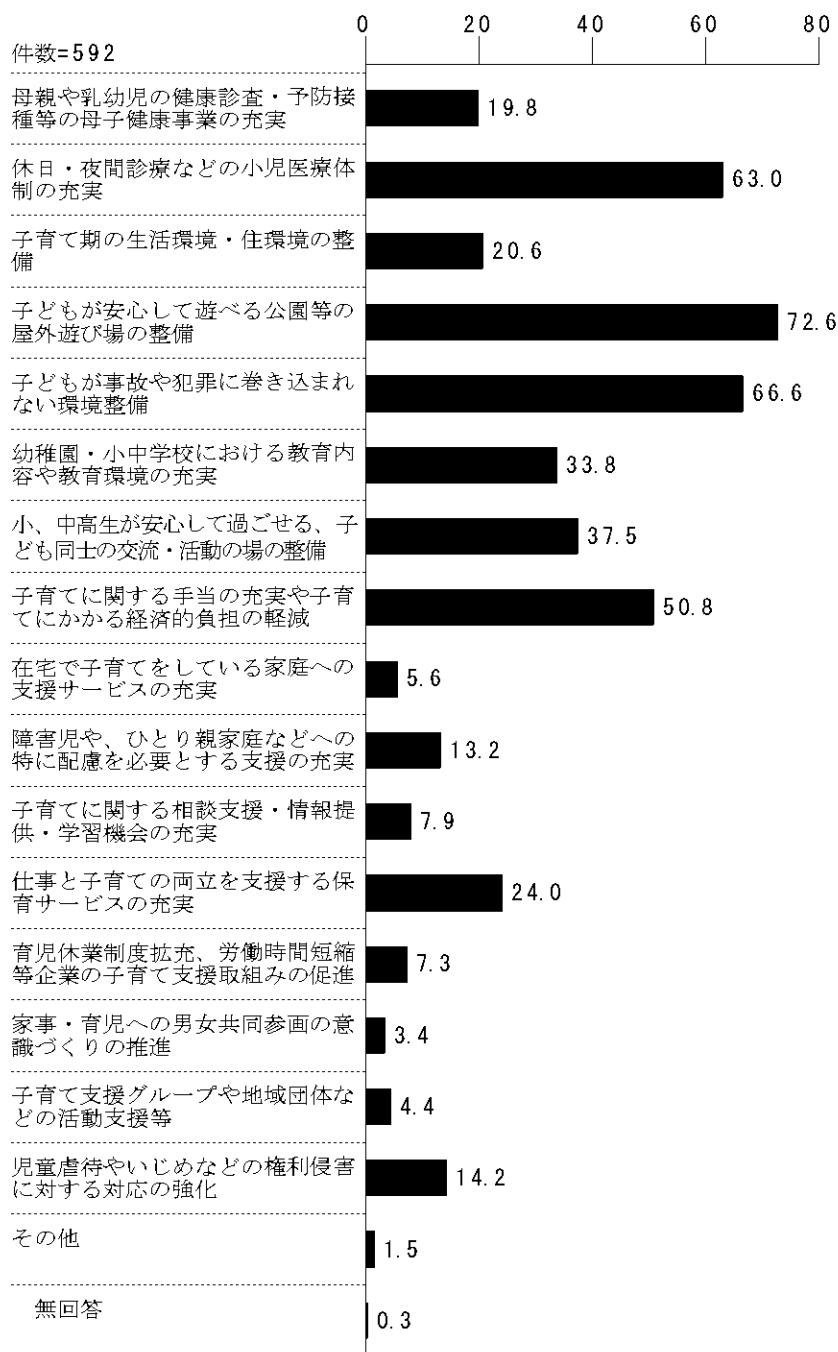
問24. 「子どもの権利に関する条例」の認知状況 (○は1つ)

●「子どもの権利に関する条例」は、名前を聞いたことがあるが内容は知らない(37.3%)が最も多く、名前を聞いたことがない/知らない(31.6%)、内容を少し知っている(20.9%)と続いています。



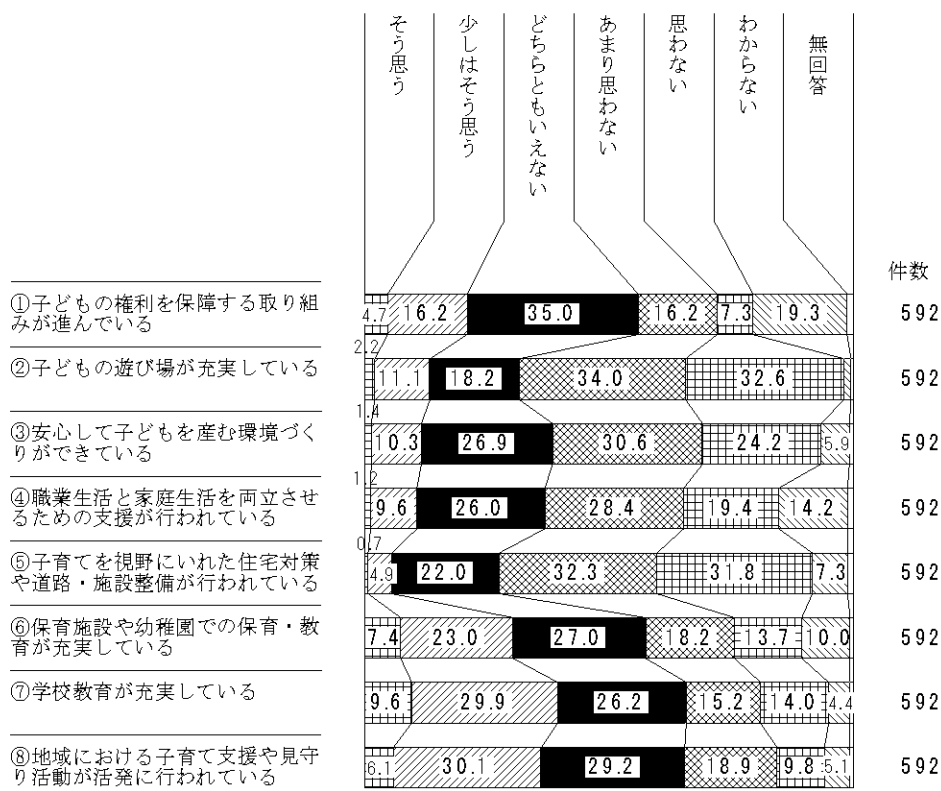
問25. 子育て支援に関する施策や事業への要望（〇は5つまで）

●子育て支援に関する施策や事業に対する要望としては、屋外遊び場の整備(72.6%)、事故や犯罪に巻き込まれない環境整備(66.6%)、小児医療体制の充実(63.0%)、手当の充実や経済的負担の軽減(50.8%)などが高い割合となっています。



問26. 豊島区の中での「子どもが育ち、子どもを育てていく環境」に対する評価（○は1つ）

●子どもが育ち、育てていく環境としての豊島区の評価（そう思う、少しはそう思う）は、学校教育の充実(39.5%)、地域の子育て支援や見守り活動(36.2%)、保育施設・幼稚園の充実(30.4%)が上位3位までとなっており、住宅対策や道路・施設整備(5.6%)や職業生活と家庭生活を両立させるための支援(10.8%)が低くなっています。



## 問27. 豊島区の子育て支援への意見（自由回答）

【記入者：228人】

### 1) 施設整備

- 学童やスキップの延長的なもので区民館などで「友達の家」のような感じで遊べる（集まって遊べる）所があると安心して外へ1人で出せると感じています。友達の家に行くのも重要な遊びの1つと思いますが、両方の家が気兼ねなく子ども同士を制限も少なく遊ばせられるとより良いと思います。（簡単なことではないと思いますが。）母子家庭ではゆうずうがきき易いことでも、父子家庭ではダメだったり難しい事もあるのではと思います。
  - 子どもが走り回ったり、自転車に乗って遊んだり出来る広い公園が一つもありません。（草や木のある公園が無い。）草や木がある広い公園があったら良いと思います。  
雨の日に遊べる場所（例、こどもの城など）を作って欲しいです。  
夏に水遊び・川遊びが出来る所もあったら良いと思います。
  - 家族や子どもたちが、のびのび遊べる広くて機能的な総合公園を整備して欲しい。（光が丘公園や教育の森のような公園。）
  - 近年子どもの遊び場がなくなりつつあると思います。児童館がなくなり、また公園もなくなり悲しいです。あと、廃校になった学校の使い方がいまいちで、もったいないです。もっとみんなが使いやすい様にリフォームなりで総合的なスポーツ施設がもう少しあってもいいように思います。他の区はもう少し充実しました。（最近渋谷区西原にあるセンターに行きました。）←民間のレストランも安い金額のメニューがあったりで良かったです。安くプールなども使えていいと思いました。
  - 保育園の先生方、学童クラブ、スキップでは、とてもお世話になり、仕事が出来のもそのおかげだと感謝しています。一方、都会であるせいで、仕方ないのかもしれませんが、子どもののびのびと遊べる公園は少なく、あっても小さいです。校庭開放は利用していますが、野球をのびのびとする場所ではないです。体育館で子どもとバドミントンをしたいのですが、決まった日しか出来ないとのこと。もっと自由にバドミントンを親子で出来ると嬉しいのですが…。
  - 子どもと出かける時に道が狭かったり、歩道が少なく怖い思いをよくします。安心して歩ける道を作って欲しいです。特に仰高小学校の前の道路は飛ばす車も多いです。東京スイミングセンターの生徒さんも多く歩いています。クランクを作ったり、歩道を確保して欲しいです。車を一方通行にするとか…。緑がいっぱいあり、自然を感じ、みんなが思い切り遊べる公園や球技専用広場も併設して欲しいです。小さい子の近くにボールが飛んでくるともあり、同じスペースで遊ぶのは危険です。公園は学校や交番の近くに作って欲しい、何かあったときにすぐにかきこめるので…。よろしく願います。様々な施設に駐輪場も必ず作って下さい。子育てママたちは自転車
- 車で移動するので、せっかくだと行ったのに駐輪場がなく、悲しい思いをすることもよくある事です。（数が足りない！）
- 毎日の生活の中で、遊びの時間がとても重要だと考えていますが、体を使った遊びをさせたいと思っても場所がなく（校庭開放も使えるボール等の制限がある）、仕方なくゲーム等で遊んでしまっています。何とか土地の有効利用（建物を建てるばかりでなく）、子ども達に体を動かせる場を提供して下さい。
  - 現在子育てをしている母親である私が、就労しておりませんので、働いていらっしゃる方の苦勞されている点について、あまりわからないのが実際の所です。ただ、常日頃感じている事は、子ども達は安心して遊べる公園がないことと、歩道の不備です。公園は小さくて、汚れているし、遊具も少ないと思います。行くと大人達の喫煙所代わりになっていたり、犬達の遊び場になっていることもあります。この点だけは是非改善して頂かないと、特に乳幼児をお持ちの方は公園を利用することが出来なくなります。又、歩道と自転車を分けて線引きされておりますが、全く効果は上がっておりません。自転車道を自転車で走ろうとしても、大半が駐輪車でふさがって思うように走れません。歩行者用道路を子どもと歩いても、携帯を私用しながら自転車に乗る人もいますし、平気で速いスピードで走りぬげる人もいて、冷や汗をかいたことが何回もあります。思いついた事を書き並べてしまいましたが、宜しく願ひ致します。
  - 豊島区は他の区と比べても、グラウンドが少ない等、子ども達が安心して遊んだり、スポーツをしたり活動できる場が少ない様に思います。廃校になった学校や、場所の確保を区でして頂き、子ども達に提供して頂けたらと切に願ひします。
  - 小学生高学年～中・高校生が利用し易い「場」の提供を希望します。
  - 子どもの遊び場の公園なども少なく、狭く、老朽化しているので、子どもが小さい時は他区の公園に行ったものです。子ども支援センターが出来てからはよく利用させて頂きました。立地の不便な場所を通うのに大変でしたが、もっとこのような施設が増える事を希望します。子どもを育てる環境を整備して頂きたいと思います。
  - 児童館機能が駅周辺から排除された事については、とても納得が行きません。スキップについても、その学校に通う子どもしか実質的には通えない状況なので、駅を利用する子どもの安全や立ち寄り場所の確保が現在は完全に空洞化しています。（駅中に子ども支援センターや子どもの専用ルームを作ったらいいと思います。母子休憩所とかニーズは高いはず。）
  - 歩行者や自転車が安心して通れる歩道を整備して欲しい。公園（もっと広くて、自然が多い）があったら

いい。ボール遊びを許可される公園も少なくなくて困る。

- 私の子どもが通っていた保育園は午後8時まで保育のある園でした。しかし、小学校へ入学すると1～3年生の学童で6時まで、それからの時間をケアしてくれる人が見つからなければ、1人で家で過ごさなくてはならない子がいます。(たまたま、我が家は5時頃まででしたが)その様な親の働いている子ども達が居られる施設が必要なのではないかと思えます。
- 池袋駅前辺りはベビーカーで通りにくいです。西口辺りが特に。雨の日の休日(土・日)、小学生が遊べる所がなさ過ぎます。デパートで過ごすのではなく、体を動かせる施設があるとありがたいです。閉校になった千川小や平和小の空き教室に、アスレチックのような物は作れないでしょうか。それだけでなく太り気味の小学生が多いのが大変気になります。身体を鍛える機会を増やして欲しいです。

## 2) 施設運営や運営内容、仕組みなど

- ハード面よりソフト面にもっとお金をかけて欲しい。絵に描いた理想の施策ではなく、現実に沿って低いレベルを少しでも上げるような方向を望んでいる。何をしてもやはり人材・人件費にお金をかけない様では内容は充実しないと思う。ボランティアだけでは限界があり、専門教育を受けた人の継続した雇用を基にした子育て支援を望んでいる。(学童クラブ・子どもスキップの内容充実。)
- スキップ(学童クラブ)を利用しているが、3年生で終わりなので、4年生以降の過ごし方を不安に思う。児童館ならばそれ以降もより利用できるが、スキップは利用しにくい。色々な事件がある中で、安全に遊ぶ場所や過ごす場所がないのはとても不安になる。学童クラブが終わった後でも安全に安心して過ごせる施設を是非考えてもらいたい。
- 学童・子どもスキップはすごく良いと思います。でももう少し小学校が協力してくれると良いと思います。豊島区は保育園の数も多い方なのかと思いますが、民営化は反対です。せっかく良い先生方がいるのに、そんな事では子どもは増えません。公園が少なすぎます。少し広い所があると中学生がキャッチボール・サッカーをしていて遊ばせん。でも彼らの居場所もないのです。プレーパークはすごく良いのですが、なくなってしまうのですか？小学生以下も遊ばせたいです。
- 学童クラブが18:00までなので、仕事で何かあると迎えに遅れる事があります。時間を拡大して頂きたいと思います。
- 母親がパートタイムの勤務の場合、勤務時間が短いため学童クラブにも入れず、スキップ利用も夏休みなどの長い休みだと10時からなので、9時前からの利用も検討して頂きたいです。
- 児童館で汚い言葉を使ったり、意味もなく人をたたき子が居る。児童館の先生を学童の時間だけでも増やしてもらい、真剣に指導してもらいたい。
- 就学前は保育園で大変お世話になりました。保育園は時間的に朝早くから遅くまで見てくれて、大変

助かりました。学童クラブでも職員の方々が一生懸命見てくださり、ありがたいのですが、時間が短くなります。特に小1の1年間は大事だと思われれます。是非職員を増やしたり、朝だけ、夕方だけの方(保育園にはそういう方もいらっしゃいました)を増やしたりして子ども1人で過ごさなくてすむ時間帯を少なくして頂きたいです。よろしくお願ひします。

- 物騒な世の中なので、学童クラブを小学校修了まで拡大して欲しい。区立の学校に通っていないくても、区の子どもの向けのイベントなどの情報が入るようにして欲しい。
- 子どもスキップに子どもが良く行くのですが、高学年の子も一緒になって遊んだり、興味を持つプログラムがあってもいいと思う。子どもには不特定の人があるから公園には行かないように言っている。昔(私が子どもの頃)は、公園に管理の方が来ていて、子ども達を見守ってくれていたのですが、今はないので心配です。学校や保護者の人だけでなく地域の人も一緒になって取り組めるような企画があればもっと良いと思う。
- スキップとなり、子どもが安心して遊べる場所が出来たのはありがたいですが、開所時間も旧児童館に比べ短く、また場所も室内は狭くなりましたし(低、高学年に対しては特に)、集団遊びに取り組んで頂けなくなり、ゲームなど遊びの質が低下していています。
- 以前まで学童でしたが、スキップ内の学童になり誰でも入れるようになりましたが、体制が変わったからか、難しくなりました。保護者の繋がりや、と保護者の会をしていたら、学童では一切そういう会の案内を配布して下さらず、立ち消えとなってしまいました。とても残念な気がします。
- 児童館が子どもを広々と遊ばせ、親同士の情報交換の場所でした。区民ひろばになり、肩身が狭く、小学生でも遊びに行ける雰囲気の良い場所が欲しいです。学童やスキップでは保護者がいることが出来ません。区民ひろばの使用方法がもっとわかりやすいと良いです。
- 豊島区のファミリーセンターは時々使いますが、子どもが3人いるのでベビーシッターをお願いしようと思ったのですが、2人までしか利用できないという事で、困ったことがあります。子どもが多いほど支援して頂きたいと思います。
- 土日の学校教室を利用して、子ども達の補習授業を行なって欲しい。
- 保育園は延長保育や夜間保育のおかげでフルタイムで働く事が出来たが、小学校入学でフルタイム労働をあきらめた人や放課後事業が進んでいる区外に転出せざるを得ない人が居た。放課後保育(夜間学童)が必要だと思います。また、保育園時代は病気の時、練馬区の病時保育を利用しました。病院併設の「プリムラ」という所で、伝染病の時も預ける事が出来、非常に助かった。反面、片道バス・電車を乗り継ぎ1時間位かかったので、体力負担にもなっていました。この施設が豊島区にあれば・・・と切に思いました。豊島区の制度は病後児保育＝ふだんの保育園で同等の事をして頂けたので、うちにとっては無意味でした・・・。

- 「親は無くても子は育つ」と言う様に、子ども達だけで安心して遊べる環境や仕掛けを作って欲しい。夏休みに区主催の3泊4日のキャンプ教室をやって欲しい。ボーイスカウトと連携してはどうか。親自身の教育がなっていないので、そちらも重視すべきだ。
- 年に2・3回、青年〇〇という活動を行っているようですが、夏のキャンプに参加しましたが、冬は定員が一杯で入れませんでした。もっと枠を多く取ってもらいたいし、回数も増やして欲しい。公園を活用し、イベントを開催して欲しい。
- もう少し、文化の教えや勉強内容、スポーツ運動行事を充実して欲しい。地域のサポートを充実して欲しい。お年寄りと子どもがもっと触れ合う行事、場を作って欲しい。
- 区の図書館や体育館での子ども向けのイベントが減っている様に感じます。特に体育館のプールは、子どもが自由に泳げる環境でなくなっていると思います。
- 図書館のまわりを明るくしたり、交流の場にして頂けると嬉しいです。学校の図書館の充実をお願いします。
- 子どもは未来の宝です。65歳以上(リタイヤした方)の方々の力をもっと借りて、小学校生活のサポートをして頂くとか、一学年3クラス以上にして頂き、沢山の子ども達と交わる環境を作って欲しい。一クラスは20人がマックスです。学校の先生の負担は様々な子どもが居る中であまりにも過酷です。もしそれが難しいようでしたら、補助の方をお願いしたいです。
- 乳幼児を持つ親のサークル等はよくあるが、小学校高学年になると親同士の場合が少ないので、相談が出来ない。学習塾や学校、進路、区内の中学校、隣接校等の話を聞いてみたいと思う事があるので、小・中学生の親のサークルがあればいいと思う。
- 障害児への支給が不十分。特別支援クラスの中には、障害の重い子ども～軽い子どもまで幅があり、その子ども達を1クラスにまとめて授業するには無理があるように感じる。子どもの状態をみながら、普通クラスとの交流授業が増えるよう、人員を増やし、障害児と健常児との距離を縮めて欲しい。通級が定員オーバーしている状況を解消する為に、教員やクラスを増やして欲しい。
- 小3、小6の姉妹がいます。豊島区に在住しているのに他区外に通学すると全く地元の情報が入りません。
- 小学校・中学校になると友達など塾へ行く様になり、その子達は学校の勉強の内容を把握しているので、先生もその子達を中心に授業をしていると思います。自然と自分の子ども達も塾へは行かせるのですが、経済的負担が大きいです。3人の子どもがいますが、3人で7万円位かかります。難しいと思いますが、夏休み等または放課後補習があればいつも思います。
- 仕事と育児の両立は、大変難しいものがあります。企業側の理解も思っている以上にならない様に思われます。豊島区が働く女性に対して支援している事を企業の代表者に対して、パンフレットを作成するなどして、アピールして頂きたいです。
- 子どもが元気で毎日平穩に過ごしている時は何か起こった時の対処についてふだんから考えていません。急病や事故にあって初めてオロオロすると思います。豊島区だよりに載ってますよ、とよく言われますが、保存版があると助かります。例えば、1年を通しての行事や予防接種の事や、病院リスト、TELなど。区の体育館で行なわれている行事も。
- 「子育て」と言うと、赤ちゃんや幼稚園児をお持ちの方と、小学校低学年、そして高学年と3段階に分けた場合、支援して頂きたい内容は全く異なると思います。その中でやはり一番支援が必要なのは赤ちゃんがいらっしゃる方で、そういう方が孤立しないように、専門の方が定期的に連絡を取ったり出来ると良いのではないかと思います。「地域で」と言うのはとても難しいことなので、やはり「専門」が大切だと思います。
- 保育園は施設数もあり、保育内容・時間・保育の質ともに満足のいくものでした。特に、保育内容はベテラン保育士を中心に、カリキュラムや行事が充実して、とても有意義なものでしたが、担任が期の途中で他園へ異動することが頻繁にあり、親子共々不安や戸惑いがありましたのが残念です。
- 未来に希望が持てるような子育てに関することが充実して欲しい。
  - 区の利用施設代が他区より高い。
  - 保育園の先生や手のかかるところに大人の配置が少ない。(目が届いていない)
  - 区の施設のどこでも相談出来る。
  - 土・日・祝など利用がしたい。
- 保育園・児童館等の施設のほか、具体的に子育て支援とは何をしているのかわからない。しているならもっと広報した方が良いのではないのでしょうか。
- 男の人が育児を助けるという思想を教育に取り込んで欲しい。1人っ子重視の広報でのいろいろなイベントはやめて欲しい。兄弟がいることを前提でいろいろな支援をして欲しい。ひと昔前までは、兄妹がいる世帯の方が多かったのだから。
- 出産助成金の充実、妊婦健診の無料化、突然の病気でも預かってもらえる施設等、子育てを安心して出来るような環境づくりをお願いします。
- 文化、芸術の分野での充実が、まだまだの感があります。特に舞台芸術への関わりや鑑賞など、本物を子どもたちにふれさせる機会が多くあればと望みます。
- 情操教育の支援や職業観をつけさせる支援など、大きな視点の中で、子育ての支援を考えていただきたいと思えます。宜しく願い申し上げます。

### 3)医療など

- 信頼できる医療機関の情報が欲しい。
- 土日もやっている小児科が増えてくれたらいいと思う。
- 少子化でたいした金額ではないと思うので、公立小学校の給食費は国が全額負担してもいいと思う。
- 医療費を高校卒まで無料にして頂けると大変助かります。子育てに関する補助金等の所得制限をなくして下

さい。ある程度の所得がある家庭でも実際かかる負担や心労・苦労は一般家庭と同じなものですから。

- インフルエンザの予防接種の補助をお願いしたいです。
- おたふくにかからないための防止としての予防接種を無料で受けられるようにして欲しいです。(インフルエンザ等も)
- 以前いた区では、夜間や休日で医院が医師会が管理の下、当番制でどこかしらが診療をしてくれたのでよかったのですが、大病院に行くしかないのが残念です。

#### 4) 安全・安心

- 近頃あまりよくない話題が続き、子どもの行き帰りの時間帯がとても心配で(巣鴨から駒込小まで墓地を通るので)、毎日送り迎えをしています。卒業後も駒込中へ進むことになり、お墓を通らずに巣鴨から遠回りさせて通学させようか考えています。(時折、仰高小のPTAの方や駒込小のPTAの方がパトロールして下さっていますが、毎日ではありません。)お墓だけでなく、人の目があまり届かない所のパトロールをボランティアの方か地域の方で何とかして下されば安心なのですが…。子ども達が安心して過ごせる地域になって欲しいと思っています。
- 小学校の通学路ですが、学校のすぐ近くの横断歩道にはシルバー人材の方がいて下さるのですが、学校から少し離れたところにはいません。以前住んでいた北区では小さな道でもシルバーの方がいて、登下校が安心な感じでした。豊島区は隣接校が選択できるので大きな道路を渡って通学する子どもが多いと思いますので、学校から多少離れていても大きな道路や事故の多い道路には登下校時にどなたか見て下さると安心です。
- 公園が危ない…変な人がいたという話をよく聞くので、子どもを遊ばせていない。警察のパトロール強化をお願いしたい。又は昔のように「公園のおばさん」的な人を(男性含め)常時置いて欲しい。そういう人との交流で、若いお母さんたちは知恵をもらったり、子育てのヒントを得たりする機会にもつながるのでは？
- 地域パトロールをして頂いているのにも関わらず、危ない目にあったりしています。(声をかけられたり、追いかけられたり)子どもが下校するまで本当に心配で仕方ありません。もっと地域で協力し合って子どもたちを見守るしかないかと思ひます…本当にこわい世の中だと思ひます。
- 子どもが安心して遊べる環境は現在屋内しかない状況です。犯罪も多く、子どもがのびのびと遊ぶのは、学校の休み時間位ではないでしょうか？防犯は家庭だけでなく、道の暗い場所や危ない場所があればそれを変えて行けるのは区の役目ではないでしょうか？いつでも(夕方の暗い時でも)安心して子どもたちが生活出来る様に環境を変えていくのも私達大人のやらねばいけない事と思ひます。
- 車どおりの割に、信号のない場所が多く、本当に通学に心配が付きません。具体的には2ヶ所危ない箇所があり、悩んでいます。
- 子育て支援というよりも、我家は副都心線の近くで

す。今、池袋までの道路が作られています。これから先、またさらに車が増える事になります。子ども達はもちろん、住民の人の安全はしっかりして欲しいと思います。又、最近「裏道」として細い道路に車がたくさん走っています。子どもは友達と自転車で出かけると全く注意しないで走り回ります。裏道とか「絶対気を付けて」と言いますが、その辺の安全対策もお願いしたいです。

- 池袋地区は、特に駅近辺は非常に猥雑で治安も悪く、子育てには最悪です。住民の住環境や治安の整備も併せてお考え頂きたい。風俗店や飲食店の規制やゴミのマナーなど、子育て以前に子どもの精神衛生上大問題です。(子どもは道が汚くて臭いので、朝学校への通学路を通りたくないそうです。)
- 日中、自由に学校の出入りができて便利でいいのですが、万が一、犯罪などの事故があった場合を考えると不安に思っています。やはり鍵をかけたなら良いのでは、と思うのですが。
- 子育て支援に関する事柄と違うかもしれませんが、子ども達が習い事や遊びから帰宅する道が暗いです。もう少し街灯等あり、明るくなればと思います。
- とにかく子どもが安心して遊べる場所が少ない。公園も恐くて子どもだけで遊ばせられない。施設の整備やパトロール強化をお願いしたい。通学路のどの道もどこかしらが危ない。
- 子ども達の安全・健康のため、歩きタバコ・街での「タバコを吸って良いエリア」=スモキングステーションについて、もっと力を入れて欲しいです。

#### 5) 学校・教育など

- 区立学校の図書を増やして頂きたい。英語の授業を増やして頂きたい。
- 明るく、元気な教師の育成を強化して下さい。先生の人柄、授業で子どもに大きな影響があり、家で明るく過ごせるかが決まります。先生たちをもっと元気に！もちろん家庭も明るくする事が必要です。学校も家も明るく！お手伝いプロジェクト！なんて企画はどうですか。あと、お手伝いしてくれた子どもに「物」ではなく愛と心を込めた「ありがとう」の声掛けをする運動をしたいです。
- 学校選択制は近所の子と触れ合う機会が少なくなるので、やめて欲しい。登校証を作って欲しい。小学校で英語をやる暇があったら、「論語」などを暗誦させて欲しい。
- うちは姉と弟が公立の異なる学校に通っています。なんとなく教育に対する校長先生の熱心が違うようで戸惑います。
- 豊島区にも千代田区の九段中等教育学校のような中高一貫の学校を作って頂きたいです。特に新しく校舎を建てて税金を使う事をしなくても、近くの中学と高校が手を組んで、教育を6年間貫いて行なうとか、明豊中と千早高は隣同士だし、2校を6年一貫教育にして、レベルアップの教育を土曜に毎週させるとか。
- 小学校の先生方はみな一生懸命に対応して下さい。安心して通わせています。
- 家庭の収入にかかわらず、児童の手当てを支給し



て欲しい。小学校の給食室を工事する間、お弁当を持って来る事になるとの話を学校から聞きました。毎日弁当を持たせるのは、家庭にとっては大きな負担です。隣接校選択制のために、小学校の児童数や男女比に差が出てしまい、バランスが悪くなっています。改善して欲しい。

- 学校選択制はやめて欲しい。子どもがバラバラになると、地域との繋がりが希薄になる。何のメリットがあるのか全く理解出来ない。児童数が少ないと、親の負担も大きいし、入学者がますます減ってしまう。このままでは、廃校になってしまうのか、と不安が私の周囲で広がっています。
- 学校での学習では内容も進む速さも足りていないので、補習や予習を出来る教室を作って欲しい。
- 最近はモンスターペアレント等と騒がれるので、言いたい事も言えないのが現状です。学校の問題をメールで相談できる場所があれば有難いと思います。
- 少子化に伴い、小学校・中学校が少ない為、塾と学校教育の差があり過ぎる様に思う。ゆとり教育、子どもがやる気が起きる教育を望みます。(公立なので先生がすぐに変ってしまうのが残念です。)子ども、特に思春期は大変親としても辛くなる事が多い！良い先生は長くて欲しいです！
- 子ども同士のトラブルなのに親が介入し、解決が難しい為、教育について何とかして欲しい。
- 学校の授業が正常に行えるように、親・教師・その他それぞれがしっかり役割を果たしていけるような対策を区でも考えて欲しい。
- 基本的に学校はどこに入学しても自由だと考えていますが、区立の小学校における学校選択制度は見直して欲しいと思っています。区は地域との連携と声高に言われますが、目の前の学校に自分の子どもや孫が通っていないと言う状況でスムーズな協力的体制がとれるでしょうか。
- 小学校ではあまり感じられないのですが、中学校においては、あまりに私立との学習時間に差があるのではないかと思います。やはり、公立においては個人まかせにするのではなく、区全体として模擬テストなどによって学力や指導方法を考えて頂きたいです。
- 障害児でも学校を選ぶ権利を与えて欲しいです。大人はやはり昔からの偏見が見られます。(親も先生も)子ども達は適応する力があるので、素晴らしいです。息子は子ども達からかわいがってもらって私は嬉しいです。
- 放課後対策をもっと充実させて欲しい。働きたくても障害児をかかえていると、すぐ児童館に入ることは出来ず、母親が面倒見ているため、病気になった時、一人で留守番という訳にもいかず、働くことに踏み切れません。システムを確立して欲しい。特別支援教育が始まっている割には、あまり活かされている感じがありません。特別支援教育ができる専門知識を全ての教員の先生たちが見につけ、教育に取り組んで欲しい。通常級の子どもにも活かされます。体育の授業などの充実、体力をつけるために区でもいろいろ取り組んで欲しい。

- 発達障害で悩んでいます。現在、特別支援学級を通級していますが、本来の学級にはほとんど支援がなく、通学できていません。この2年半、家族はできるかぎりの事をしてきたつもりですが、家族だけでは限界があり、早く特別支援を充実していただきたいと思います。通級だけではなく小中を通して安心して発達障害の子が学べる固定級があれば、とてもありがたいと考えています。

## 6) 補助制度、経済的支援など

- 医療費助成はとっても感謝しています。できれば低学年(歯に関する生え変わり)時のトラブル、矯正費用を少しなりとも考えて頂けたらと思います。自己負担はとっても厳しく苦しいです。
- 幼稚園児への補助金を増やして欲しいです。(練馬区はかなり高いです。)
- 親が子育てのために、会社を休む場合は、区から親に対して「子育て給与」の様な形で、金銭的な支援を行なうようにしてはどうか。少子化対策にも効果的である。
- 1人当たりの児童手当の額を増やして欲しいです。今は1ヶ月5000円ですが、それ以上にしてもらえたら嬉しいです。もらえる人の基準を引き下げて本当に困っている人へ支援するべきです。年収がある程度もらっている人に手当を支給していると思います。小学校入学時も補助金やお祝い金があれば育児に励みが出ます。
- 中学生まで医療費が無料なのは良い事。続けて欲しいです。児童手当等の支給について、所得制限はなしにして欲しいです。
- 子どもが少ない時代だからこそ、児童手当を一人1万にして欲しいです。期間を中学までなど、少子化防止になっていくと思います。
- ひとり親家庭の減税(所得・住民税)。一定の所得を超えるとほとんど援助なし。親からの援助なしには塾等の習い事には行かせられない。
- 幼稚園の時、補助金が減って困った。上の子より下へ行けば行くほど減っていき、ビックリしました。今は、小学校6年まで児童手当が出る様になったが、卒業したら出なくなるのはどうかと思う。1人が卒業しても、結局3人も学校へ行っているのだし、大きくなればなるほどお金がかかるのも事実です。中3まで児童手当を拡大して欲しいです。子どもの学力と生活環境と親の収入は、比例するといえます。収入の多い方は塾など行かせられますが、3人もいると本当に大変です。その辺りを考えて頂けたら、と思います。
- 母子家庭になり、働かなければならなくなったが、支援が全くない事に驚きました。9時~5時では帰れないし、食べて行けない。でも、学童は6時まで。今の物騒な世の中で6時に1年生の子どもを帰す事ができず、学童に通わせる事も出来ない。ファミリーサポート等を使って送り迎えする余裕もない。一番困っている者は利用できず、そうでない方々のためにあるもの。他の区では母子家庭の支援として、ディズニーランドの補助や宿泊施設補助があるのに、ない。全て普通に生活出来る方むけの支援について充実させたいのでしょうか？

- 前年度の収入で本年度の手当金額が決まるのが、結構厳しい。前年度収入が良くても、今の生活費が重要だから、減らされたりするときつかったりします。

## 7) 意識啓発

- 以前マンションに住んでいた頃、うるさいうるさいといわれ続けた。(特にしつけの出来ない子ではない。)病院の待合室でも静かにしなさいと言われてたり。親は具合の悪い子を連れて行っているのに…。区の制度より一人一人のやさしい気持ちが大切。でないと子どもは増えないと思う。
- スキップ(さくら小)などが充実していると思います。昔に比べると子どもへの行政のかかわりが多いと思います。地域のかかわりが少なくなった分、行政のかかわり方が増してきたように感じています。子どもを育てるのは親である私達なのですが、近頃はその役割も行政に求めている勘違いの親も多く感じられるように思います。昔に比べてずっと恵まれています、時代のせいかなやは子どもを安心して公園や友達の家など一人で出す事に不安を感じています。いやな時代です。でもこれは行政の力でも親の力でもどうすることも出来ない、いやな時代ですね。子どものかかわり方を親として悩みながら一緒に成長して行きたいと思うこの頃です。
- 今の時代、子どもが子どもらしく育つのはかなり難しいと思う。大人が手を出し口を出し、自由～本当の自由が無いと感じる。息抜きが出来ない環境で温室育ちの青白い子ども達が増えている。早いうちから成長することを望まれ、子どもらしい子どもでいる期間が短かすぎる。早く早くと言われて育った脳、心を置き去りにしたまま体が成長する。とてもアンバランスだと思う。見守る・待つ姿勢・勇気が親に欠けている。そういった事を他人事としない豊島区の母親支援であって欲しい。それが子育て支援につながると思う。
- 子どもがいる事によるだけで、隣の人の嫌がらせのような事に関して相談しました。子どもを育てる事に対して理解を深めてもらうような活動を少し考えて頂きたい。
- まだまだ大人たちのモラルやマナーが悪いので、子ども達に教えてもなかなか身につくのが難しいのではと思います。(でもそれを見て自分はそういう大人になりたくないと思うかもしれないですが…)
- このような支援がある事を入学式や運動会等、人がたくさん集う場所で発表し、1人でも多くの方が子育てについて関心を持ち、子どもの未来が良くなればいいと思います。大人だけでなく子ども達にも、貴方達は皆に見守られているから、という安心を与えられたら良いと思います。
- 基本的人権の尊重として、障害のある人もない人も皆お互い認め合って助け合える社会になるよう、幼い頃からの道徳教育・心の育て方を、学校・家庭からして頂きたいです。
- 近所のスキップを訪問しますが、国立・私立小学校の子どもに冷たい対応です。私立小通学者は区に対し負担を掛けずに税金は支払い続けている訳ですから、区立小学校を利用する権利は区立小通学

者以上に優遇されて然るべきだと考えます。誰が区政を支えているのか、よく考慮すべきです。校庭開放を自由に利用できるようにすること、公立小通学者への区の施設は区民のものであることを教育すべきと考えます。

## 8) 子どもの権利

- 子どもの権利条約については、子ども自身が知らない事があり、親自身もよくわかりません。なので、きっちり子ども向け、親向けにテキストなどを作り、熟知させて欲しい。

## 9) 感想、意見など

- 公園・図書館・スポーツ施設の充実。駐輪場・道路等交通安全に関すること。防犯面で安心して子どもだけで出歩ける街。学校教育の充実。(クラスの児童定数を減らし、教員配置の増加、学校設備へ増額予算措置、登下校中の安全確保等。)未来を担う子ども達を健やかに育てる豊島区に期待します。たくさん税金を納めていますので!
- 児童手当、医療費の無料化の年齢引き上げについては大変感謝しております。ありがとうございます。
- 医療費の無料は大変助かっています。
- 豊島区に対する子育て環境について、満足すべき点はありません。「借金を返済すべき」中心に進められる事業は大人中心主義以外の何ものでもなく、未来を見据えた子どもの為の設計には取り組んでいないと思います。目先の利益ばかり。まず子どもがのびやかに育つべきスペースを考えていない。使用されていない廃校跡地の平日開放など(シルバーを利用しての管理も可能)、のびやかに成長する心身を子ども達に与えない限りは豊島区の未来は暗いものになると日々感じています。どうか大人は、どうすれば子どもが健やかな身体を、素直な心を持つことができるかを考えてあげましょう。たとえ一時は負担があるとしても、きっと素敵な大人に成長した今の子ども達が、区を成長させる力になってくれるものと信じたいです。
- 子育てをしていく上で、豊島区に住んでいて良かったと思ったことは一度もありません。区の援助、サービスもあまり良くないし、学校は色々幅広く活動させていますが、学級崩壊に近い状況です。道路整備が不足しているのか、子どもが巻き込まれる事故も小さなものを含めればたくさんあります。のびのび安心して子育てをする環境にはありません。環境も子育て援助も不足しているので、もう子どもは産めません。一日も早く全てを改善して下さい。
- 両親が揃っていても低所得家庭はあります。豊島区の広報誌を読んでも「一人親世帯」が優遇されている様に思われます。「子どもは平等」と言うのであれば、ラインを引かなくても良いのではと思いたすが、いかがでしょうか。
- スキップ事業は残念に思います。児童館が今は区民ひろばになり、結局子どもはそこへ遊びに行っていて、スキップを利用しません。前の方が子ども達が活発だったなと思います。

- スキップ事業が進んでいることはとても有難い事だと思えます。これからも宜しくお願いします。
- とにかく女性が働きにくい。民間の学童などがあるともっと助かります。子どもの手当がもっと付けば、子どもを産む方が増えるのではないのでしょうか。少子化問題はこの国の制度にあると思えます。産まないのではなく産めないのでは？
- 東京という土地柄、子どもを遊ばせる環境、又、親同士が友達作りをする環境がとても難しいと思えます。幸い私どもは集合住宅(それも社宅)でしたので、同じ様な年齢のお子さん、お母様とすぐに公園で遊んだり、話をする事が出来ました。そんな中で支援センターや児童館、よく利用させて頂きました。ただ、やはり外でのびのびと遊ぶ事のできる緑の多い公園があるといいと思えますが……。支援センターでは相談に乗ってくださる職員の方々がいらして、とても安心しました。もう少し近くにあれば毎日でも通いたいと思いましたが、難しい相談でしょうか。医療証も中学生までで延長され、とても助かっています。
- 3人の子育て中です。子どもが小さい時、公園で1日を過ごし、同様の友人も出来、お互いに協力して幼児期を乗り切りました。周囲に助けられてこそ、今の子どもたちの成長があったと大変感謝しています。が、最近公園でたくさん子ども達やお母さん達の姿を見かける事が少ない気がしています。様々な事件がテレビ等で報道され、10年前とは違うのかもかもしれませんが、お母さんたち、子ども達が安心して横のつながりを持てる場所は確保されているのでしょうか。児童館等も閉館の施設があると聞いています。子育てに優しい政策をお願いします。
- どのような事をやっているのか全てを知っている訳ではないが、中途半端な印象を受ける。子育てに関して豊島区は安全だ！とか教育は豊島！というものがない。全てについて「いちおう」やっておきましよう的な施策が目立つ。
- 公園が子ども向けでなくなっている。昔の遊具がなくなり、大人が休むような公園ばかり増えてしまった。家賃も高く、子どもがいてもは入れる家が少ない。子どもが外で遊ぶのを許される場所がない。「かくれが」くらいは作れないと生きてゆけないと思う。学校教育自体は悪くない。地域も昔からの人情があり、有難いと思う。けれど豊島区は住みにくい。子育てする場としてむいていない。緑が少ない。空気が汚い。是非なんとかして欲しい。子育ての友達がずいぶんとよそへ引越してしまいました。帰ってはこないと思えます。
- 豊島区は子育てに向いていないと思えます。我が家では公園(滝野川)・図書館(滝野川)・幼稚園は隣接する北区を利用しています。公園は近所にあるのは「ネコふん」と呼ばれ、狭くて汚いし、図書館も蔵書が多くてゆっくり座って読書が出来るからです。子ども医療費無料、中学生までとなったのも遅かったです。昨年、友人が子育て世帯優先の足立区区営住宅へ移りました。我が家も検討中です。これから転入して(子育て世帯に)欲しいとお考えならば、早急な対策が必要だと思えます。
- 駒込6丁目地区に新設される緑地公園が、どちらも同じような内容でとてもがっかりしている。高学年の子どもが体を思いっきり動かしても大丈夫な環境をどうしていつも検討しないのか？老人、幼児にばかり手厚くしても、それ以外の年齢層の人たちは納得がいかない。学校での大規模説明会やアンケートなどがあると思っていたら、少人数のワークショップで決めてしまい、非常に残念。文京区などの公園をもっと参考にして欲しかった。せつかく広い土地を公園にできたのに……
- 豊島区の子育て支援がどういったものからどこまで？具体的な事業が見えにくいアンケートだったのでイベント名などやっていることを書いて欲しかった。ふだん児童館をよく活用していてとても有難く思っています。児童館やスキップがない子どもはホントにどこで遊べばよいのかと思ってしまいます。学校、児童館、スキップ、図書館など子どもがどんどん利用し易く行き易い場所にして欲しいです。
- 子育て支援や子どもを育てる環境づくりは重要な施策であるため、今後一層注力して欲しい。ハコモノや道路、新しい交通システム等、本当に必要かどうか分からない所に区民の税金をムダに投入する事を見直し子育ての環境整備等必要な部分を強化して行く事を望みたい。
- 児童館での約束事(ルール)が厳しくなり、他の区の児童館に行き遊んでいる。子どもスキップも区外の学校に通っている子どもには行きにくい。私立幼稚園の補助も第1子と第3子の時では金額の差があり、豊島区は子育てしにくいという印象がある。
- 妊婦の健診の無料回数が増えたり、産む環境が良くなって来ているようには感じます。
- 子育て時期の経済的負担は所得格差でハッキリと違いがありすぎる。末端までよく見てもらわないと、わからないと思います。最終的には子どもの将来、日本の未来に影響するんだから！
- 保育園は民営化し、質が低下。学童はスキップにして質が低下。職員もパートで人数も少ない。(中学生まで医療費ただ。保育や学童の費用の値下げ。)区庁舎なんか新築しないで、借りて下さい。フランス並みにもっと子どもの社会保障や教育に区としてお金をまわしてください。
- 平日の昼間に行なわれる無料の歯科検診に行くことが出来ません。(わざわざ仕事を休んで行くほどの内容ではないので、かかりつけの歯科医院に夜間など自分の都合の良い時間に行っています。もちろん有料です。)本当に働いている親の都合を考えているのか疑問です。
- 働く女性(母親)が増える中、保育を受け入れる施設が少な過ぎる。保育園は民営化される計画が進み、安心して子どもを預けられないと思う。
- 豊島区に越してきて良かったと思っています。今年入学した娘も毎日楽しく通学しています。今後も子ども達が心身とも健康でいられる様応援して下さい。親として嬉しく思います。
- どうしても隣の区新宿区の子育て、もしくは出産等の支援が充実していて、豊島区との格差を感じずにはいられないのが現状です。もう1つ思うのは、小学校の選択制度の関係で、とても良い小学校が

人数が少なく入学されたり、という制度に疑問を感じます。教育内容が同じであれば、学校の選択制度は必要ないのではないのでしょうか。

- 校庭開放協力員や、放課後子ども教室で少しはお手伝いさせて頂いている者ですが、このようなアンケートも大事かもしれませんが、コーディネーターの方々にはもっと現場に足を運んで頂きたいです。机の上でパソコンで作り上げる子どもプランではなく、子ども・親・教育関係者の生の声を大切にしたりプランを作ってくださいることを希望します。
- 子育てに介護が加わり4年が経つ。そのため専業主婦であるにもかかわらず時間が足りず、精神的にも肉体的にもキツイ。子ども達が未就園児時代、子ども課にも相談へ行ったが、対応が事務的で言葉づかいも選ばないのでがっかりした事がある。最近思うことは、幼・小・中学校の連携があれば良いと感じる。小学校の用事で親が出向く時、その学校の児童しか預かってもらえず、幼い弟妹がいると困る事が多くある。安全パトロール(学校周辺を回る)の時は特に疑問を感じる。多くの児童の安全の為に歩いても、家で留守番しているわが子を守ってやれないのかと。
- 子どもがいじめにあい、精神的にも肉体的にもとても苦しい思いをして来ましたが、それを解決すべく病院・学校・カウンセラーと何度も足を運び、この一年親子共にくたくたになりました。一番助けとなったのは豊島区立竹岡健康学園の教育と生活です。どうかこの施設を存続させると共に、健康学園の教育を区内の教育に生かして頂きたいと思います。
- このアンケートは子育てしている家庭全部に配布していないのは何故なのでしょう？500世帯のうち、回答が少なかつたとしたら、小学校1校分の意見となる訳で…もっと多くの声を集めて、区政に反映させるべきだと思います。また、子育て支援は豊島区が進めているやり方(子どもスキップ)に不安があります。子どもが放課後過ごす場所を校内だけに押し込まずに、もっと自然に触れたり、人に接したり出来る様に拡大してゆく方が大切なのではないのでしょうか。豊島区の図書館も中央図書館まで行くのは不便で、子どもも以前に比べて本を借りなくなり残念です。
- 子どもが私学に入った場合、地域の子ども会などに入れず、子育て支援などを知らずに過ごしました。私学に通う子どもはかなり多いと思いますが、区内に住んでいるのにとっても不公平を感じました。今度もこの様に感じる方はいるのではないのでしょうか。
- 子どもが産まれた頃から、少しずつ子どもを持つ家庭にとって不満なことが増えて来ました。子どもが安心して遊べる場がどんどん減っていき(プール)、公園も、安心して遊べませんでした。また、児童手当もただただ所得制限を設けて、これ以上には出しません、みたいな感じで、収入は一見多く見えても大変な家庭は沢山あって、子どもが少ない(少子化)と言われながら、頑張っただけで、子どもを安心して育てられる状況ではありません。所得制限を無くすなど、子どもが多いと休日出掛けるのもお金も時間もかかるので、もっとそういう家庭にも目を向けて頂

きたいと思います。(子どもを産んでも保育園もすぐ入れない状況だと、子どもを産む人はどんどんいなくなってしまうと思います。)

- 補助金など、収入が低い人にあげたり、いろいろサービスしているが、中間の、補助も貰えない層には税金も高く免税もない。一番お金を使う層が厳しくなると、悪循環だと思う。区の子育て施設は、区立小の子に情報や防犯ベルをあげているが、私立の子は何もなく、区の施設も使いにくい。(友人も少ないため)イベントなどもっとアピールして欲しい。区立の施設も他に比べ少なく、場所柄か一人親家族や独身にとって住みやすく、家族には優しい区に感じる。雨でも遊ばせられる(有料でもOK)、文化・教養にふれるイベントなど行なって、他の区の人にも来たがるような区にして欲しいです。(池袋で遊ぶにも子どもをつれて楽しめる場所がありません。)区立の施設に他の区へ出かけたり、習い事・学校・遊びに行くにも他区がほとんどです。家族に優しい区にして欲しいです。学童など、受け入れ制限がなかったり、休職中でも申し込めるので、二つの制度は廃止しないで下さい。
- 妊娠中で、先月緊急入院をした際に、入院中だけでも受け入れてくれる保育園を探しましたが、受け入れてくれる保育園がなく、とても大変でした。子どもが少ないと言われている現在ですが、保育園や医療施設の受け入れ態勢も整っていない中では、安心した妊娠・出産は出来ないのではないのでしょうか。
- 日本経済が不安定な状況は、子ども社会にも格差、環境という面においても大きく影響していると思います。両親が働かなければ家計が成り立たず共働きせざるを得ない状況の方は沢山いらっしゃると思います。物価は上がる、税金は上がる…このような世の中でしわ寄せがくるのは子ども達…共働きで、家に帰っても誰もいないような環境では、子どもの精神発育にも良くないし、大人になってからでは埋められぬ心の隙間が出来てしまうと思います。又、今お子様がいらっしゃる方々にとっても、このような見本は良い見本ではないと思います。とても少子化問題を考えられる環境では有りません。まずは子ども達への給付金を高校生位まで支給して頂きたいです。大きくなればなる程、お金がかかるようになるのがわかるだけに、今から不安を感じる日々ですし、とても3人目を考える、金銭的にも時間的にも、余裕がありません。経済面だけでなく、豊島区内に思い切り遊べる公園のない事に驚きました。施設も新宿区のように小奇麗な所はないし、廃校になった小中学校跡は野ざらしのままの所が多いので防犯的にも不安です。豊島区が、他区から引越して来なくなる様な環境・経済状況に是非ともなってくれるよう努力して頂きたいと思っております。
- 各項目に書きましたが、兄弟で遊ばせたくても校庭開放に中学生が入れないなどおかしい！兄弟で遊ぶ場合は入ってもいいなどすべきです。最低です。公園も整備されて喜んでいたら、犬の散歩の人のたまり場になってしまいました！
- 昨年から始まった子ども医療証の制度は大変ありがたく思っています。また、娘がお世話になった区

立の保育園や現在お世話になっている学童は、ベテランの先生が多く安心して預ける事が出来、感謝しております。

## 10)その他

- 豊島区は大人の遊び場が多く、私の住んでいる巢鴨地区は駅前はひどいものです。学区内の小学校に通わせなかったのは、その前を通らないと学校へ行けないからです。汚いので、本当に何とかして欲しいです。土・日になると「ピンクチラシ」を堂々とミニスカートのお姉さんが配ったりしています。大塚もそうですし、池袋ももちろんそんな環境です。巢鴨はお年寄りだけの町ではありません。子どもも居るので子どもにも良い環境を作って下さい。それも子育て支援のうちではないでしょうか。
- ベビーカーを押していた頃、道のがたつきや段差が多く感じられた。近くに私立の幼稚園しかなかった。
- ファミリー向けの住宅の確保。  
子ども・親のサークル。
- 区立幼稚園を南池袋・東池袋の地域にも作って欲しいです。私立幼稚園も少ないので歩いて通える幼稚園があると嬉しいです。私立幼稚園の助成金ももう少しUPして欲しいです。
- そして生活するにはやはり「自転車」は無くしてはならない物なのですが、今、池袋周辺は自転車に対してとても厳しいのが一番の悩みです。駐輪場がとても不便な所にしかないのに、取締りだけは厳重にするのはなぜですか？もう少し生活している方の身になって欲しいです。安全でなおかつ便利な生活し易い街だと嬉しいです。
- 椎名町周辺の工事で、車が迷いながら通るので、すごく危険です。
- 自転車多いーサンシャイン西友の所、最悪、なぜ直さない？
- 小学生の病後保育などがあればよい。学力を上げるための取り組み。
- 子どもが幼稚園児の時は、預け先がなく、民間の高い託児所をお願いしていました。気軽に預けられる場所があればいいと思っていました。
- 近所の方との交流がほとんど無い上、一人暮らしの方が多いいせいか、ゴミの出し方、犬のフン等の問題でいやな思いをよくしています。大人が見本となる社会を作っていきたいと思っています。
- 公園に住むホームレスが多く、安心して子どもを遊ばせる事が出来ないで何とかして欲しい。  
西部区民事務所、裏門のとりの交通事故が多く、大型車が通行しているので信号を増やすなどして欲しい。  
将来ある子どもや子をもつ世代の働き手が豊島区内に定住しやすい環境づくりを切に願います。  
公立幼稚園の特色を尊重し、存続されますよう願っています。
- 子どもというのは、ひとくりに言えないと思うのですが、支援を受けるというよりは、もっとボランティアとして働かせて頂けるような機会があったら良いのではと思います。区内の様々な人々の仕事の中で、将来自分がどのようになりたいか体験もしくは体験談を聞く機会があれば良いのではないのでしょうか？

例えば、高等教育を受けるより、仕事につきたいと思っても親の理解が得られないというような事がないように。子どもはあつという間に大きく育ってしまいます。社会に受け入れの仕組みを整えて頂けたらと思います。

- 子育てをしなきゃいけない親の健康面も充実させて欲しい。(無料定期健康診断の実施etc.)親が元気である事が子育てを元気に安心して出来るのではないか？子メインに考えて、自分を後回しにしてしまうのが親であると考えてしまう事が多いので、自分の健康が不安。頑張る母親は体も精神面も疲れます・・・
- 子どもが特に小さい時は、車や大きなトラックまでも家の前を走るので、空気は汚いですし、騒音がとても気になりました。小学生に入り、野球を始めると、近くで思いっきり友達と野球やキャッチボールが出来ないのが不満になってきました。こういった事についての対策はあまりなされていないように感じています。
- 朝夕、犬の散歩をしている方々が「防犯」のバックを持って下さっていて、大変ありがたく思っています。区立保育園(高松第2)は、大変先生方の質が良く、最高の保育園だと思っています。末永く存続させて欲しいと思います。
- 幼稚園から区外の園・学校に通っている為、区の学校の事がよく分かりません。校庭開放など利用したいと思うのですが、近所の学校であっても、通っていない学校にはなかなか入りにくく、躊躇してしまいます。もう少し校門などに「校庭開放中」などのような看板があると入りやすくなるのではと思います。子ども達の安全を考えるとあまり開放的でも心配になるので、難しいのかなとも思っています。
- 子どもを通してなので区全体というよりは地域について回答しました。学校のPTAのあり方にかなり苦しんでいます。仕事を休めないが、1人1役と役を決められ、部の中で3役を決められ、会議に出席の義務を負わされ、子どもの発熱などで休みたい時に休めなかったりしています。
- こちらに越してきてまだ間もないですが、商店街でお店の方々が子どもによく声掛けして下さると思います。利用していないお店の方も「おかえり」と言ってくれます。初めて行くお店でも子どもの顔をしっかり見ながら声をかけてくれます。子どもが減っていることもあるのでしょうか？子どもを見る目がとてもやさしいのが良く分かります。これは大変な安心感です。もちろん全てのお店で・・・という訳ではありませんがとてもうれしい出来事でした。それに気づいてからは、それまでは家に程近いスーパーで買物をしてきたのを、少し足をのばして商店街に行って、八百屋・豆腐店・肉屋・各々の専門店で買物する機会を増やしています。この様に地域ぐるみで子どもを見て下さるのは本当に心強くありがたい事です。
- 豊島区は公園が少なく自然も少ない。子ども(子育て)しにくい区だと思う。スキップがない為、子どもの下校時間に必ず家に居なければならないので、祖母が入院した時etc.とても困った。学校もPTAの集会の時間が下校後なので、その間の子どもの預け先etc.学校も考えて欲しい。(子どもが1年生の

為まだ一人で家におきたくない。)



### **3. 中学生・高校生などの保護者**

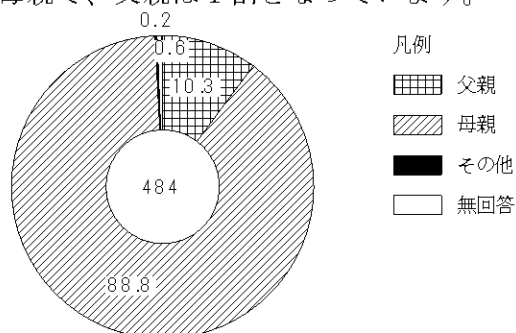


### 3. 中学生・高校生などの保護者

#### (1) 回答者等の属性について

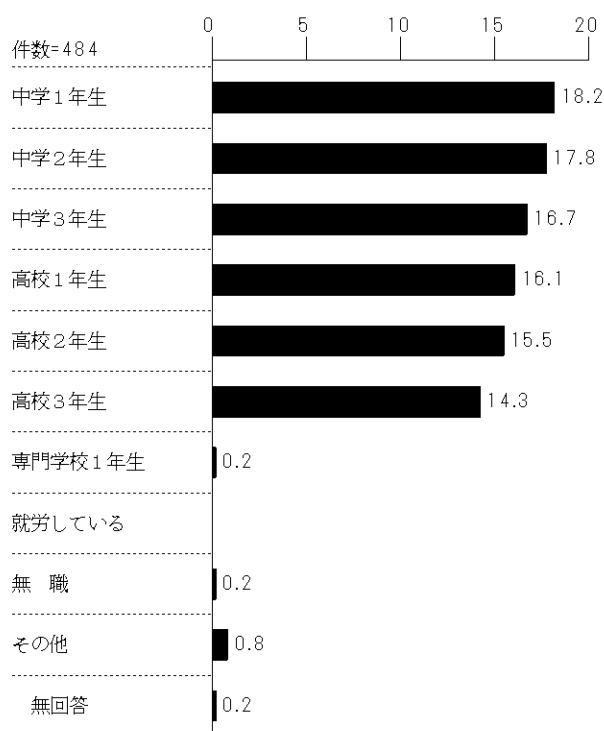
##### 問1. 回答者

●回答者は9割弱が母親で、父親は1割となっています。



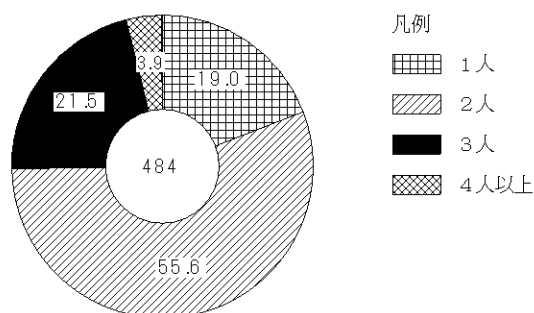
##### 問2. 就学・就労状況（学生の場合は学年）

●子どもの就学・就労状況は、中学生が全体の52.7%、高校生が45.9%とやや中学生が多く、学年ごとの割合は、14.3%~18.2%となっており、学年があがるにつれ、やや減少傾向にあります。



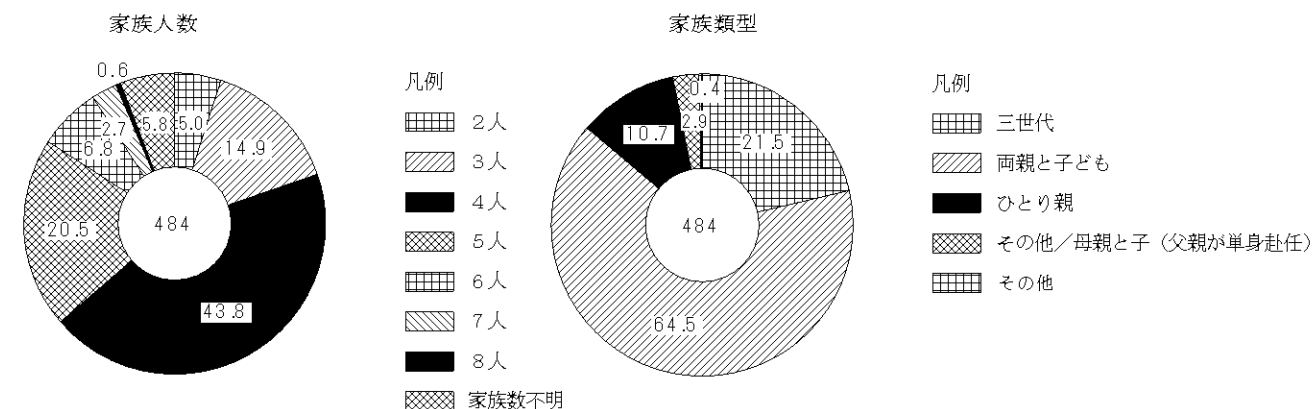
##### 問3. 兄弟・姉妹の人数

●対象者を含めた兄弟・姉妹の数は、2人(55.6%)が最も多く、3人(21.5%)、1人(19.0%)と続いています。



#### 問4. 同居している家族の人数と家族類型

- 家族人数は、4人家族(43.8%)が最も多くなっています。
- 家族類型は、両親と子どもが64.5%、三世代世帯は21.5%となっています。



家族人数

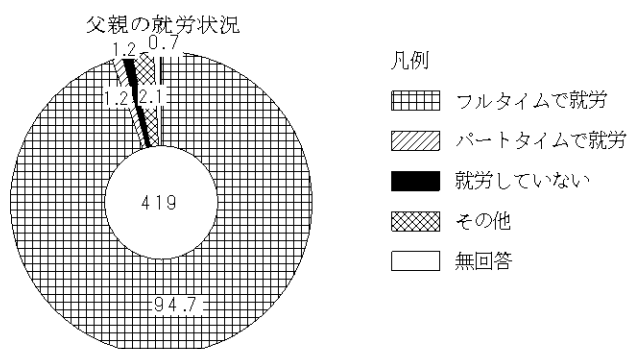
調査数	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	家族数不明
484	24	72	212	99	33	13	3	28
100.0	5.0	14.9	43.8	20.5	6.8	2.7	0.6	5.8

家族類型

調査数	三世代	両親と子ども	ひとり親	その他/母親と子(父親が単身赴任)	その他
484	104	312	52	14	2
100.0	21.5	64.5	10.7	2.9	0.4

#### 問5. 父親と母親の就労状況 (○は1つ)

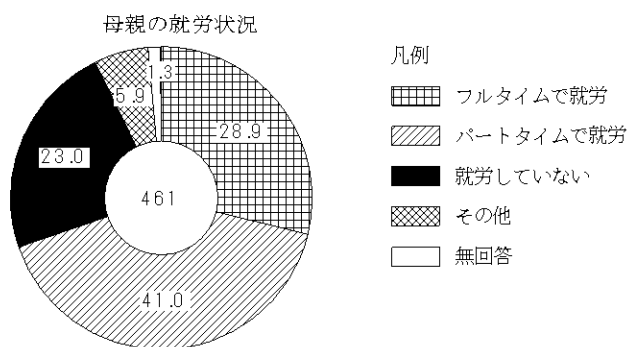
- 父親の就労状況は、94.7%がフルタイムで就労となっています。



問5 ①父親の就労状況

調査数	フルタイムで就労	パートタイムで就労	就労していない	その他	無回答
419	397	5	5	9	3
100.0	94.7	1.2	1.2	2.1	0.7

- 母親の就労状況は、パートタイムで就労が41.0%と最も多く、フルタイムで就労が28.9%、就労していないが23.0%となっています。

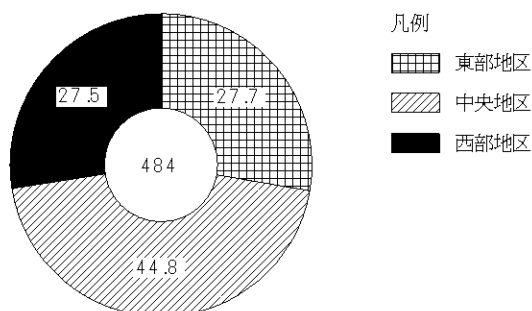


問5 ②母親の就労状況

調査数	フルタイムで就労	パートタイムで就労	就労していない	その他	無回答
461	133	189	106	27	6
100.0	28.9	41.0	23.0	5.9	1.3

問6. 居住地区 (○は1つ)

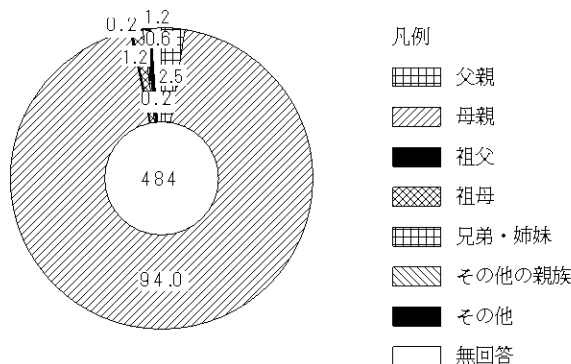
●回答者の居住地区を3地区別で見ると、中央地区(44.8%)が最も多く、東部地区(27.7%)と西部地区(27.5%)がほぼ同じ割合になっています。



(2) 主にお子さんの身の回りの世話をしている方について

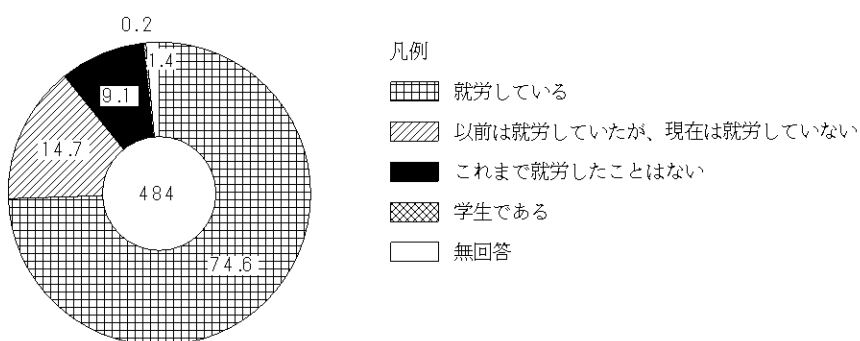
問7. 主に子どもの身の回りの世話をしている人 (○は1つ)

●主に子どもの身の回りの世話をしている人は、94.0%が母親となっています。



問8. 主に子どもの身の回りの世話をしている人の就労状況 (○は1つ)

●主に子どもの身の回りの世話をしている人の就労状況は、74.6%が就労しており、14.7%が以前は就労していたが現在は就労していないと回答しています。

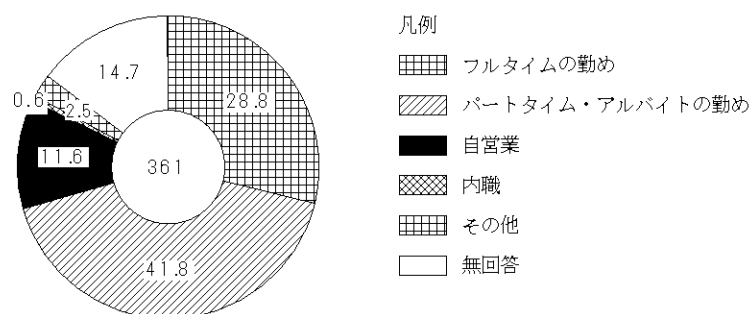


問8 身の回りの世話をしている人の就労状況

調査数	就労している	以前は就労していたが、現在は就労していないが、	これまで就労したことはない	学生である	無回答
484	361	71	44	1	7
100.0	74.6	14.7	9.1	0.2	1.4

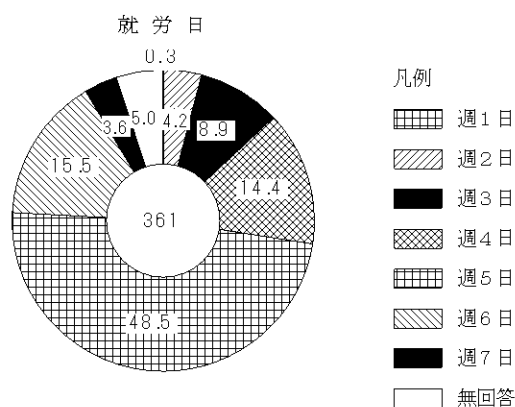
問 8-1. 主に子どもの身の回りの世話をしている人の就労形態 (○は1つ)

●主に子どもの身の回りの世話をしている人が就労している場合の就労形態は、パートタイム・アルバイトが 41.8%と最も多く、フルタイム勤務が 28.8%となっています。



問 8-2. 主に子どもの身の回りの世話をしている人の就労日数、家を出る時間と家に着く時間、土曜日や日曜日・祝祭日の就労状況、通勤時間

●主に子どもの身の回りの世話をしている人が就労している場合の就労日数は、週 5 日が 48.5%と最も多く、週 6 日(15.5%)、週 4 日(14.4%)と続いています。



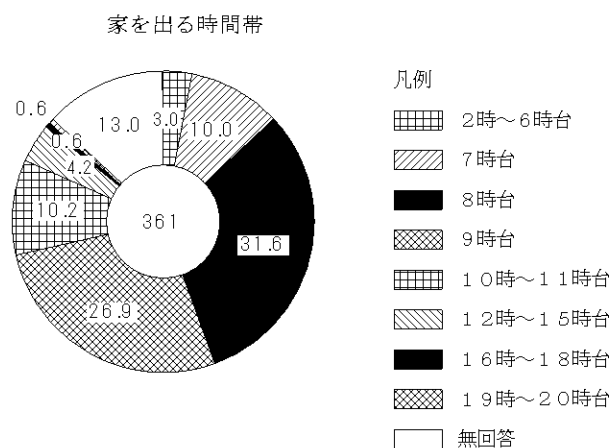
◇【就労形態別集計】

	調査数	週 1 日	週 2 日	週 3 日	週 4 日	週 5 日	週 6 日	週 7 日	無回答
調査数	361	0	15	32	52	175	56	13	18
	100.0	0.0	4.2	8.9	14.4	48.5	15.5	3.6	5.0
フルタイムの勤め	104	0	0	1	1	75	21	1	5
	100.0	0.0	0.0	1.0	1.0	72.1	20.2	1.0	4.8
パートタイム・アルバイトの勤め	151	0	12	23	37	62	12	2	3
	100.0	0.0	7.9	15.2	24.5	41.1	7.9	1.3	2.0
自営業	42	0	0	6	1	8	16	6	5
	100.0	0.0	0.0	14.3	2.4	19.0	38.1	14.3	11.9
内職	2	0	0	0	0	1	0	0	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
その他	9	0	0	0	1	1	1	2	4
	100.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1	22.2	44.4
無回答	53	0	3	2	12	28	6	2	0
	100.0	0.0	5.7	3.8	22.6	52.8	11.3	3.8	0.0

●就労形態別に就労日数見ると、フルタイムの勤めもパートタイム・アルバイトの勤めも週 5 日が最も多いが、フルタイムの勤めでは週 5 日は 72.1%と 7 割を超えており、第 2 位は週 6 日(20.2%)となっています。

●フルタイムの勤めに比べ、パートタイム・アルバイトの勤めでは、週 5 日(41.1%)が最も多く、第 2 位は週 4 日(24.5%)となっており、週 3 日～5 日に分散していることがわかります。

●家を出る時間は、8時台(31.6%)と9時台(26.9%)が中心となっており、この2時間で全体の58.5%を占めています。

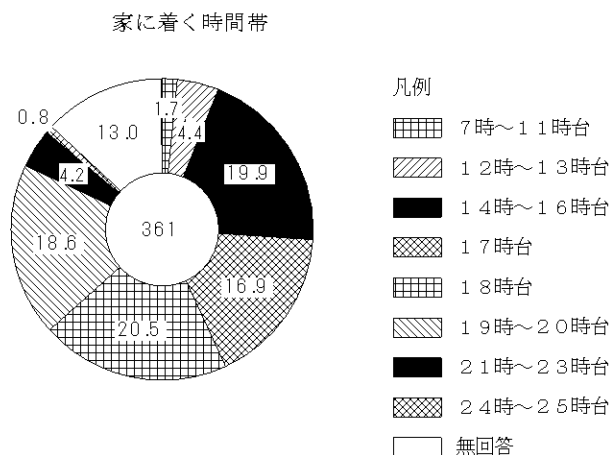


◇【就労形態別家を出る時間帯】

	調査数	2時～6時台	7時台	8時台	9時台	10時～11時台	12時～15時台	16時～18時台	19時～20時台	無回答
調査数	361	11	36	114	97	37	15	2	2	47
	100.0	3.0	10.0	31.6	26.9	10.2	4.2	0.6	0.6	13.0
フルタイムの勤め	104	6	24	44	18	1	1	0	0	10
	100.0	5.8	23.1	42.3	17.3	1.0	1.0	0.0	0.0	9.6
パートタイム・アルバイトの勤め	151	3	5	50	59	17	7	0	1	9
	100.0	2.0	3.3	33.1	39.1	11.3	4.6	0.0	0.7	6.0
自営業	42	0	0	3	4	10	5	1	1	18
	100.0	0.0	0.0	7.1	9.5	23.8	11.9	2.4	2.4	42.9
内職	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
その他	9	0	0	0	0	3	0	0	0	6
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7
無回答	53	2	7	17	16	5	2	1	0	3
	100.0	3.8	13.2	32.1	30.2	9.4	3.8	1.9	0.0	5.7

●就労形態別に家を出る時間を見ると、フルタイムの勤めでは7時台から8時台が中心となっており、パートタイム・アルバイトの勤めでは8時台から9時台が中心となっています。

- 家に着く時間は、18 時台(20.5%)が最も多く、次いで、14～16 時台(19.9%)、19～20 時台(18.6%)となっており、出勤時間に比べ分散しています。

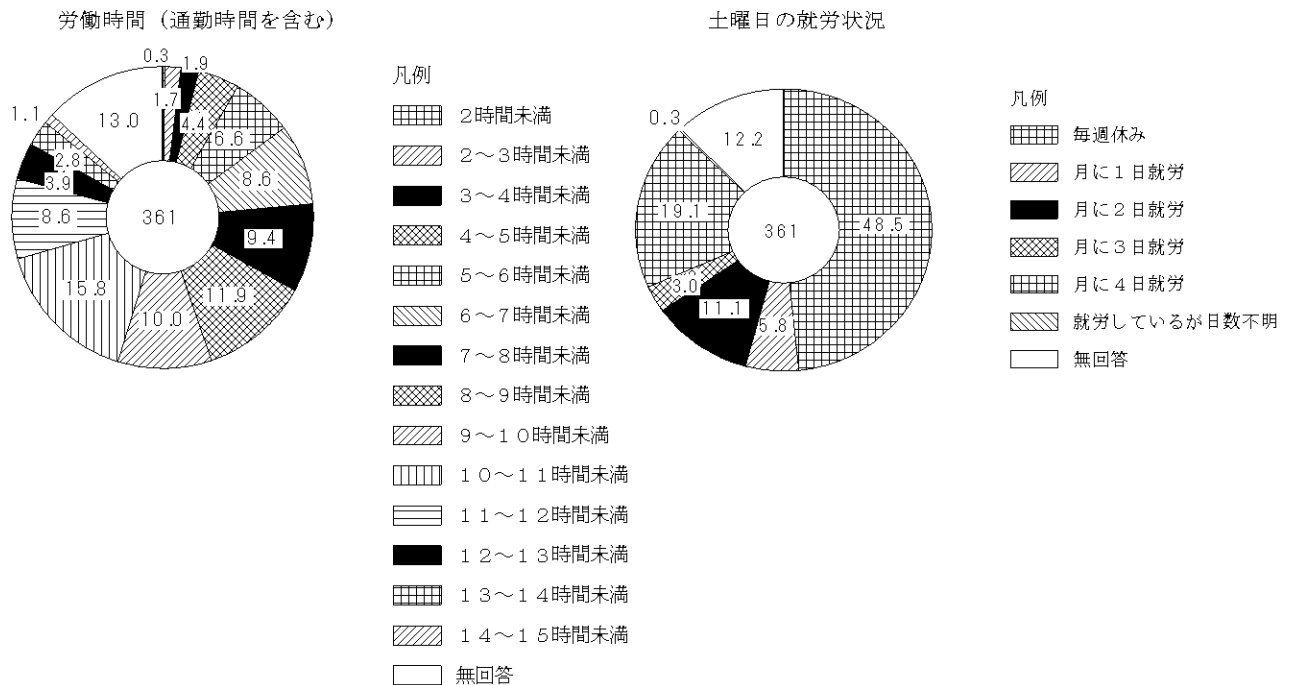


◇【就労形態別家に着く時間帯】

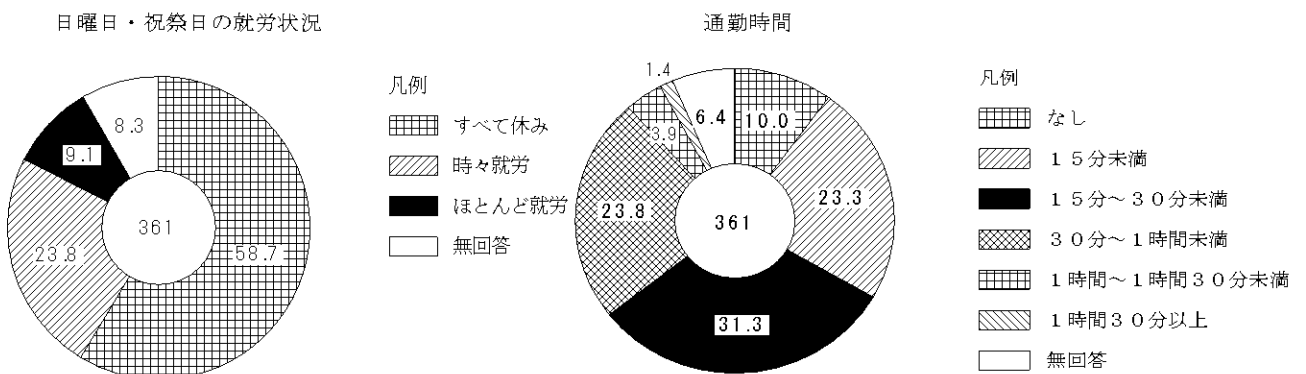
	調査数	7時～11時台	12時～13時台	14時～16時台	17時台	18時台	19時～20時台	21時～23時台	24時～25時台	無回答
調査数	361	6	16	72	61	74	67	15	3	47
	100.0	1.7	4.4	19.9	16.9	20.5	18.6	4.2	0.8	13.0
フルタイムの勤め	104	0	0	3	12	33	39	7	0	10
	100.0	0.0	0.0	2.9	11.5	31.7	37.5	6.7	0.0	9.6
パートタイム・アルバイトの勤め	151	4	8	50	35	28	14	2	1	9
	100.0	2.6	5.3	33.1	23.2	18.5	9.3	1.3	0.7	6.0
自営業	42	0	2	3	5	2	6	4	2	18
	100.0	0.0	4.8	7.1	11.9	4.8	14.3	9.5	4.8	42.9
内職	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
その他	9	0	2	1	0	0	0	0	0	6
	100.0	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
無回答	53	2	3	15	9	11	8	2	0	3
	100.0	3.8	5.7	28.3	17.0	20.8	15.1	3.8	0.0	5.7

- 就労形態別に家に着く時間帯を見ると、フルタイムの勤めでは18時台から20時台が中心となっており、パートタイム・アルバイトの勤めでは、14時台から18時台と帰宅時間にも幅があり、フルタイムの勤めに比べ、早めに帰宅していることがわかります。

- 労働時間については、10～11 時間未満(15.8%)が最も多く、8～9 時間未満(11.9%)、9～10 時間未満(10.0%)などが比較的多くなっています。
- 土曜日の就労については、48.5%が毎週休み、土曜出勤（月に何日か就労）は 39.3% という状況です。

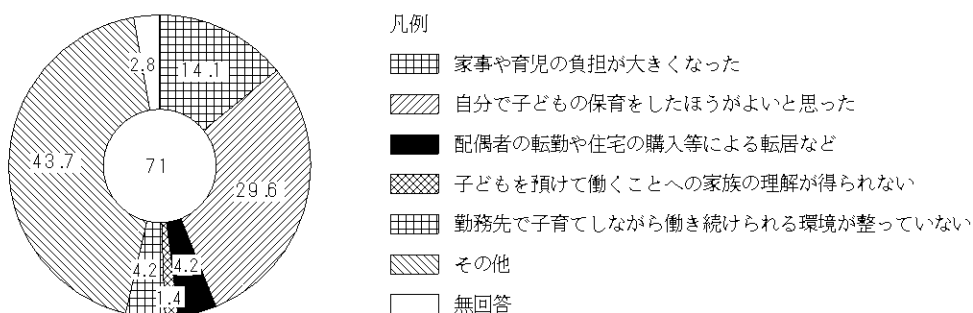


- 日曜日・祝祭日の就労は、58.7%がすべて休み、23.8%が時々就労、9.1%がほとんど就労となっています。
- 通勤時間については、15 分～30 分未満(31.3%)が最も多く、30 分～1 時間未満(23.8%)、15 分未満(23.3%)がこれに続いており、全体の約 8 割(88.4%)が 1 時間未満となっています。



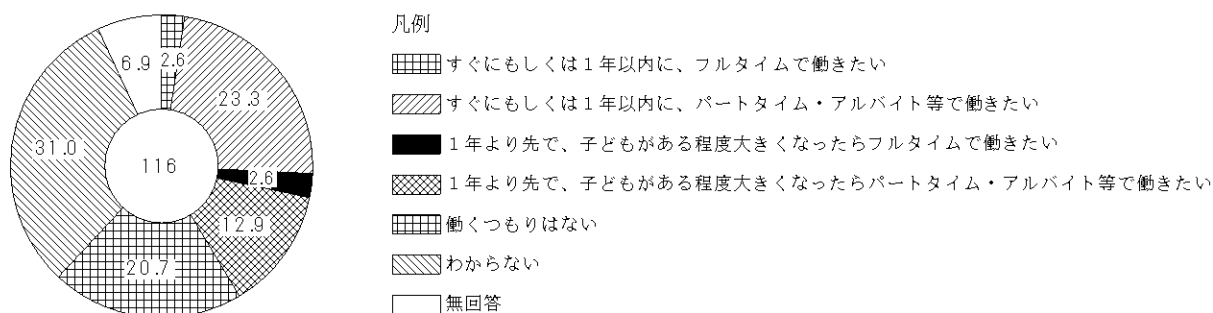
問 8-3. 仕事をやめた理由 (○は1つ)

- 以前は就労していたが現在は就労していない人の退職理由としては、その他(43.7%)が最も多く、自分で保育したほうがよいと思った(29.6%)、家事・育児の負担増(14.1%)がこれに続いています。
- その他(31件)の理由を見ると、「病気、体調不良等」(7件)、「勤務先が閉店、リストラ等」(3件)、「介護」(3件)などとなっています。



問 8-4. 今後の就労意向と就労希望日数、1日あたりの時間ならびに就労希望開始時期 (○は1つ)

- 現在就労していない人の就労意向については、わからない(31.0%)が最も多く、すぐにもしくは1年以内にパートタイム・アルバイト勤務(23.3%)、働くつもりはない(20.7%)がこれに続いています。



- すぐにもしくは1年以内にパートタイム・アルバイト勤務を希望する人の就労希望日数(1週あたり)は、週4日(33.3%)、週3日(29.6%)が多く、就労希望時間は、1日5時間(40.7%)が多くなっています。

問 8-4 1年以内でのパート・アルバイトでの就労希望日数

調査数	週2日	週3日	週4日	週5日	無回答
27	1	8	9	5	4
100.0	3.7	29.6	33.3	18.5	14.8

問 8-4 1年以内でのパート・アルバイトでの就労希望時間

調査数	1日3時間	1日4時間	1日5時間	1日6時間	無回答
27	1	5	11	6	4
100.0	3.7	18.5	40.7	22.2	14.8



- 1年より先でのフルタイム勤務を希望する人(2.6%、3人)の就労希望開始時期については、子どもが中学生となる13歳(2人)と高校を卒業する18歳(1人)となっています。

問8-4 1年より先でフルタイムでの就労希望者の就労希望開始時期(子どもの年齢)

調査数	13歳	18歳
3	2	1
100.0	66.7	33.3

- 1年より先でパートタイム・アルバイト勤務を希望する人(12.9%、15人)については、週3日(40.0%)、1日5時間(33.3%)が多く、就労開始時期はフルタイム勤務希望と同様に、子どもが13歳(20.0%)または18歳(20.0%)になってからが多くなっています。

問8-4 1年より先でのパート・アルバイトでの就労希望日数

調査数	週2日	週3日	週4日	週5日	無回答
15	2	6	3	1	3
100.0	13.3	40.0	20.0	6.7	20.0

問8-4 1年より先でのパート・アルバイトでの就労希望時間

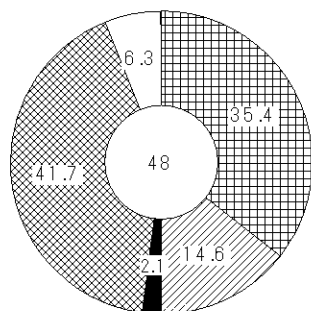
調査数	1日4時間	1日5時間	1日6時間	無回答
15	3	5	3	4
100.0	20.0	33.3	20.0	26.7

問8-4 1年より先でのパート・アルバイトでの就労希望者の就労希望開始時期(子どもの年齢)

調査数	9歳	13歳	15歳	16歳	18歳	19歳	無回答
15	1	3	1	1	3	1	5
100.0	6.7	20.0	6.7	6.7	20.0	6.7	33.3

問8-5. 現在働いていない理由 (○は1つ)

- 就労希望をもちながら現在働いていない理由としては、その他(41.7%)が最も多く、子育てしながら働ける適当な仕事がない(35.4%)が続いています。
- その他(20件)の内容を見ると、「子どもが学生の間は子育てに専念したい」(2件)、「時間帯・時給など自分の希望に合う仕事がない」(2件)、「体調不良」(2件)などとなっています。



凡例

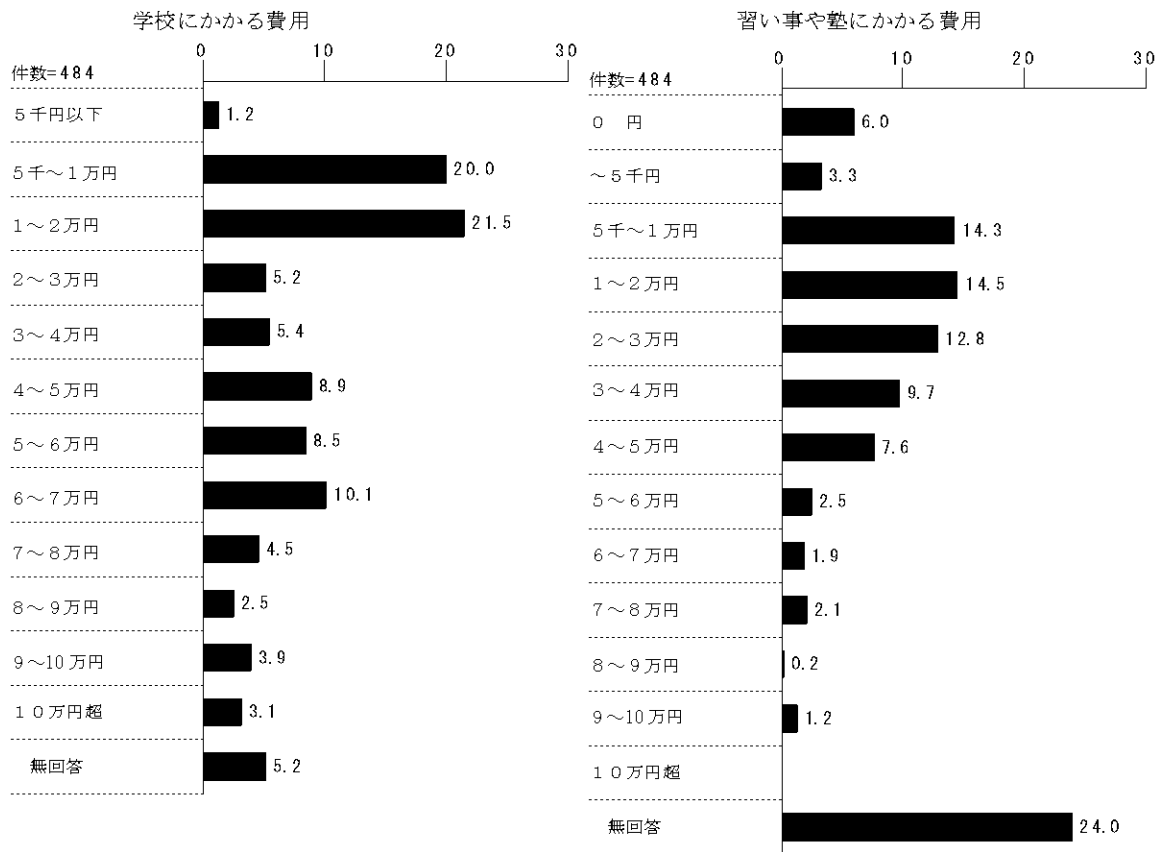
- 子育てしながら働ける適当な仕事がない
- 自分の知識や能力に合う仕事がない
- 子どもを預けて働くことへの家族の理解が得られない
- その他
- 無回答

(3) 子育てに関する経済的負担について

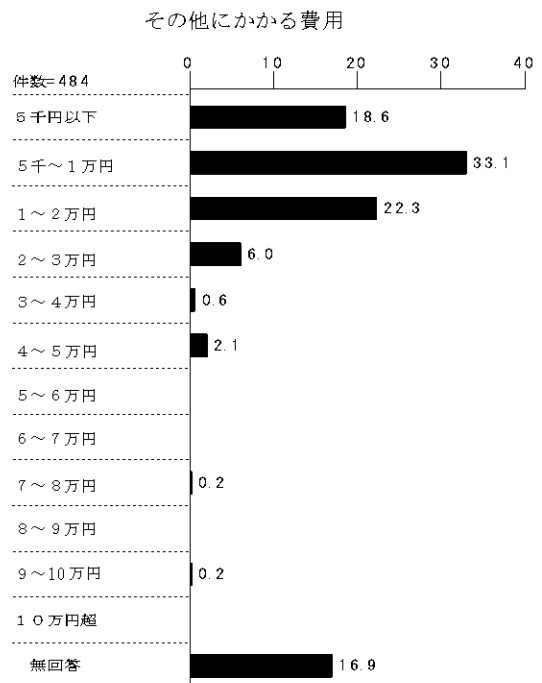
問9. 子育て（学校、習い事・塾、その他）にかかる1か月の費用

●学校にかかる費用は、1～2万円(21.5%)が最も多く、5千～1万円(20.0%)がこれに続いています。

●習い事や塾にかかる費用は、1～2万円(14.5%)、5千～1万円(14.3%)、2～3万円(12.8%)が多くなっており、これらで全体の4割強を占めています。



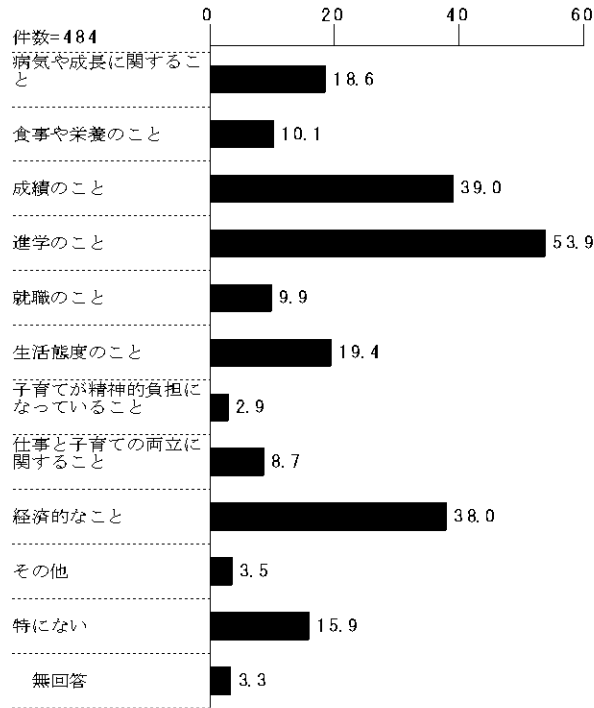
●その他(医療、レジャー、娯楽など)にかかる費用は、5千～1万円(33.1%)、1～2万円(22.3%)が多くなっています。



(4) 子育ての悩み等について

問10. 子育てに関する不安や悩み (〇はいくつでも)

●子育てに関する不安や悩みについては、進学のこと(53.9%)が最も多く、これに次いで成績のこと(39.0%)、経済的なこと(38.0%)となっています。



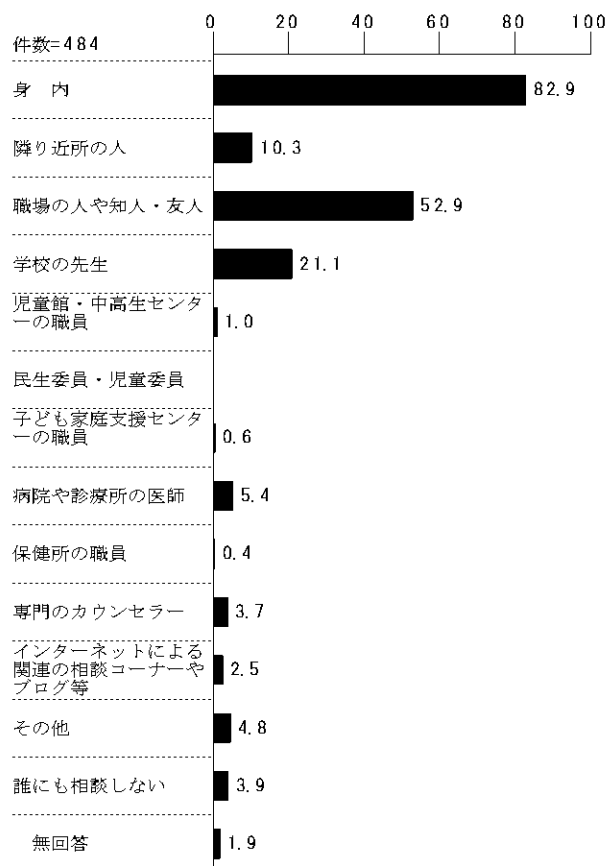
◇【家族類型別集計】

	調査数	病気や成長に関すること	食事や栄養のこと	成績のこと	進学のこと	就職のこと	生活態度のこと	子育てが精神的負担になっていること	仕事と子育ての両立に関すること	経済的なこと	その他	特にない	無回答
調査数	484	90	49	189	261	48	94	14	42	184	17	77	16
	100.0	18.6	10.1	39.0	53.9	9.9	19.4	2.9	8.7	38.0	3.5	15.9	3.3
三世代	104	15	10	35	54	7	22	2	7	41	2	19	3
	100.0	14.4	9.6	33.7	51.9	6.7	21.2	1.9	6.7	39.4	1.9	18.3	2.9
両親と子ども	312	55	30	123	168	31	59	9	21	107	11	46	13
	100.0	17.6	9.6	40.4	53.8	9.9	18.9	2.9	6.7	34.3	3.5	14.7	4.2
ひとり親	52	18	9	23	33	8	11	3	13	33	2	4	0
	100.0	34.6	17.3	44.2	63.5	15.4	21.2	5.8	25.0	63.5	3.8	7.7	0.0
その他/母親と子(父親が単身赴任)	14	2	0	3	4	1	1	0	1	2	1	8	0
	100.0	14.3	0.0	21.4	28.6	7.1	7.1	0.0	7.1	14.3	7.1	57.1	0.0
それ以外	2	0	0	2	2	1	1	0	0	1	1	0	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0

●子育てに関する不安や悩みを家族類型別に見ると、進学のこと、どの家族類型でも高い比率を占めていますが、ひとり親では経済的なことの比率が高くなっています。

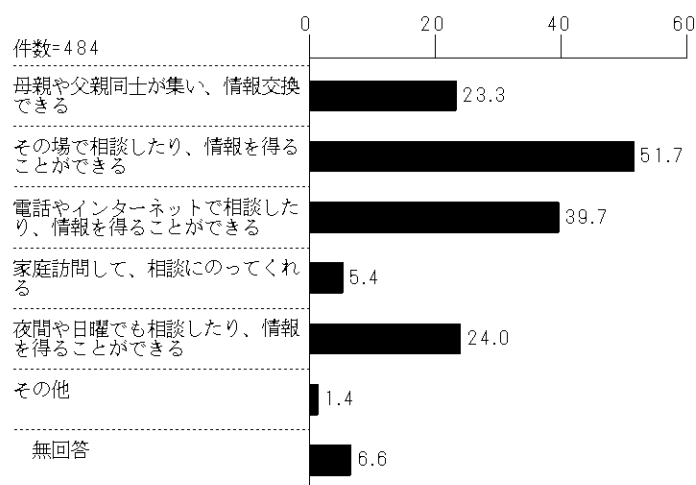
問 1 1. 子育てに関する不安や悩みの相談相手 (〇はいくつでも)

●不安や悩みを相談する相手としては、身内(82.9%)が最も多く、このほかでは、職場の人や知人・友人(52.9%)、学校の先生(21.1%)が多くなっています。



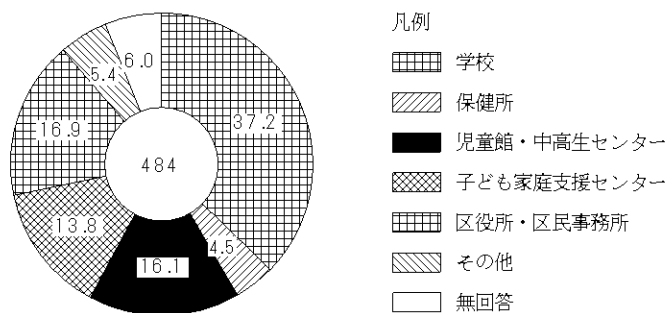
問 1 2. 子育てに関する望ましい情報・相談の場 (〇はいくつでも)

●子育てに関する情報・相談の場に関する要望としては、その場での相談・情報の収集(51.7%)が最も多く、電話やインターネットでの相談や情報収集(39.7%)がこれに続いています。



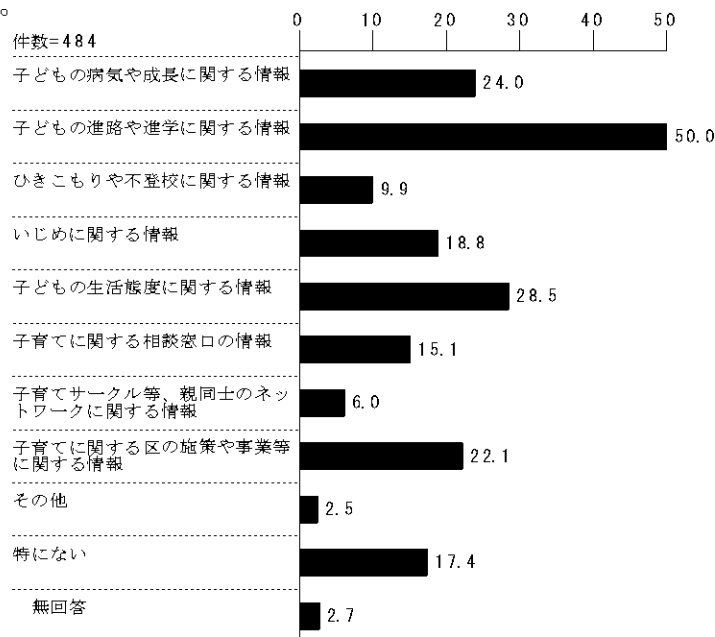
問13. 子育てに関する情報・相談を受けられる場所（○は1つ）

●子育てに関する情報・相談を受けられる場所としては、学校(37.2%)を望む声が多くなっています。



問14. 子育てに関する欲しい情報や不足している情報（○は3つまで）

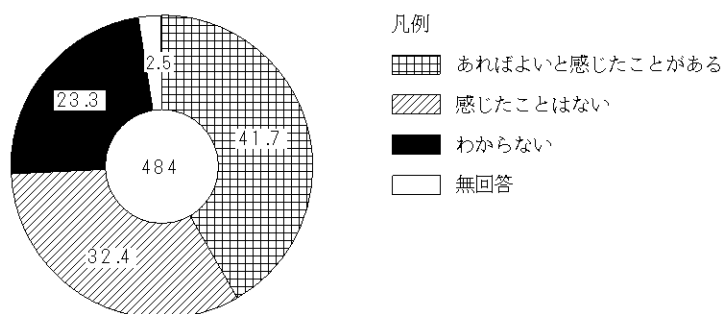
●子育てに関して欲しい情報や不足している情報としては、進路・進学(50.0%)が最も多く、生活態度(28.5%)や病気・成長(24.0%)、区の施策・事業等(22.1%)が続いています。



(5) 地域での支援や地域活動について

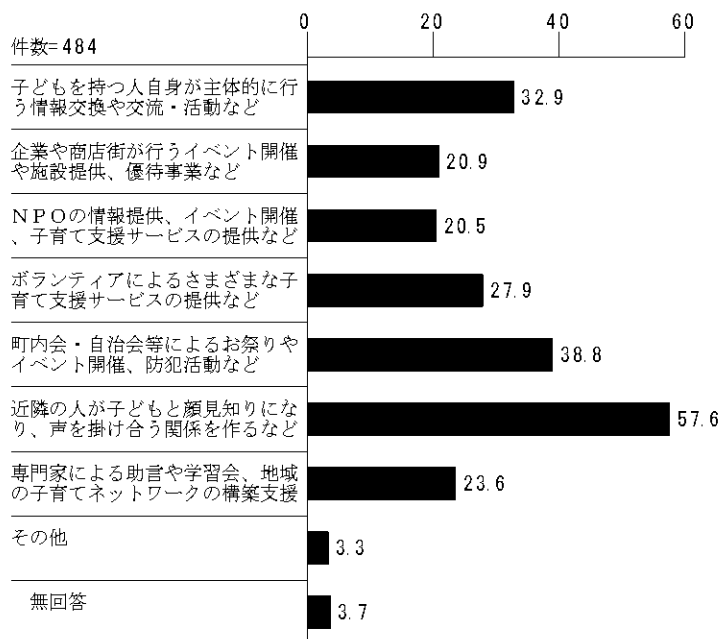
問15. 子育てをする上での地域からの支援（○は1つ）

●子育てに関する地域の支援を41.7%の人が望んでいる一方、32.4%が必要を感じていないと答えています。



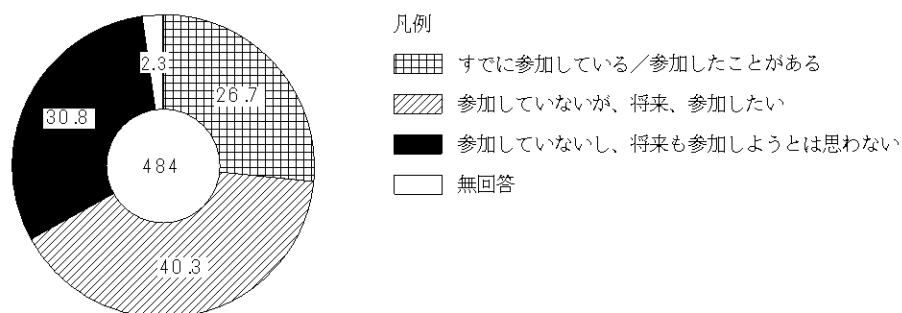
問16. “地域の子育て力”の向上に有効な取り組み (〇は3つまで)

● “地域の子育て力”を向上させるための取り組みとしては、近隣の人による声掛け等の関係づくり(57.6%)や町内会等によるイベント開催など(38.8%)、子どもを持つ人の主体的な情報交換や交流・活動(32.9%)が有効と考えられています。



問17. 地域の子育て支援活動への参加状況 (〇は1つ)

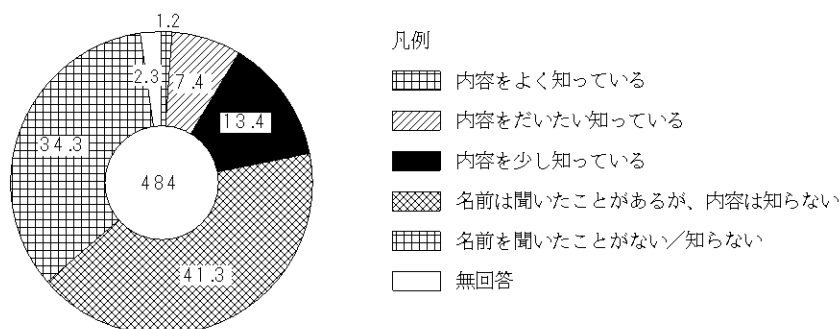
● 地域の子育て支援活動への参加状況は、すでに参加している／参加したことがある(26.7%)、参加していないが将来参加したい(40.3%)となっており、これらを合わせた全体の67.0%が参加意向を示しています。



(6) 区の子育て施策について

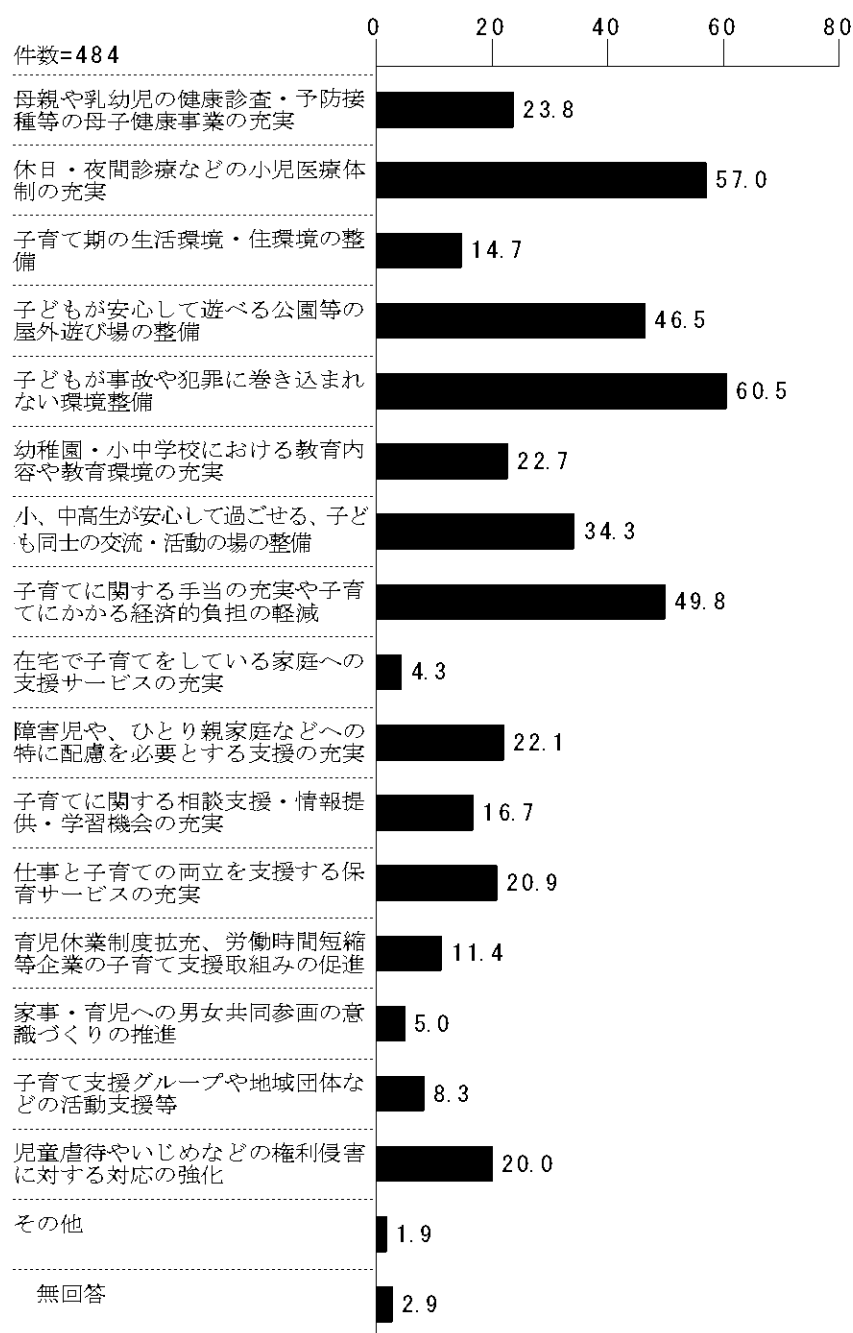
問18. 「子どもの権利に関する条例」の認知状況 (〇は1つ)

● 「子どもの権利に関する条例」は、名前を聞いたことがあるが内容は知らない(41.3%)が最も多く、名前を聞いたことがない／知らない(34.3%)がこれに続いています。



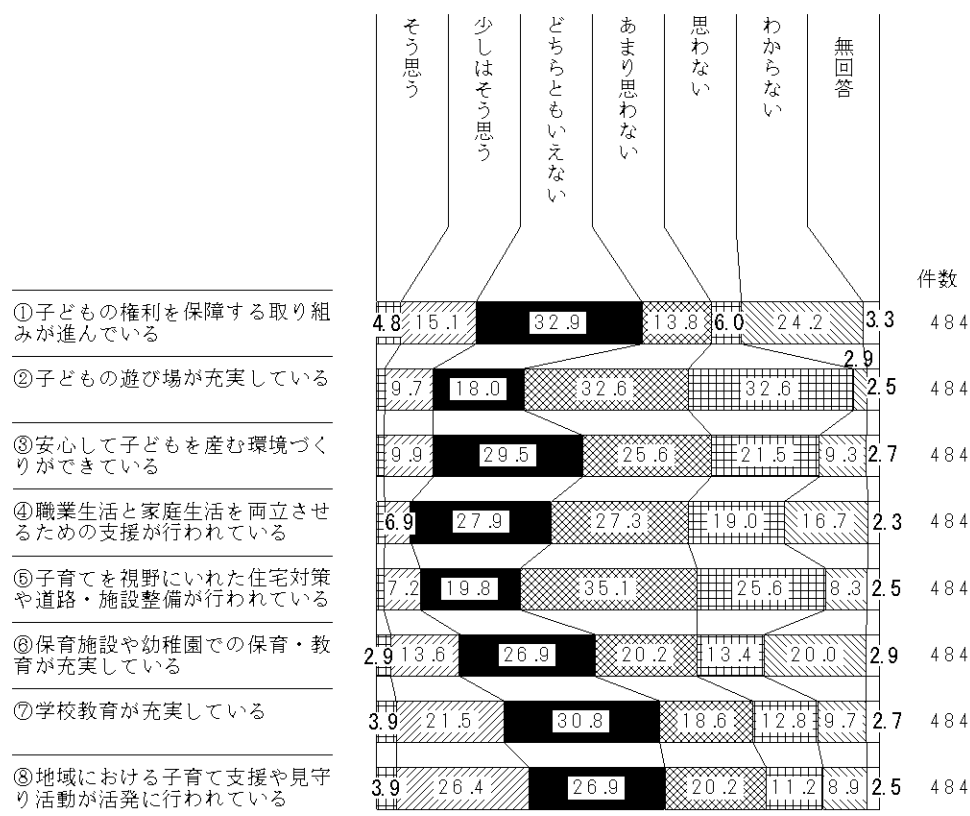
問19. 子育て支援に関する施策や事業への要望（〇は5つまで）

●子育て支援に関する施策や事業に対する要望としては、事故や犯罪に巻き込まれない環境整備(60.5%)や小児医療体制の充実(57.0%)、手当の充実や経済的負担の軽減(49.8%)、屋外遊び場の整備(46.5%)などが高い割合になっています。



問20. 豊島区の中での「子どもが育ち、子どもを育てていく環境」に対する評価（○は1つ）

●子どもが育ち、育てていく環境としての豊島区の評価で評価の高い（そう思う、少しはそう思う）項目は、地域における子育て支援や見守り活動が活発(30.3%)、学校教育が充実している(25.4%)、子どもの権利を保障する取り組みが進んでいる(19.9%)などです。





## 問 2 1. 豊島区の子育て支援への意見（自由回答）

【記入者：146人】

### 1) 施設整備

- 西武池袋線の東長崎～江古田間の踏み切りが「あかずの踏切」で、車の移動は特に困っております。子ども達も自転車や徒歩通学ですので、豊島区として何か解決法は無いのでしょうか。また、豊島区の野球グラウンドを増やして頂きたいです。
- 子どもは二人とも中学生です。この子ども達が小学生の頃は医療費の助成などありませんでした。今は保育園に預けて働く母親が増え、一人っ子も多いようで、今、乳幼児の親は随分優遇されていて、うらやましく思います。子ども達が小学生の頃から思っていました、中学生の遊び場は殆どありません。どこか中学生が安全に体を動かせる場をつくって頂ければありがたいと思います。私自身が40年以上豊島区民です。更に住みやすい区になったら良いと思います。
- 豊島区は他区に比べて緑が少ない印象があります。特に幼少期の子育てには安全で自由に遊べる公園等が必要です。是非緑豊かな生活環境づくりを進めて下さい。また、今回「ジャンプ東池袋」の存在を初めて知りました。広報活動も積極的にされる事で、施設も有効に活用される事と思います。
- 子どもが乳幼児の頃は豊島区にいなかったのですが、子育て支援がピンとこない。巢鴨公園には昼間もホームレスみたいな人がベンチにいて、子どもを遊ばせにくかった。サッカーや野球の出来る広場があるとうれしい。
- 子どもが安心してのびのび遊べる場やスポーツ出来る場がもっと欲しい。図書館の充実。
- 中学生、高校生の遊ぶ場がないと思います。球技など(サッカー、野球)が出来る金網の張った小さなグラウンドでもあればいつも思っています。
- 豊島区ももっと緑の多い公園(光ヶ丘公園の様な広い公園、子ども達がのびのび安全に遊べる場所)を作って欲しい。(豊島プールを再開させて欲しい。)中・高生が集い交流できる場所を増やして欲しい。
- 子ども達が気軽に利用でき低料金(無料)の施設が少ない為、おこづかいの遣り繰りが大変！スポーツをしたくても場所がないので、家で遊ぶ。住宅事情などで、静かにしないといけないので、ゲーム、本、パソコンで遊ぶ。すると親に「ゲームばかりしないで外で遊ぶ」「勉強しろ」と言われる。親もそう言いながらも、ゲームは大目に見ようと思うがこれで良いのか不安はあり、楽しく安全に子ども達がいつでも利用できる場所はないものかと、日々思います。
- 我が家は高校3年生で子育てもそろそろ卒業ですが、とにかく安心して子ども達が遊べる環境を用意して頂きたい。問13で子育てに関する情報・相談で気軽に受けられる場所とありますが、堅苦しい場所だと入りにくかったり、あえて相談すると言うよりも、自然で話していたと思えるような「お茶しに行く」ような場所があれば良いのではないかと思います。
- 中高生の子どもを持つ親として、体を動かして遊べるスペースがないと思います。一番体力づくりをしたい年齢だと思うが、とにかく場所が無い！友人とのコミュニケーション作りの場がないと思う。パソコンやゲームの世界ではなく現実のひととの交わりの中で成長して行く事が将来的にも重要だと思う。放課後の校庭開放も中学生以上は利用できない事になっている。週に1～2日位は中学生以上の子どもに開放する日を作って欲しいと思う。
- 中学生が塾以外で勉強できる場所を作って欲しいです。(机とイスがあればOK)中学生が話だけできる場所が欲しい。
- 近所の公園、上り屋敷公園で当時子どもを遊ばせたが、遊具の点検をこまめにしてもらいたいと感じた時があった。
- 豊島区はのんびりしていて便利な場所にあり、とても気に入っています。豊島区に住む前は板橋区、北区にいました。それなので友人も板橋区や北区にたくさんいます。小学校低学年までの子育てには板橋区はとても良いです。児童館の内容、カリキュラムがとても充実しており、幼稚園や保育園に入なくても平気と思えるほどです。土地柄もあるのですが、季節の風物(いもほり、花火、ジャブジャブール等)も区がかなり力を入れていると思います。子どもの医療費免除なども豊島区は他の区の随分後に行われたように思います。豊島区には池袋もあり、巢鴨、大塚、目白、駒込など文化、観光的に個性のある地域をもっています。やり方によってはもっと有名になり輝ける区だと思います。子育てをしている年代の家族がもっと住みやすい環境づくり、保育施設の充実などもっと地域を巻き込んでの区の活動を希望します。例えば池袋のアウルスポットには保育施設があればいいと思いました。これから建築する公共の建物には必ず子どものための、子育てのための施設をいれる様にしてはどうでしょうか？
- 将来を担う子ども達が伸び伸びと健やかに成長していけるよう一番力を入れてもらいたいと思っているのが、子ども達の遊び場の確保です。あれだけ地域に密着した温かいぬくもりの感じる雑司が谷児童館を無くした事は雑司が谷地区にとって大きな痛手です。雨でも遊べる場所、ゴロツとできる場所、読書できる場所、スポーツのできる場所、ピアノを弾ける場所、おもちゃで遊べる場所、中学生も遊べる場所、そんな魅力的な場所が今は無いのです。雑司が谷図書館も雑司が谷地区の子ども達はよく利用していました。それも取り上げられてしまいました。唯一、今思いっきり遊べる場所が旧高田小です。旧高田小の有効利用を是非考えて頂きたいと思います。

- サッカーや野球をやっている子が多いのに、練習する場所がありません。校庭開放のように自由に遊べるスペースとスポーツの練習場にもなるスペースもあるといいと思います。体育館のように雨でも体を動かせる場所、建物の中に図書室を兼ねた勉強スペース、飲食もできる談話室など充実した実施が希望です。もちろん中学生や大人も利用できる安心して過ごせる憩いの場として区民が楽しめる場所となる事を願っています。雑司が谷公園も旧高田小と合わせて遊ぶ子ども達が多いです。両方をうまく活用してもらいたいと思っています。

## 2) 施設運営や運営支援、仕組みなど

- ひとり親家庭にボランティアが学習を見てもらえる所が欲しい。  
親が忙しくて勉強を見てあげられないです。
- まだ引越して来て間もないので、条例の事などはわかりませんが、犯罪の多い昨今、子どもが安心して暮らせる環境を作って欲しいと思います。泥棒・変質者出現の情報等、メール配信してもらっていますが、引越して来てたまたま目にしたものの、その後見えない気がします。知らない人も多いかと思えます。メール配信でなくても掲示板を見ると分かるとか、目に付く様にすると、知らない人にもわかるし、犯罪者も警戒するのではないかと思ったりします。
- 私立中に行っていて交流不足です。近所でも私立に行っている子が散見されますが、交流は全く無い。学校が異なっても出会える居場所が作れるとよい。音楽スペースや読書、学習スペースが欲しい。特に、駒込図書館に自習スペースが少ないので、夏休みに開放された会議室を常設し、さらには宣伝も必要と思われました。又、児童館の様に住所氏名を記入するのは本当に必要か？と疑問しました。日数や時間を延ばさないと利用もしにくい。知名度も低かった様です。
- 私立の学校へ通っている児童、生徒にも情報が行き渡るような工夫が欲しい。
- 子ども達に文化的な事を区から与えて欲しい。
- 以前、豊島区の公園には子ども達が安全に遊べるように監視する人がいたが、いつの間にかその制度が無くなり、小屋だけがポツンとあるのはなんとなく淋しく思うので、復活させてはどうかと思う。(特に子どもへの犯罪が懸念される時代なので。)
- 家庭教育推進委員という名称だったと思いますが、子どもが小学生の時、やらせて頂きました。豊島区独自の取り組みだと聞いておりましたが、大変有意義な時間を過ごさせて頂き、子ども達を取り巻く環境の変化を保護者と言う立場だけでなく、地域社会の一員としても考えさせられました。40代、50代前半の子育てがやや一段落した、又は後もう少しで終わるといった方々に、ぜひサポート役として地域の子どもの為に活躍できる場を設けるのも一案と考えます。
- 地域・自治体等のイベントも現在行われているお祭り程度では、中高生は出かけて行きません。もう少し対象年齢を上げた企画があつてよいのではと考えます。
- 我が家では次女が生後6カ月頃から4歳位までサ  
ポートセンターでシッターさんを週2位で使いました。家で子どもを見てくれる人を頼めるのは、大変助かりました。
- 豊島区からの出産祝いのプレゼントを出産して使えるものにして欲しい。
- 支援についてネットワーク等親同士のサークル活動は一見和やかで、相互に悩みを打ち明ける良い機会が得られますが、一方、勝ち組、負け組に反映される意識が親の競争に拍車をかける事も事実です。かつて児童館で乳幼児の集いに参加していた頃、他の子どもが出来る事が自分の子どもに出来ない事で、かえって減入ってしまう母親たちをよく見かけました。また、子育ての悩みの実態を追究すれば大方「大した事ない」レベルのもので、私自身も第一子出産直後、泣きじゃくって鼻がつまり息が出来ない乳呑児が死んでしまうと思い、慌てて病院に電話をしてしまった経験があります。育児救急テレホン等、24時間体制で大した事ないものも含め対応してくれるサービスは良いと思います。さらにバックにはきちんとした医療機関に連絡して問題があれば即適切な処置が受けられると安心です。区の財政は？ですが、基本的には目先の支援よりしっかりした保障の完備が重要と考えます。若い夫婦が安心して子育てが出来るよう、出来る限りの予算を組んで頂けたらと思います。公園等、環境の整備、教育の場である公立学校の信頼と質を高める事も不可欠でしょう。豊島区の少子化・・・くい止められます様願っています。失礼申し上げました。
- 不審者などが居た場合、両親が働いていて子どもの学校の下校時、シルバーの方をお願いしたいと思っています。
- 豊島区の子育て支援は公立小・中に通学する子どものみ対象になっていて、国立・私立に通う子どもは住人扱いされていない。豊島区安全・安心メールを受信しているが、以前国立小に通う小学生が不審者に被害をおわされても何も通知はない。(目白警察には被害届を出しているにもかかわらず。)相談窓口の知識力UP希望。決められた答ばかりでは相談の意味なし。民間の専門に相談や指導してくれる方が知識がある。
- スキップをはじめ障害児への支援がない。教育委員会、福祉関係部局との連携協力をすすめる。  
お金をかけるのではなく、NPOや協力団体が活動しやすい仕組み作りを。
- 生後1年くらいまで児童館に保健婦さんが来て下さって、体重を測ったり話を聞いて下さったりして、とても助かりました。毎日行く場所があり、近隣のお母様たちに会うことができるのは一人きりでもってしまいがちな時期にとっても良い事だと思います。今もあるのかどうかわかりませんが、定期的にたずねていける場所の提供をお願いします。ただ相談をメインにしてしまうのはNGだと思います。大げさすぎで近づきにくい感じになってしまうので。
- As a foreigner, I need a center to help me translate the important print outs that comes from school. This center must be opened on Saturdays or Sundays or after office hours to meet parent's

schedule.

- 昨年転入して来て、以前住んでいた所より子どもたちがのびのびとしていると感じます。楽しそうに見えます。ただ、親はどうでしょう。自転車の通行、商店、路上でのマナーの悪さが目に付きます。子育て支援の項目に親の教育も入れてはどうでしょう。全てにおいて良識ある大人をつくる事が良い子育てにつながるのではないのでしょうか。妊婦健診、幼稚園、小学校等で親に働きかけるのも一案かと思えます。乳幼児のいるお母さんにちょっとしたサポートが出来る体制を整える事が出来れば良いと思えます。地域の人と提携し、どしゃ降りの雨の日、母子のどちらかが病気の日の買物等、必要な時に少しの手伝いを受けられるコンビニサポート、子どもを預けるのではなく、子連れで外出できない時の用を足してもらうサービス、区が間を取り持てはいかが？
- 障害を持っているお母さん達が相談するところがあった方がいいです。会話できない子どもをもつても通えるような場所が近くにあったらいいです。
- 高南小の体育館を借りて週2回活動している高南ミニバスケットボールに小学校時代所属し、皆で皆を育てた感があります。こうした地域のボランティアによる活動は重要だと思います。高南小には試合の出来るバスケットゴールとラインがありません。是非つけて頂きたいお願い申し上げます。
- 子どもが小学生の時は、学校やPTA、区よりのお知らせが毎日の様に届き、学校や区の動きがわかったが、卒業した時からまったく何も無く、いつ運動会や学芸会をやるのかさえもわからない。せっかくたくさん卒業生や親がいるのだから、もっと活用する組織を作ったらどうでしょう。

### 3) 医療など

- 夜間に子どもの病気に関して救急対応してもらえ医療機関の増設を望みます。

### 4) 安全・安心

- 中・高校生が帰宅する夕方、街灯がとても暗く、安全とは思えません。もう少し明るいものにするとか街路樹より下側につけるなど検討して欲しい。又、自転車に対する知識(乗り方やルール)を小学校のうちからきちんと指導して欲しい。
- 土地柄、危険が沢山ある町だけに、子どもの安全を守る為の活動をどんどんして頂きたいです。
- 繁華街の防犯カメラ設置や、墓地周辺の電灯設置。交番を多く設置して頂けると安心です。(塾の行き返り、暗い所が多いので。)区立の幼稚園が少ない様に思われます。
- 1. 区内は住宅街と言えども、自動車(業務用含む)の交通量が多く、歩行者と車両を分離する安全対策を徹底して整備して欲しいと思う。
- 2. 雑司が谷駅から早稲田方面に向かっての明治通り沿い、また学習院大学の裏手は、近年住民が増加し、通学生が多いにもかかわらず、道路整備が遅れ、照明も暗く、早急に対応して欲しいと思う。
- 3. 自宅から高田馬場等の主要駅までの歩道については、子ども達にとっての通学路として位置づけられるものながら、神田川周辺には繁華街から流

出してきたホームレスが散見され、子どもの安全の確保に問題があると感じている。

- 子育て支援と同時に、駅に近い繁華街の環境を整えないと子どもが犯罪を含む様々な物事に巻き込まれる可能性が大きいと思います。品のある落ち着いた町にして欲しいです。
- 登下校時間帯のパトロールは大変ありがたく思っています。地域での防犯活動は大切だと思います。

### 5) 学校・教育など

- 他区では学校に塾の先生を招き、少しの負担で進学指導をしていると聞きました。私は子どもが3人いますので、子どもの塾にかかる費用が生活費の大部分を占めています。もう一歩進んだ教育を、行政主体で考えて欲しいです。
- 区内の中学生は学校の内・外の掃除がなっていない。朝と帰りは掃除をさせるべきである。
- 公立の小中学校の週休2日制はやめるべき！土曜日もしっかりと授業を行い、登校させるべき。週休2日制は塾をもうけさせるだけで、子どもにとっては百害あって一利なしです。
- 発達障害(ADHDやアスペルガーその他)が取りざたされています。教育現場での学級崩壊や青少年の犯罪、大きくかかわっている問題だと思います。こういった問題にもっと積極的に取り組んで欲しいと思います。中学生になって初めて気が付いても遅すぎる事がいっぱいあります。少しでも小さいうちに見つけて、その対策が取れないものかと考えます。学校でも中学生に対してあまりにも表面的にしか関わろうとしてない現実があります。問題から目をそむけていて、真剣に取り組む姿勢に疑問を感じます。
- 教育をする立場の人間が自信を持って子ども達を指導できる環境づくりが最優先だと思います。信念を持った教育であれば、子ども達も受け入れます。親も同じです。重要なのは「子ども達のために何が出来るか」と言う事だと思います。
- 学校教育の現場で起きている「いじめ」や「学級崩壊」について、もっと情報をオープンにし、先生、学校、保護者、教育委員会が協力して解決できるようなシステムを作って頂けたらと思います。
- 通っている中学校で、土曜日を利用して補習の授業をして欲しいです。やる気がある、勉強をきちんとしていても成績が良くならない為、結局高い授業料を払って塾に通わせる事になりました。学校でやってくれないので、経済的にも大変ですが行かざるをえません。成績がふるわない子どもの事をもう少し考えて欲しいです。
- プロフなどの情報を学校関係者が入手した場合、その内容によっては親に知らせるということをした方が良いと思われる。

### 6) 補助制度、経済的支援など

- 医療費がただと言っても医者にかかりません。それより予防接種などを自己負担なしにして欲しい。引越してきて間もないのですが、地域の情報が殆ど入って来ないのでわかりません。
- 豊島区に引越してきたばかりなので、区内で行なわれている事がまだわかりませんが、医療費の助成

など中学校生徒までであるので、良い事だと思います。私立中学などへの助成金もあれば良いと思います。

- 子どもを4人産んで、やっと下の子が中3になりました。児童手当も主人が会社を辞めたら出なかったり、数百円オーバーしたら打ち切られたり、あって無かったようなものでした。今、大学生が2人いますが、高校・大学と一番お金がかかる時には何の補助もなく、両親ともに働かなければ学費も大変です。来年には下の子ども高校へ進学します。子どもを育てるのは色々な面で大変です。継続して支援して頂ける支援を私は望みます。
- 子育てについては、何といっても経済的支援が一番助かります。
- 子ども1人について(高校・大学では私立だとすれば)年間百万円超の負担になるのではないのでしょうか。私には子どもが2人おりますが、幸い今は何とかやりくりしている状況ですが、困っている方は非常に多いのではないのでしょうか。子どもが1人増えるだけで負担が非常に大きくなるのが実態だと思います。このような中では、若い人も積極的に子どもを持つとは思わないのではないですか。少子化を大きく改善する為には2人以上の子どもの場合、皆公平に1人分だけの負担ですむような支援策が必要だと思います。
- 私たちを含め、高齢化がどんどん進みます。わが豊島区も池袋駅周辺を除けばどんどん高齢化が進んで将来は老人だけの町になっていくのが目に見えてますよね。なんとか若い人を増やし、昔のように生き活きた町にしていきたいですよね。そのために子どもを育てていくための経済的支援を強化しなくてはならないと思います。子育ての費用が大きく減れば、消費に回す金も増え、回りまわって経済対策(景気対策)につながっていきます。最も消費が盛んな30代、40代、50代が、子育て費用、住宅ローンでアップアップしているようではこの国の将来は暗いとしかしいようがないですね。
- 子どもは一番の宝です。国でもっと保護すべきだと思います。今はひとり親家庭の方も多く、余り面倒見られない現状の方もたくさんいらっしゃると思いますので、保育の充実や子育ての施設の負担額をもう少し援助金などで補えたらいいなと思っている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。私は3人の息子は成人しており、4人目は中学2年によくたどり着き、少し子どもから離れて仕事を出来るようになりましたが、これからの子どもを育てていく方々のことを思い、ペンをとらせて頂きました。
- 住居(ファミリー世帯)が少ない。都営アパートが少ない。家賃が高い(民間の場合)。(高過ぎる。)子どもがいると入居を断られたりする。公立幼稚園が少ない。私立ばかりまわりにある。ならば補助を減らさないで。公立小学校、中学校でも充実した教育を受けさせて頂きたい。お金に余裕のある人だけが(私立に行く人だけが)(塾に十分お金が使える人が)、十分な教育が受けられるのはおかしい。色々ありますがとりあえずは住居を提供して頂きたい。
- 唯一あげるとすれば、高校卒業まで医療費を無料にして欲しい。それが無理ならば、せめて半額にし

て頂ければありがたいです。

- 中学生までは義務教育なので、ぜひ通学の交通費を安くして欲しい。学校に行くだけで1日往復400円は高すぎます。
- 多種多様の要望を全て平等に行う事は難しい事で、それでも色々工夫して頑張ってる下さっていることと思います。ただ私が疑問に思う点を挙げさせて頂きます。中学生までの医療費無料。とても有難いですが、一律に無料ではなく何割かは負担した方が。ただだからと安易に医者に行く事が少なくなると思います。又、喘息の子ども対象に夏にバスで行くキャンプがあるそうですが、優しい気持ちはわかりますが、結構費用のかかる行事らしいですね。自己負担がかなり安いので、旅行代わりに利用している感じ?支援の範囲が片寄りすぎてませんか?
- 医療費の助成を15歳~18歳に延長して欲しい。児童手当を18歳まで支給して欲しい。パソコンが使える場を多くして欲しい。
- 医療費、児童手当など子育て支援の政策を益々充実させて欲しいと思います。又、小学生・中学生以下の子どもより、高・大学生の子どもを持つ親の方が経済的に大変になるので、その世代への配慮を行政にお願いしたいと思います。
- 中学卒業までの医療費負担ゼロの存続。高校生までインフルエンザ予防接種の負担ゼロの新設。とにかく「子どもを持つ事が徹底的にお得である!」という仕組みを税制面や社会機構上に作らなければ、少子化は止まらないと思う。就学中の子どもがいれば、そして数多く産めば産むほど、あらゆる面で格段に優遇されるのだ、という認識が若い人々に広まれば、出生率も上がってくるのではないかと思います。
- 我が子に人並み以上の教育を行おうと考えてしまうと、教育費にすごいお金が必要となってしまう。今の時代きちんとした子育てを(特に首都圏で)と考える親は、お稽古事や塾、私立の中・高への学費等で数少なく産んで、手間とお金をかける傾向が強い。実際、私立の中・高校ではクラスの1/3くらいがひとりっ子である。「子どもにはすごくお金がかかる」を軽減するような政策が必要と思う。(子育て中の親は税金が減免されるとかも...)
- 「子どもがいるなら」の条件付きでかまわないから、現在の「扶養認定、年収103万未満まで」を150万円未満くらいまで引き上げて欲しい。本当はもう少し働きたいのだが、扶養から外れるとトータルで損してしまうので、就業時間をコントロールしています。子どもが中・高生位になるとパートに出る時間・余裕が出てきたのですが、「年収103万円まで」が足かせになっています。この103万円という金額は過去の産物で、現在のパートの時給や教育にかかる費用にマッチしません。
- 昨年からの中3の春までの医療費支援は助かっております。もう少し早く実施して欲しかったですし、中3ではなく高校卒業までとなると良いのですが。
- 杉並区のような子育て応援券があると、土・日や夜間の講座に行きやすくなる。
- このアンケート内容が、高校生の保護者には無関係なものが多く、高校生の保護者を対象にアンケートをとる意味があるのか理解出来ない。

- 高校生になれば、医療費の援助はなく、区から支援を受けている実感は全くないので、支援についての意見も具体的に思いあたらない。  
しかし、実際に義務教育終了後の高校生をもつ家庭が、一番、経済的にも大変なわけだから、高校生をもつ家庭に対しても何らかの支援があれば、ありがたいと思う。幼稚園児を持つ家庭に対しては、保育料の援助があるわけだから、高校の授業料に対しても援助があってもいいと思います。
- 子どもには、中学生以上になるとともにお金がかかるが、高校になると全く支援がなくなってしまうのはおかしいと思う。
- 私の息子はすでに18才になりましたが、中学校の頃まで、かぜをひいたりケガをよくしました。豊島区では最近、中学3年生まで(15才まで?)医療費が免除されているようですが、もっと子どもが成人するまでに必要とされる費用を免除していただきたいと思います。
- 教育費に関する助成金など、考えてはいただけないでしょうか?私学の助成金などありますが、区民税によって支給されない場合があります。我が家は共働きでそれぞれ区民税を支払っています。豊島区の区民税は今年からかなり上がってしまい、来年は支給されないかもしれません。子どもの教育費のために相当の収入を得なければならぬので、働いているのにこれでは区民として税金を支払っていても何も得る物がありません。子どもを育てるために必要なのは、今はゆとりのある経済的援助だとつくづく感じています。
- 長男は病弱でしたが私達がフルタイムで働き、収入もそれなりにあったため医療費は自己負担でした。熱のある長男をかかえ次男をおんぶして小児科・耳鼻科と医者のはしごをした頃を思い出すと涙が出ます。親の収入にかかわらず子どもの医療費が無料になったのは長男が中3の秋でした。あの悲しかった日々、せめて医療費が無料だったらよかった。私達はその分(収入がある分)税金もそれなりに払っているのですから。女がすべて家庭に入れば労働力も減ります。働きながら子育てできる社会に早くなって欲しい。子どもは未来の豊島区・日本を支える大事な宝です。社会全体で子どもを育てて欲しい。そのための経済面・精神面での親へのバックアップをお願いしたい。
- この不景気に学費の負担が多く、塾や習い事に行かせられない状況は、自営業をしている為、子どもに不自由な思いをさせている。働きたくても年齢制限で、バイトで仕事をしてもらいた収入にもならず、この先の事を考えると不安だらけ。収入が増えれば税金が増大。子どもが3人もいるのに何の手当もない時代を過ごして、1番お金がかかる時には何もしてくれない。まったくこれから子どもを産む人が少なくならない様を考えて欲しい。
- 現在子どもは中学生になっていますが、今までに感じた事はいろんな助成・制度には年収限度があるので、少し超えていた為受けられない場合が多かったです。それなりの税金を支払っていますが、一律でないのかと、いつも感じておりました。(医療費は以前は3歳まで、現在は中学生になっています

が。)子どもに関する経済的な負担は、子どもに我慢させる事は出来ませんので、公平な支援をお願いしたいと思います。

- 子どもが2人おりますが、2人共に豊島区の公立校に通った事がないため、取り組みについてわからない事が多いので、あまりよい回答にならず申し訳ありません。今年3月より母子家庭となりましたが、母子家庭向けの支援を受けると良いとアドバイスされましたが、現在就労しておりませんので、就労していない事が理由で支援の対象にならないと言われました。就労している母に対する支援だからだと言われましたが、少々腑に落ちない思いもありました。(就労できない方が経済的に不安です。)
- 中学3年生までの医療費助成をぜひ続けて頂きたいと思います。できれば、一番お金のかかる学生時代(20歳未満)全般を助成して頂けるとありがたいです。
- 公立校の中学生と私立の中学生に対しての援助金に差がある事を知りました。色々な理由から私立を選択する場合もあるのです。同じ義務教育で、同じように税金も納めているはずなのに、同じ援助を受けられない事に納得できません。公立校と私立校の中学生に対して同じ条件の対応を求めたいと思います。

## 7)意識啓発

- 子育て支援、耳にはするけれどなかなか遠い存在です。もっと気軽に入れるようにして欲しいです。親は悩みがあっても人に言えずに色々な事件が起きています。そんな時に話を聞けたり助言してもらえると、親は問題が全部解決しなくても、気が楽になるはず。私達親ももっと自分から進んで行かないといけなけれど、区の方々、子育て支援の方にももっと色々な形で手を差し伸べて欲しいです。子どもの為にも大人がもっと考えてあげないと。
- 子育て支援に関する施策や事業に取り組む事も大切ですが、その前に、大人として親として子どもたちに将来の夢や希望を持って生きて行ける様な子育て、教育をしていくという大人達の意識改革が必要なのではないかと思えます。大人達の子育て、教育意識を変えるための取り組みも考えて欲しいです。
- 子育ても大事ではあるが、子を育てる基本は親であると思う。親に対する指導や支援も重要と思う。(いわゆるモンスターペアレントはどうなのか。)

## 8)子どもの権利

- 平成18年3月制定された「子どもの権利に関する条例」を知らなかったので、豊島区として通知は出されたのでしょうか。知らなかったのは我が家だけでしたら失礼致しました。
- 問18の「子どもの権利に関する条例」とあるのですが、私は全く知らない。このプリントの中に載せてくれてもいいのではないかと思います。
- 「子どもの権利に関する条例」内容が分からないです。その内容が書いてある用紙、家庭に送って頂けたのでしょうか?最近、ニュースで児童虐待を良く耳にします。なるべく早く気が付いてあげたいです。学校の先生に期待します。公園の遊具が少し少な

くなった気がします。事故がありすぎて難しくなっているのでしょうか。昔は良かったのに…。

- 1年位前だったでしょうか？麻疹が流行し、区で予防注射を無料で受けられた時があったと思います。我が家の場合、私立中学校の為、区立中学校生徒には連絡をしたにもかかわらず、知りませんでしたので、同級生の親とたまたま会い、その話題になり、知り得たときにはすでに区内の医療機関にはワクチンが無く、保健所に問い合わせ、2ヶ所伺ったところも、電話を試みるとすでに在庫はありませんでした。保健所からの手紙に「ワクチンが不足して接種出来なかった場合は、ワクチンの供給が整い次第期間の延長を予定しています」とあったが、いつになるか気にしながら保健所に電話をして聞いていました。そのうち国の方針で中学1年と高校2年生にのみ無料になったので、区としてもそれに従います。とのこと、結局今でも接種していない状態です。同じ豊島区民でありながら、税金も納めていますし、まさに子どもの権利に関する条例に反していると思います。広報や区立学校に連絡するだけでは一方的で特定な人達のみです。同封した資料講座に参加しました。はしか累積報告数を見ての通り、専門医の話で国の示した中1、高3よりその間の年齢の方が多し事がわかります。ぜひこの年齢の未接種の子ども達にも無料予防接種を受けられる様にして頂きたい。切なる願いです。

## 9)感想、意見など

- 子どもが小さかった頃は上の子が病気になった時等、誰もみてくれる人がいなかったのが、病院へ行っている時だけでも見てくれる人がいると良いと何度も思った。今、中学生になり、一番体を動かしたい時だと思うが、グラウンド(野球やサッカー)などができる場が無過ぎる。校庭開放(小学校)も中学生は使えず、フラフラする事が多いと思う。一番大切な時期に遊ぶところが無いから、親に言わずマンガ喫茶やインターネットカフェに行ってしまう子もいるのだと思う。
- 何も期待はしていない。
- 悩んでいた時期は過去の事なので、今は何も意見はありません。悩んでいた時期に支援があっても、わかってもらえなかっただろうと思います。
- 子どもプランは中学生までの医療費支援等、非常に助かっている面もありますが、余り目立った効果はないように思えます。子ども達の大事な遊び場である児童館がどんどん消えていっているし、学童保育は相変わらず狭き門で、このプランの効果やこのプランに注がれているエネルギー等、疑問を感じざるを得ません。親が病気になったりして子どもを世話できない時、近所に預ける場所や設備が徹底的に欠けています。区の支援サービスの中にケアする人を派遣する有料サービスがあるのは知っていますが、それよりも自宅外にそういった施設・人員を整えた方がより効果的です。
- 学童クラブ、児童館を小学生から取り上げてしまったのはどうかと思う。学校に組み入れるのなら、もっと環境整備すべきだと思います。豊かな環境でこそ育つものも大切だと思います。学校内の設備・教育

についても、指導力のある教師を育てるとか、特色のある設備にするとか学校がもっと魅力的なものであると良いですね。家に親がいない、子どもだけでコンビニやゲームセンターをうろつく、そんな子ども達が心のより所となるような場所になってくれると良いのではと思います。この町だからこそ。(池袋)

- 医療費の負担が15歳までになったのは評価できる。
- 中学生まで医療費がかからないのは助かっている。学校からの再検査票(視力や耳鼻科など)でお金の取られる医者と、ただの所があるのは不公平。
- 子育て支援にこの様に前向きである事に逆に驚きました。この様な姿勢から豊島区の行政から見守られている安心感があります。ご苦労が多々あると思いますが、皆様これからも地域の為に頑張ってください。
- 我が家は一人っ子。所得の関係であまり補助金とは縁が無く、あまり恩恵は受けてません。学校の役員決め等でも「うちは子どもが多くて大変」と開き直り気味？そんな時、子どもの数はあくまで各家庭の計画なのだから、何故その負担を、まして子どもが出来ない人たちにまでかけてしまう仕組みなのか…。わかっけていても時々腹立たしい事ではありません。子育ての大変さはわかるつもりですが、世の中に甘えて増長させるような手助けになる部分はカットして良いと思う。でない人間として親として成長できないと思う。
- 区の財政難というもとで、子育てや福祉に関するものがどんどん削られている。子育て支援とか掲げているが、本当に必要な支援が受けられない。全く現実離れしている。今、子育てをしている人たちの意見を取り上げて欲しい。
- 以前2人の子どもを保育園に(0歳から)入れてフルタイムで働いていました。幸せな事に2人も保育園には希望通り入る事が出来ました。しかし、小さい頃はよく熱を出したり、感染したりと会社を休む事も多く、何度も辞めようと思いましたが。園には保育士の他に看護師もいましたが、いつもすぐに早く迎えに来るようにと言われ、仕事をする母親にはつらい時期でした。又、同じ園には商売をしている家庭も多く、日・祝・年末・年始は大変そうでした。すべて公平になどとは言いませんが、頑張っている事が後で良かったと思えるように子育てしたいと思っています。子どもに国や自治体が費用をかけるのは、未来への投資です。必要な所にはしっかり支援して下さい。
- 「子育て支援」はとても大切な事だと思います。ただ「子育て支援」と聞いただけでは具体的に何？といった感じです。私の場合はもう2人の子どもも大きくなり、小中学校は遠い感じです。今の現状がどうなっているのかよくわかりません。助ける立場になると、自分の事でいっばいで、地域の行事にもなかなか参加(お手伝い)も出来ず、申し訳なく思います。今の時代、本当に精神的に病んでいるお子さんにはきちんとした行政のケアが必要だと思います。(親子共)ふだんの生活の中では地域の声かけなど顔を知って、みんなで見守る！というのが理想だと思います。が、現実には無理ですね。なぜ無理？！む

- ずかしいです。
- 「子育て支援」というと、小さい子どもの為の・・・というイメージが強いですが、小さい子ども達もいずれ中学生・高校生になっていきます。小学校・中学校ともに地域の学校に通わせておりますが、放課後、中学生の居る場所が全くありません。自由にサッカーボールを蹴ったり、走ったりする場所がありません。お年よりはゲートボール、犬は散歩ができるのに中学生は公園でしゃべっていただけで通報されたり、注意されたり・・・。本当に大きなエネルギーの持って行き場がないです！一番難しい思春期の中学生時代を有意義に健全に過ごせる様に、平日の旧十中校庭の開放と、旧長中跡地をサッカーや野球の試合が出来る様に、広いグラウンドとして残す事を強く希望します。公園は全てボール禁止。仕方なく他区へ行きます。こんなお粗末な環境は豊島区だけではないでしょうか？体育館は何カ所もありますから、旧長中跡地は中途半端な物をつくらずに、豊島区に無い競技場にして欲しいと思います。
  - 長崎中跡地の再利用については説明会にも行きました。納得できるものではありませんでした。私たちの税金ですよ？こういう事業は子育て支援とは別！というお考えでしたら、それは違うと思います。深く関係があり、大切な事です。子育ては年齢が上がるほど難しくなります。赤ちゃんを預ける場所が増えても、中学生が行く場所がないのでは困ります！これは切実です。多くの中学生を持つ保護者の方が同じ思いです。
  - 子どもを産み育てるなら豊島区、若い親がそう思い移住してくるような思い切った施策が必要。出産費用の補助、保育施設の拡充、第2子からの児童手当の拡充等、他の予算を削っても未来の地球を担う子どもとそれを育てる親に支援を。そうすれば豊島の人口も増え税収も上がると思いますが。
  - 封筒の宛名の子どもが幼稚園の頃、下の子どもが3歳位で、上の子の用事で下の預かり手が見つからなく、豊島区の保育園で預かりをして頂いて有難く、とても助かったのを覚えています。この制度はまだあるのでしょうか？とてもいい制度だと思います。
  - 転勤族で5年前から住んでいます。小学6年から生活しています。地域と学校とがお互いに活動を活発にしている様に見受けられました。しかしながら中学に入ると私立中に入り、友達もそれぞれの違う学校に入学します。そうなると学校中心の生活となるので、地域とかかわりが我が家ではあまりなかったようです。中学生が集まる場所として近くの図書館によくお世話になりました。子育ての悩みは学校の子どもの友達の母親の方と相談しました。私は3番目の子でしたから、なんとなく上の子を見ていて経験していたので心配なかったのですが、初めての子ども、長男・長女の時は大変なので、地域のケアもあると助かるなあと思います。
  - 近年こちらに越してきたので良くわからない点が多いです。また子育てはほぼ過ぎていたのでわかりません。ただ祭りなど地域の集まりは充実しているように思います。そういった点に行政も応援をして行くべきではと思います。
  - 突然のアンケートでビックリしました。もっと早くから調査・分析しておかなければ少子化に歯止めがかからない！未来を担う子どもたちをより良い環境で多く育て、明るい社会を築けるよう、関係者一体となって取り組んで頂きたい。宜しくお願い致します。
  - 子育てというか子どもに優しい区だとはあまり思えません。子どもよりも老人を優先しているイメージ。お年寄りに優しいのは良い事ですが、ただ老人にというより選挙権のない子どもは後回しという感じを受ける事が多い。以前住んでいた板橋区・北区と比べて思います。
  - 豊島区在住ですが、子どもたちは他の区や県での通学の為、地域の関わりがありません。従って、豊島区の子育て支援について広報等で知る以外、参考になったりその様子を見る事ができません。おそらく豊島区の学校に通学しておられ、豊島区での生活を中心とされているご家庭では多様なご意見があるかと存じます。うちの子のような他区校で学校生活を送る子も豊島区のイベントに気軽に参加できたなら、地域との私ももっと広がったのでしょうか。子どもたちもすでに大学生になります。豊島区が安全に過ごせる為の社会を切に願っています。
  - 豊島区の恩恵を受けたと感じる事なく子どもはすでに成人と中3になった。せめて20歳までは支援して欲しかった。
  - 子どもの医療費の面ではとても充実してきていると思いますが、近頃は子どもを産む数も少ない人が多くなっていますので、たくさん子どもを産んでも、住みやすく、子育ての環境もより良くなっていく豊島区であって欲しいと思います。
  - 「医療証」の配布など最近になって実施され、我が家は中3のためにわずかな期間しか使用できずに残念です。他の区と比べると今1つ対応が遅い「豊島区」のイメージです。
  - 区立の幼稚園もほとんどなく保育園も閉鎖される所が多く「子育て支援」になっている？
  - こういったアンケートは大変いいことだと思います。ただし、アンケートの数字を単純に鵜呑みにするのではなく、数字、順位のもつ意味や、回答した人の気持等も検討して、よりよい施策作りに生かして欲しいと思います。→同じ結果、数字でも全く反対の施策を実施することもあると思います。
  - 施設の再編(改築、合併を含む)の中で、子どもに関わる施設がどんどん減って来た様に感じる。ただでさえ公園などは極めて少ない我が豊島区で、とても残念である。
  - 妊婦健診の無料券が他区に追隨して増加するなど積極的に子育てを支援しようとする方向がみえない。
  - 児童館を廃止してスキップに移行する過程で、区民ひろばへ継続する地域のボランティアな活動の活用がうまくいっていなかった様に感じた。そのためあってもか、他区でみられる子育てネットワークの活動が豊島区では活発でないように思う。
  - 中高生を地域で生かすような活動を育成会などでもっと取り組めないだろうか。もちろん児童館に代わる場も必要。
  - 私の世代から見て、男女共同企画とか、そのような発想そのものに違和感を感じます。まだまだ豊島区

よりは他の地域の方が良いのではというイメージが根強いのはどういう訳でしょうか。現在は余裕がありませんが、将来何か地域のためにお役に立てる事があれば、積極的にお手伝いさせて頂きたいとも思っております。

- 多少の不便、不安を感じながらも長年豊島区に住んで生活していると、与えられた環境に対応してしまっているようです。時々他区の友人に話を聞くと、「豊島区は遅れている、子育てする環境に向いていない」と感じる事もあります。子どもも中学生なので、自分でうまく行き場を見つけてはいますが、働く親としては健全に集う事ができる施設が近くにあれば・・・と思います。(長期の休みに入ると特に感じます。)過ぎてしまいましたが、学童保育もせめて4年生まで預かって頂けると、働く親の不安も少し軽減されるような気がします。実際、早生まれで9歳になったばかりの子を、ポンと放り出すのはかなりの不安でした。「豊島区で子育てをしたい」と思える様な環境を整える事を切に願います。
- まだまだだと思います。他区などを聞いてしまうと育てづらい環境におかれていると思います。今国から給付金の話がಾಗったりしていますが、杉並区などはすでに子育て支援サービス等もあり、うらやましく思えるほど。新宿区などもそうですが、わざわざ他区へ行っては産めない人も普通にいますが、魅力的に感じる人もいるかと思えます。
- 豊島区は子どもを持つ親が越して来ようと思う魅力がないと思う。お年寄りが多いせいか、その対策は進められようとしているが、公園は減り、児童館も学校も統合され、近くに安心して子どもを遊ばせられる場所も無い。また、中・高生の居場所もない。まず、環境を整えるべきだと思う。麻薬やその他の取り締まりや性犯罪など挙げればきりが無いが、豊島区が全国ニュースに出る事が、最近多い事は憂慮すべき事だと思う。支援も良いが、今の状況を改めないと、ますます豊島区の少子化は進んでしまうのでは？

## 10) その他

- もっと緑を保護して下さい。  
原っぱ、雑草の生えた空地が望ましいのですが、それから、公園にもっと座れるベンチが欲しいです。
- ワンルームマンションは増えていますが、子育て中の家族にとって家賃が高すぎます。上の子の友達は小学校から中学までの間に経済上の理由で、4人、他区、県へ引越しました。豊島区は高収入の家族しか住めなくなってしまうのではないのでしょうか？生まれも育ちも実家もある豊島区にずっと住んで来ましたが、子ども達が成長して行く家庭で考えは変わって来ました。
- 区民住宅を増やして欲しい。
- もう中学生なので子育てと言われてもピンときません。地域の学校に通っている訳でもなく、あまりどのような(豊島区に)子育て支援策があるのかさえ知りません。ただ2年位前に、確かはしかだったと思いますが、予防接種券が区内の小・中学生には学校を通して配られたのに、私立中学へ通っている人の所には何も無く、自分で保健所まで取りに来る様に

という事でしたので、少し疑問に思いました。(下の子が区立小学校に通っていたので予防接種の事を知った。)区の施設で遊ぶような年齢ではないと思いますが、池袋で言うなら、サンシャイン60辺りの中高生が立ち寄りそうな所に地域の目が光っている方が現実的に親が喜ぶ策だと思えます。その中に役所主体の子どもがリラックスして集える場が出来るといいです。

- 保育園の受け入れ人数が少ない。(保育園が少ない。)仕事をもって働きにくい、生活がしにくいと感じる。1歳半や3歳児健診で保健所へ行く時、自転車の駐輪場所が少なすぎると思う。職員の自転車や区の自転車が、朝から駐輪場が使われている事もある。公道に駐輪してある自転車の撤去回数を増やしてきれいにしたい。バギーが通りにくい。子どもと手をつないで歩けない
- このアンケートですが・・・「就労の項目に関して」私は子どもが小さい時は働いていませんでした。まわりにもそういう方々が本当に多くいます。いったい子どもがいくつになれば社会に出て働く事が出来るのか。そこを調べなければいけなかったのではないのでしょうか？中・高生になる前にも働ける環境づくりがとても大切だと思います。
- 小学校にスキップができて働き易くなって来たと思います。これからも支援を！
- 豊島区の色々な大きな施設等がほとんど東池袋駅周辺にかたまっており、すごく不利を感じます。(不便とも言えますが。)コミュニティバスとか、走っていると便利かなと思ったりもします。利用したいのですが、遠くて不便の方が先に立ち、利用しないままになっているのが現状です。
- 歩きタバコの禁止を徹底的にしたいと思います。とても危ない経験を子どもがした事がありますので。北口は雰囲気がとても悪く、日中でも通れません。北口の整備をもう少し厳しくして欲しいと思います。
- 子育て支援(内容を知らないです。皆さんに知らせているのですか？どのような方法で?)についてのアンケートを書きながら、ため息が出ました。これから子育てを始める人に参考になればと思い記入しましたが、現在、自身の子どもは中学生。今まで高い税金を払いながら「子育て」に関して「充分な手助け」を区から受けた事はありません。あまりにも子育てに関して消極的なのではないでしょうか？ほんの小さなことで子どもを育てていく上で助かる事があるのです。例えば、町の放置自転車。ベビーカーを使用する際にも手をつないで歩く場合でも安心して歩けません。(子ども連れでなくても、老人・障害のある人に対しても危ないと思います。)歩道の街路樹も放置自転車のために根が悪くなり、可哀想な状態です。町を歩く子ども達は、ささいな街の風景を毎日見て歩くのです。それが当たり前と思って過ごす子どもが可哀想です。豊島区の考え方＝雑然とした雰囲気、そのままにあらわれています。「支援」を必要とする家庭には支援すればいいと思いますが、まずその前に街づくりを考えたらどうでしょうか？毎日暮らす街が雑然としていたら、心も(大人の心も子どもの心も)雑然となってしまうのではないのでしょうか？いじめ・虐待も減るのではないですか？



- 私達の子ども達が安心して子育てできる豊島区を目指して下さい。
- 他の区と足並みを揃える事はないのでしょうか。よりよい街づくりになるのなら、多少突飛でも、皆賛成しますよ。区議を減らすとか、予算内で取って、余ったお金を積み立てるとかetc。
  - 今や、人間関係の希薄さが感じられる中、町内でも商店街が減り、子ども達も気軽に買物に行く場所も無く「お買物に行って来て！」と子どもに声かけすら出来なくなっています。ただ単にお買物といっても家庭の中では大事な生活や教育の一部で、初めて子どもが社会と家庭を結ぶ大切な役割を果たす社会勉強だと思うのですが、それすら今は出来ず、買物はデパート・スーパーが主流！商店のおじちゃん、おばちゃんとの交流も少なく、商店が活発になるだけで、町内の活気、人との交流、町内や近所の団結で子どもを守る意識がもっと芽生えて来るのではと思います。特にそういう場所を設けるといよりは、商店街の活発化に力を入れて欲しいと思います。
  - 自分たちが幼い頃は地域の様々な方に声をかけてもらい育ってきたように思う。しかし、今は安心して子どもを外に出して遊ばせることが出来る場所がなくなっている。安心して遊ばせられる場所があり、そこは様々な世代の方との交流の場なら、声をかけてもらいながら子育てが出来ると思う。
  - インターネットが活発な時代です。中高生はほぼ携帯電話をもっています。そのため、正しい事を注意したりした子どもが、逆恨みされたりすると、面と向かって話をする勇気の無い、今の一部の子ども達の中で、一晩にしてメールやネットであつという間に火柱のように悪口が広まり、翌日学校へ行くとはぶかれしたり、「昨日君の悪口のメールが回ってきたよ。」「前略プロフィール」に悪口が載っていたよ。などと友達に教えてもらったりして傷つく事も多々あるようです。子どもの権利はもちろん守るべきですが、権利の間違った使い方で、親が子どもに遠慮し、学校では先生も厳しく言えず、言えばその親が理不尽な事を言い、子どもを守るのであれば真面目に一生懸命やって自分に非がある時は親に教えられ、時には「何で自分ばかり我慢して」と家でも学校でも我慢している様な子が評価されない、ばからしい世の中になります。家での子育てはもちろんの事。是非インターネットの管理の徹底。(子どもがアクセス出来ないように・・・等。)
- 親の「常識」の勉強が出来る設備や施設。  
外国人の親のための子育ての勉強。
- 乳児・幼児・小学生・中学生・高校生・大学生と大人になるまで何回公園に足を運ぶだろう。家の近くにも春は桜の木が美しい公園があるが、四季折々の植物の世話が不足していて、何ともお粗末である。情操教育の点からも、明るく、夜はライトをしっかりとつけ、四季の花々が咲きそろう公園になって欲しいと切に願っている。現在よりもっと世話良く、彩り豊かな広場になればどんなに心慰められる人がいるだろう。有名な公園でなく豊島区の公園、大・中・小に限らず、四季の花を咲かせる名案はないものだろうか？そういう働きを募るボランティアはたくさん集まるのでは？工夫して下さい。ぜひとも。
- 越境入学が許される為、同じ地域に住んでいながらも小学校が違うので交流がありません。やはり、決められた区域の小学校へ行く事が望ましいと思います。
  - 朝・夕方、子ども達のあいさつが響くような街になって欲しいと思います。
  - 住み良い豊島区へ。
  - 子どもがこの街で育ち、ここでずっと暮らしたいと思える所になって欲しい。また、外に出た時に、ふるさとだと思える所になるといいです。
  - フルで仕事をしていると、公共の相談へ行くにも行けず、自分で解決していかないと、負担になる事がある。
  - 子育て中に介護が必要になってしまう事が家の中のタイミングで恐れる事です。母親にかかってくる負担が多い中、「豊島区でよかった」と思える事があつたらと思います。



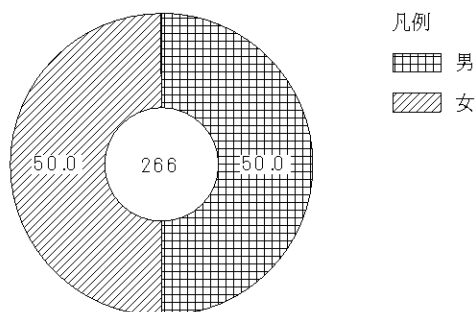
## 4. 小学生

## 4. 小学生

### (1) 回答者の属性について

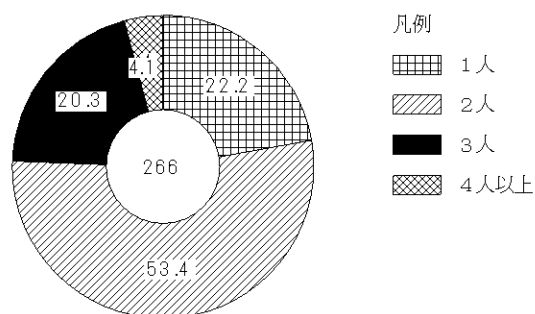
#### 問1. 性別

- 回答者の性別は、男女半数ずつとなっています。



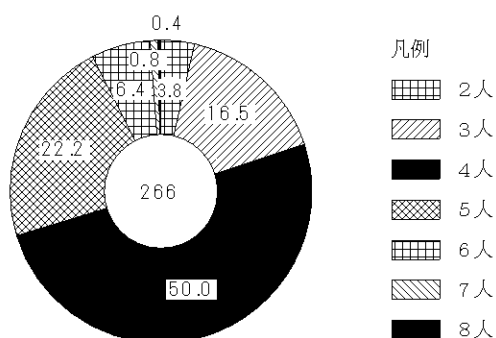
#### 問2. 兄弟・姉妹の人数

- 対象者を含めた兄弟・姉妹の人数は、2人(53.4%)が最も多く、1人(22.2%)、3人(20.3%)と続いています。



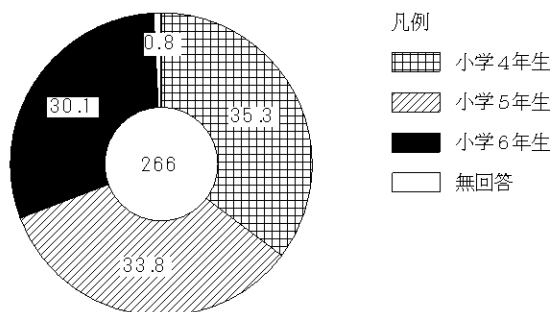
#### 問3. 家族の人数

- 家族人数は、4人(50.0%)が最も多く、次いで5人(22.2%)、3人(16.5%)となっています。



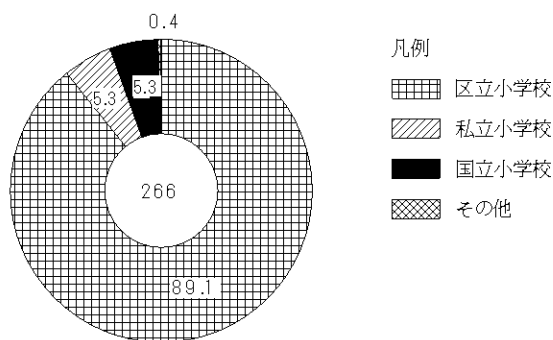
#### 問4. 学年

- 回答者（小学生）の学年は、4年生、5年生、6年生が概ね均等に分かれています。



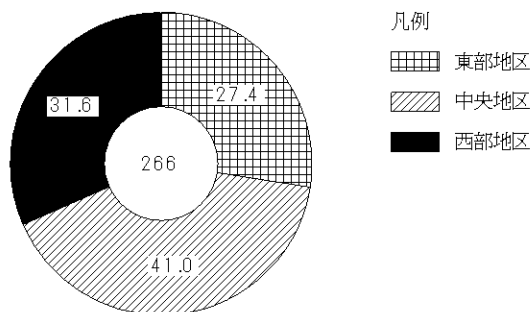
問5. 小学校の種類 (○は1つ)

●通学している小学校の種類は、89.1%が区立小学校であり、私立、国立がそれぞれ5.3%ずつとなっています。



問6. 居住地区 (○は1つ)

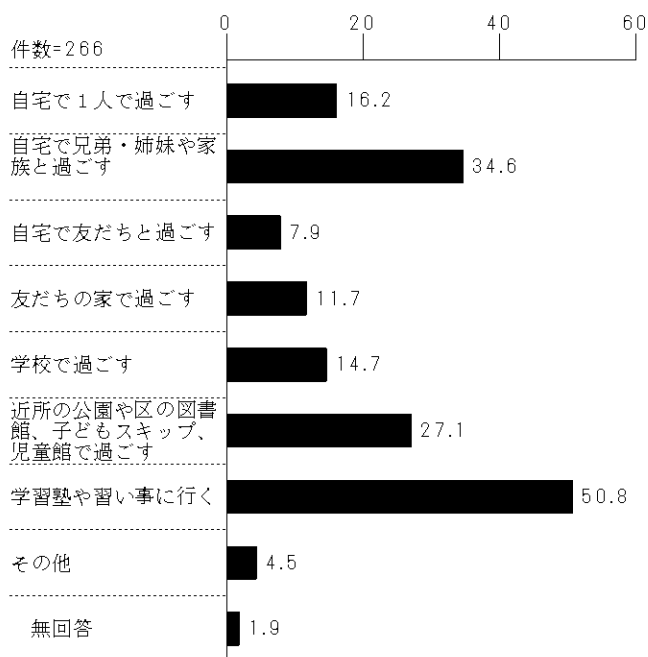
●居住地区を3地区別で見ると、中央地区が41.0%と最も多く、西部地区は31.6%、東部地区は27.4%となっています。



(2) 学校が終わってからの過ごし方について

問7. 放課後の過ごし方 (○は2つまで)

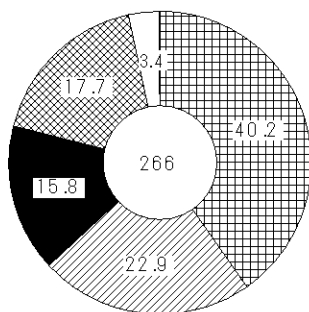
●学校が終わってからの過ごし方は、約半数が学習塾や習い事に行く(50.8%)となっており、自宅で兄弟・姉妹や家族と過ごす(34.6%)、公園や図書館・子どもスキップ・児童館で過ごす(27.1%)がこれに続いています。



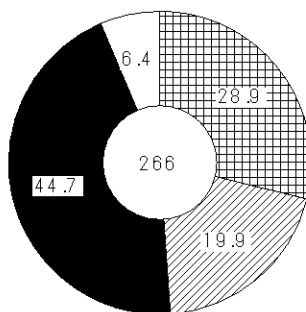
問 8. 友だちと遊ぶ日数 (○は1つ)

●友だちと遊ぶ日数は、平日では週1~2日が約40.2%と最も多く、土曜日、日曜日は遊ばない(土曜日:44.7%、日曜日:49.6%)が最も多くなっています。

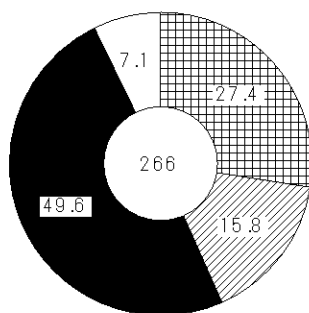
友だちと遊ぶ日数(平日)



友だちと遊ぶ日数(土曜日)

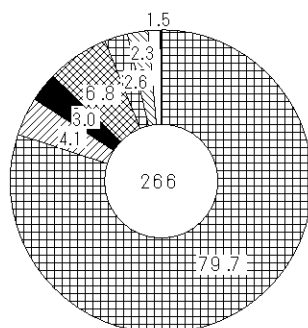


友だちと遊ぶ日数(日曜日)



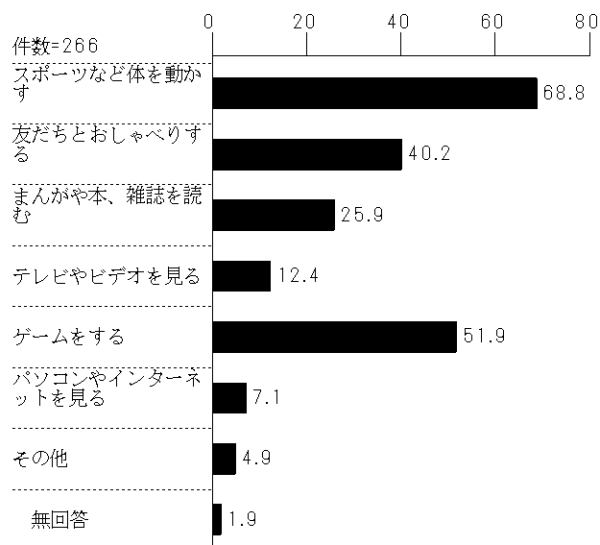
問 9. 遊び相手 (○は1つ)

●遊び相手は、79.7%がクラスの友だちとなっています。



問10. 遊びの内容 (○は3つまで)

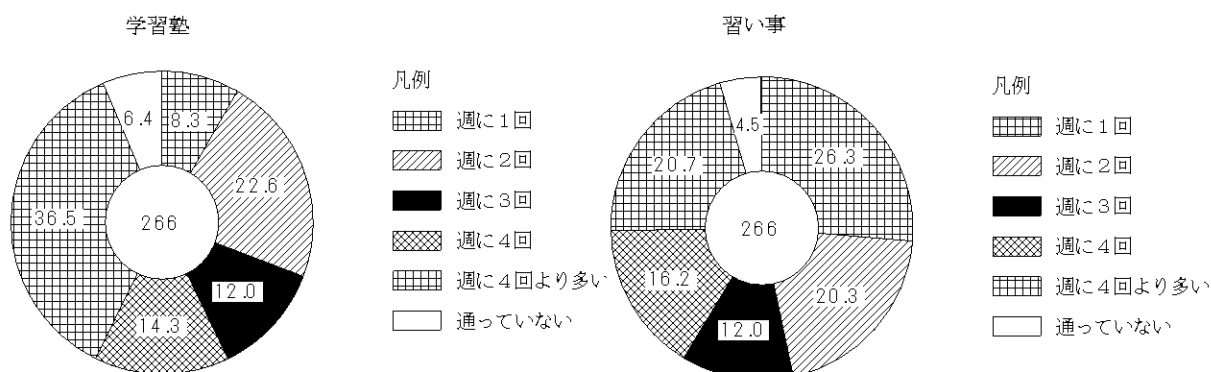
- 遊びの内容は、スポーツなど体を動かす(68.8%)が最も多く、ゲームをする(51.9%)、友だちとおしゃべりする(40.2%)が続いています。



(3) ふだんの生活について

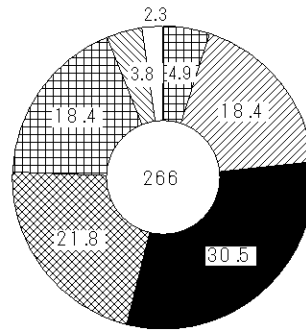
問11. 学習塾や習い事 (○は1つ)

- 学習塾については、週に4回より多い(36.5%)が最も多く、週に2回(22.6%)がこれに続いています。
- 習い事については、週に1回(26.3%)が最も多く、週に4回より多い(20.7%)、週に2回(20.3%)がこれに続いています。



問12. テレビ等を見る時間 (○は1つ)

●平日のテレビやビデオ、DVDなどを見る時間は、1日に1~2時間(30.5%)が最も多く、2~3時間(21.8%)がこれに次いでいます。

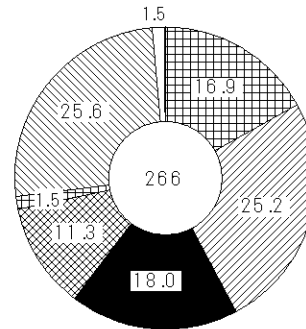


凡例

- 30分より短い
- 30分~1時間の間
- 1時間~2時間の間
- 2時間~3時間の間
- 3時間より長い
- ほとんど見ない
- 無回答

問13. ゲームで遊ぶ時間 (○は1つ)

●平日にゲームで遊ぶ時間は、ほとんど遊ばない(25.6%)と30分~1時間(25.2%)が最も多い回答となっています。

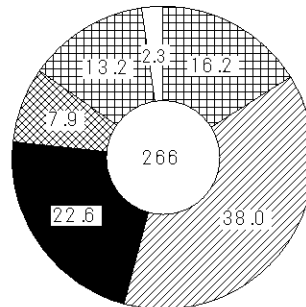


凡例

- 30分より短い
- 30分~1時間の間
- 1時間~2時間の間
- 2時間~3時間の間
- 3時間より長い
- ほとんど遊ばない
- 無回答

問14. 携帯電話・インターネットの利用 (○は1つ)

●インターネットの利用は、ときどき使っている(38.0%)が最も多く、何回か使ったことがある(22.6%)、ほとんど毎日使っている(16.2%)と続いています。



凡例

- ほとんど毎日使っている
- ときどき使っている
- 何回か使ったことがある
- ほとんど使ったことがない
- 使ったことがない
- 無回答

◇【学年別集計】

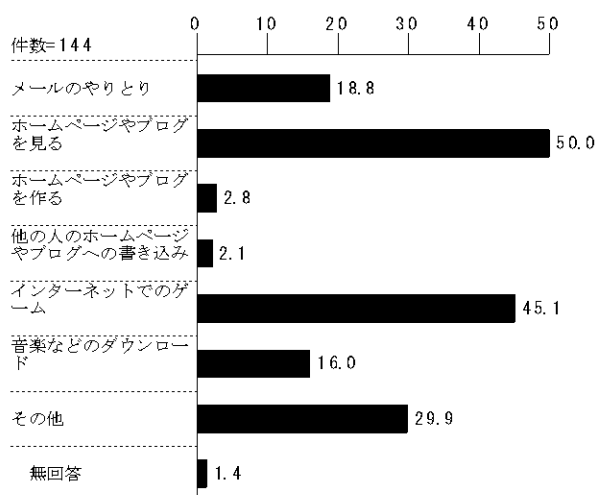
	調査数	ほとんど毎日使っている	ときどき使っている	何回か使ったことがある	ほとんど使ったことがない	使ったことがない	無回答
調査数	266	43	101	60	21	35	6
	100.0	16.2	38.0	22.6	7.9	13.2	2.3
小学4年生	94	8	28	30	8	18	2
	100.0	8.5	29.8	31.9	8.5	19.1	2.1
小学5年生	90	20	32	24	6	5	3
	100.0	22.2	35.6	26.7	6.7	5.6	3.3
小学6年生	80	13	41	6	6	11	1
	100.0	16.3	51.3	7.5	7.5	13.8	1.3
無回答	2	0	0	0	1	1	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0

●学年別に利用状況を見ると、学年が上がるにつれ、インターネット利用の頻度が高くなる傾向が伺えます。



問 14-1. インターネットの利用内容 (○はいくつでも)

- ほとんど毎日使っている／ときどき使っていると回答した場合の利用内容は、ホームページやブログの閲覧(50.0%)、インターネットでのゲーム(45.1%)、その他(29.9%)が上位となっています。
- その他(43件)の内容を見ると、「調べ物」が26件と圧倒的に多く、「塾からのお知らせ」や「図書館の本の予約」(それぞれ1件)などとなっています。



問 15. 携帯電話の所有状況 (○は1つ)

- 自分専用の携帯電話は、持っているが45.5%で、持っていないが欲しいが34.2%となっています。

◇【学年別集計】

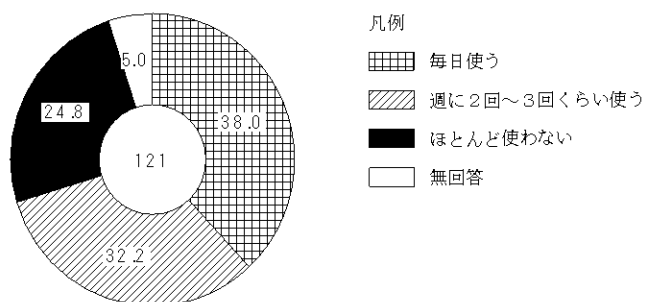
	調査数	持っている	し持っている いないが欲	い持 つは て思 わら ない が欲 し	無 回 答
調査数	266	121	91	50	4
	100.0	45.5	34.2	18.8	1.5
小学4年生	94	39	33	21	1
	100.0	41.5	35.1	22.3	1.1
小学5年生	90	39	30	19	2
	100.0	43.3	33.3	21.1	2.2
小学6年生	80	43	27	9	1
	100.0	53.8	33.8	11.3	1.3
無回答	2	0	1	1	0
	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0

- 携帯電話の所有状況を学年別で見ると、どの学年も持っているが最も多くなっていますが、その割合は、学年が上がるにつれ、高くなっていることがわかります。

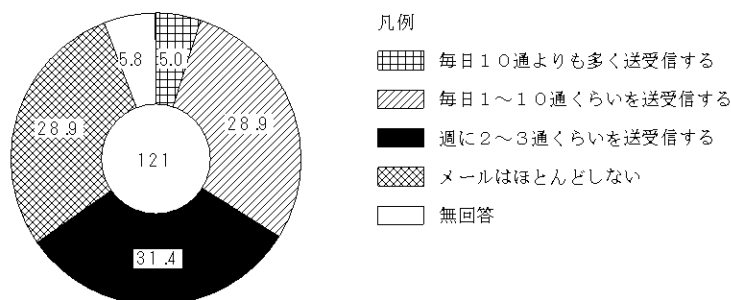
問 15-1. 携帯電話の利用頻度 (○は1つ)

- 携帯電話所有者に携帯電話の利用頻度を聞いたところ、電話では、毎日使う(38.0%)が最も多くなっています。
- メールでは、毎日10通よりも多く送受信する(5.0%)／毎日1～10通くらい送受信する(28.9%)を合計すると33.9%となり、毎日使っている人が最も多くなっています。週に2～3通(31.4%)が最も多くなっています。
- 一方、ほとんど使わないとする人も、電話では24.8%、メールで28.9%となっています。

携帯電話の利用頻度 (電話)

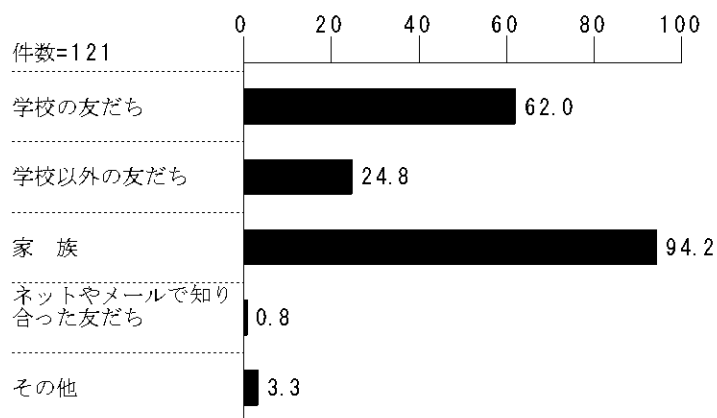


携帯電話の利用頻度 (メール)



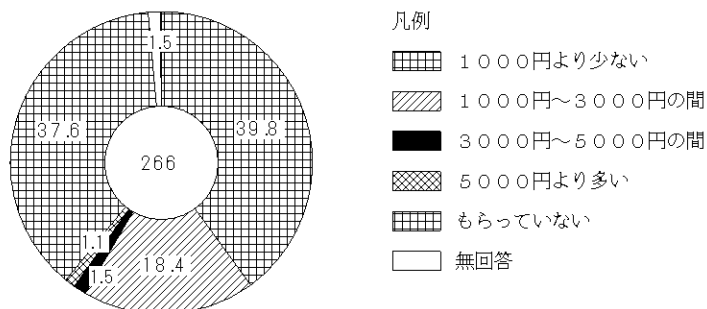
問 15-2. 電話やメールの相手 (○はいくつでも)

- 電話やメールの相手は家族(94.2%)や学校の友だち(62.0%)となっています。



問 16. 毎月のおこづかいの額 (○は1つ)

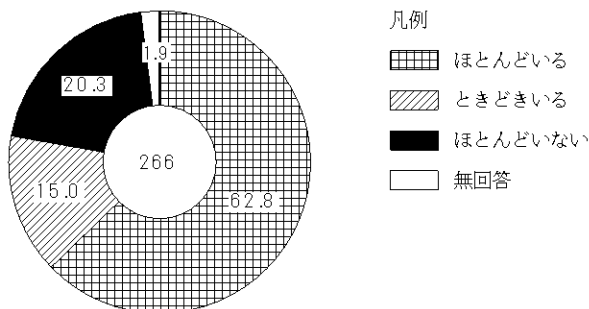
●毎月もらっている小遣いの額は、1,000円未満が39.8%と最も多く、次いでもらっていないが37.6%となっています。



(4) 家での生活について

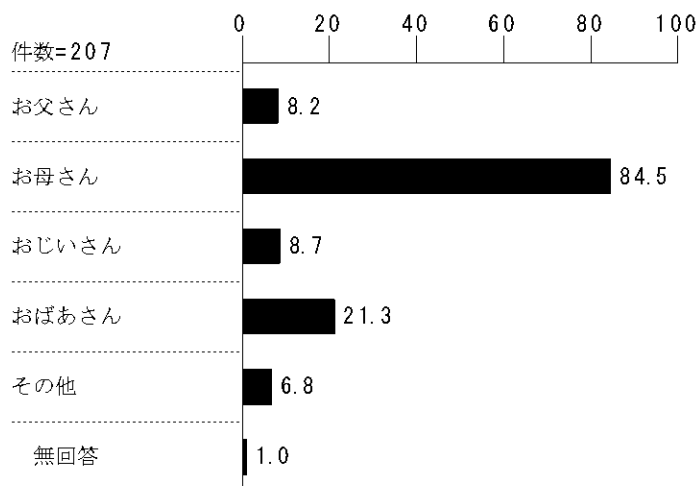
問 17. 学校から帰宅時の大人の在宅 (○は1つ)

●学校から帰った時の大人の在宅については、ほとんどいるが62.8%と最も多く、ほとんどいないは20.3%となっています。



問 17-1. 在宅者 (○はいくつでも)

●帰宅した時に家に大人がいると答えた人に、在宅者を聞いたところ、お母さん(84.5%)が圧倒的に多くなっています。



問18. 家族との会話 (○は1つ)

●学校のことなどについて家族と話をすることがどうかは、よく話しをするが50.0%、たまに話をすることが38.3%で、これらを合わせると、約9割が家族と学校のことなどを話していることがわかります。

◇【男女別集計】

	調査数	よく話を する	たまに 話を する	あまり 話を しない	無 回 答
調査数	266	133	102	27	4
	100.0	50.0	38.3	10.2	1.5
男	133	55	57	19	2
	100.0	41.4	42.9	14.3	1.5
女	133	78	45	8	2
	100.0	58.6	33.8	6.0	1.5

◇【学年別集計】

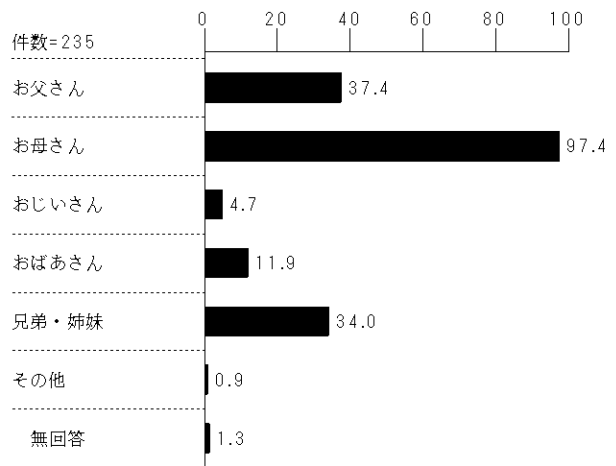
	調査数	よく話を する	たまに 話を する	あまり 話を しない	無 回 答
調査数	266	133	102	27	4
	100.0	50.0	38.3	10.2	1.5
小学4年生	94	43	39	11	1
	100.0	45.7	41.5	11.7	1.1
小学5年生	90	44	34	10	2
	100.0	48.9	37.8	11.1	2.2
小学6年生	80	46	27	6	1
	100.0	57.5	33.8	7.5	1.3
無回答	2	0	2	0	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0

●家族との会話の状況を男女別に見ると、女子ではよく話をすることが58.6%と最も多く、過半数を占めているのに比べ、男子ではたまに話をすることが42.9%で最も多くなっています。

●学年別では、どの学年もよく話をすることが最も多くなっていますが、学年があがるにつれ、数値は高くなっています。

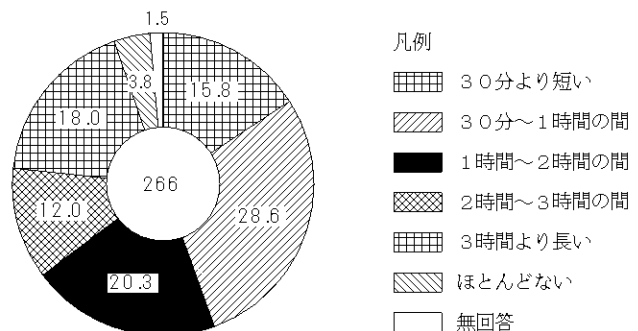
問18-1. 主な話し相手 (○はいくつでも)

●主な話し相手は、お母さん(97.4%)が圧倒的に多く、続いてお父さん(37.4%)となっています。



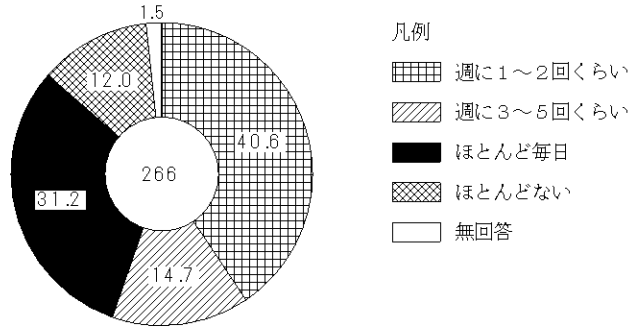
問19. 家族との会話時間 (○は1つ)

●家族との1日の会話時間は、30分～1時間の間(28.6%)が最も多く、1時間～2時間の間(20.3%)がこれに続いています。



問20. 家族全員での夕食の回数 (○は1つ)

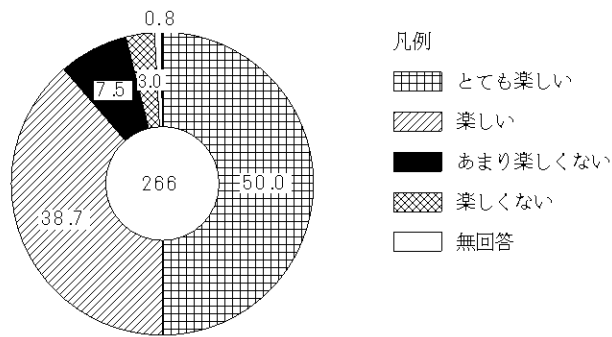
●家族全員がそろって夕食を食べる回数は、週に1~2回くらい(40.6%)が最も多く、ほとんど毎日(31.2%)がこれに続いています。



(5) 困ったり悩んだりしていることについて

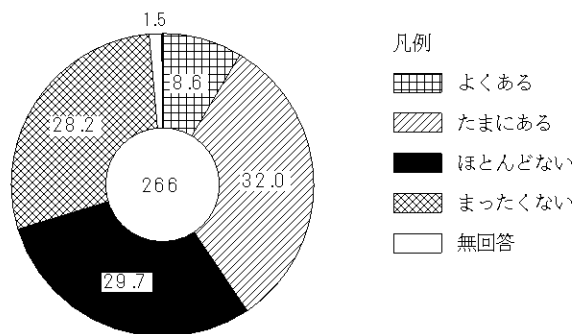
問21. 学校は楽しいか (○は1つ)

●学校は楽しいかとの質問に対し、とても楽しい(50.0%)、楽しい(38.7%)と、8割以上が楽しいと答えています。



問22. 学校に行きたくないと思うか (○は1つ)

●学校に行きたくないと思うかの質問に対し、たまにある(32.0%)、ほとんどない(29.7%)、まったくない(28.2%)がそれぞれ3割前後となっています。



### 問23. 悩み事や困っていること (○はいくつでも)

- 悩んでいることや困っていることについては、特に悩んでいることや困っていることとはない(46.2%)が最も多く、勉強のこと(24.1%)、進路や進学、将来のこと(22.6%)、友だちのこと(18.0%)が上位となっています。

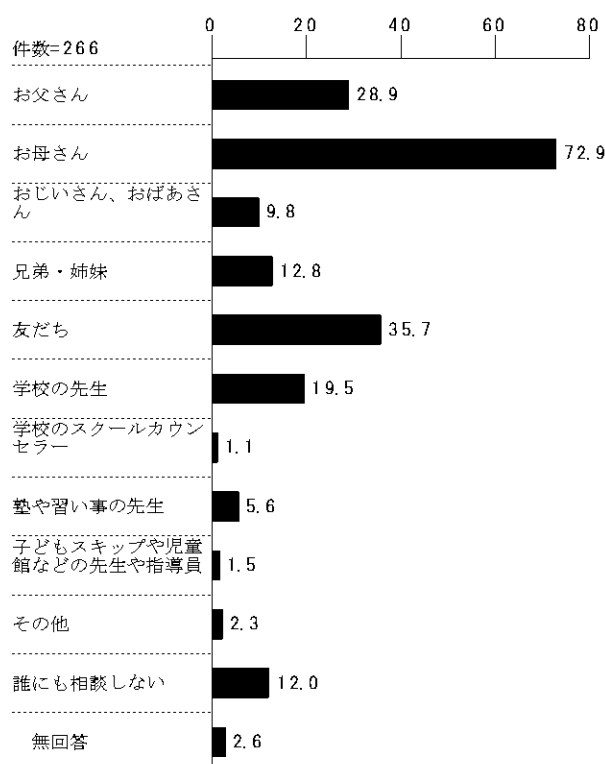
#### ◇【学校へ行きたくないと思うことの有無別集計】

	調査数	勉強のこと	進路や進学、将来のこと	友だちのこと	いじめられたりすること	家族のこと	ボーイフレンドやガールフレンドのこと	顔や体型などのこと	性格やくせのこと	その他	特に悩んでいることとはない	無回答
調査数	266	64	60	48	19	11	8	36	33	10	123	3
	100.0	24.1	22.6	18.0	7.1	4.1	3.0	13.5	12.4	3.8	46.2	1.1
よくある	23	12	8	10	5	3	1	9	7	3	2	0
	100.0	52.2	34.8	43.5	21.7	13.0	4.3	39.1	30.4	13.0	8.7	0.0
たまにある	85	28	20	25	10	5	5	9	10	5	29	0
	100.0	32.9	23.5	29.4	11.8	5.9	5.9	10.6	11.8	5.9	34.1	0.0
ほとんどない	79	15	20	8	2	2	2	13	11	2	43	0
	100.0	19.0	25.3	10.1	2.5	2.5	2.5	16.5	13.9	2.5	54.4	0.0
まったくない	75	9	12	5	2	1	0	5	5	0	47	1
	100.0	12.0	16.0	6.7	2.7	1.3	0.0	6.7	6.7	0.0	62.7	1.3
無回答	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

- 「学校へ行きたくないと思う」ことが、よくある・たまにあるとする児童の悩み事は、勉強のこと、進路や進学、将来のこと、友だちのことが中心になっており、特に悩んでいることや困っていることとはない児童は、学校へ行きたくないと思うことが少ない傾向にあります。

### 問24. 悩み事の相談相手 (○はいくつでも)

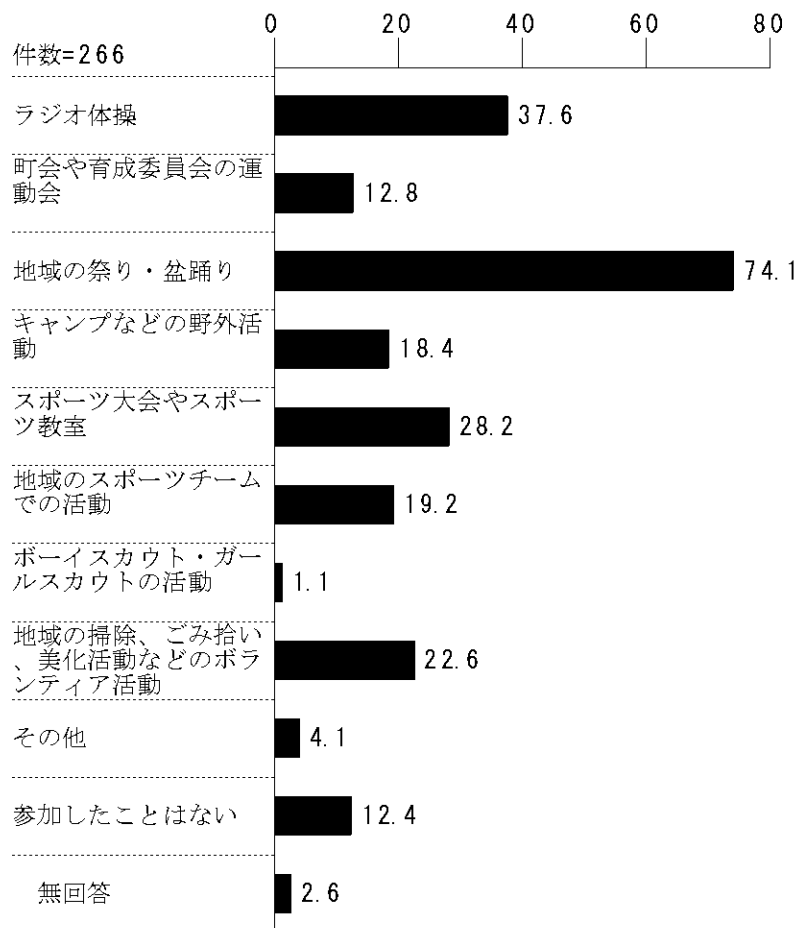
- 悩みや困っていることの相談相手は、お母さん(72.9%)を筆頭に、友だち(35.7%)、お父さん(28.9%)が上位を占める一方で、誰にも相談しないが12.0%となっています。



(6) 地域での活動について

問25. 地域活動への参加状況 (〇はいくつでも)

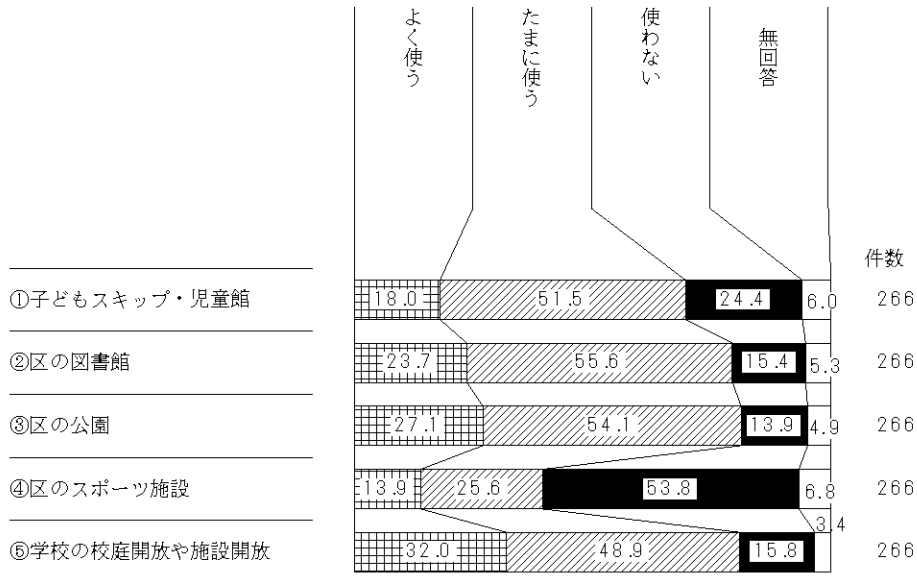
●地域活動への参加は、祭り(74.1%)が最も多く、これに続いてラジオ体操(37.6%)、スポーツ大会・教室(28.2%)、ボランティア活動(22.6%)となっています。



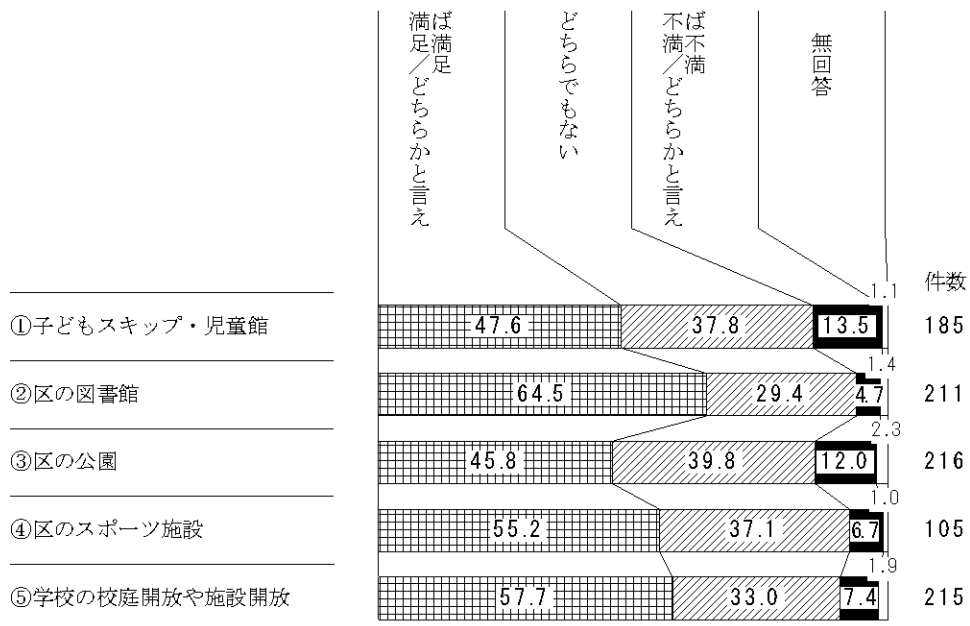
(7) 区の施設や豊島区について

問26. 区の施設の利用状況と満足度 (○は1つ)

●区の施設利用については、よく使うとたまに使うとを合わせた利用状況で見ると、公園(81.2%)、学校の校庭開放や施設開放(80.9%)、図書館(79.3%)の順で多くなっています。



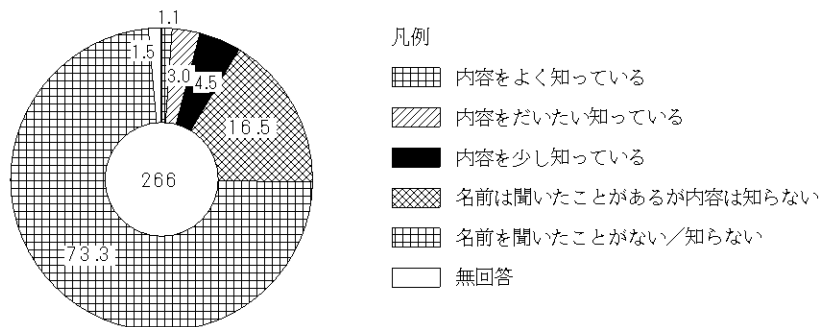
●区の施設を使ったことがある人に対し、利用満足度を聞いたところ、満足／どちらかと言えば満足と答えた割合が高かったのは、図書館(64.5%)、学校の校庭開放や施設開放(57.7%)、スポーツ施設(55.2%)などです。





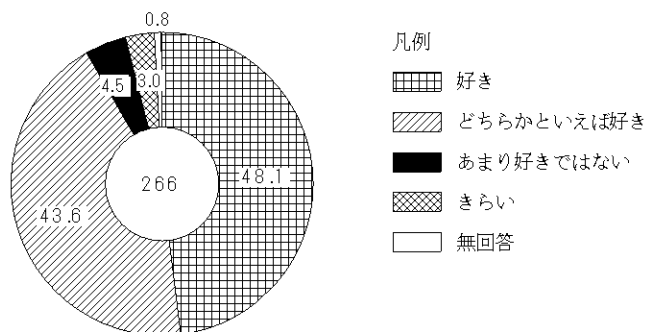
問27. 「子どもの権利に関する条例」の認知状況 (○は1つ)

●「子どもの権利に関する条例」は、名前を聞いたことがない／知らない(73.3%)が最も多く、名前は聞いたことがあるが内容は知らない(16.5%)がこれに続いています。



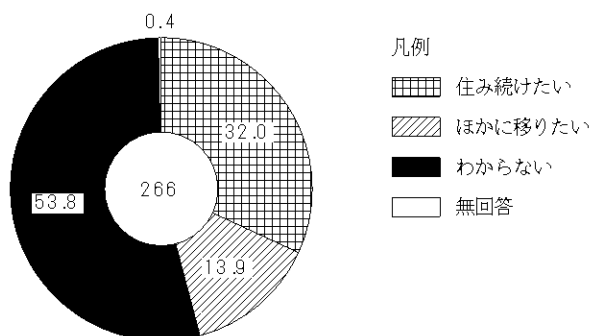
問28. 豊島区への愛着 (○は1つ)

●豊島区への愛着度は、好きが 48.1%、どちらかといえば好きが 43.6%と回答しており、これらを合わせると9割が愛着を持っていると言えます。



問29. 豊島区への定住意向 (○は1つ)

●豊島区への定住意向については、わからない(53.8%)が最も多く、次いで住み続けたい(32.0%)となっています。



### 問30. 区役所や地域のおとなの人などにしてもらいたいこと（自由回答）

【記入者：88人】

#### 1) 施設整備

- 公園に行くと必ず「サッカー禁止」の看板があるし、友達と遊んでいるとおじさんに文句を言われたりする。また全体的に公園が少なく、面積が小さい。子どもたちが自由に広々と遊べる公園をもっとたくさん作ってほしい。使っていない土地をマンションやアパートにするのではなく、公園などを作るのに活用してほしい。子どもたちが思いきり体を動かせるところを作ってほしい。大人だけでなく、子どもたちの身になって、考えてほしい。
- 野球の練習(キャッチボール、バッティング)ができる施設がほしい。公園の遊具を増やしてほしい。
- 公園を広くしてほしい。スポーツの施設を増やしてほしい。
- 安心して遊べる安全な公園を作ってほしい。
- 公園にキャッチボールができる金網を作ってほしい。
- 豊島区の西巢鴨にサッカーのできる人工芝や、土のグラウンドみたいな広場を作ってほしい。(夜でも明るいところ)
- もっと公園を多くして、楽しい遊び道具を増やしてほしい。
- 北区にあるような、ウォータースライダーのある子ども用のプールがあったらいいなと思います。
- 図書館がたくさんあってほしい
- 施設のほとんどに、エレベーターかエスカレーターを作ってほしい。
- 自転車道路を作ってほしい。
- 自転車置き場の増設
- 道にガードレールを増やしてほしい。
- 芝生で遊べる公園を作ってください。
- 児童館がなくなって、楽しかった遊び場所が減ったので、児童館を作ってほしい。

#### 2) 施設運営や運営内容、仕組みなど

- スキップでのゲーム持ち込み
- スキップではなく、学童保育の方が良かった！学童保育の人員や施設を充実してほしい。
- 冬のスキップの終わる時間を4時30分ではなくて、5時とかにしてください。
- 豊島区(中央図書館)の借りられる本の数を10冊から20冊にしてください。中央図書館の5階にあるマンガを貸し出してほしい。
- 図書館の本のページに破れているところ、汚れているところがある本はなおしてください。図書館の子どもスペースを広くしてください。
- 図書館をもっと充実させてほしい。例えば蔵書を増やしたり・・・
- 図書館で、休みの日に勉強や本を読もうと思って行っても、朝早くから高校生や大学生の人が席

をとってあかないので、一度も利用したことがありません(東池袋の図書館)。この間は30分前に並んだけれど、一人の人が何席も鞆を置いて取ってしまうので、それでもとれません。自分達(小・中学生)も利用出来るようにしてほしいです。

- 地域通貨を作ってほしい。
- ラジオ体操を8月末までに延ばしてほしい。
- 児童館のイベントを増やしてほしい。
- 児童館にもっと面白い物をおいて欲しいです。
- ごみを拾う会みたいのを作ってほしい。
- 学校の校庭開放で使ってるボールが、やわらかすぎて遊べません。(もう少し硬いボールを使わせてください。)

#### 3) 安全・安心

- 犯罪を少なくしてほしい。
- 不審者がときどきいるので、こわいです。
- 不審者などをつかまえてほしい。
- 最近変な人がいるので、通学路に大人の人がいて欲しいと思います。
- パトロールをしてほしい
- 安全な町にしてください。
- 登下校中、黄色い帽子をかぶった大人の方に、もう少し私たち(私学生)のことも見てほしい。
- 電柱を多くして明るくしてほしい  
暗くてこわい場所が多い
- 児童館をもっと人通りの多い安全な場所にしてほしい(目白)
- 巢鴨公園にホームレスの人が住んでいるみたいです。悪いことはしないけど、ちょっとこわいと思うので、大人の人が見回りなどをしてくれるといいと思います。
- ホームレスを減らしてほしい。
- 大塚台公園にホームレスの人と犬のリードをつけずに散歩をする人がたくさんいて、私は犬がこわいので、遊んでいて走ってくる犬がいるので、こわいし困ります。犬専用スペースを作って、人と犬を分けてください。
- 子どもの防犯ブザーは、親と警察に連絡が出来る防犯ブザーがほしい。(豊島の子ども全員にお願いします。)
- 歩きタバコを絶対、必ず、断固やらないでほしい。

#### 4) 清潔美化

- 公園をきれいに使ってほしい  
犬のウンチの始末をきちんとしてほしい
- 道端によく大人の人は、食べた物やビニール袋をちゃんと捨ててくれないから、ちゃんとゴミ箱に捨ててほしいです。

- 野良猫が庭や道路にフンをするので、野良猫を駆除してほしいです。
- たばこを吸って歩いている人や、たばこの吸殻を落とす人たちがいるので、やめてほしいです。迷惑です。  
人の自転車のかごの中に、空き缶やいらぬゴミとかをおいてる人がいるので、迷惑です。
- 放置自転車の整備  
ゴミ出しマナーの向上
- 私は学校でエコ係として活動しています。そのときにゴミ拾いをしたら、たばこなどのゴミが木のかげなどに落ちていたりして、注意して探さないといけません。分別をするときも空き缶などに入っていて取り出すのがやっとなりました。だからちゃんと分別をしてちゃんとしたゴミ箱に捨てて欲しいです。それと、そういう活動をしている子どもたちに気がついてほしいです。
- 道のごみ拾いをしてもらいたいと思います。
- タバコなどのゴミを道に捨てないでください。
- 区役所の人に町をきれいにしてほしい。
- いろいろな所の公園、店のトイレをきれいにしてほしい。

## 5)その他

- 学校へ行く時、大人があいさつしてくれない。走っている人がいて、ぶつかるとひどいことを言われた。大人はひどい。もっと子どもに対しての態度をしっかりとしてほしい。
- 親子ではなぜ釣りに参加させて頂き、楽しかったようで、これからも参加したいようです。
- 学校では、エコに関することやエコになることをしていますが、大人の人の中であまりエコをしていない人がいるので、もし子どもにやらせるのだったら、大人の人もあわせてたくさんの方がそういうことに取り組んでほしいです。
- 中学受験の勉強が大変で友達と遊べないから、学校の午前授業を増やしてほしい。
- 北島選手みたいな有名な人は豊島区にはいないんですか。テレビで放送されているみたいに、僕の小学校に来てほしいです。なんとかしてください。
- 動物たちがいっぱいいてほしい。もっと公園などにいてほしい。
- よく、ニュースでやっている年金のことが気になります。お年寄りがかわいそうです。
- 木をいっぱい植えてほしい。理由は、二酸化炭素の排出を止められるから。
- 緑を増やしてほしい。
- 暇な時があれば、子どもとも遊んでほしい。
- 道路の両側に木を植えてほしい。
- 昔の遊びを教えてください。
- お花を増やして欲しい。
- みんなの家で、楽しくクリスマスやハロウィンなど

- の飾り付けをして明るくしたい。
- ビルをたくさん建てないでほしい。  
自然、緑を残して！  
自分で空気を汚した人が、自分でなおして欲しいです。
- スキップはあまり楽しくない。児童館の方がよかったです。車の通りが多くて空気が悪い。
- 高いマンションを作らないでほしい。たくさんマンションを建てないでほしい。
- お父さんやお母さんや先生、スキップの人といっぱい遊びたいです。
- 地球温暖化が進むから、エコバックを使ってほしいです。
- スポーツジムを中学生から入れるようにしてほしい。環境が悪い。物価が高い。治安が悪い。警察の人の態度が悪い。政治家の夢と現実が全く違う。
- もっと優しくしてほしい。
- 買って欲しいものを買ってほしい。
- お祭りをもっと盛り上げたいです。
- ティッシュ配り
- 地球温暖化防止！声で言っているだけでなく、具体的に活動に取り組んで欲しいです。その活動を作ってくれたら、私もぜひ参加したいと思っています。例えば、ゴミ集めとか、リサイクル工作とか。宜しくお願いします。
- 駅の決まりを守ってください。
- 緑を増やしてほしい。(自然をもう少し)
- いくら知らない人でも、人が泣いていたら助けてくれる人。
- ポウリングなどに行って、みんなでやったりしたいです。  
学校などで、何かを売ったりして、いろんな人を買ってもらったりすればいいと思います。
- もっと道、屋上の緑化。

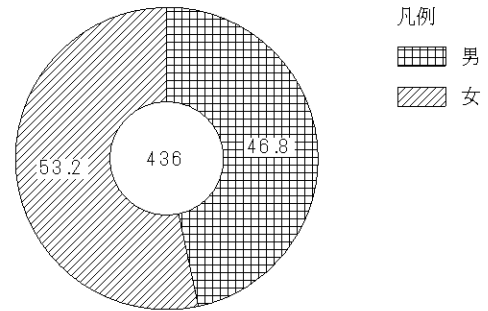
## 5. 中学生・高校生など

## 5. 中学生・高校生など

### (1) 回答者の属性について

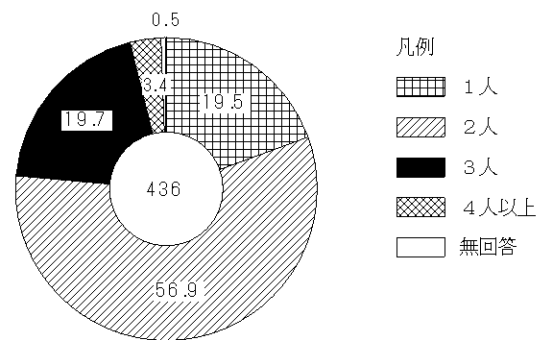
#### 問1. 性別

- 回答者の性別は、女性(53.2%)の方がやや多くなっています。



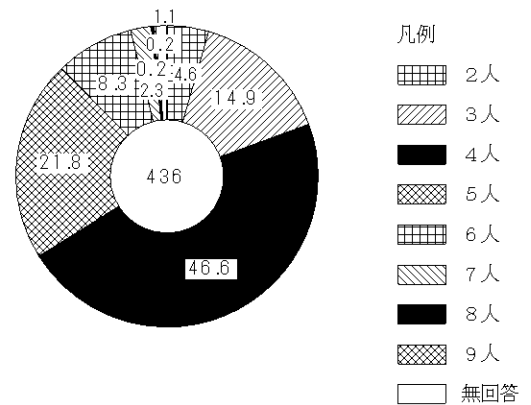
#### 問2. 兄弟・姉妹の人数

- 対象者を含めた兄弟・姉妹の人数は、2人(56.9%)が最も多く、3人(19.7%)、1人(19.5%)がこれに続いています。



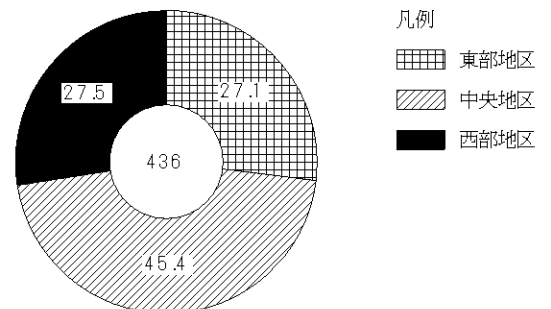
#### 問3. 家族の人数

- 家族の人数は、4人(46.6%)が最も多く、これに次いで5人(21.8%)、3人(14.9%)となっています。



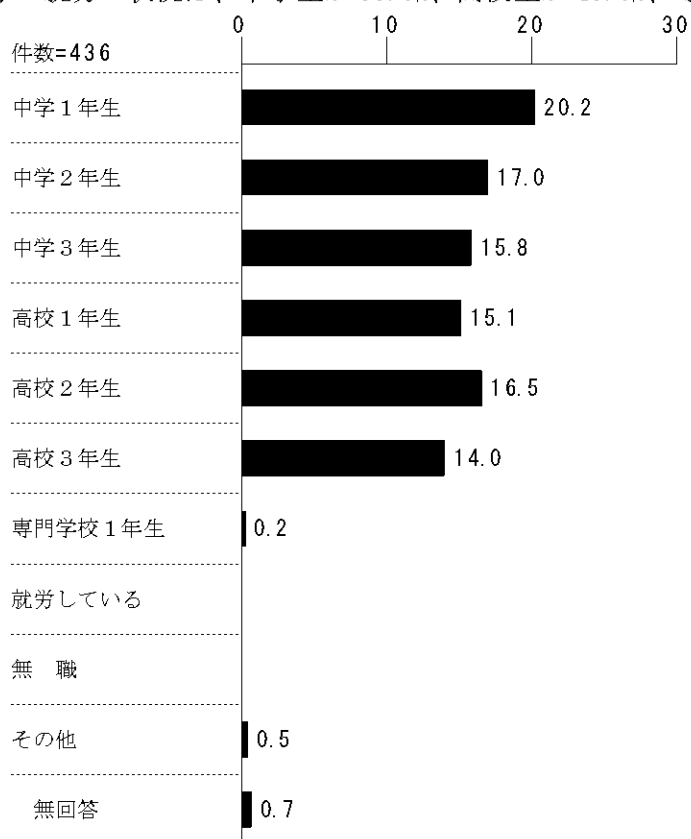
#### 問4. 居住地区 (○は1つ)

- 居住地区を3地区別で見ると、中央地区が45.4%と最も多く、西部地区は27.5%、東部地区は27.1%となっています。



### 問5. 就学・就労状況

●就学・就労の状況は、中学生が53.0%、高校生が45.6%、専門学校生0.2%でした。



#### 問5-1. 通学している学校の種類

##### ◇【中学生・高校生別集計】

	調査数	豊島区内の公立学校	豊島区外の公立学校	私立・国立の学校	その他	無回答
調査数	431	148	65	201	8	9
	100.0	34.3	15.1	46.6	1.9	2.1
中学生 小計	231	136	13	75	4	3
	100.0	58.9	5.6	32.5	1.7	1.3
高校生 小計	199	12	52	126	3	6
	100.0	6.0	26.1	63.3	1.5	3.0
専門学校生 小計	1	0	0	0	1	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

●通学している学校の種類を中学生・高校生別で見ると、中学生では区内の公立学校が58.9%、私立・国立の学校が32.5%となっており、高校生では、私立・国立の学校が63.3%、区外の公立学校が26.1%となっています。

## 問 5-2. 通学時間

### ◇【中学生・高校生別集計】

	調査数	15分以内	15分～30分以内	30分～1時間以内	1時間以上	無回答
調査数	431 100.0	111 25.8	127 29.5	155 36.0	28 6.5	10 2.3
中学生 小計	231 100.0	90 39.0	75 32.5	53 22.9	8 3.5	5 2.2
高校生 小計	199 100.0	21 10.6	52 26.1	102 51.3	20 10.1	4 2.0
専門学校生 小計	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0

●通学時間を中学生・高校生別で見ると、中学生では15分以内が39.0%と最も多く、次いで15分～30分以内が32.5%となっており、高校生では30分～1時間以内が51.3%と最も多く、次いで15～30分以内が26.1%となっています。

## (2) 放課後や自由時間の過ごし方について

### 問 6. クラブ活動への参加状況 (○は1つ)

●回答者の4分の3弱(73.1%)は、学校のクラブ活動へ参加しています。

### ◇【学年別集計】

	調査数	参加している	参加していない	無回答
調査数	431 100.0	315 73.1	112 26.0	4 0.9
中学生 小計	231 100.0	183 79.2	47 20.3	1 0.4
中学1年生	88 100.0	81 92.0	7 8.0	0 0.0
中学2年生	74 100.0	66 89.2	8 10.8	0 0.0
中学3年生	69 100.0	36 52.2	32 46.4	1 1.4
高校生 小計	199 100.0	132 66.3	65 32.7	2 1.0
高校1年生	66 100.0	52 78.8	14 21.2	0 0.0
高校2年生	72 100.0	52 72.2	18 25.0	2 2.8
高校3年生	61 100.0	28 45.9	33 54.1	0 0.0
専門学校生 小計	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
専門学校1年生	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0

●中学生全体で、参加している割合は79.2%、高校生全体では66.3%となっています。

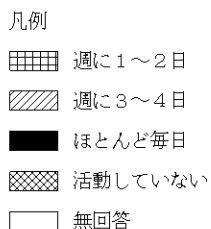
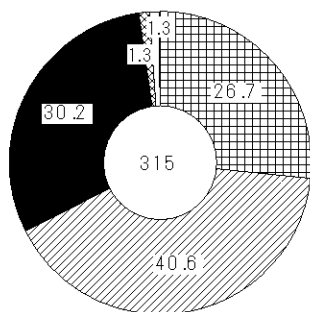
●学年が上がるにつれてクラブ活動への参加率が減少しており、特に中学3年生、高校3年生は低くなっています。

問 6-1. クラブ活動の頻度・時間 (○は1つ)

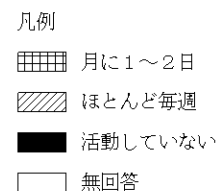
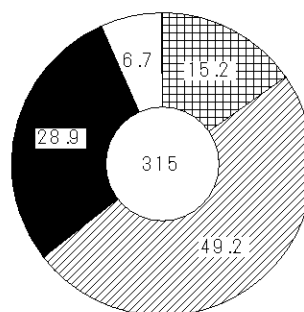
●クラブ活動の参加頻度は、平日は週に3~4日(40.6%)、土曜日はほとんど毎週(49.2%)、日曜日は活動していない(52.4%)が最も多くを占めています。

●クラブ活動の参加時間は、平日は2~3時間(49.8%)、土曜日は3時間以上(55.2%)、日曜日は3時間以上(77.2%)が多くなっています。

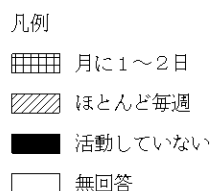
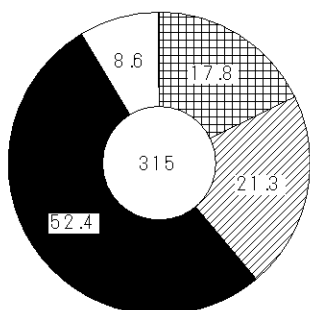
クラブ活動の頻度 (平日)



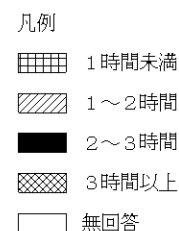
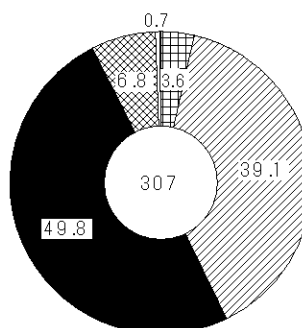
クラブ活動の頻度 (土曜日)



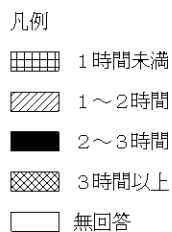
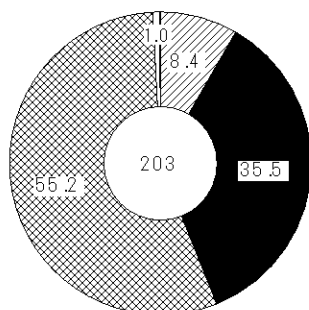
クラブ活動の頻度 (日曜日)



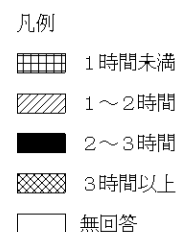
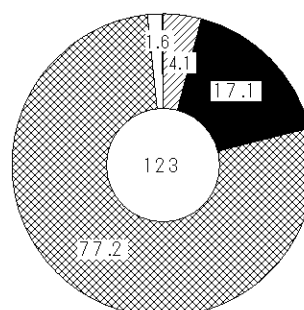
クラブ活動の参加時間 (平日)



クラブ活動の参加時間 (土曜日)



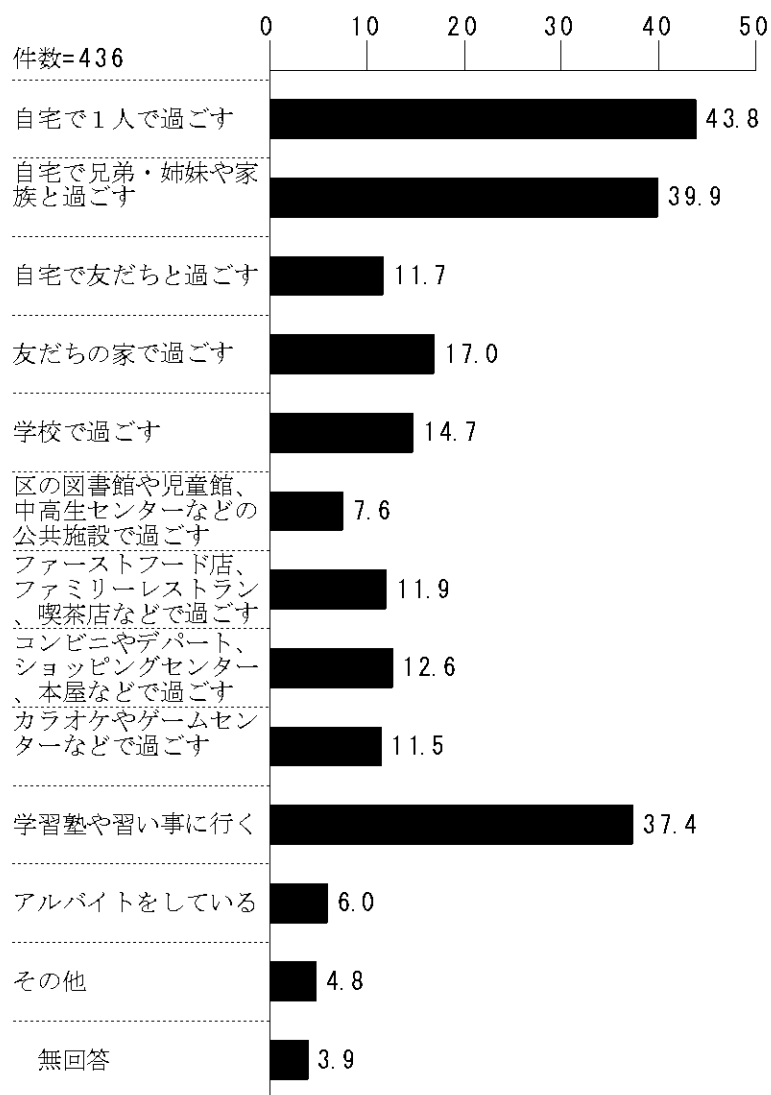
クラブ活動の参加時間 (日曜日)





問7. 放課後や自由時間の過ごし方 (〇は3つまで)

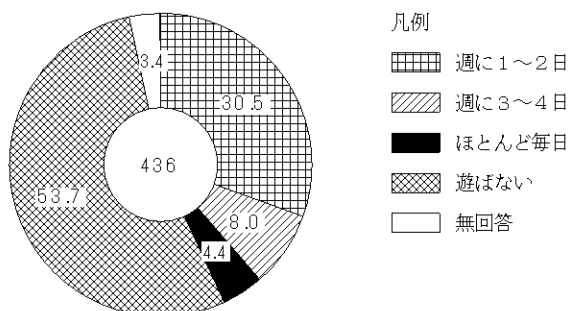
●放課後や自由時間の過ごし方は、自宅で1人で過ごす(43.8%)が最も多く、これに次いで自宅で家族と過ごす(39.9%)、学習塾や習い事に行く(37.4%)が多くなっています。



問 8. 友人と遊ぶ日数 (○は1つ)

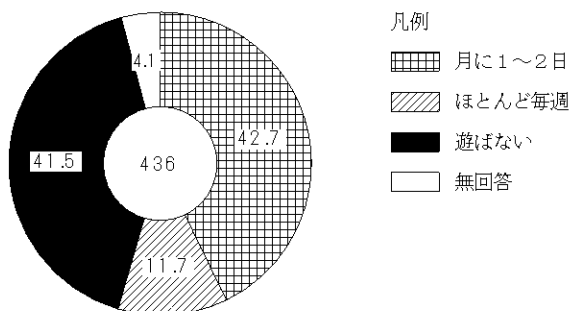
●友人と遊ぶ日数は、平日では遊ばない(53.7%)が最も多く、週に1~2日(30.5%)がこれに次いでいます。

友人と遊ぶ日数(平日)

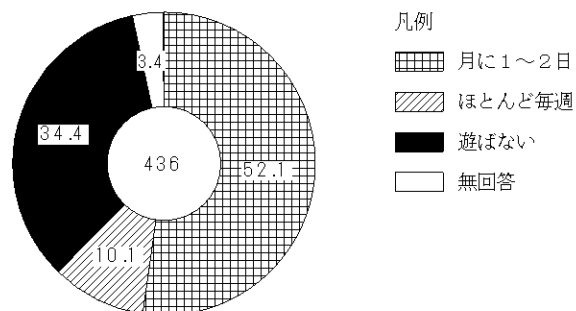


●土曜日は、月に1~2日(42.7%)、遊ばない(41.5%)が、日曜日は月に1~2日(52.1%)、遊ばない(34.4%)が上位を占めています。

友人と遊ぶ日数(土曜日)

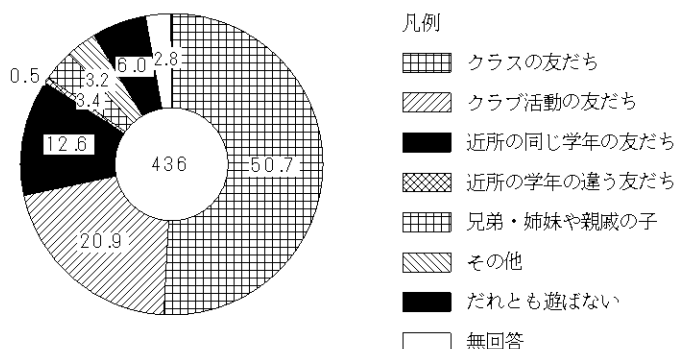


友人と遊ぶ日数(日曜日)



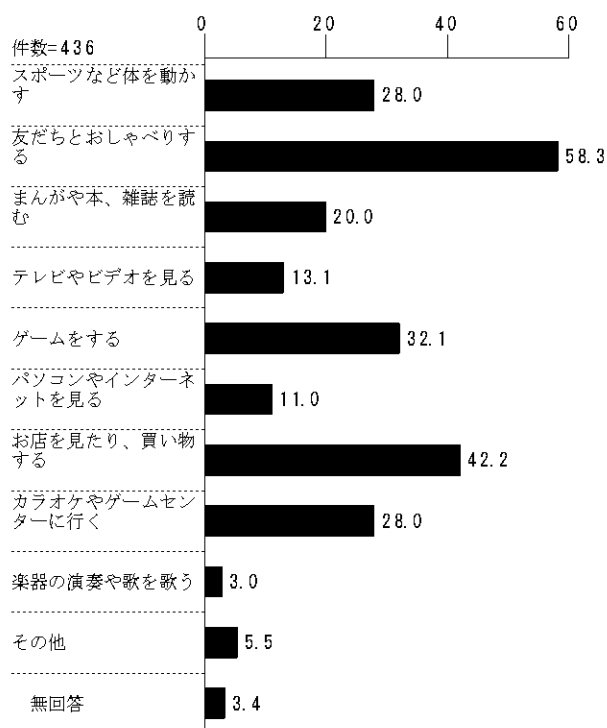
問 9. 遊び相手 (○は1つ)

●遊び相手は、クラスの友だち(50.7%)が最も多く、これに次いでクラブ活動の友だち(20.9%)となっており、学校関係の友人が中心になっています。



問10. 遊びの内容 (○は3つまで)

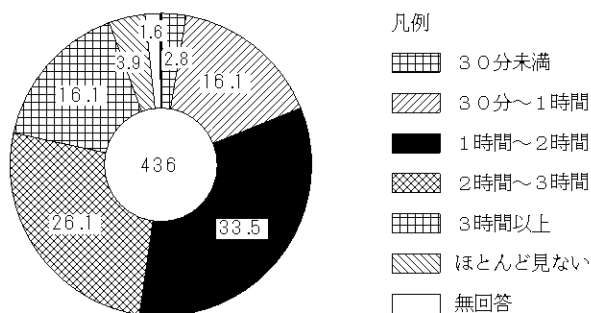
●遊びの内容は、友だちとおしゃべりする (58.3%)が最も多く、お店を見たり買い物する (42.2%)、ゲームをする (32.1%)、スポーツなど体を動かす (28.0%)やカラオケ・ゲームセンターに行く (28.0%)が続いています。



(3) ふだんの生活について

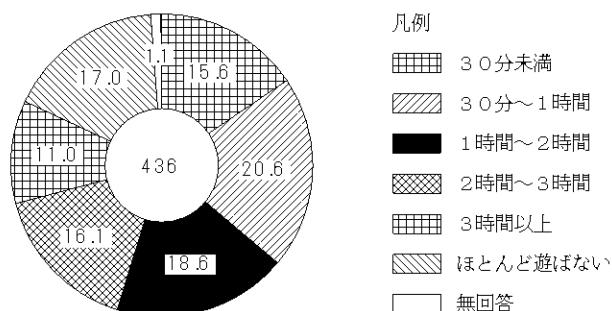
問11. テレビ等を見る時間 (○は1つ)

●平日にテレビやビデオ等を見る時間は、1～2時間 (33.5%)が最も多く、2～3時間 (26.1%)がこれに続いており、1～3時間程度が中心となっています。



問12. ゲームで遊ぶ時間 (○は1つ)

●平日にゲームで遊ぶ時間は、30分～1時間 (20.6%)が最も多く、これに1～2時間 (18.6%)、ほとんど遊ばない (17.0%)、2～3時間 (16.1%)が続いています。



問13. 携帯電話・インターネットの利用 (○は1つ)

●インターネットの利用は、ほとんど毎日使っているが53.4%、ときどき使っているが35.1%で、合わせると全体の9割弱を占めています。

◇【学年別集計】

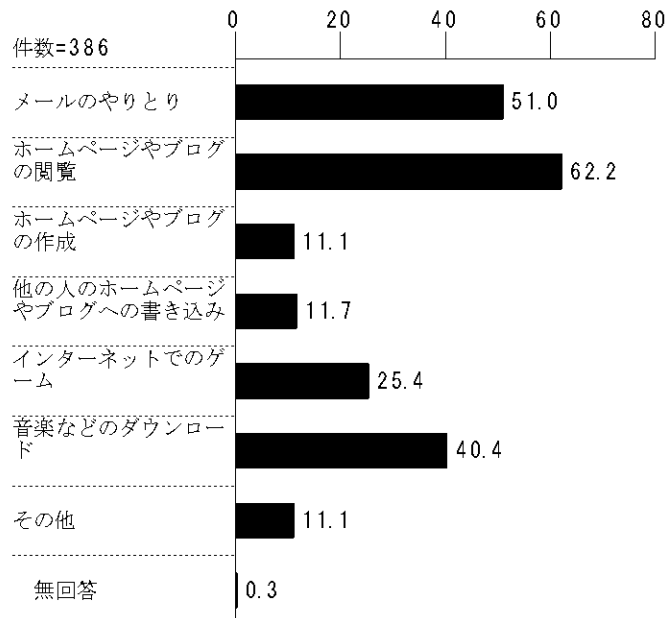
	調査数	いほとんど毎日使っている	ときどき使っている	あ回か使ったことが	がほとんど使ったこと	無回答
調査数	436	233	153	18	17	15
	100.0	53.4	35.1	4.1	3.9	3.4
中学生 小計	231	99	91	16	15	10
	100.0	42.9	39.4	6.9	6.5	4.3
中学1年生	88	36	41	7	7	3
	100.0	40.9	46.6	8.0	8.0	3.4
中学2年生	74	32	27	7	4	4
	100.0	43.2	36.5	9.5	5.4	5.4
中学3年生	69	37	23	2	4	3
	100.0	53.6	33.3	2.9	5.8	4.3
高校生 小計	199	130	60	2	2	5
	100.0	65.3	30.2	1.0	1.0	2.5
高校1年生	66	43	18	1	1	3
	100.0	65.2	27.3	1.5	1.5	4.5
高校2年生	72	46	25	0	1	0
	100.0	63.9	34.7	0.0	1.4	0.0
高校3年生	61	41	17	1	0	2
	100.0	67.2	27.9	1.6	0.0	3.3
専門学校生 小計	1	1	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
専門学校1年生	1	1	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

●ほとんど毎日使っているとする割合は、中学生全体で42.9%、高校生全体では65.3%となっています。

●ほとんど毎日使っている割合を学年別に見ると、学年があがるにつれて増加しています。

問13-1. インターネット利用内容 (○はいくつでも)

●利用内容は、ホームページやブログの閲覧(62.2%)、メールのやりとり(51.0%)、音楽などのダウンロード(40.4%)などが上位を占めています。



問14. 携帯電話の所有状況 (○は1つ)

●自分専用の携帯電話は、8割強(83.5%)が持っていると回答しています。

◇【学年別集計】

	調査数	持っている	し持っていないが欲しい	持っていないが欲しい	無回答
調査数	436	364	43	22	7
	100.0	83.5	9.9	5.0	1.6
中学生 小計	231	165	39	20	7
	100.0	71.4	16.9	8.7	3.0
中学1年生	88	64	15	6	3
	100.0	72.7	17.0	6.8	3.4
中学2年生	74	48	17	8	1
	100.0	64.9	23.0	10.8	1.4
中学3年生	69	53	7	6	3
	100.0	76.8	10.1	8.7	4.3
高校生 小計	199	193	4	2	0
	100.0	97.0	2.0	1.0	0.0
高校1年生	66	66	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
高校2年生	72	69	2	1	0
	100.0	95.8	2.8	1.4	0.0
高校3年生	61	58	2	1	0
	100.0	95.1	3.3	1.6	0.0
専門学校生 小計	1	1	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
専門学校1年生	1	1	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
その他	2	2	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
無回答	3	3	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0

●所有状況は、中学生全体で71.4%、高校生全体では97.0%となっています。

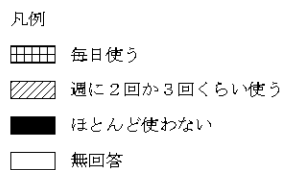
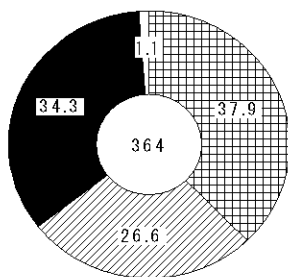
問14-1. 携帯電話の利用頻度 (○は1つ)

●携帯電話の利用頻度は、電話では毎日(37.9%)と週2~3回(26.6%)で6割強を占めています。

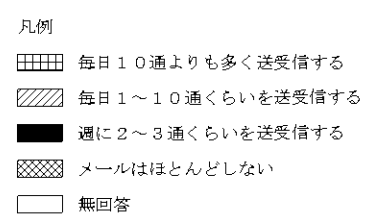
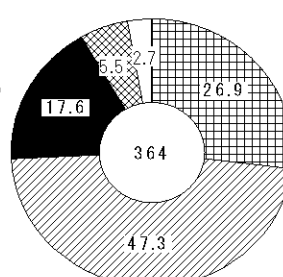
●メールでは、毎日1~10通(47.3%)と毎日10通以上(26.9%)が上位を占め、約4分の3(74.2%)が毎日利用していることになります。

●ほとんど使わないとする人は、電話では34.3%、メールでは5.5%となっています。

携帯電話の利用頻度 (電話)

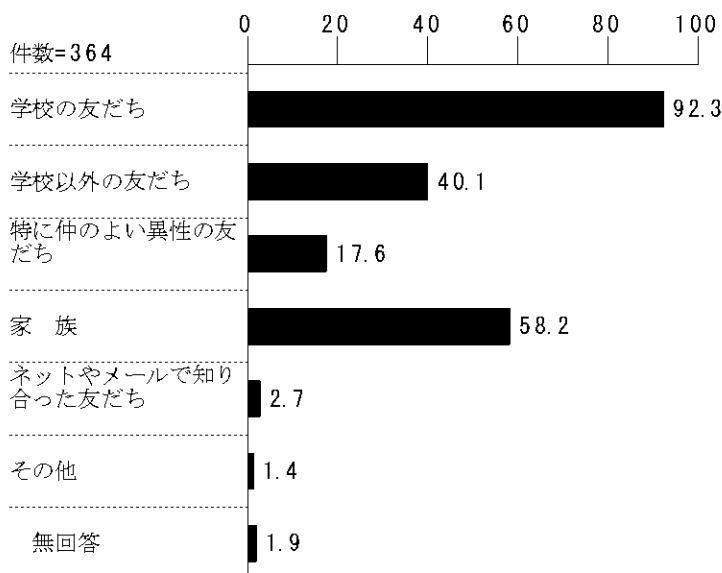


携帯電話の利用頻度 (メール)



問 14-2. 電話やメールの相手 (○はいくつでも)

●電話やメールの相手は、学校の友だち (92.3%)、家族 (58.2%)、学校以外の友だち (40.1%) が中心となっています。



問 15. 学習塾や習い事 (○は1つ)

●学習塾については、通っていない (47.7%) が最も多く、週に2回 (19.7%)、週に3回 (11.0%) がこれに続いています。

●習い事については、通っていない (64.0%) が最も多く、週に1回 (18.8%) が続いています。

◇【中学生・高校生別集計】

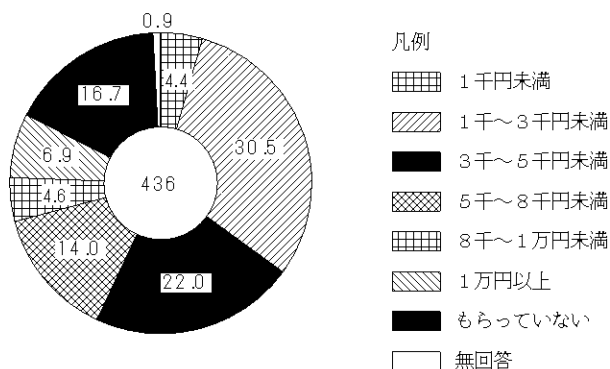
	学習塾							習い事						
	調査数	週に1回	週に2回	週に3回	週に4回以上	通っていない	無回答	週に1回	週に2回	週に3回	週に4回以上	通っていない	無回答	
調査数	436	47	86	48	33	208	14	82	24	13	11	279	27	
	100.0	10.8	19.7	11.0	7.6	47.7	3.2	18.8	5.5	3.0	2.5	64.0	6.2	
中学生 小計	231	22	55	33	21	89	11	54	16	8	9	126	18	
	100.0	9.5	23.8	14.3	9.1	38.5	4.8	23.4	6.9	3.5	3.9	54.5	7.8	
高校生 小計	199	24	30	15	12	115	3	26	8	5	2	150	8	
	100.0	12.1	15.1	7.5	6.0	57.8	1.5	13.1	4.0	2.5	1.0	75.4	4.0	
専門学校生 小計	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
その他	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
無回答	3	1	0	0	0	2	0	2	0	0	0	1	0	
	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	

●週に1回から週に4回以上までを合わせた学習塾に通っている人の割合は、中学生で56.7%、高校生で40.7%と中学生のほうが高くなっています。

●同様に、週に1回から週に4回以上までを合わせた習い事をしている人の割合は、中学生で37.7%、高校生で20.6%となっています。

問16. 毎月のおこづかいの額 (○は1つ)

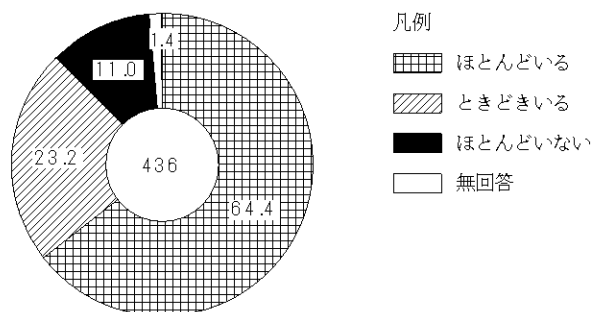
●毎月もらっている小遣いの額は、1千～3千円未満(30.5%)、3千～5千円未満(22.0%)が中心となっており、これらで半数以上(52.5%)を占めています。



(4) 家での生活について

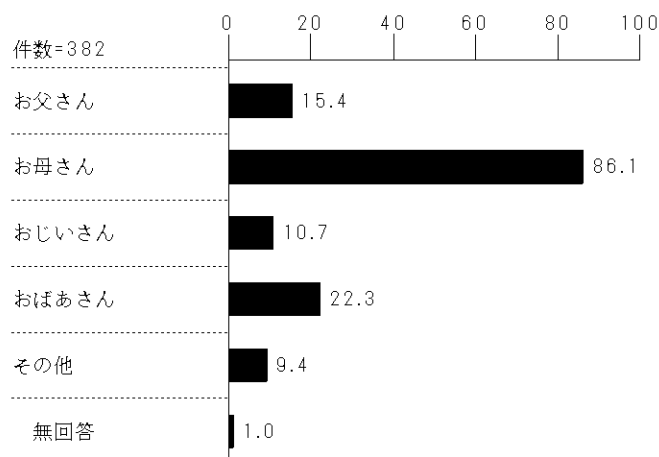
問17. 帰宅時における大人の在宅 (○は1つ)

●学校から帰った時の大人の在宅については、ほとんどのいる(64.4%)が最も多く、時々いる(23.2%)と合わせると、9割弱(87.6%)の家庭で大人が在宅していることになります。



問17-1. 在宅者 (○はいくつでも)

●帰宅した時に家に大人がいると答えた人に、在宅者を聞いたところ、お母さん(86.1%)が最も多く、これに次いでおばあさん(22.3%)、お父さん(15.4%)が続いています。



問18. 家族との会話 (○は1つ)

●外であったことなどについて家族と話をするかどうかは、よく話をする(43.8%)、たまに話をする(42.7%)で、9割近くになっています。

◇【男女別集計】

	調査数	よく話を する	たまに 話を する	あまり 話を しない	無 回 答
調査数	436	191	186	53	6
	100.0	43.8	42.7	12.2	1.4
男	204	70	95	36	3
	100.0	34.3	46.6	17.6	1.5
女	232	121	91	17	3
	100.0	52.2	39.2	7.3	1.3

◇【中学生・高校生別集計】

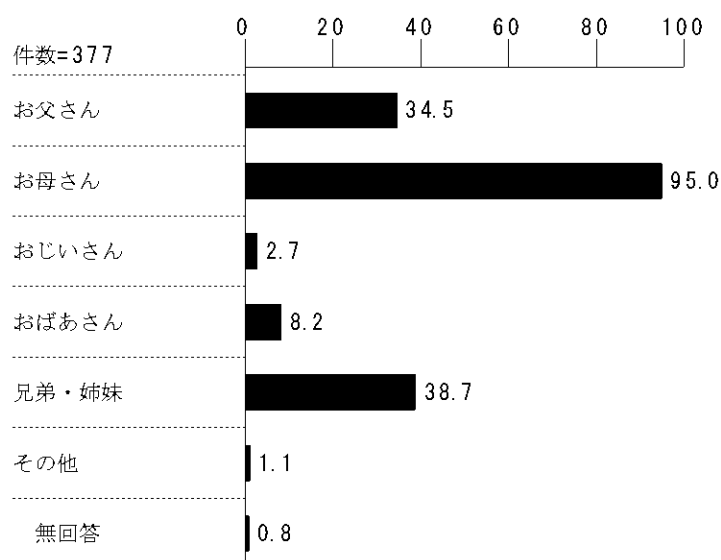
	調査数	よく話を する	たまに 話を する	あまり 話を しない	無 回 答
調査数	436	191	186	53	6
	100.0	43.8	42.7	12.2	1.4
中学生 小計	231	101	96	29	5
	100.0	43.7	41.6	12.6	2.2
高校生 小計	199	84	90	24	1
	100.0	42.2	45.2	12.1	0.5
専門学校生 小計	1	1	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
無回答	3	3	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0

●家族との会話の状況を男女別に見ると、女子ではよく話をする割合が52.2%と最も多く、過半数を占めているのに比べ、男子ではたまに話をするが46.6%で最も多くなっています。

●中学生・高校生別で見ると、中学生ではよく話をするが43.7%で最も多く、高校生ではたまに話をするが45.2%で最も多くなっています。

問18-1. 主な話し相手 (○はいくつでも)

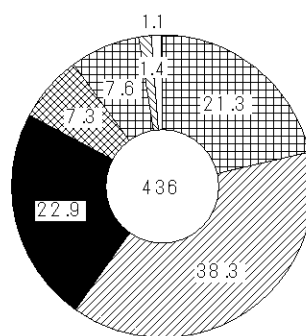
●主な話し相手は、お母さん(95.0%)が最も多く、兄弟・姉妹(38.7%)、お父さん(34.5%)がこれに続いています。





問19. 家族との会話時間 (○は1つ)

●家族との1日の会話時間は、30分～1時間(38.3%)が最も多く、これに1～2時間(22.9%)、30分未満(21.3%)が続ぎ、これらを合わせ2時間以内で全体の8割強(82.5%)を占めています。

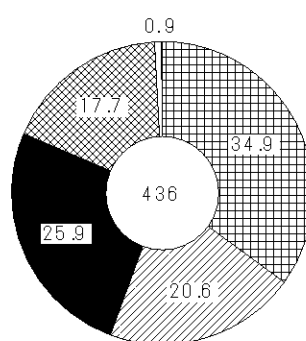


凡例

- 30分未満
- 30分～1時間
- 1時間～2時間
- 2時間～3時間
- 3時間以上
- ほとんどない
- 無回答

問20. 家族全員での夕食の回数 (○は1つ)

●家族全員がそろって夕食を食べる回数は、週に1～2回(34.9%)が最も多く、次いでほとんど毎日(25.9%)、週に3～5回(20.6%)と続いでいます。



凡例

- 週に1～2回くらい
- 週に3～5回くらい
- ほとんど毎日
- ほとんどない
- 無回答

(5) 困ったり悩んだりしていることについて

問21. 学校や仕事は楽しいか (○は1つ)

●学校は楽しいかとの質問に対し、楽しい(47.0%)、とても楽しい(36.2%)と、8割強(83.2%)が楽しいと答えています。

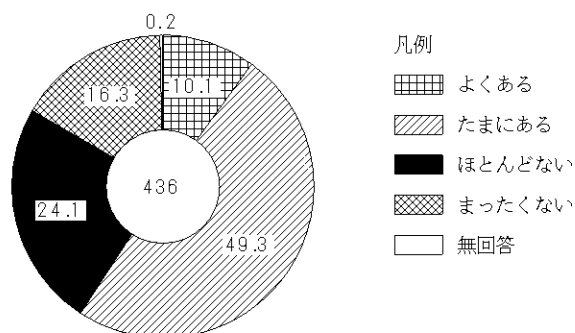
◇【中学生・高校生別集計】

	調査数	とても楽しい	楽しい	あまり楽しくない	楽しくない	無回答
調査数	436	158	205	54	17	2
	100.0	36.2	47.0	12.4	3.9	0.5
中学生 小計	231	82	108	32	8	1
	100.0	35.5	46.8	13.9	3.5	0.4
高校生 小計	199	73	94	22	9	1
	100.0	36.7	47.2	11.1	4.5	0.5
専門学校生 小計	1	1	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	2	1	1	0	0	0
	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
無回答	3	1	2	0	0	0
	100.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0

●学校が楽しいかどうかについて、中学生・高校生別に見ると、大きな違いは見られませんが、とても楽しいとする割合も楽しいとする割合も、高校生のほうが僅かながら多くなっています。

問22. 学校や仕事に行きたくないと思うか (○は1つ)

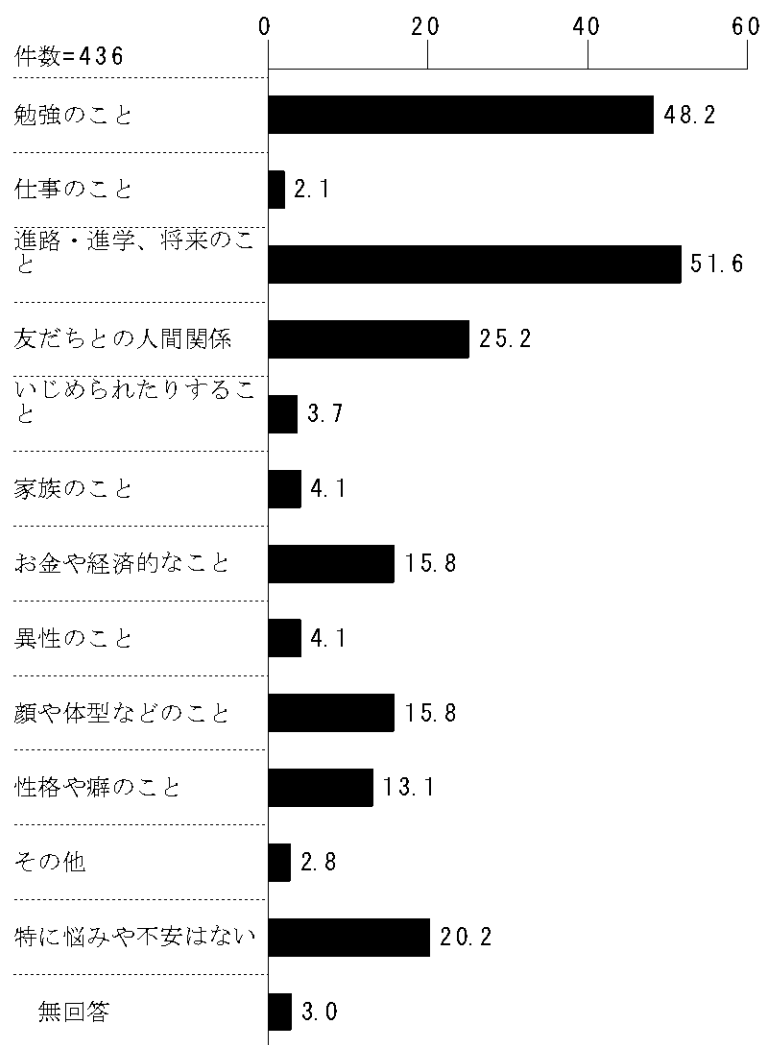
●学校に行きたくないと思うかの質問に対し、たまにある(49.3%)が最も多く、ほとんどない(24.1%)、まったくない(16.3%)、よくある(10.1%)となっています。



問23. 悩み事や困っていること (○はいくつでも)

●悩んでいることや困っていることについては、進路・進学、将来のこと(51.6%)が最も多く、勉強のこと(48.2%)、友だちとの人間関係(25.2%)がこれに続いています。

●特に悩みや不安はないは、20.2%となっています。



問24. 悩み事の相談相手 (○はいくつでも)

●悩みや困っていることの相談相手は、友だち・先輩(67.4%)や家族(58.0%)が上位を占める一方で、誰にも相談しないが14.0%となっています。

◇【学年別集計】

	調査数	家族	友だち・先輩	学校の先生、職場	児童館・中高生センターの職員	保健所の職員	専門のカウンセラー	インターネット	誰にも相談しない	その他	無回答
調査数	436	253	294	43	2	0	5	9	61	5	8
	100.0	58.0	67.4	9.9	0.5	0.0	1.1	2.1	14.0	1.1	1.8
中学生 小計	231	146	150	18	2	0	4	6	30	3	3
	100.0	63.2	64.9	7.8	0.9	0.0	1.7	2.6	13.0	1.3	1.3
中学1年生	88	63	63	12	1	0	3	3	7	1	1
	100.0	71.6	71.6	13.6	1.1	0.0	3.4	3.4	8.0	1.1	1.1
中学2年生	74	44	38	4	0	0	0	1	13	1	2
	100.0	59.5	51.4	5.4	0.0	0.0	0.0	1.4	17.6	1.4	2.7
中学3年生	69	39	49	2	1	0	1	2	10	1	0
	100.0	56.5	71.0	2.9	1.4	0.0	1.4	2.9	14.5	1.4	0.0
高校生 小計	199	101	141	25	0	0	1	3	31	2	5
	100.0	50.8	70.9	12.6	0.0	0.0	0.5	1.5	15.6	1.0	2.5
高校1年生	66	37	50	6	0	0	1	1	8	0	1
	100.0	56.1	75.8	9.1	0.0	0.0	1.5	1.5	12.1	0.0	1.5
高校2年生	72	35	56	10	0	0	0	2	9	2	2
	100.0	48.6	77.8	13.9	0.0	0.0	0.0	2.8	12.5	2.8	2.8
高校3年生	61	29	35	9	0	0	0	0	14	0	2
	100.0	47.5	57.4	14.8	0.0	0.0	0.0	0.0	23.0	0.0	3.3
専門学校生 小計	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
専門学校1年生	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	3	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

●中学生では、学年が上がるにつれ、家族の割合が減少し、友だち・先輩の割合が増加しています。

●高校生では、どの学年も、友だち・先輩が最も多くなっています。

◇【悩みごとや困っていること別集計】

	調査数	家族	友だち・先輩	学校の先生、職場	児童館・中高生センターの職員	保健所の職員	専門のカウンセラー	インターネット	誰にも相談しない	その他	無回答
調査数	436	253	294	43	2	0	5	9	61	5	8
	100.0	58.0	67.4	9.9	0.5	0.0	1.1	2.1	14.0	1.1	1.8
勉強のこと	210	124	152	21	0	0	0	8	27	1	1
	100.0	59.0	72.4	10.0	0.0	0.0	0.0	3.8	12.9	0.5	0.5
仕事のこと	9	3	6	2	0	0	0	0	1	0	0
	100.0	55.6	66.7	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0
進路・進学、将来のこと	225	137	158	29	1	0	1	5	28	2	2
	100.0	60.9	70.2	12.9	0.4	0.0	0.4	2.2	12.4	0.9	0.9
友だちとの人間関係	110	74	81	16	0	0	3	7	11	2	0
	100.0	67.3	73.6	14.5	0.0	0.0	2.7	6.4	10.0	1.8	0.0
いじめられたりすること	16	13	9	1	0	0	0	1	2	1	0
	100.0	81.3	56.3	6.3	0.0	0.0	0.0	6.3	12.5	6.3	0.0
家族のこと	18	10	10	3	0	0	0	2	5	0	0
	100.0	38.9	55.6	16.7	0.0	0.0	0.0	11.1	27.8	0.0	0.0
お金や経済的なこと	69	32	46	10	1	0	0	5	10	2	1
	100.0	46.4	66.7	14.5	1.4	0.0	0.0	7.2	14.5	2.9	1.4
異性のこと	18	10	14	7	1	0	0	2	1	0	0
	100.0	55.6	77.8	38.9	5.6	0.0	0.0	11.1	5.6	0.0	0.0
顔や体型などのこと	69	38	49	9	0	0	1	4	13	0	0
	100.0	55.1	71.0	13.0	0.0	0.0	1.4	5.8	18.8	0.0	0.0
性格や癖のこと	57	35	35	13	0	0	2	1	13	2	0
	100.0	61.4	61.4	22.8	0.0	0.0	3.5	1.8	22.8	3.5	0.0
その他	12	8	7	2	0	0	1	0	1	1	1
	100.0	66.7	58.3	16.7	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	8.3	8.3
特に悩みや不安はない	88	48	57	7	1	0	2	0	16	1	3
	100.0	54.5	64.8	8.0	1.1	0.0	2.3	0.0	18.2	1.1	3.4
無回答	13	7	5	1	0	0	0	0	1	1	3
	100.0	53.8	38.5	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7	23.1

●悩み事や困っていることの内容によって相談相手が異なるかどうかを見たところ、いじめられたりすることのみが、家族が最も高い割合を占め、その他の内容は全て友だち・先輩が最も高い割合となっています。

(6) 地域での活動について

問25. 地域活動への参加状況 (〇はいくつでも)

●地域活動への参加は、地域の祭り・盆踊り(47.7%)が最も多く、参加したことはない(39.9%)、スポーツ大会・スポーツ教室(9.9%)、ボランティア活動(9.6%)と続いています。

◇【学年別集計】

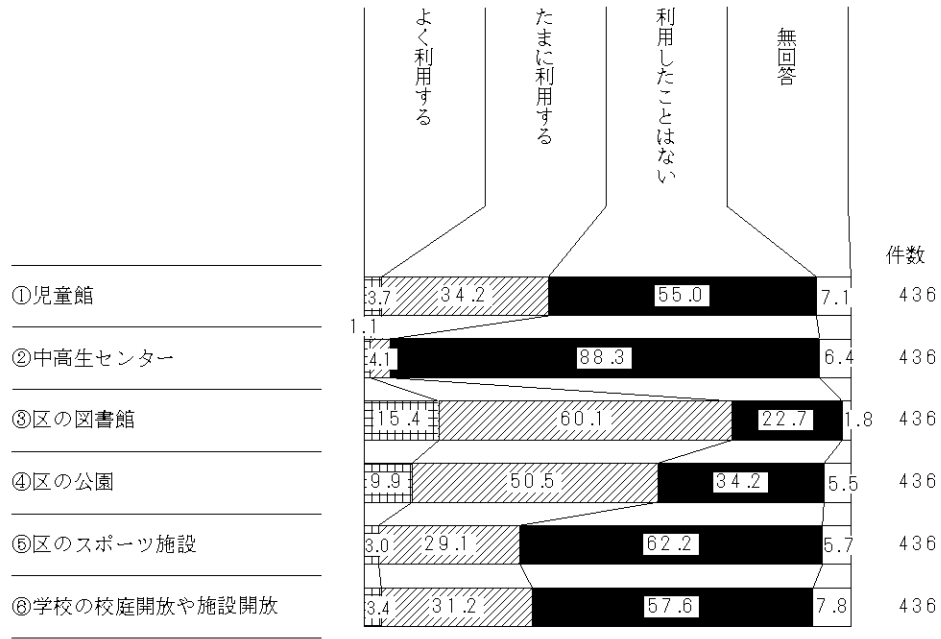
	調査数	町会や育成委員会の運動	地域の祭り・盆踊り	地域の野外活動	スポーツ大会やスポーツ教室	地域のスポーツチームでの活動	ボイスカウトの活動	ボランティア活動	地域の掃除、ごみ拾い、美化活動などの活動	その他	参加したことはない	無回答
調査数	436	18	208	13	43	28	10	42	2	174	15	
	100.0	4.1	47.7	3.0	9.9	6.4	2.3	9.6	0.5	39.9	3.4	
中学生 小計	231	17	137	10	33	24	6	33	1	60	5	
	100.0	7.4	59.3	4.3	14.3	10.4	2.6	14.3	0.4	26.0	2.2	
中学1年生	88	9	59	6	15	12	2	14	0	17	1	
	100.0	10.2	67.0	6.8	17.0	13.6	2.3	15.9	0.0	19.3	1.1	
中学2年生	74	2	40	3	10	8	0	12	1	21	2	
	100.0	2.7	54.1	4.1	13.5	10.8	0.0	16.2	1.4	28.4	2.7	
中学3年生	69	6	38	1	8	4	4	7	0	22	2	
	100.0	8.7	55.1	1.4	11.6	5.8	5.8	10.1	0.0	31.9	2.9	
高校生 小計	199	1	68	3	9	4	4	9	1	111	10	
	100.0	0.5	34.2	1.5	4.5	2.0	2.0	4.5	0.5	55.8	5.0	
高校1年生	66	0	26	0	3	1	1	4	0	36	1	
	100.0	0.0	39.4	0.0	4.5	1.5	1.5	6.1	0.0	54.5	1.5	
高校2年生	72	1	27	2	5	2	2	4	1	34	6	
	100.0	1.4	37.5	2.8	6.9	2.8	2.8	5.6	1.4	47.2	8.3	
高校3年生	61	0	15	1	1	1	1	1	0	41	3	
	100.0	0.0	24.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	0.0	67.2	4.9	
専門学校生 小計	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
専門学校1年生	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	
	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
無回答	3	0	1	0	1	0	0	0	0	2	0	
	100.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	

●学年別に地域活動への参加状況を、全体で最も割合の高い地域の祭り・盆踊りで見ると、学年が上がるにつれ、参加する割合が減少しており、逆に、参加したことはないとする割合が増加しています。

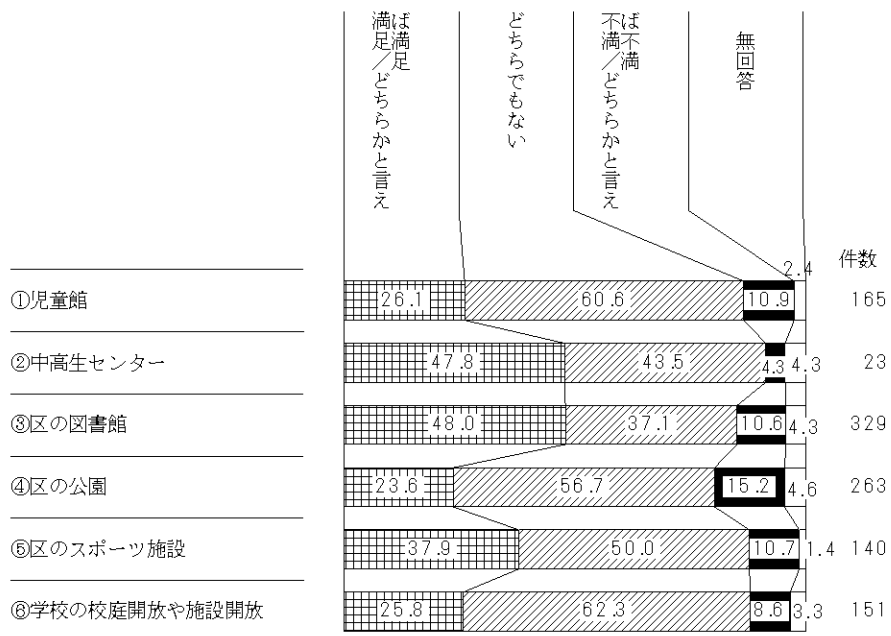
(7) 区の施設や豊島区について

問26. 区の施設の利用状況と満足度 (○は1つ)

●区の施設の利用については、図書館(15.4%)や公園(9.9%)が比較的良好に利用されており、よく利用するとたまに利用するとを合わせた利用状況では、図書館が75.5%、公園が60.4%となっています。

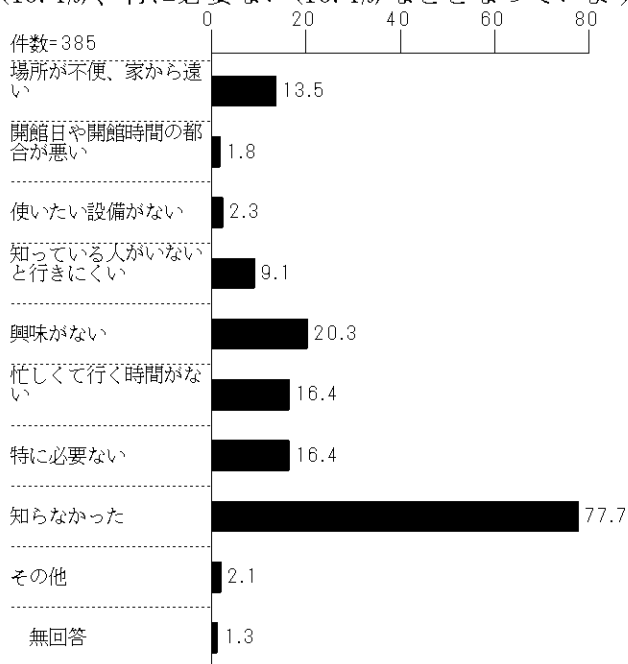


●区の施設を使ったことがある人に対し、利用満足度を聞いたところ、満足/どちらかと言えば満足と答えた割合が高かったのは、図書館(48.0%)、中高生センター(47.8%)などで、不満度(不満/どちらかと言えば不満)は全体的に低く、区の公園が15.2%、児童館が10.9%などとなっています。



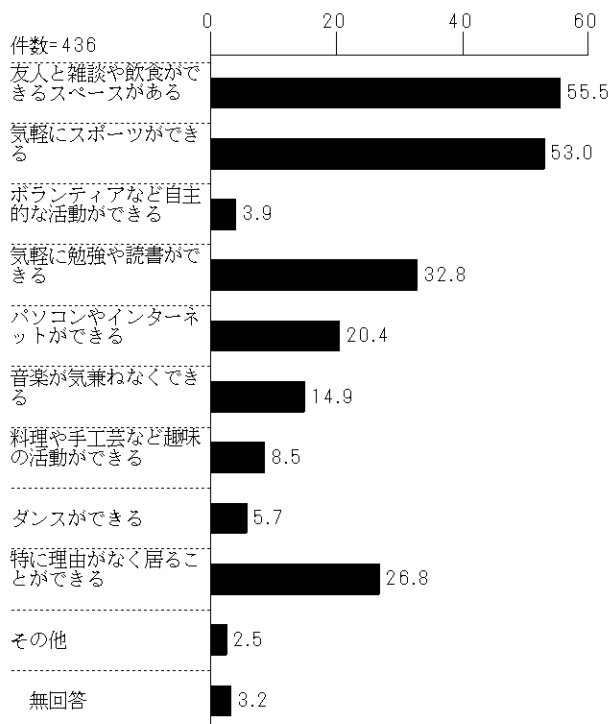
**問27. 中高生センター（ジャンプ東池袋）を利用しない理由（○はいくつでも）**

●中高生センターを利用したことがないと回答した人に、その理由を聞いたところ、知らなかった（77.7%）が8割近くを占め、次いで興味がない（20.3%）、忙しくて行く時間がない（16.4%）、特に必要ない（16.4%）などとなっています。



**問28. 望まれる中高生向け施設内容（○は3つまで）**

●今後、整備が望まれる中高生が利用する施設としては、友人と雑談や飲食ができるスペース（55.5%）、気軽にスポーツができる（53.0%）、気軽に勉強や読書ができる（32.8%）、特に理由がなく居ることができる（26.8%）などへの要望が高くなっています。



問29. 「子どもの権利に関する条例」の認知度 (○は1つ)

●「子どもの権利に関する条例」は、名前を聞いたことがない／知らない(57.1%)が最も多く、名前を聞いたことはあるが内容は知らない(27.8%)、内容を少し知っている(8.3%)と続いています。

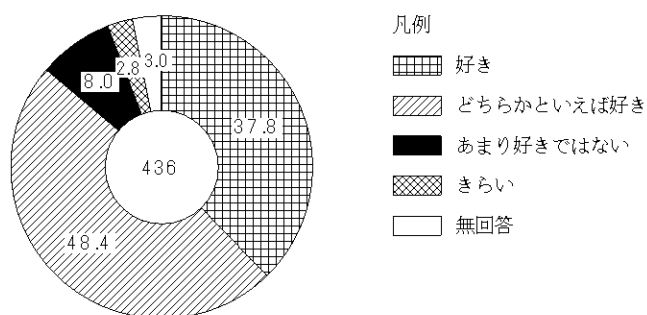
◇【中学生・高校生別集計】

	調査数	内容をよく知っている	内容をだいたいい知っている	内容を少し知っている	名前が内容は聞いたことがありません	名前／名前を聞いたことがない	無回答
調査数	436	3	14	36	121	249	13
	100.0	0.7	3.2	8.3	27.8	57.1	3.0
中学生 小計	231	1	8	25	68	123	6
	100.0	0.4	3.5	10.8	29.4	53.2	2.6
高校生 小計	199	2	6	9	52	123	7
	100.0	1.0	3.0	4.5	26.1	61.8	3.5
専門学校1年生	1	0	0	0	0	1	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
その他	2	0	0	1	0	1	0
	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
無回答	3	0	0	1	1	1	0
	100.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0

●子どもの権利に関する条例の認知度を中学生・高校生別に見ると、名前を聞いたことがない／知らないとする割合も、名前は聞いたことがあるが内容は知らないとする割合も、高校生が高くなっています。

問30. 豊島区への愛着 (○は1つ)

●豊島区への愛着度は、好きが37.8%、どちらかといえば好きが48.4%となっており、これらを合わせると8割が愛着を持っていることになります。



◇【3地区別集計】

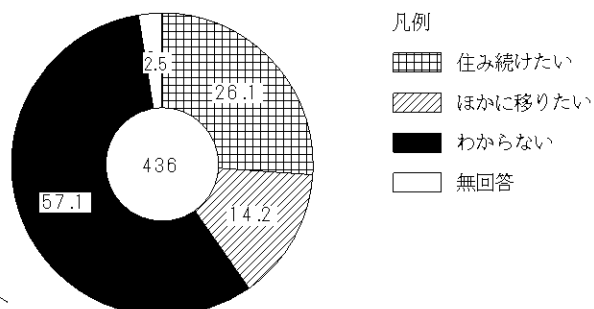
	調査数	好き	どちらかといえば好き	あまり好きではない	きらい	無回答
調査数	436	165	211	35	12	13
	100.0	37.8	48.4	8.0	2.8	3.0
東部地区	118	35	63	14	3	3
	100.0	29.7	53.4	11.9	2.5	2.5
中央地区	198	87	87	11	4	9
	100.0	43.9	43.9	5.6	2.0	4.5
西部地区	120	43	61	10	5	1
	100.0	35.8	50.8	8.3	4.2	0.8

●3地区別で豊島区への愛着度を見ると、中央地区で、好き(43.9%)とする割合が高くなっています。



問3 1. 豊島区への定住意向 (○は1つ)

●豊島区への定住意向については、わからない(57.1%)が最も多く、次いで住み続けたい(26.1%)となっています。



◇【豊島区へ

	調査数	住み続けたい	ほかに移りたい	わからない	無回答
調査数	436	114	62	249	11
	100.0	26.1	14.2	57.1	2.5
好き	165	82	14	69	0
	100.0	49.7	8.5	41.8	0.0
どちらかといえば好き	211	32	20	159	0
	100.0	15.2	9.5	75.4	0.0
あまり好きではない	35	0	19	16	0
	100.0	0.0	54.3	45.7	0.0
きらい	12	0	9	3	0
	100.0	0.0	75.0	25.0	0.0
無回答	13	0	0	2	11
	100.0	0.0	0.0	15.4	84.6

●豊島区への定住意向を豊島区への愛着度別に見ると、豊島区が好きだと回答した人は定住意向が強く、きらいと回答した人は転出意向が強いことがわかります。

### 問32. 豊島区への要望など（自由回答）

【記入者：90人】

#### 1) 施設整備

- オールコートでできるバスケットボールのある所を作ってください。
- 思いっきりスポーツのできる場所が少ない。校庭開放は禁止されている事が多いし、私の母校(小学)は中学生を遊ばせてくれない。私はジュニアでテニスをやっているけど、校庭開放はテニスの練習をさせてもらえない。中学生は入れてもらえないから公園に行くけど、公園もおもいきり遊べる広い公園がないから、ドッチボールやサッカーや野球やテニスなどができない。走りまわることがあまりできない。でも豊島区は好きです。中学生の遊ぶ場所が少ないと思います。
- スポーツが出来るところをもっと増やしてほしい。(お金を払わなくてもいいところ) 広い公園が少ないから作ってください。
- ソフトテニスができるスポーツセンターが欲しい。(南長崎の地域をお願いします。)
- 広場・グラウンドなどをもっと増やしてほしい。無駄にパーキングエリア作りや道路工事などの活動を減らしてほしい。
- スポーツができる場所を作してほしい。公園内はボール禁止の所がほとんどだから、ボールを使ってスポーツが出来る所があればいい。
- 池袋本町にスポーツ施設を作してほしい。特にプール。
- 区民が安く利用できるテニスコートを西池袋に。
- 高校生になると「遊ぶ場所」は限られる。遊びといっても場所がない。公園といっても広さが足りない。狭いです。広いフリースペースが増えたらいいなと思ってます。
- 公園を新しくしてほしい。
- 最近、段々と遊べる場所がなくなり、友達と遊んでいても「どこで遊ぶのか?」「遊ぶ場所がないよね...」という会話が多くなりました。前にあった児童館はスポーツなども出来て、私の好きなピアノが置いてあり、とても便利でした。私はゆっくり過ごせて、音楽などが出来て勉強なども気軽に出来る場所があったらいいなあと何度も思っていました。前は児童館をよく利用していたのですが、そこがなくなってしまい雑司が谷図書館を利用するようになりました。けれどその唯一ゆっくり過ごせたり、勉強できた雑司が谷図書館もなくなってしまい、遊ぶ時にはほとんど毎回「遊ぶ場所ないよね。」っていう会話は多くなり、すごくすごく残念です。すこしでも遊べる場所が増えたらいいなと思います。
- ボールを使った遊びのできる公園がほしい。
- 野球やサッカーなどが出来る広場をもっと増やしてほしい。硬式の野球ができるグラウンドがあると嬉しい。
- 「ジャンプ東池袋」のような施設を南長崎にも作ってください。

区のプールが西池袋の方まで行かないとないので、近くにプールを作ってください。

- もう少し公共施設を増やしてほしい！私が2年生ぐらいの時までは、いろんな所で遊べて楽しかったし、公園に不審者が出る事があまりなかったけれど、今現在ほどの公園に言っても不審者がいるし、「中学生以上は利用禁止」となっている所がほとんどなので、全く遊ぶ所がありません。中学校の校庭開放はほとんどやっていないし、先輩が使っているから自由に遊ばせん。お願いします。なにか中学生が利用できる公共施設を作ってください。
  - 豊島区(駒込・巣鴨・池袋とその周辺)はJRなど、交通の便もよくて住みやすい。しかし、他の区と比較してしまうと、学校の設備をはじめ、スポーツ施設、図書館などの設備が悪い。豊島区には大きい公園も少ないし、高校生がゆっくりしたり、スポーツしたり、遊んだりできる場所がない。池袋とかでも遊べるけど、ゲーセンとかだと、金銭的にも限界がある。それに小中学生の姿もよく見かける。金を持って小中学生に遊びに行かせることがなくても良いような施設を完備してほしい。
  - 安全な自習スペースがあるといいと思います。図書館だと色々な目的の人がいるので...
  - 椎名町駅付近の駐輪場の件です。線路をはさんで公園側には区が管理する駐輪場がありますが、その反対側にはありません。それがとても不便なので、ぜひ駐輪場の増設の検討をお願いします。
  - 暗い道の街灯の配備
  - 上池袋に雑誌や飲食ができる施設がほしい。
  - 大きなスクリーンでDVDが見れる施設(無料)を作ってください。
  - 通学に大塚駅を使用するのですが、大塚駅の中、外共に環境があまり良くないです。汚いです。そして放置自転車の数が多すぎて、危ないし危険です。目白駅など、他の豊島区内の駅周辺にあるような自転車駐車場を作って頂けると幸いです。目白図書館がやっと先月開館されて、ほんとううれしかったです。今後大切に使用させていただきます。
  - 1つの町に1つ、中高生が遊べたり勉強できる場所がほしい。
  - 千川、要町、椎名町方面に中高生センターが欲しい
  - 児童館を広くしてください。
  - 大塚駅前の駐輪場を使って下さい。出来れば駅の目の前に大きく！バドミントンができて、大きくて、使用料が安い体育館をつくって下さい
- #### 2) 施設運営や運営支援、仕組みなど
- 中央図書館の席の数が少ないので、もっと増やしてほしい。
  - 西巣鴨のテニスコートも総合体育場のように、個人

公開を作ってほしい。

- 豊島区への主な要望は、まず勉学の発展を援助することです。勉強時間の増加などの事は、教育委員会の許可がないと出来ませんが、月に何回か詳しくて内容の濃い講座を実施すると良いと思います。僕が今、私立に通っているのも、勉強のレベル教員の指導が甘いと感じたからです。もう一つは豊島区立の公共施設のことです。中央図書館を例にあげると、エレベーターしか使えないことがあります。もし、災害が起こった時、階段の場所が分からなかったりしたら大変です。階段を非常時だけでなく、常に使えるようにするのは当たり前のことです。そして、バリアフリーの本格化も進めていかなければなりません。たとえ財政的にそれらを行うのが困難だったとしても、このくらいのことを何とかしてほしいと思っています。
- 区の図書館にまんがを置いてほしい。気軽なカウンセラーがほしい。(メールなどでOK)
- 図書館へ マンガがあるのはうれしいですが、全巻そろえてほしいです。読んだ後が気になるから。お願いします。
- 中央図書館を休日も22時まで開けてください。豊島区民の人専用の自習室が欲しいです。
- フリーマーケットができる場所がほしい。月1とかで。
- 僕は今、高校3年生ですが、卒業論文のテーマに「豊島区の少子化問題」を取り上げました。結果、少子化対策が成功している江戸川区のような助成金の充実と、中野区のような宣伝システムを確立する事が大事だとわかりました。実際に僕自身「中高生センター」の存在を知らなかったのですから、宣伝は重要です。あと、区政に関わっていただけるようなアルバイト等を作ってくれと嬉しいですよ。
- 区営グラウンドで野球のプレイをするときに、金スパが使えるようにしてほしい。図書館の本をもっと増やして最新の本を出してほしい。
- 公園で犬の散歩の人が多いいので思いきり遊べない。
- 全ての小学校の開放
- 私は、マーチングバンドをやっていますが、近くに音出して良い練習場所がないため、遠くの体育館まで行かなくてはなりません。ぜひ、豊島区の体育館で音を出して練習できるようにしてもらいたいです。お願いします。
- 自転車・歩行者の交通マナーが悪いと思うので、少し指導してほしい。(大人も子どもも)
- 千川をもっと明るくしてほしいです。あと、たまに公園に変な人がいるので、おまわりさんのパトロールを多くしてほしいです。
- 治安のよい町作りの強化をお願いします。
- 子ども同士で池袋に遊びに行っても、危なくない環境にしてほしい。
- 街灯の整備。明治通りの電気を増やしてほしい。
- 豊島公会堂をきれいにしてください。

### 3) 清潔美化

- 特に放置自転車についてです。といっても、最近では区の改善策のおかげもあり、大塚駅前だけではなく

池袋でも減少傾向にあります。それでも池袋と大塚の自転車数は都内最高クラスだけあり、こう言っただけは失礼かもしれませんが、頑張りが少し足りないと思います。だから、もっとバンバン撤去してもいいと思います。

- たばこを吸っていい所と、吸ってはいけない所を作ってほしい。たばこはくさくさくしょうがない。
- 歩きタバコ禁止の取り締まりを強化して下さい(通学するときなどに迷惑なので)
- 公園内では犬の散歩を禁止してほしい。ふんもそのまま放置している。

### 4) 医療など

- 夜間に見てもらえる大きな病院がない。

### 5) その他

- 巣鴨にもっと若者がいける店を作ってほしい。
- 池袋みたいな楽しいところになるように(若い人向けの店や施設)何とかして欲しい。お年寄り向けの施設やお店しかないの、友だちと遊ぼうとしても、大塚(豊島区)だと遊ぶところがない。つまらない。
- 小学校の頃、保健室の先生に「豊島区は貧乏で、隣の文京区はお金がたくさんある」という話を聞いた。文京区の小学校に通っていた人から「校舎はキレイだった」とも聞いて、他の区と差ができないようにしてもらいたい。
- 目白はきれいなところだと思うので、まわりの環境を壊すような、ただ単に大きな建物を建てないでほしいです。
- 植物園をもう少し作って、自然と触れ合える場所を作ってほしい。
- 大きい木を育てたい。周りを花いっぱい。
- 空気が汚いです。
- ゴミが多く、緑が少ない気がする。
- このとても良い豊島区を僕は応援しています!
- 僕や他の中学生・高校生のアンケートを元に、今後も豊島区に住んでいる人たちをもっと住みやすくしてほしいです。
- 産まれた時から住んでいるので、良いか悪いか分かりませんが・・・とりあえず池袋は汚いので嫌いです。もっときれいな町になればいいなと思います。このアンケート調査は画期的で良いと思います。頑張ってください。
- 頑張ってください。目白小をよろしくお願いします。
- 豊島区は通学・通勤する人にとっては、とても便利な場所です。これからも住民にとって住みやすく便利ですてきな街になるため、もっともっと良くしてほしいです。
- けっこういい区だと思う。がんばってください。
- 母子家庭のため、今、区の都民住宅に住んでいるが、ずっと住めないで、この先ずっと住める場所の区民住宅を増やしてほしい。
- 今現在、JR大塚駅を改装中ですが、どうせ新しくするのなら、やはり駅周辺の環境も一新すべきかと思います。
- 財政赤字を減らしてください。
- 税金をむだなく、大事に使ってください。

- ひとり親家庭とわかる扱いを、学校で他の生徒の前で受けたくない。
- 若い世代に演劇(芸術)の良さを知って欲しい。夢中になってほしい。そのために、チケットの値下げか駅周辺に演劇関連のものを設置。「演劇＝豊島区」をアピールして欲しい。そうすれば、豊島区の子どもはいい子になると思います。
- 今住んでいる家が壊れそうでこわい。建て替えてほしい。地震に強い家にしてほしい。家賃が高い。家族が多いんだから、お金がなくなる。スクールバスがあってほしい。大きいスーパーが近くにあってほしい。テストを簡単にしてほしい。犬とかが捨てられても殺さないでほしい。マンションでも犬とか猫とか動物を飼えるようにしてほしい。カギを閉めたときに、しめるか、しめてないかがわからないから、隠してほしい。都電の金が高い。
- コンビニがありすぎ！近くに本屋がない！生ゴミが多い(道路に)。ムダに高いビルは欲しくない。日あたりが悪くなる。空気が悪い。水たまりが多くて車が通った時に、水をかぶった事がある。犬のフンが道のど真ん中であって困る。これらのことをよろしくおねがいします。

## **6. 調査間比較、前回調査との比較**

## 6. 調査間比較、前回調査との比較

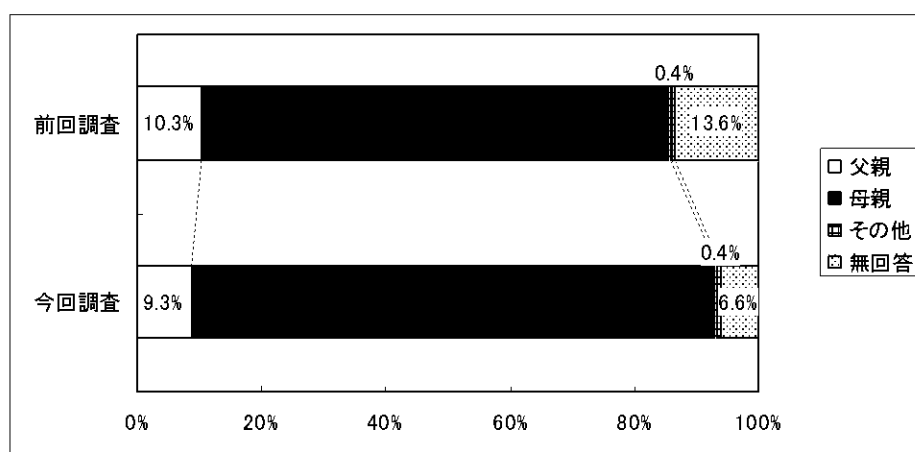
今回の調査は、調査対象別に5種類の調査票を用いました。この5種類の調査票で、共通する調査項目あるいは類似している調査項目について、調査間比較を行い、対象者の特性を明確にするとともに、前回調査※と大きく変化している項目を以下に整理します。

※平成14年度に実施した豊島区子育て需要調査（0～8歳の子どもの保護者は平成14年5月、9～17歳の子どもとその保護者は平成15年2月に実施。）

### (1) 保護者への調査項目

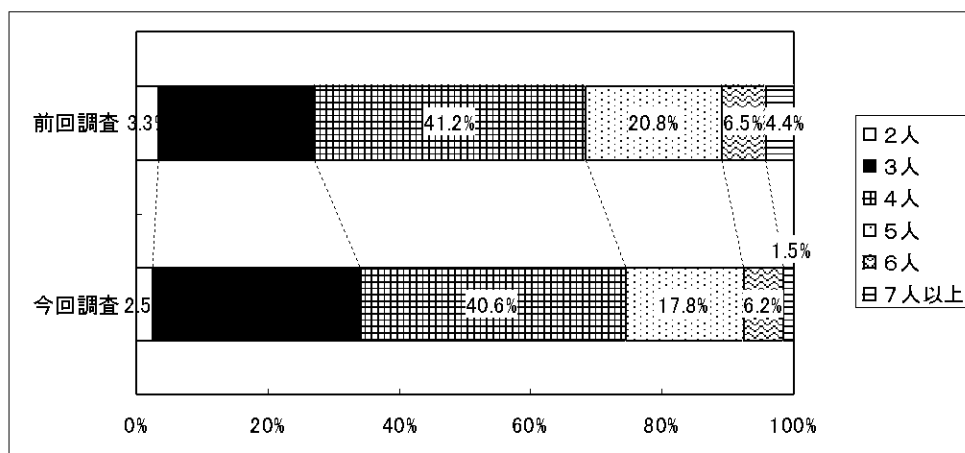
#### ①回答者…大半が母親

保護者への調査票（1,742件）の記入者は、大半が母親（89.7%）で、これは前回調査と同様ですが、前回調査の75.7%よりもさらに母親の割合が増加しています。



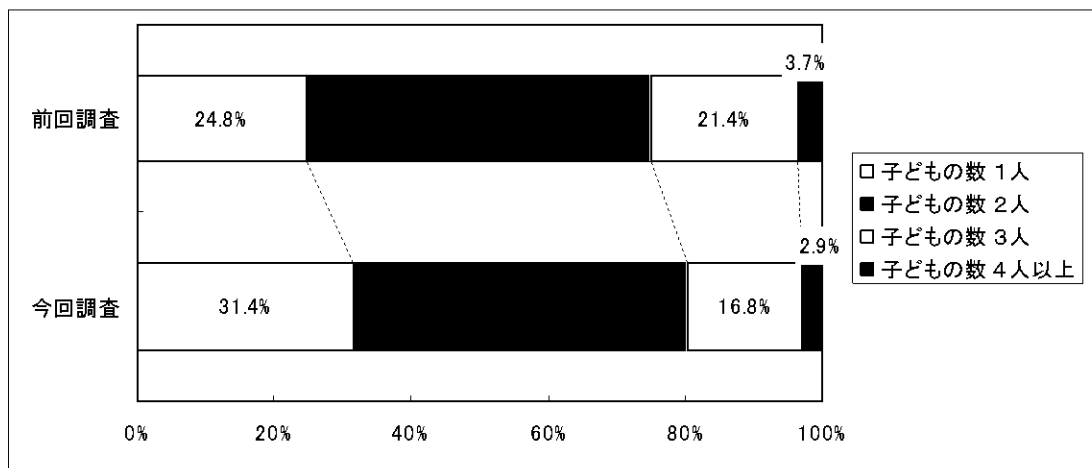
#### ②家族人数…4人家族が最も多く、3人家族の割合が増加

子どもが0～11歳までの世帯（1,203件）で前回調査と比較すると、4人、5人などの割合が減り、3人の割合が増加しており、前回調査よりも、より少人数化の傾向が強まっていると言えます。



### ③子どもの数… 2人が最も多く、1人が増加

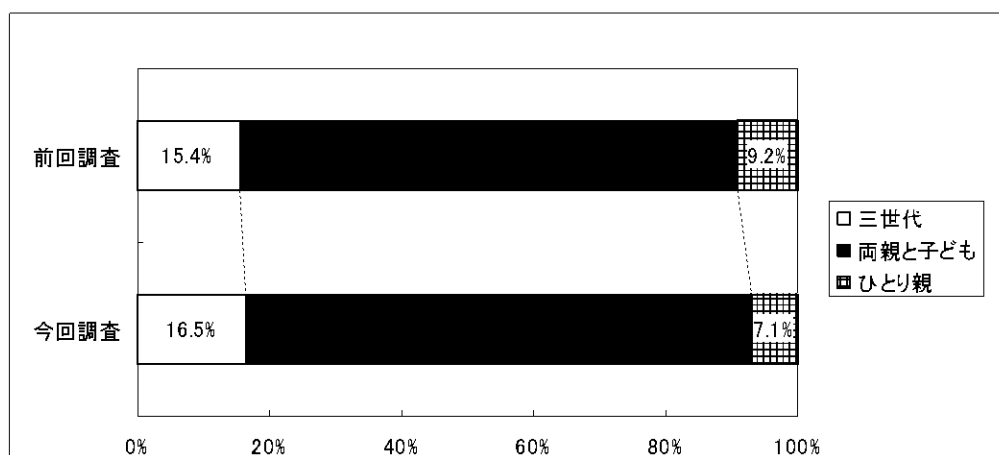
保護者への調査（1,742件）による子どもの数は、2人（48.9%）が最も多く、これは前回調査の50.1%とあまり大きな変化はありませんが、1人の割合（31.4%）が前回調査（24.8%）よりも増加しています。



### ④家族類型… 8割弱が両親と子どもの世帯

保護者への調査による家族類型については、回答のあった1,700件のうち、祖父母と同居している三世代家族は16.5%で、8割弱が両親と子どもによる構成（76.4%）となっており、前回調査（三世代家族：15.4%、両親と子ども：75.4%）と比較すると、三世代家族が1.1ポイント増加、両親と子どもは1.0ポイント増加しています。

ひとり親家庭は、前回調査の9.2%から7.1%に減少しています。

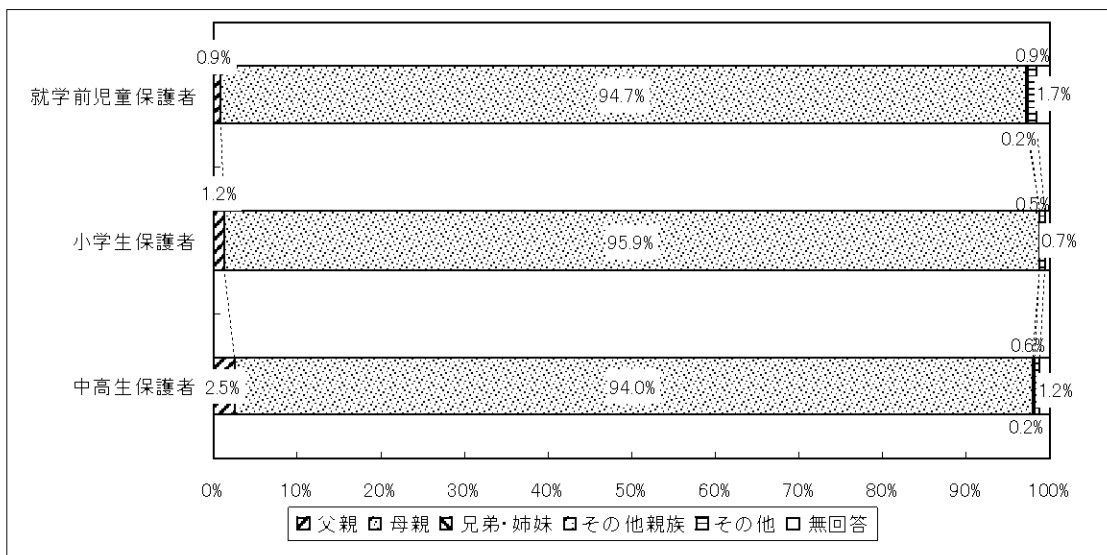


⑤主に身の回りの世話をする人…母親

0～11歳までの子どものいる世帯で、主に子どもの世話をしているのは、母親(95.3%)であり、これは前回調査と大きな変化はありません。

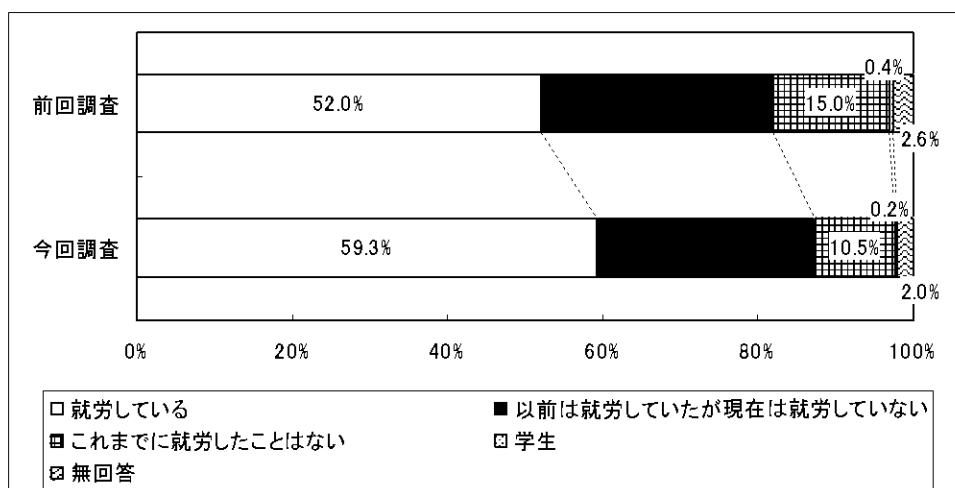
	父親	母親	祖父母、 兄弟等	無回答	合計
前回調査	1.1%	95.1%	1.5%	2.3%	100.0%
今回調査	1.1%	95.3%	2.4%	1.2%	100.0%

調査対象別の比較（保護者）でも、この傾向は変わりません。



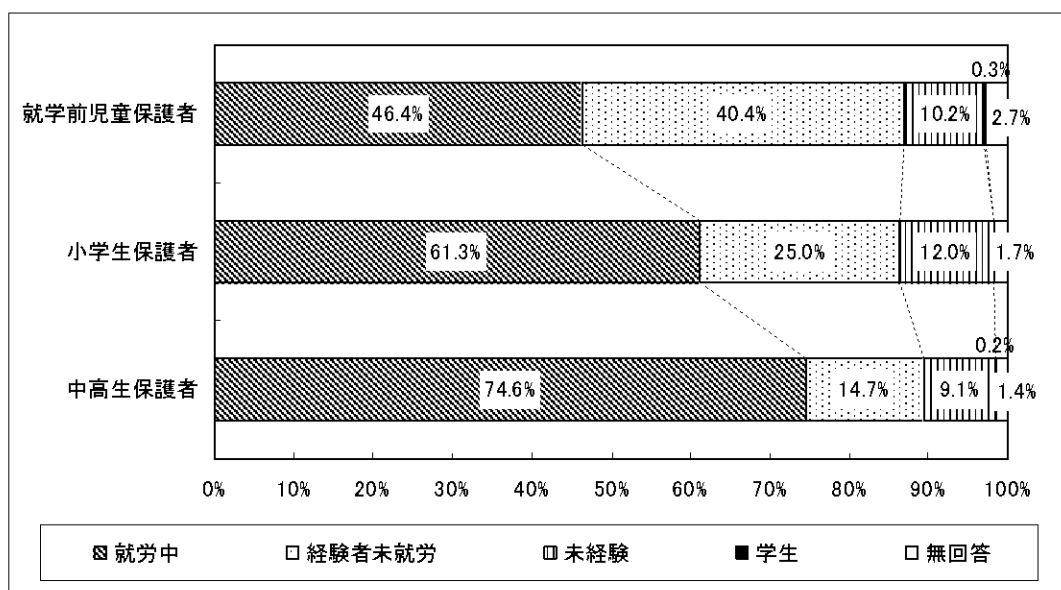
⑥主に身の回りの世話をする人の就労状況…半数を超える人が就労

主に子どもの世話をしている人の就労状況を見ると、59.3%と半数を超える人が就労していますが、これは前回調査の52.0%よりも増加しています。また、これまでに就労したことがないと回答した人は、前回調査では15.0%でしたが、今回は10.5%と減少しており、就労経験がない人は減少していることがわかります。





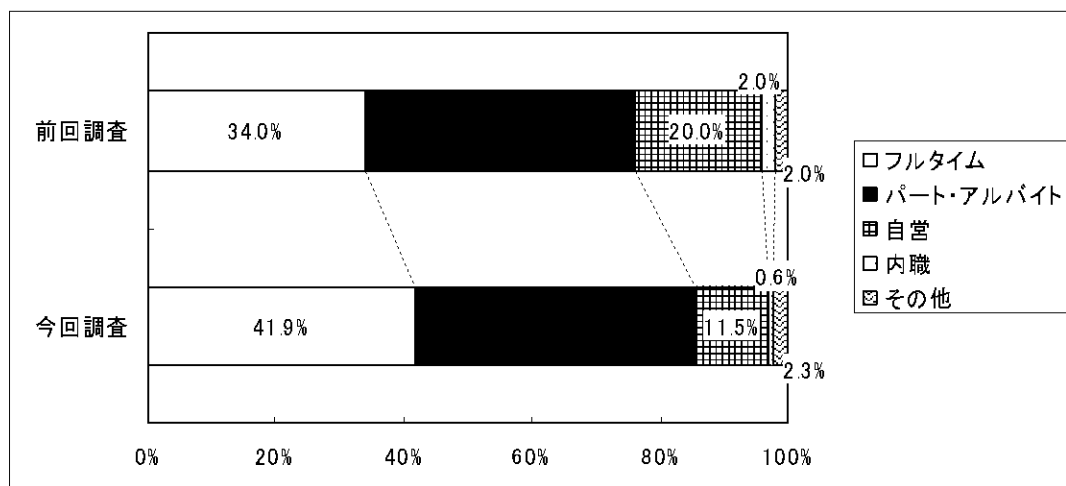
調査対象別に比較（保護者）すると、子どもの年齢が上がるほど就労している割合は増加し、中学生・高校生の保護者では、74.6%が就労しています。



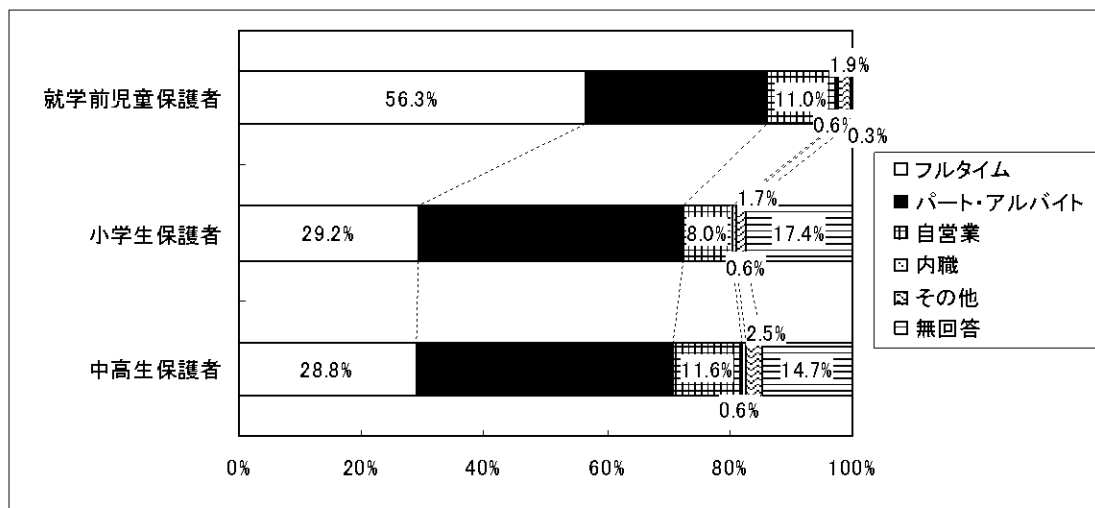
⑦主に身の回りの世話をする人の就労形態…パート・アルバイトの勤めが多い

主に子どもの世話をしている人の就労形態を見ると、パートタイム・アルバイトの勤めが43.7%と最も多くなっています。

前回調査と比較すると、フルタイムの勤めが7.9ポイント、パートタイム・アルバイトの勤めが1.7ポイントとそれぞれ増加しています。

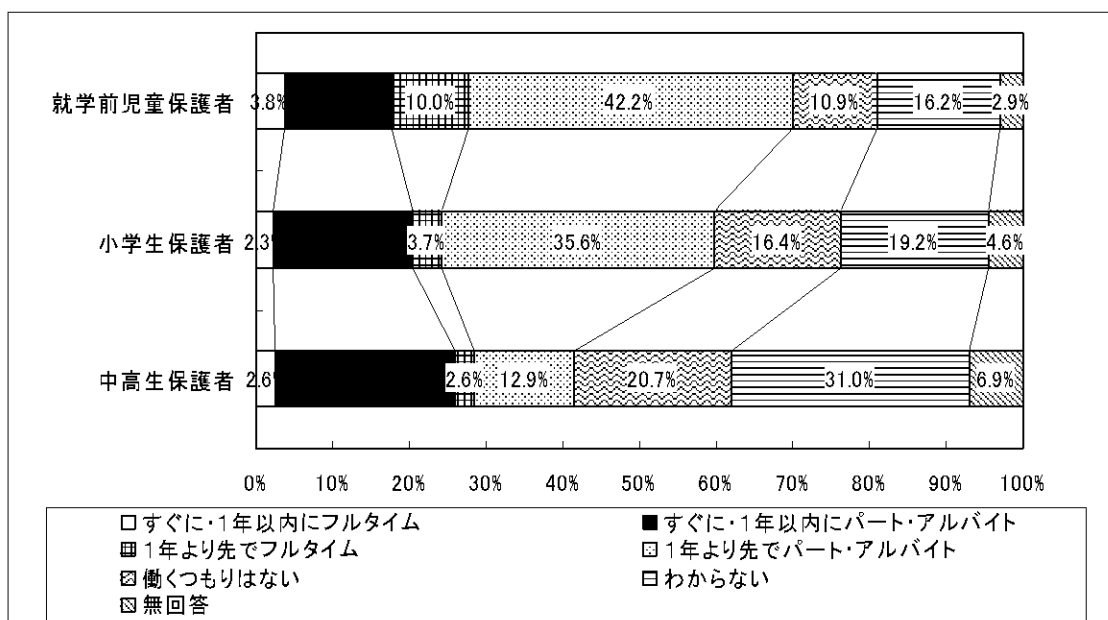


調査対象別の比較（保護者）を見ると、就学前児童保護者ではフルタイムの勤めが56.3%と過半数を占めているのに対し、小学生保護者や中学生・高校生保護者では、パート・アルバイトの勤めの占める割合が高くなっています。これは、就労している人は、子どもの年齢が高いほど多いが、その就労形態はパート・アルバイトの勤めが多く、子どもが就学前児童の場合、全体としては就労している人は少ないが、就労している人はフルタイムの勤めが多い傾向を示しています。



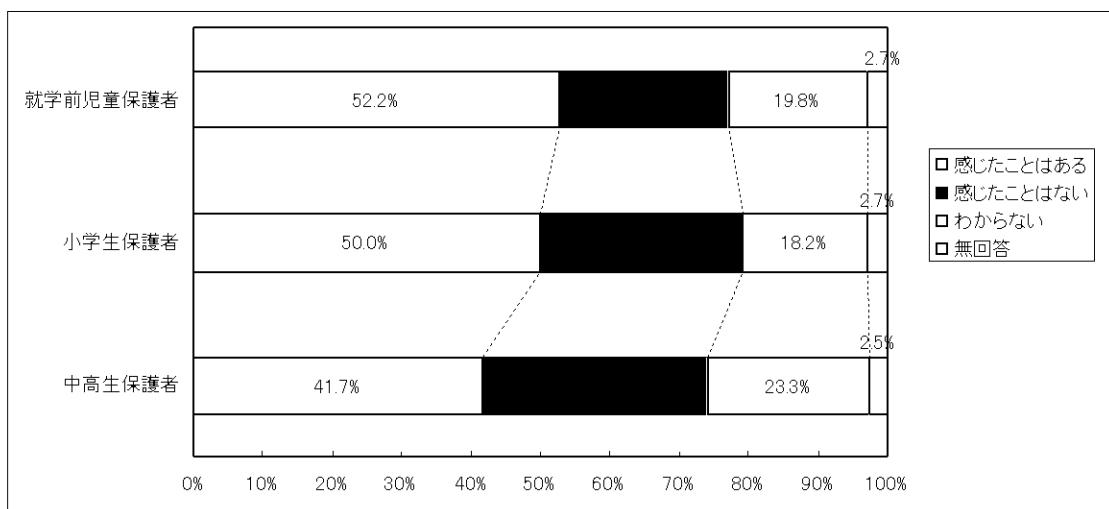
⑧今後の就労意向…就学前児童保護者は1年より先での就労を希望

現在は就労していない人の就労意向を調査対象別で比較（保護者）すると、フルタイムでもパートタイム・アルバイトでも“1年より先で”とする割合は、就学前児童保護者が最も多く、小学生保護者、中学生・高校生保護者と子どもの年齢があがるに連れて減少しています。逆に、すぐにもしくは1年以内にパートタイム・アルバイトで就労を希望する割合は、子どもの年齢があがるほど多くなっています。



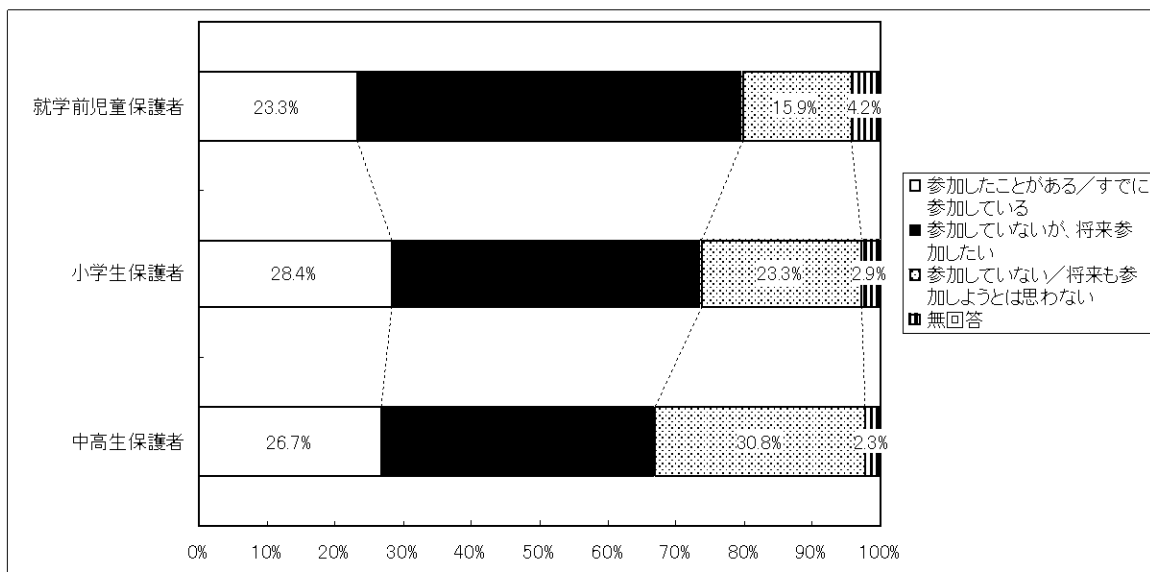
⑨地域からの支援…就学前児童保護者が最も地域からの支援を要望している

地域からの支援があればよいと感じたことがある保護者の割合は、就学前児童保護者が最も高く、小学生保護者、中学生・高校生保護者の順に低くなっています。



⑩地域の子育て支援活動への参加状況…参加・参加意向が約7割から8割

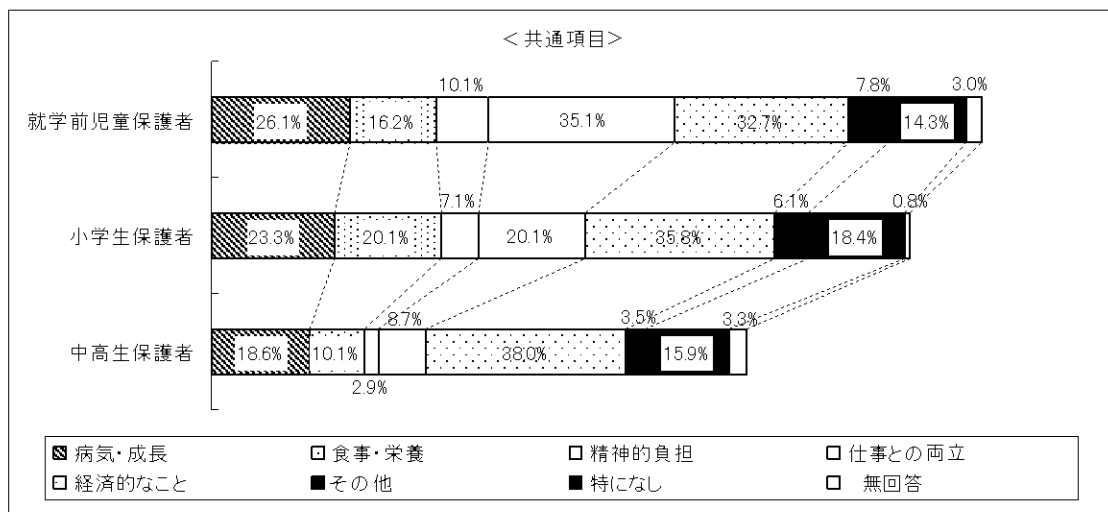
地域の子育て支援活動への参加状況を見ると、参加したことがある／すでに参加しているとする割合は小学生保護者が最も高く、参加していないが将来参加したいとする割合は、就学前児童保護者が最も高くなっています。逆に、参加していない／将来も参加しようとは思わないとする割合は、中学生・高校生保護者が最も高くなっています。



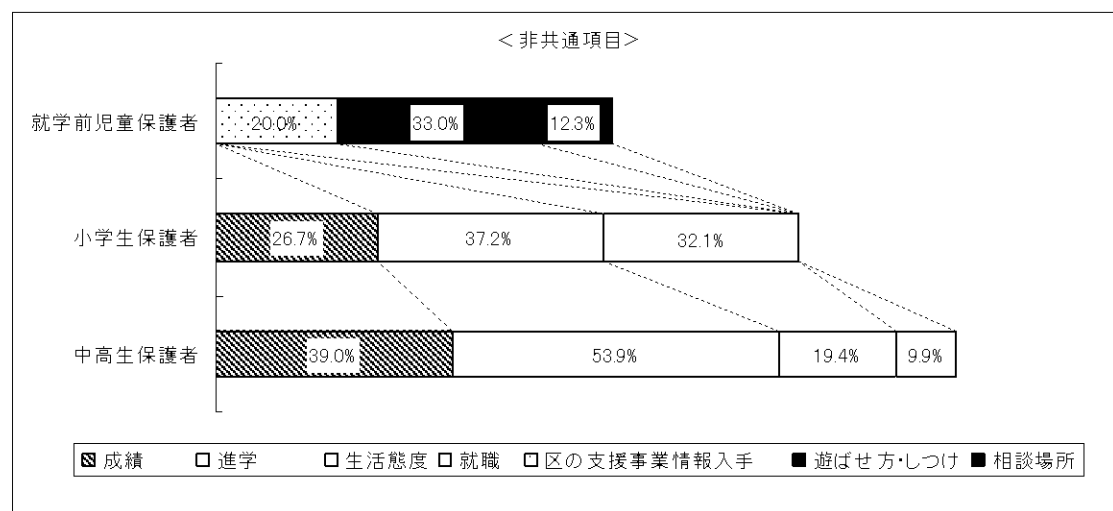
⑪育児・子育てに関する不安や悩み…保護者共通の悩みは経済的なこと

育児や子育てに関する不安や悩みについての設問では、対象者によって、若干、回答の選択肢が異なっていますが、共通している選択肢について見ると、共通して経済的なことが最も多くなっています。

仕事との両立は、就学前児童保護者では高い割合ですが、小学生保護者、中学生・高校生保護者となるにつれ、減少しています。

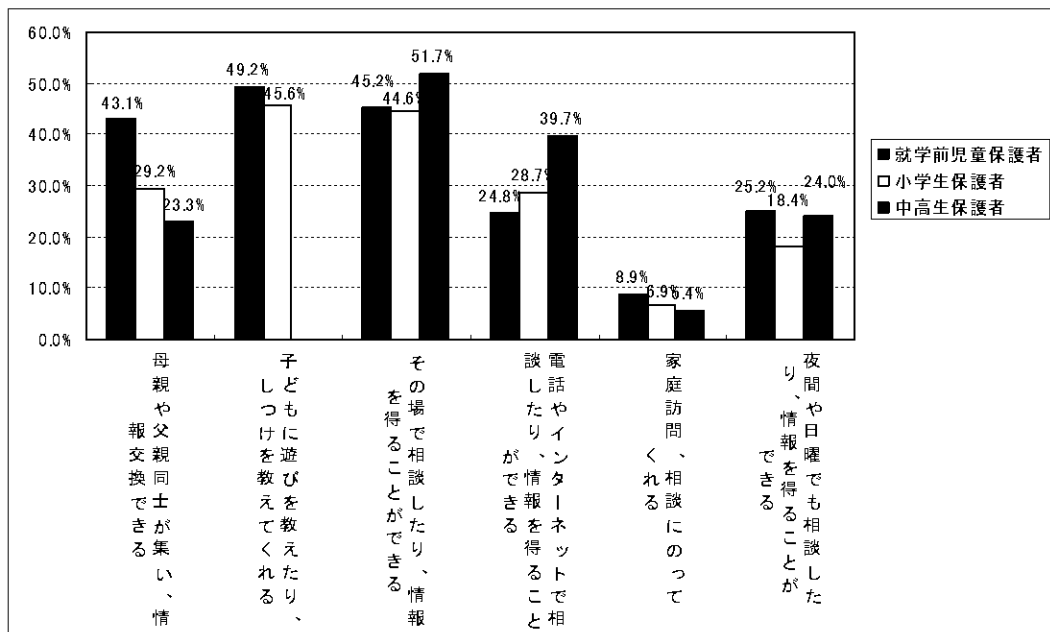


保護者間で共通していない悩みについては、就学前児童保護者の特徴は遊ばせ方・しつけが、小学生保護者の特徴は進学のことならびに生活態度のことが、中学生・高校生保護者の特徴は進学のことならびに成績のことが高い割合を占めていることです。



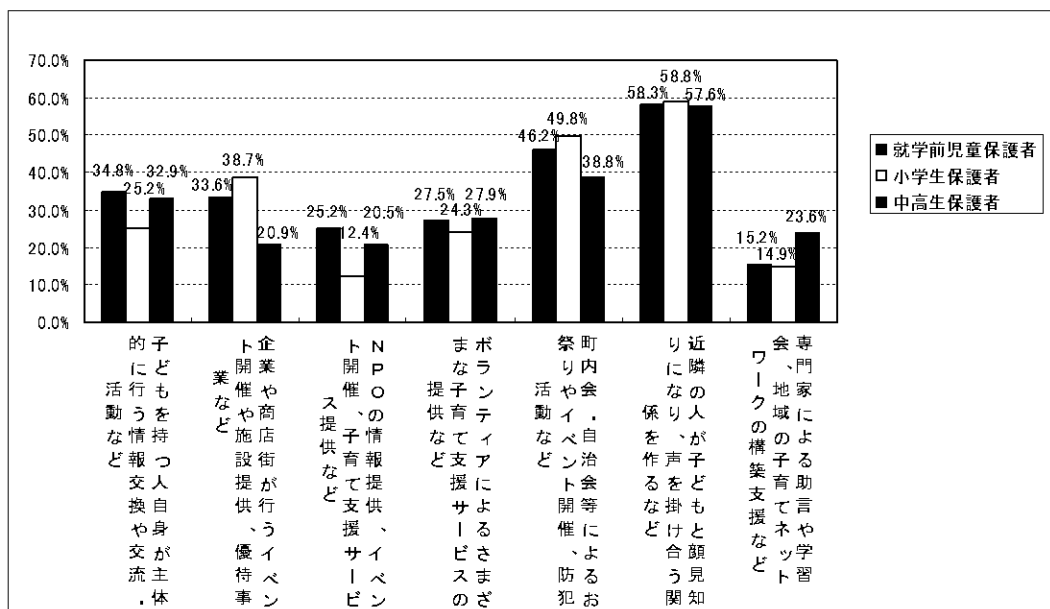
⑫育児・子育てに関する情報・相談の場への要望…保護者共通の要望は、その場で相談したり情報を得ることができる場

身近な地域での育児や子育てに関する情報の場への要望は、その場で相談したり情報を得ることができるが保護者共通で高くなっており、母親や父親同士が集い情報交換できるは、就学前児童保護者が高くなっています。



⑬地域の子育て力向上に有効な取り組み…「近隣の人が子どもと顔見知りになり声を掛け合う関係を作る」は保護者共通

地域の子育て力向上に有効な取り組みは、近隣の人が子どもと顔見知りになり声を掛け合う関係を作るが共通して最も多くなっています。このほか、就学前児童保護者、小学生保護者では町内会等によるお祭りやイベント開催、防犯活動などが中学生保護者より高い割合となっています。また、中学生保護者は他の保護者に比べ、専門家による助言や学習会、地域の子育てネットワークの構築支援などの割合が高くなっています。

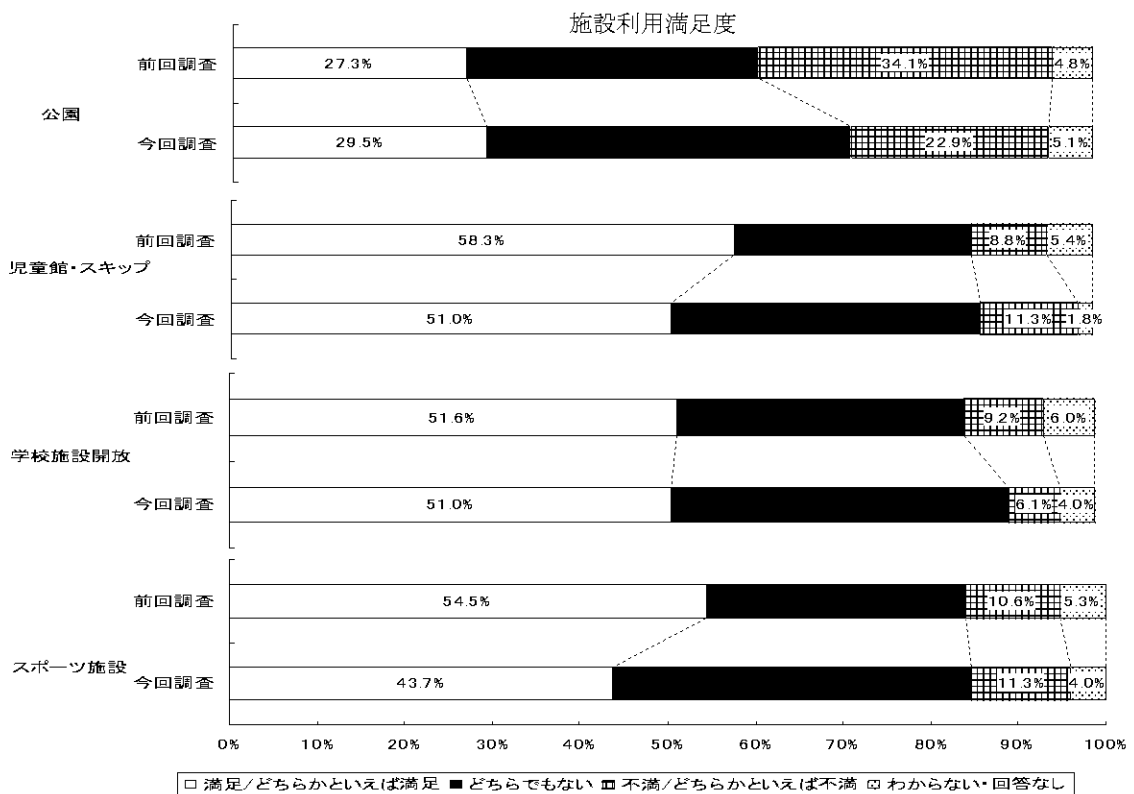
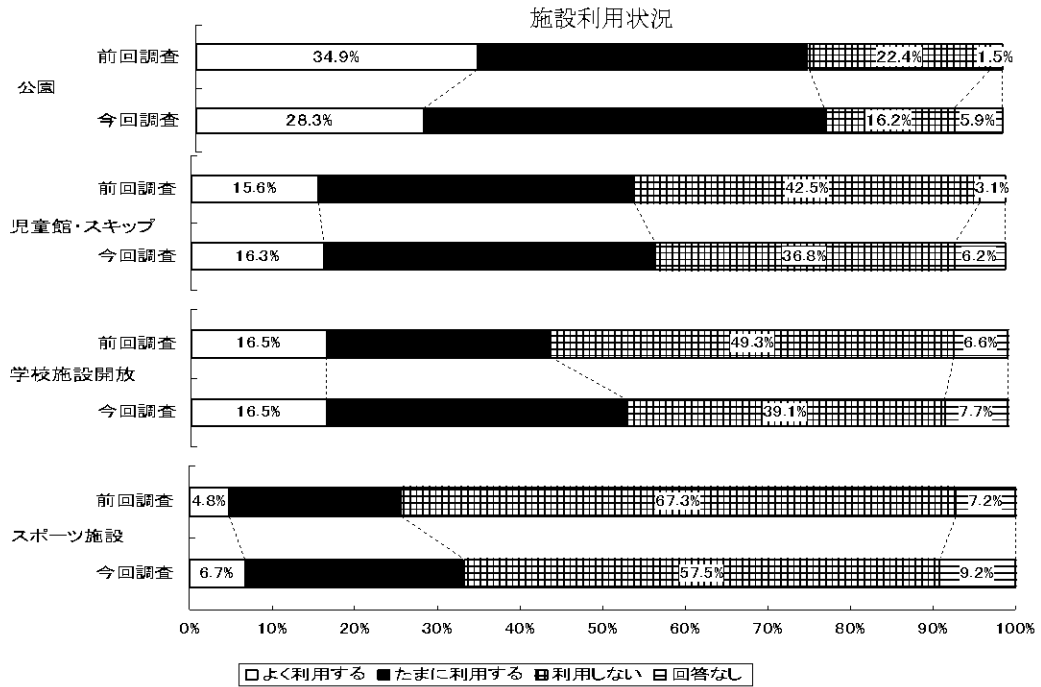


⑭施設利用状況と満足度…施設利用は全ての施設で増加

主要施設の利用状況を前回調査と比較※すると、全ての施設において、利用度（「よく利用する」と「たまに利用する」の合計）が増加しています。

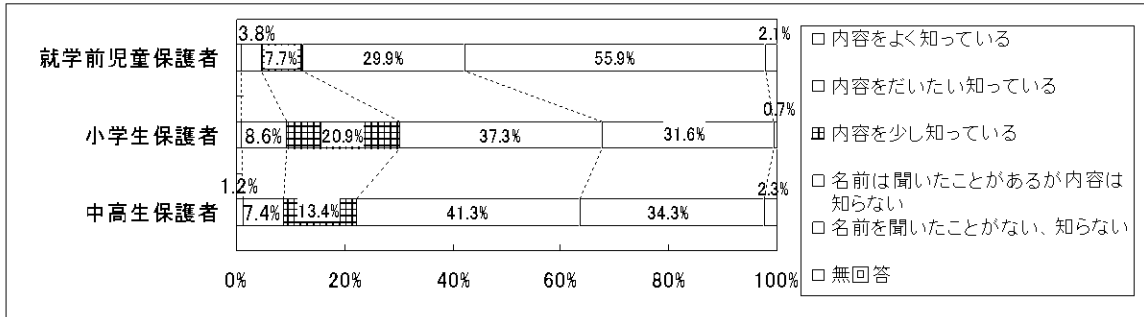
満足度については、児童館・スキップとスポーツ施設での低下が見られます。

※前回調査では、全ての保護者と子どもが回答。今回調査では、中学生・高校生保護者を除く就学前児童保護者、小学生保護者、小学生子ども、中学生・高校生子どもが回答。



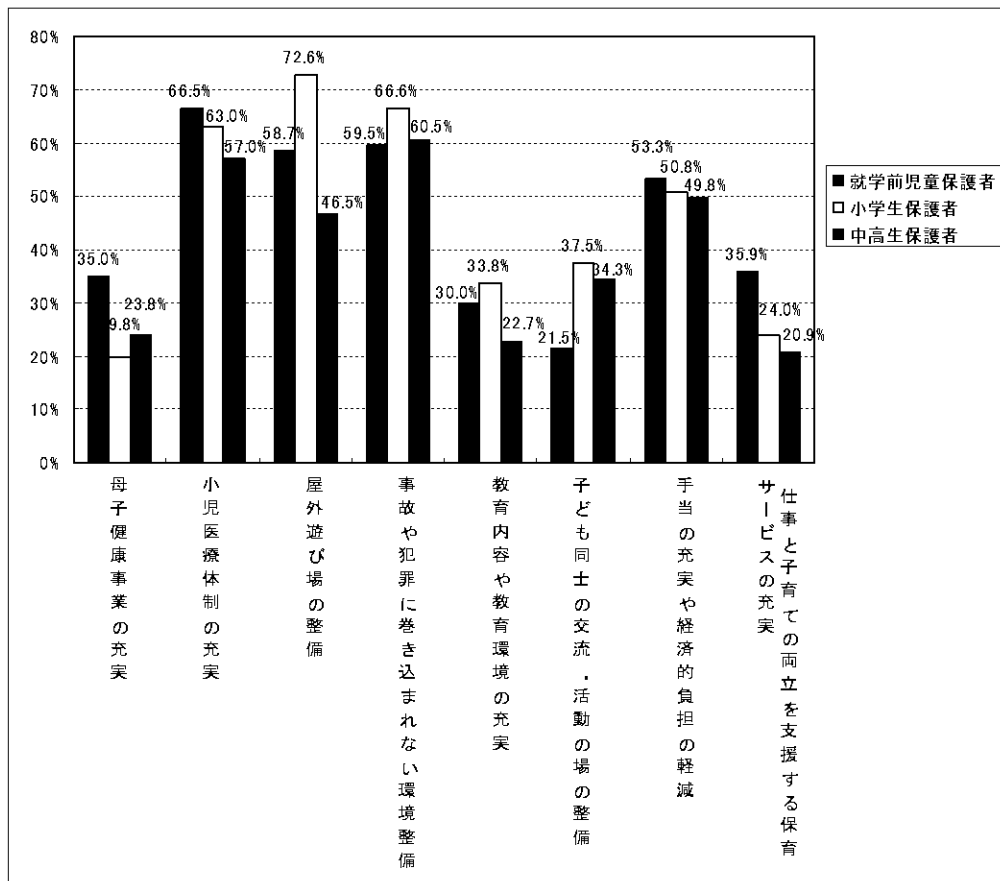
⑮子どもの権利に関する条例の認知度…就学前児童保護者にはあまり知られていない

調査対象間で比較すると、就学前児童保護者は「名前を聞いたことがない／知らない」とする割合が高く、中学生・高校生保護者は「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」とする割合が高くなっています。また、小学生保護者は、他の保護者に比べ、「内容を少し知っている」とする割合が高くなっています。



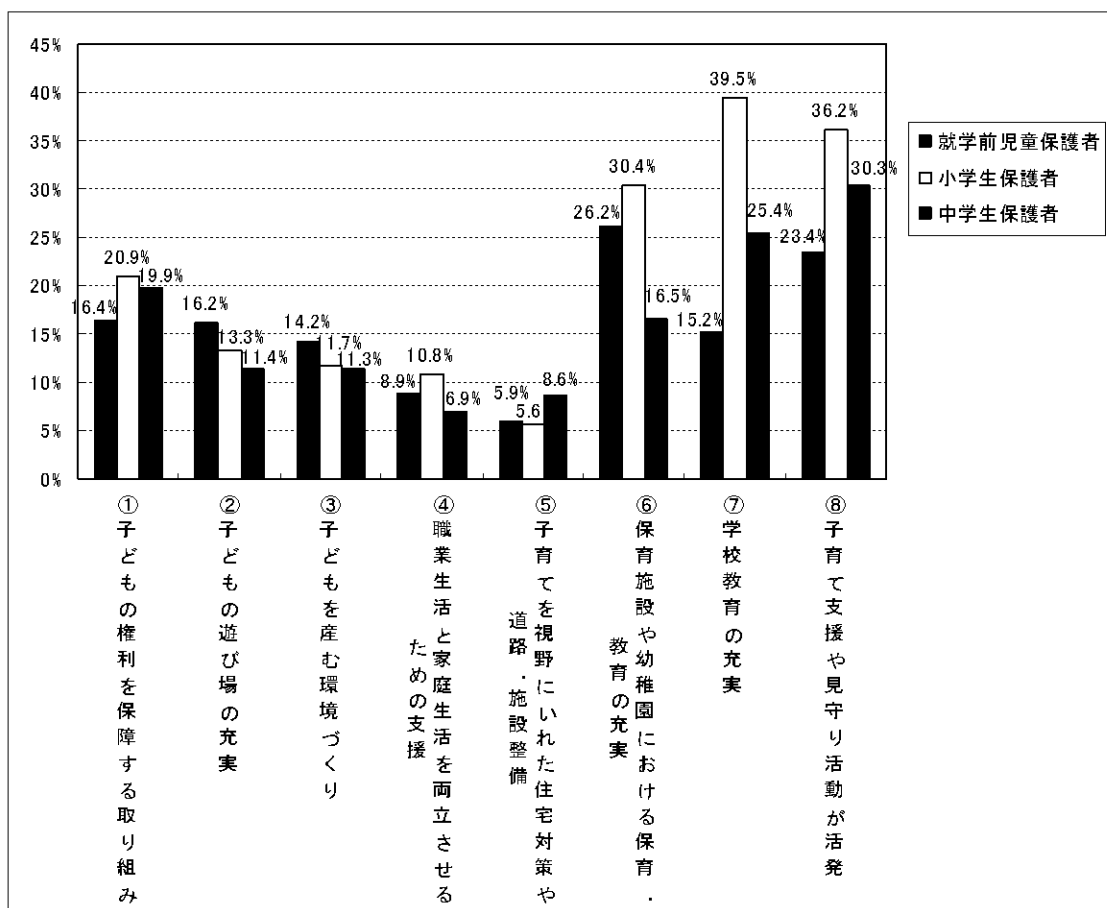
⑯子育て支援に関する施策や事業への要望…小児医療体制の充実、事故や犯罪に巻き込まれない環境整備、屋外遊び場の整備

子育て支援に関する施策や事業に対する要望を調査対象間で比較すると、どの対象者でも「小児医療体制の充実」や「事故や犯罪に巻き込まれない環境整備」などが上位を占めています。小学生保護者では特に「屋外遊び場の整備」、「事故や犯罪に巻き込まれない環境整備」の割合が高くなっており、中学生・高校生保護者では「手当の充実や経済的負担の軽減」の割合が高くなっています。



⑰子どもが育ち、子どもを育てていく環境に対する評価…全体的に「保育・教育の充実、子育て支援や見守り活動が活発」の評価が高い

豊島区の中での「子どもが育ち、子どもを育てていく環境」に対する評価を評価が高い（「そう思う」「少しはそう思う」の合計）とする数値で調査対象間比較すると、就学前児童保護者は「保育施設や幼稚園における保育・教育の充実」が高く、小学生保護者では「学校教育の充実」、「子育て支援や見守り活動が活発」、「保育施設や幼稚園における保育・教育の充実」が高くなっています。中学生・高校生保護者では「子育て支援や見守り活動が活発」が高くなっています。

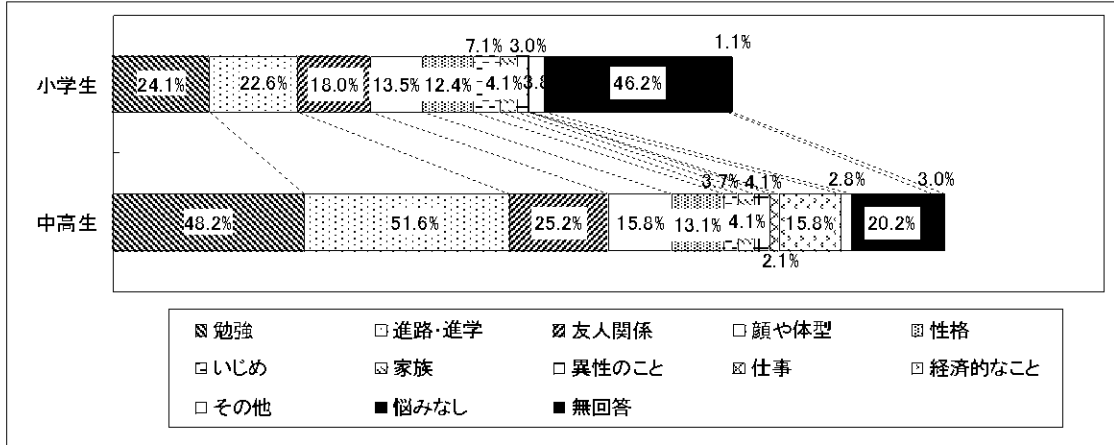




(2) 子どもへの調査項目

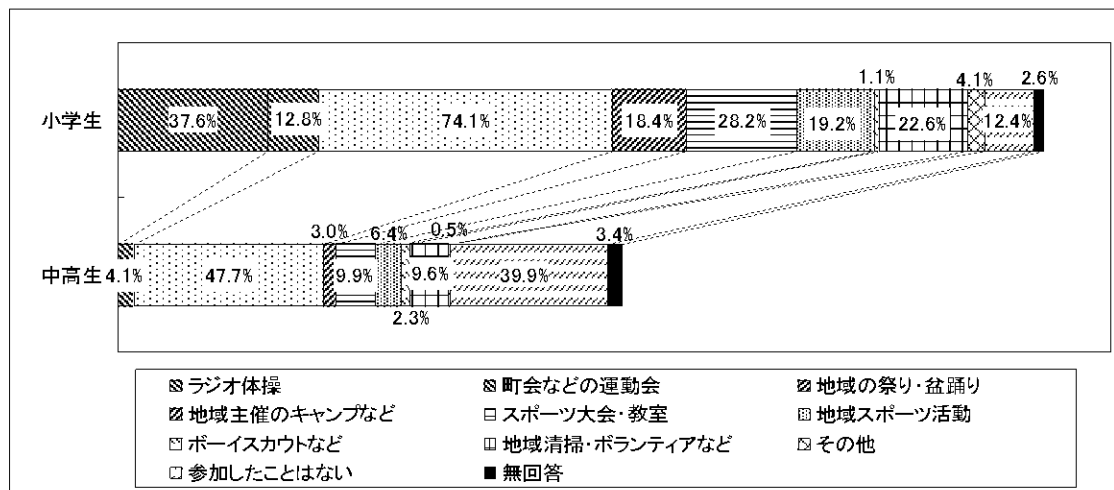
①悩みや困りごと…中学生・高校生になると勉強や進路・進学についての悩みが増える

悩みや困りごとについて、小学生と中学生・高校生とで比較すると、小学生は「悩みなし」とする割合が最も高くなっていますが、中学生・高校生では「進路・進学」や「勉強」についての悩みを持つ割合が増加することがわかります。



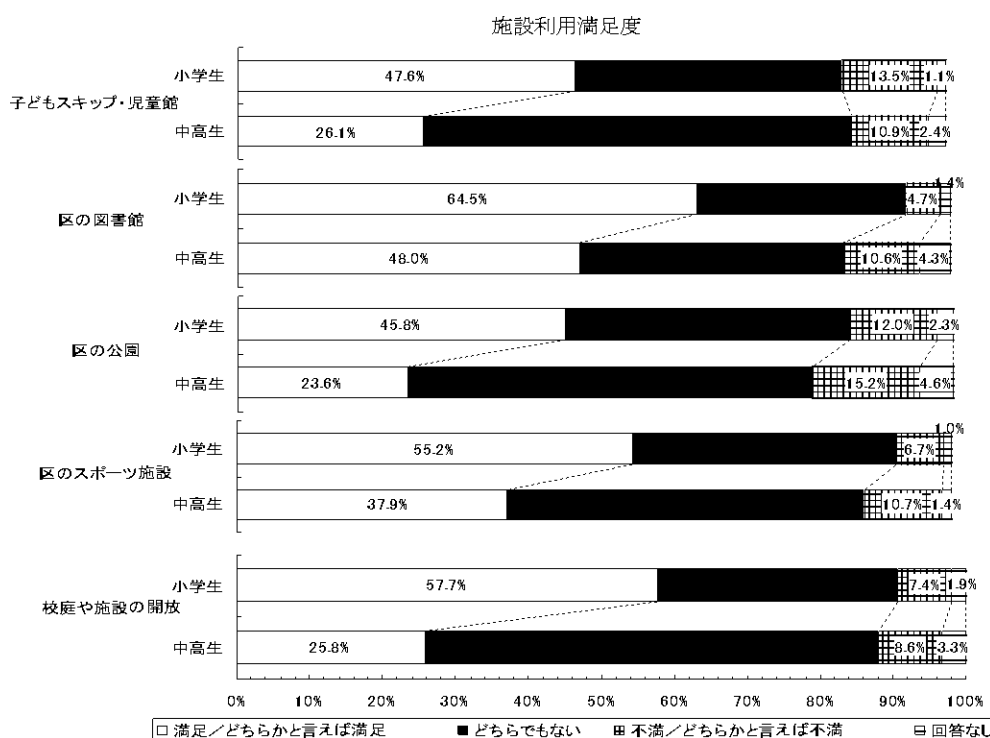
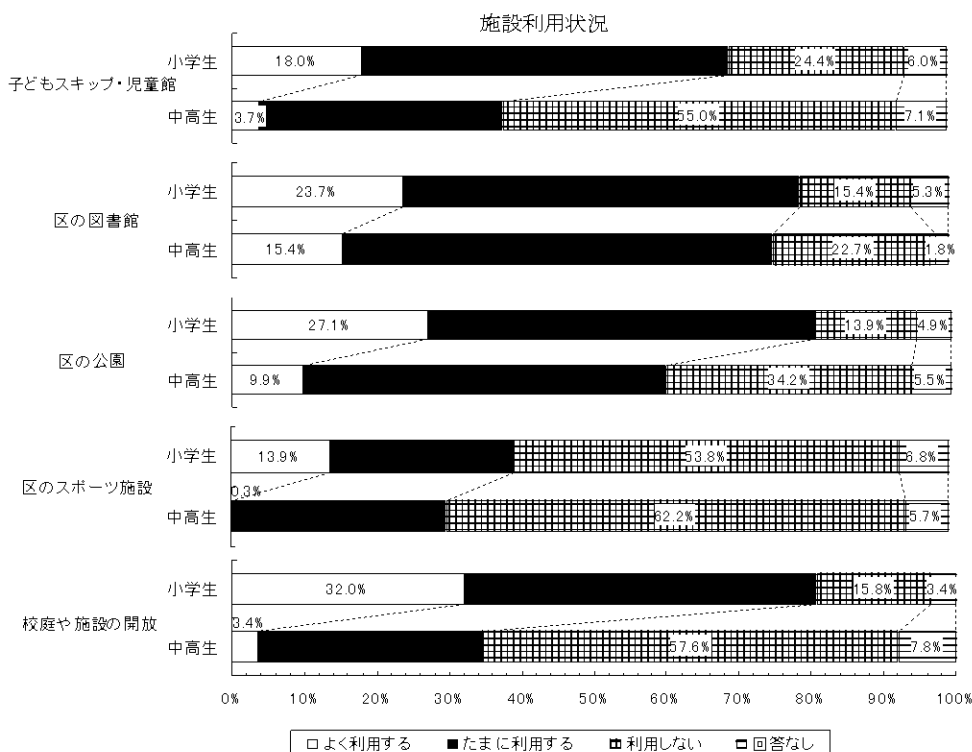
②地域活動への参加状況…地域の祭り・盆踊りには参加、中学生・高校生になると参加しなくなる

地域活動への参加状況を、小学生と中学生・高校生とで比較すると、小学生は「地域の祭り・盆踊り」へ参加する割合がかなり高く、「ラジオ体操」や「スポーツ大会やスポーツ教室」、「地域清掃」などへも参加しています。中学生・高校生になると、「参加したことはない」とする割合が増加しています。



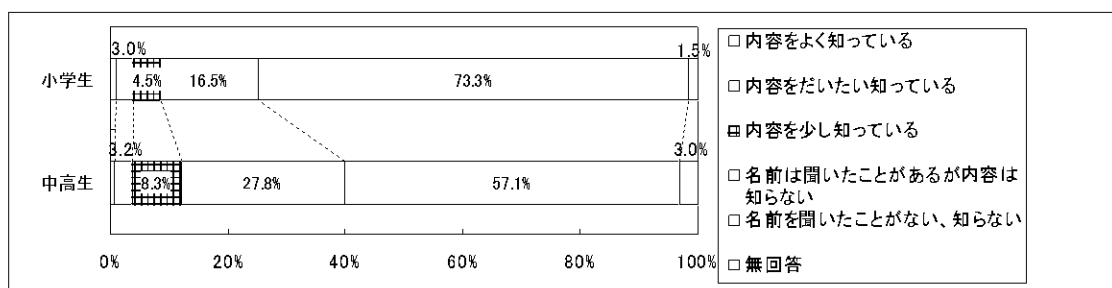
③施設利用状況と満足度…小学生はどの施設も利用、中学生・高校生は図書館や公園は比較的使用／スポーツ施設で比較的高い満足度

主要施設の利用状況を小学生と中学生・高校生とで比較すると、全ての施設において、利用度（「よく利用する」と「たまに利用する」の合計）の割合は小学生のほうが高くなっています。満足度についても、全ての施設において、小学生のほうが「満足／どちらかと言えば満足」の割合が高くなっています。



④子どもの権利に関する条例の認知度…認知度は中学生・高校生のほうが高い

子どもの権利に関する条例の認知度を小学生と中学生・高校生とで比較すると、「内容をよく知っている」と「内容をだいたい知っている」、「内容を少し知っている」を合わせた認知度は、小学生(8.6%)よりも中学生・高校生(12.2%)のほうがやや高くなっています。



## **IV. 資料編**

### **アンケート調査票**

**一豊島区子どもプラン改定のためのアンケート調査一**  
(就学前児童保護者用)

問1. この調査票を記入する方は、どなたですか。(※封筒のあて名のお子さんからみて)

1. 父親                      2. 母親                      3. その他 (                      )

問2. あて名のお子さんの生年月をご記入ください。

平成 (                      ) 年 (                      ) 月生まれ

問3. 何人兄弟・姉妹ですか。あて名のお子さんを含めた人数をお答えください。

1. 1人                      2. 2人                      3. 3人                      4. 4人以上

問4. 一番大きいお子さん(長子)と一番小さいお子さん(末子)の年齢を平成20年4月1日現在でお書きください。お子さんが一人だけ(ひとりっ子)の場合は記入する必要はありません。

1. 一番大きいお子さん (                      ) 歳                      2. 一番小さいお子さん (                      ) 歳

問5. あて名のお子さんと同居されているご家族と、近くに住んでいらっしゃる\*方の状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください(続柄はあて名のお子さんからみた関係)。なお、父親または母親が単身赴任の場合は、その他に○をつけ、単身赴任している方がだれかをご記入ください。

(※「近く」とはおおむね30分以内で行き来できる範囲のこと)

1. 父母同居                      2. 父親同居(ひとり親家庭)                      3. 母親同居(ひとり親家庭)  
4. 祖父同居                      5. 祖母同居                      6. 祖父母が近くに居住  
7. 祖父のみ近くに居住                      8. 祖母のみ近くに居住  
9. その他 (                      )

問6. あて名のお子さんの父親と母親の現在の就労状況は次のどれにあてはまりますか(自営業、家族従事者も就労に含めてお答えください)。1つだけ○をつけてください。また、平均した帰宅時間をご記入ください。なお、ひとり親家庭の場合は、該当しない欄は記入する必要はありません。

※時間の記入については、24時間制(例：午後5時⇒17時)で記入してください。

①父親	1. フルタイムで就労 (平均帰宅時間 時 分頃) 2. パートタイムで就労 (平均帰宅時間 時 分頃) 3. 就労していない                      4. その他 (                      )
②母親	1. フルタイムで就労 (平均帰宅時間 時 分頃) 2. パートタイムで就労 (平均帰宅時間 時 分頃) 3. 就労していない                      4. その他 (                      )

問7. 現在、どの地区にお住まいですか。1つだけ○をつけてください。

1. 駒込                      2. 巣鴨                      3. 西巣鴨                      4. 北大塚                      5. 南大塚  
6. 上池袋                      7. 東池袋                      8. 南池袋                      9. 西池袋                      10. 池袋  
11. 池袋本町                      12. 雑司が谷                      13. 高田                      14. 目白                      15. 南長崎  
16. 長崎                      17. 千早                      18. 要町                      19. 高松                      20. 千川

問 8. 現在、主にあて名のお子さんの身の回りの世話をしている方は、どなたですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(封筒のあて名のお子さんからみて)

1. 父親	2. 母親	3. 祖父	4. 祖母
5. 兄弟・姉妹	6. その他の親族	7. その他 ( )	

問 9. その方(主にお子さんの身の回りの世話をしている方)は、現在、お仕事をされていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。自営業・パート・アルバイト等も「就労している」に含めてお答えください。

1. 就労している(産休・育児休業中も含む)	→問 9-1、問 9-2、問 9-3 へ	
2. 以前は就労していたが、現在は就労していない	→問 9-5、問 9-6 へ	★
3. これまで就労したことはない	→問 9-6 へ	} ■
4. 学生である	→問 9-6 へ	

→問 9-1. 就労の形態について、次の中からあてはまるものを選び1つだけ○をつけてください。現在、産休中・育児休業中の場合は、休業前の状況をご記入ください。

1. フルタイムの勤め	2. パートタイム・アルバイトの勤め
3. 自営業	4. 内職
5. その他 ( )	

→問 9-2. 週おおよその就労日数、家を出る時間と家に着く時間、土曜日や日曜日・祝祭日の就労状況、通勤時間についてご記入ください。

※時間の記入については、24時間制(例：午後5時⇒17時)で記入してください。

①就労日数	週 ( ) 日
②家を出る時間と家に着く時間	時 分から 時 分まで
③土曜日の就労	1. 毎週休み 2. 月に ( ) 日就労
④日曜日・祝祭日の就労	1. すべて休み 2. 時々就労 3. ほとんど就労
⑤通勤時間	1. なし 2. 15分未満 3. 15分～30分未満 4. 30分～1時間未満 5. 1時間～1時間30分未満 6. 1時間30分以上

→問 9-3. その方(主にお子さんの身の回りの世話をしている方)の職場にある子育て支援施策について、あてはまるものを選んでそれぞれの項目ごとに○をつけてください。

項目 \ 利用状況	実際に利用したことがある	利用したことはない	制度はあるが利用しない	制度がない	わからない
①育児休業制度	1	2	3	4	
②フレックスタイム	1	2	3	4	
③勤務時間短縮制度	1	2	3	4	
④子どもの看護のための休暇	1	2	3	4	
⑤出産退職後の再雇用制度	1	2	3	4	
⑥出産や育児に関する経済的支援	1	2	3	4	

問9-4. 問9-3で、「①育児休業制度」を「1. 実際に利用したことがある」とお答えになった方におうかがいします。

育児休業は（あて名のお子さんの時に利用された場合）だれがどれくらい利用しましたか。父親と母親の両方が利用した場合は、両方に○をつけてください。また、利用された方が職場復帰した時のお子さんの月齢をご記入ください。

1. 父親が利用した	( 取得期間: _____ か月 )
2. 母親が利用した	( 取得期間: _____ か月 )
-----	
(職場復帰した時のお子さんの月齢: _____ か月 )	

★  
問9-5. 問9で「2. 以前は就労していたが、現在は就労していない」とお答えになった方におうかがいします。

その方（主にお子さんの身の回りの世話をしている方）が仕事をやめた最も大きな理由は何ですか。次の中から1つだけ○をつけてください。

1. 家事や育児の負担が大きくなったから
2. 自分で子どもの保育をしたほうがよいと思ったから
3. 配偶者の転勤や住宅の購入等による転居などのため
4. 子どもを預けて働くことへの家族の理解が得られない
5. 勤務先において子育てしながら働き続けられる環境が整っていなかったから
6. その他 ( _____ )

★  
問9-6. 問9で「2. 以前は就労していたが、現在は就労していない」、「3. これまで就労したことはない」、「4. 学生である」とお答えになった方におうかがいします。

その方は、働く意思をお持ちですか。次の中から1つだけ○をつけてください。また、働きたい場合は、週あたりの日数、1日あたりの時間を記入してください。さらに、子どもがある程度大きくなったら働きたい場合は、一番小さいお子さんが何歳くらいになった時なのかをご記入ください。

1. すぐにもしくは1年以内に、フルタイムで働きたい
2. すぐにもしくは1年以内に、パートタイム・アルバイト等で働きたい (→週あたり _____ 日・1日あたり _____ 時間)
3. 1年より先で、子どもがある程度大きくなったらフルタイムで働きたい <→子どもが _____ 歳くらいになったら>
4. 1年より先で、子どもがある程度大きくなったら、パートタイム・アルバイト等で働きたい (→週あたり _____ 日・1日あたり _____ 時間) <→子どもが _____ 歳くらいになったら>
5. 働くつもりはない
6. わからない

問9-7. 問9-6で「1.」～「4.」とお答えになった方におうかがいします。

就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 保育園などの保育サービスが利用できれば就労したい
2. 子育てしながら働ける適当な仕事がないため
3. 自分の知識や能力に合う仕事がないため
4. 子どもを預けて働くことへの家族の理解が得られない
5. その他 ( _____ )

問 10. あて名のお子さんには、1ヶ月におおよそどのくらいの費用がかかりますか。

①保育園・無認可保育施設・幼稚園等にかかる費用	月に約( 万 千)円
②ベビーシッター、ホームヘルパー等にかかる費用	月に約( 万 千)円
③その他(習い事、医療、レジャー、被服費など)	月に約( 万 千)円

問 11. あて名のおさんは、現在、定期的にお子さんを預けるサービスを利用していますか。

- |            |                         |   |
|------------|-------------------------|---|
| 1. 利用している  | →問 11-1、問 11-2、問 11-3 へ | ● |
| 2. 利用していない | →問 11-4 へ               | ★ |

→問 11-1. 問 11 で「1. 利用している」とお答えになった方におうかがいします。  
あて名のおさんは、現在、どのような子育て支援サービスを利用していますか。不定期に利用されているものも含めてお答えください。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |   |
|---|
| 1. 認可保育園<br>2. 認証保育所<br>3. ベビーホテル等の無認可保育施設<br>4. 事業所内保育施設<br>5. 保育ママ<br>6. ファミリー・サポート・センター<br>7. ベビーシッターやホームヘルパー<br>8. 幼稚園(通常就園時間)<br>9. 幼稚園(通常就園時間外の預かり保育)<br>10. その他( ) |
|---|

→問 11-2. 問 11 で「1. 利用している」とお答えになった方におうかがいします。  
現在の保育サービスの利用状況を、1週あたりの日数と1日あたりの利用時間(延長保育なども含めます)についてご記入ください。(時間は24時間制で9:00~18:00のように記入してください。)

1週あたり__日	1日あたり__時間	( 何時から何時まで )
		( : ~ : )

→問 11-3. 問 11 で「1. 利用している」とお答えになった方におうかがいします。  
利用している理由は何ですか。主な理由に1つだけ○をつけてください。

- |  |
|--|
| <お子さんの身の回りの世話を主にしている人が><br>1. 現在就労している<br>2. 就労予定がある/求職中である<br>3. 家族・親族等の介護<br>4. 病気や障害をもっている<br>5. 学生である<br>6. 1~5までの事情はないが子どもの教育のため<br>7. その他( ) |
|--|



- ★ 問 11-4. 問 11 で「2. 利用していない」とお答えになった方におうかがいします。  
 保育サービスを利用していない理由は何ですか。主な理由に1つだけ○をつけてください。

1. (子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 必要がない 2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている 3. 近所の人や友人・知人がみている 4. 預けたいが、保育サービスに空きがない 5. 預けたいが、経済的な理由でサービスを利用できない 6. 預けたいが、延長・夜間等の場所や時間帯の条件が整わない 7. 預けたいが、サービスの質や場所など、納得できるサービスがない 8. 子どもがまだ小さいため( ___歳くらいになったら預けようと考えている) 9. その他( )
---

- 問 1 2. 問 11-1 で「1. 認可保育園」、「2. 認証保育所」、「3. ベビーホテル等の無認可保育施設」、「4. 事業所内保育施設」、「5. 保育ママ」とお答えになった方におうかがいします。

お子さんを預けている保育サービスの満足度について、それぞれの項目ごとに当てはまるもの1つに○をつけてください。

項 目	評 価				
	大変満足	ほぼ満足	どちらとも いえません	やや不満	大変不満
(1) 保育内容	1	2	3	4	5
(2) 施設(建物や園庭、設備、環境など)	1	2	3	4	5
(3) 自宅から施設までの距離	1	2	3	4	5
(4) 保育料	1	2	3	4	5

- 問 1 3. 問 11-1 で「8. 幼稚園(通常の就園時間)」とお答えになった方におうかがいします。  
 幼稚園の通園時間、入園理由についてご記入ください。(時間の記入は、午後 6 時の場合 18 時のようにすべて 24 時間制でお書き下さい。)

①通園時間	___時___分から___時___分まで
②入園理由 (1つに○)	1. はじめから幼稚園に入れようと思っていた 2. 保育園に入れたかったが、入園できる条件に合わなかった 3. 保育園に申し込んだが、入れなかった 4. その他( )





問18. この1年間で、保護者の用事などにより、お子さんを家族以外に預けなければならないこと（日帰りや泊りがけ）がありましたか。

1. あった（預け先が見つからなかった場合を含む） →問18-1へ 2. なかった
--

問18-1. それぞれの理由とその日数、ならびに対処方法についてお答えください。（半日程度についても1日としてカウントしてください）

理由と日数 (あてはまるもの すべてに○)	1. 私用（買い物、習い事等）、リフレッシュ目的 日帰り：1年間で（ ）日、泊まり：1年間で（ ）泊 2. 冠婚葬祭、子どもの親の病気 日帰り：1年間で（ ）日、泊まり：1年間で（ ）泊 3. 就労 日帰り：1年間で（ ）日、泊まり：1年間で（ ）泊 4. その他（ ） 日帰り：1年間で（ ）日、泊まり：1年間で（ ）泊
対処方法 (あてはまるもの すべてに○)	1. 親族・知人に預けた 日帰り：1年間で（ ）日、泊まり：1年間で（ ）泊 2. 子ども家庭支援センターなどの一時保育を利用した 日帰り：1年間で（ ）日 3. ファミリー・サポート・センターを利用した 日帰り：1年間で（ ）日 4. 区のショートステイ事業を利用した 泊まり：1年間で（ ）泊 5. ベビーホテルやベビーシッターなどを利用した 日帰り：1年間で（ ）日、泊まり：1年間で（ ）泊 6. 仕方なく子どもを同行させた 日帰り：1年間で（ ）日、泊まり：1年間で（ ）泊 7. その他（ ） 日帰り：1年間で（ ）日、泊まり：1年間で（ ）泊

問19. あなたがお子さんの世話をする上で、祖父母や友人・知人による支援の状況は、次のどれにあてはまりますか。それぞれの項目ごとに1つだけ○をつけてください。

①祖父母	1. 日常的に支援してもらえる 2. 緊急時には支援してもらえる 3. 支援はない
②友人・知人	1. 日常的に支援してもらえる 2. 緊急時には支援してもらえる 3. 支援はない

問20. あなたは、子育てをする上で、地域の方々からの支援があればよいと感じたことはありますか。1つだけ○をつけてください。

1. 感じたことがある	2. 感じたことはない	3. わからない
-------------	-------------	----------

問2 1. あなたは、地域全体で子育てを支援していく“地域の子育て力”を向上させるためには、今後どのような取り組みを進めることが有効だと思いますか。3つまで○をつけてください。

1. 子どもを持つ人自身が主体的に行う情報交換や交流・活動など
2. 企業や商店街が行うイベント開催や施設提供、優待事業など
3. NPOが行う情報提供、イベント開催、子育て支援サービスの提供など
4. ボランティアによるさまざまな子育て支援サービスの提供など
5. 町内会・自治会等によるお祭りやイベント開催、防犯活動など
6. 隣り近所の人子どもと顔見知りになり、声を掛け合う関係をつくるなど
7. 専門家による助言や学習会開催、地域の子育てネットワークの構築支援など
8. その他（ )

問2 2. あなたは、現在、地域の子育て支援活動に参加されていますか。1つだけ○をつけてください。

1. すでに参加している／参加したことがある
2. 参加していないが、将来、参加したい
3. 参加していないし、将来も参加しようとは思わない

問2 3. 育児に関して、特に不安なことや悩んでいることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 病気や発育に関すること
2. 区の子育て支援事業などに関する情報が入手しにくいこと
3. 遊ばせ方やしつけに関すること
4. 気軽に相談できるところがわからないこと
5. 食事や栄養に関すること
6. 子育てが精神的負担になっていること
7. 仕事と子育ての両立に関すること
8. 経済的な負担に関すること
9. その他（ )
10. 特にない

問2 4. 育児に関する不安や悩みをどなたに相談していますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。不安や悩みが特にない場合は、不安や悩みがあった場合を想定してお答えください。

1. 身内（親、配偶者、兄弟姉妹など）
2. 隣り近所の人
3. 職場の人や知人・友人
4. 保育園や幼稚園の先生
5. 児童館・区民ひろば（子育てひろば）の職員
6. 民生委員・児童委員
7. 子ども家庭支援センターの職員
8. 病院や診療所の医師
9. 保健所の職員
10. 専門のカウンセラー（区の相談員など）
11. 育児書・育児雑誌
12. インターネットでの育児に関するホームページの相談コーナーやブログ等
13. その他（ )
14. 誰にも相談しない

問25. 身近な地域で、育児に関する情報・相談の場があった場合、どのような場になってほしいと思いますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 母親や父親同士が集い、情報交換できる
2. 子どもに遊びを教えたり、しつけを教えてくれる
3. その場で相談したり、情報を得ることができる
4. 電話やインターネットで相談したり、情報を得ることができる
5. 家庭訪問して、相談にのってくれる
6. 夜間や日曜でも相談したり、情報を得ることができる
7. その他（ )

問26. 身近な場所で、子育てに関する情報・相談を気軽に受けられるとしたら、どこが最もよいと思いますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

1. 保育園
2. 保健所
3. 児童館・区民ひろば（子育てひろば）
4. 子ども家庭支援センター
5. 区役所・区民事務所
6. その他（ )

問27. 現在、子育てに関してどのような情報が欲しい、あるいは不足していると感じますか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

1. 子どもの病気や発育に関する情報
2. 子どもの食事や栄養に関する情報
3. 子どもの遊ばせ方やしつけに関する情報
4. 子どもと一緒に外出できる遊び場や施設等の情報
5. 虐待防止に関する情報
6. 外出先のベビーベッドや授乳スペース、おむつ替えスペース等の情報
7. 保育園、保育施設、幼稚園等に関する情報
8. 子育て支援に関する区の施策や事業等に関する情報
9. ベビーシッターやホームヘルパー等自宅での保育サービスに関する情報
10. 医療機関に関する情報
11. 子育てに関する相談窓口の情報
12. 子育てサークル等、親同士のネットワークに関する情報
13. その他（ )
14. 特にない

問28. 子どもを連れて外出する際に、特に気にかかる点は何ですか。次の中からあてはまるもの3つまで○をつけてください。

1. 歩道がない通りが多く、交通事故の心配がある
2. 歩道の段差、陳列物、自転車などが通行の妨げになっている
3. 近所に公園や広場がない
4. 公園の遊具等が使いにくい
5. 公園に不審者がいる等、安全面で不安がある
6. 雨の日に子どもを遊ばせる場所がない
7. おむつ替えや授乳ができる場所がない
8. 街なかにベンチ等の休める場所や設備がない
9. 緑や広い歩道が少ないなど、街並みにゆとりやうるおいがない
10. その他（ )



問32. あなたは、豊島区の中での「子どもが育ち、子どもを育てていく環境」について、どのように感じますか。それぞれの項目ごとにあてはまるもの1つに○をつけてください。

項目 \ 評価	そう思う	少しは そう思う	どちらとも いえない	あまり 思わない	思わない	わからない
①子どもの権利*1を保障する取り組みが進んでいる	1	2	3	4	5	6
②子どもの遊び場が充実している	1	2	3	4	5	6
③安心して子どもを産む環境づくりができています	1	2	3	4	5	6
④職業生活と家庭生活を両立*2させるための支援が行われている	1	2	3	4	5	6
⑤子育てを視野にいれた住宅対策や道路・施設整備が行われている	1	2	3	4	5	6
⑥保育施設や幼稚園での保育・教育が充実している	1	2	3	4	5	6
⑦学校教育が充実している	1	2	3	4	5	6
⑧地域における子育て支援や見守り活動が活発に行われている	1	2	3	4	5	6

※1. 1989年に子どもの権利条約が国際連合で採択され、日本は1994年に条約を批准しました。「生きる権利／育つ権利／守られる権利／参加する権利」が、子どもの権利の柱となっています。

※2. 「職業生活と家庭生活を両立」とは、仕事と私生活の両方を重要視する考え方で、ワーク・ライフ・バランスとも呼ばれている。

問33. 豊島区の子育て支援について、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

～ご協力いただき、ありがとうございました～



**－豊島区子どもプラン改定のためのアンケート調査－**  
(小学生保護者用)

問1. この調査票を記入する方は、どなたですか。(※封筒のあて名のお子さんからみて)

1. 父親                      2. 母親                      3. その他 (                      )

問2. 封筒のあて名のお子さんは何年生ですか？

小学 (                      ) 年生

問3. 小学校の種類はどれにあてはまりますか。

1. 豊島区立の小学校                      2. 豊島区外の区立小学校  
3. 私立小学校・国立小学校                      4. 特別支援学校  
5. その他 (                      )

問4. 何人兄弟・姉妹ですか。封筒のあて名のお子さんを含めた人数をお答えください。

1. 1人                      2. 2人                      3. 3人                      4. 4人以上

問5. あて名のお子さんと同居されているご家族と、近くに住んでいらっしゃる<sup>\*</sup>方の状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください(続柄はあて名のお子さんからみた関係)。なお、父親または母親が単身赴任の場合は、その他に○をつけ、単身赴任している方がだれかをご記入ください。

(※「近く」とはおおむね30分以内で行き来できる範囲のこと)

1. 父母同居                      2. 父親同居(ひとり親家庭)                      3. 母親同居(ひとり親家庭)  
4. 祖父同居                      5. 祖母同居                      6. 祖父母が近くに居住  
7. 祖父のみ近くに居住                      8. 祖母のみ近くに居住  
9. その他 (                      )

問6. あて名のお子さんの父親と母親の現在の就労状況は次のどれにあてはまりますか(自営業、家族従事者も就労に含めてお答えください)。1つだけ○をつけてください。なお、ひとり親家庭の場合は、該当しない欄は記入する必要はありません。

①父親	1. フルタイムで就労                      2. パートタイムで就労 3. 就労していない                      4. その他 (                      )
②母親	1. フルタイムで就労                      2. パートタイムで就労 3. 就労していない                      4. その他 (                      )

問7. 現在、どの地区にお住まいですか。

1. 駒込                      2. 巣鴨                      3. 西巣鴨                      4. 北大塚                      5. 南大塚  
6. 上池袋                      7. 東池袋                      8. 南池袋                      9. 西池袋                      10. 池袋  
11. 池袋本町                      12. 雑司が谷                      13. 高田                      14. 目白                      15. 南長崎  
16. 長崎                      17. 千早                      18. 要町                      19. 高松                      20. 千川

問8. 現在、主にあて名のお子さんの身の回りの世話をしている方は、どなたですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(封筒のあて名のお子さんからみて)

- |          |           |            |       |
|----------|-----------|------------|-------|
| 1. 父親    | 2. 母親     | 3. 祖父      | 4. 祖母 |
| 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他の親族 | 7. その他 ( ) |       |

問9. その方(主にお子さんの身の回りの世話をしている方)は、現在、お仕事をされていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。自営業・パート・アルバイト等も「就労している」に含めてお答えください。

- |                          |             |   |
|--------------------------|-------------|---|
| 1. 就労している(産休・育児休業中も含む)   | →問9-1、問9-2へ | ● |
| 2. 以前は就労していたが、現在は就労していない | →問9-3、問9-4へ | ★ |
| 3. これまで就労したことはない         | →問9-4へ      |   |
| 4. 学生である                 | →問9-4へ      | ■ |

● → 問9-1. 就労の形態について、次の中からあてはまるものを選び1つだけ○をつけてください。現在、産休中・育児休業中の場合は、休業前の状況をご記入ください。

- |             |                    |        |
|-------------|--------------------|--------|
| 1. フルタイムの勤め | 2. パートタイム・アルバイトの勤め | 3. 自営業 |
| 4. 内職       | 5. その他 ( )         |        |

● → 問9-2. 週おおよその就労日数、家を出る時間と家に着く時間、土曜日や日曜日・祝祭日の就労状況、通勤時間についてご記入ください。

※時間の記入については、24時間制(例:午後5時⇒17時)で記入してください。

①就労日数	週( )日
②家を出る時間と家に着く時間	__時__分から__時__分まで
③土曜日の就労	1. 毎週休み 2. 月に( )日就労
④日曜日・祝祭日の就労	1. すべて休み 2. 時々就労 3. ほとんど就労
⑤通勤時間	1. なし 2. 15分未満 3. 15分~30分未満 4. 30分~1時間未満 5. 1時間~1時間30分未満 6. 1時間30分以上

★ → 問9-3. 問9で「2.以前は就労していたが、現在は就労していない」とお答えになった方におうかがいします。

その方(主にお子さんの身の回りの世話をしている方)が仕事をやめた最も大きな理由は何ですか。次の中から1つだけ○をつけてください。

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 家事や育児の負担が大きくなったから                  |
| 2. 自分で子どもの保育をしたほうがよいと思ったから            |
| 3. 配偶者の転勤や住宅の購入等による転居などのため            |
| 4. 子どもを預けて働くことへの家族の理解が得られない           |
| 5. 勤務先において子育てしながら働き続けられる環境が整っていなかったから |
| 6. その他 ( )                            |

★

■問 9-4. 問 9 で「2. 以前は就労していたが、現在は就労していない」、「3. これまで就労したことはない」、「4. 学生である」とお答えになった方におうかがいします。  
 その方は、働く意思をお持ちですか。次の中から1つに○をつけてください。  
 また、働きたい場合は、週あたりの日数、1日あたりの時間を記入してください。  
 さらに、子どもがある程度大きくなったら働きたい場合は、一番小さいお子さんが何歳くらいになった時なのかをご記入ください。

- |  |
|--|
| 1. すぐにもしくは1年以内に、フルタイムで働きたい   |
| 2. すぐにもしくは1年以内に、パートタイム・アルバイト等で働きたい<br>(→週あたり__日・1日あたり__時間)                                 |
| 3. 1年より先で、子どもがある程度大きくなったらフルタイムで働きたい<br>〈→子どもが__歳くらいになったら〉                                  |
| 4. 1年より先で、子どもがある程度大きくなったら、パートタイム・アルバイト等で働きたい<br>(→週あたり__日・1日あたり__時間)<br>〈→子どもが__歳くらいになったら〉 |
| 5. 働くつもりはない  |
| 6. わからない   |

→問 9-5. 問 9-4 で「1.」～「4.」とお答えになった方におうかがいします。  
 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

- |                             |
|-----------------------------|
| 1. 学童クラブなどのサービスが利用できれば就労したい |
| 2. 子育てしながら働ける適当な仕事がないため     |
| 3. 自分の知識や能力に合う仕事がないため       |
| 4. 子どもを預けて働くことへの家族の理解が得られない |
| 5. その他 ( )                  |

**問 10. あて名のお子さんには、1ヶ月におおよそどのくらいの費用がかかりますか。**

①学校にかかる費用（授業料、給食費、教材費等）	月に約（ 万 千）円
②習い事や塾にかかる費用	月に約（ 万 千）円
③その他（医療、レジャー、被服費等）	月に約（ 万 千）円

**問 11. あて名のおさんは、現在、平日（月曜日～金曜日）の下校後どこで過ごすことが多いですか。時間帯ごとにあてはまる番号を選んで記入してください。**

		1. 学校で過ごす
		2. 学童クラブで過ごす
13～15時	( )	3. 子どもスキップ・児童館など地域の施設で過ごす
		4. 学習塾や習い事に行く
15～17時	( )	5. 保護者や祖父母等、同居の大人と過ごす
		6. 同居していない親族や知人の大人と過ごす
17～19時	( )	7. ホームヘルパーやベビーシッターと過ごす
		8. 兄弟・姉妹や友だちなど子どもだけで自宅で過ごす
19時以降	( )	9. 友だちの家で過ごす
		10. 家でひとりで過ごす
		11. その他 ( )

問 12. あて名のお子さんは、現在、学童クラブを利用していますか。

- |                          |           |   |
|--------------------------|-----------|---|
| 1. 利用している                | →問 12-1 へ | ● |
| 2. 子どもが1年～3年生で、利用していない   | →問 12-2 へ | ★ |
| 3. 子どもが4年～6年生なので、利用していない |           |   |

● →問 12-1. 問 12 で「1. 利用している」とお答えになった方におうかがいします。

学童クラブの利用時間について、あてはまるもの1つに○をつけてください。  
希望の時間がある場合は、その時間をお書きください。

- |             |                                 |
|-------------|---------------------------------|
| 1. 現状のままでよい |                                 |
| 2. 希望の時間がある | 学校がある平日： ___時___分頃まで            |
|             | 土曜日： ___時___分頃から___時___分頃まで     |
|             | 学校が休みの日： ___時___分頃から___時___分頃まで |

★ → 問 12-2. 問 12 で「2. 子どもが1年～3年生で、利用していない」とお答えになった方におうかがいします。

利用していない理由は何ですか。主にお子さんの身の回りの世話をしている方の状況から、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |                                 |  |
|---------------------------------|--|
| 1. 現在、就労していないから                 |  |
| 2. 申請はしたが、希望者が多かったため利用できなかった    |  |
| 3. 以前は利用していたが、子どもが自立したので必要なくなった |  |
| 4. 塾や習い事が多くなり、時間の余裕がなくなった       |  |
| 5. 学童クラブまでの距離が遠く、子どもでは通いきれない    |  |
| 6. 利用時間が希望と合わない                 |  |
| 7. その他 ( )                      |  |

問 13. この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休なければならなかったことがありましたか。あった場合は、その時の対応についてあてはまるものすべてに○をつけ、対応ごとの日数を記入してください。

休みの有無	1. あった	2. なかった
「1. あった」と答えた方 →その対応は？	1. 父親が仕事を休んだ	( ) 日
	2. 母親が仕事を休んだ	( ) 日
	3. 親族(同居者を含む)・知人に預けた	( ) 日
	4. 就労していない保護者がみた	( ) 日
	5. ベビーシッターやホームヘルパーを頼んだ	( ) 日
	6. ファミリー・サポート・センターを利用した	( ) 日
	7. 子どもだけで留守番させた	( ) 日
	8. その他 ( )	( ) 日

問14. あて名のお子さんのご両親は、家事や子育てについて、普段どのような関わり方をしていますか。それぞれ、あてはまるもの1つだけ○をつけてください。なお、(ひとり親家庭で、該当しない項目は回答しないで結構です。)

		毎日する	時々する	あまりしない	ほとんどしない
父親の関わり方	①家事(食事、掃除、洗濯等)	1	2	3	4
	②育児(遊び相手、勉強をみる等)	1	2	3	4
母親の関わり方	①家事(食事、掃除、洗濯等)	1	2	3	4
	②育児(遊び相手、勉強をみる等)	1	2	3	4

問15. 子育てに関して、特に不安なことや悩んでいることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| 1. 病気や成長に関すること     | 2. 食事や栄養のこと          |
| 3. 成績のこと           | 4. 進学のこと             |
| 5. 生活態度のこと         | 6. 子育てが精神的負担になっていること |
| 7. 仕事と子育ての両立に関すること | 8. 経済的なこと            |
| 9. その他( )          | 10. 特にない             |

問16. 子育てに関する不安や悩みをどなたに相談していますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。不安や悩みが特にない場合は、不安や悩みがあった場合を想定してお答えください。

- |  |                        |
|--|------------------------|
| 1. 身内(親、配偶者、兄弟姉妹など)                    | 2. 隣り近所の人              |
| 3. 職場の人や知人・友人                          | 4. 学校の先生               |
| 5. 子どもスキップ・児童館の職員                      | 6. 民生委員・児童委員           |
| 7. 子ども家庭支援センターの職員                      | 8. 病院や診療所の医師           |
| 9. 保健所の職員                              | 10. 専門のカウンセラー(区の相談員など) |
| 11. インターネットでの子育てに関するホームページの相談コーナーやブログ等 |                        |
| 12. その他( )                             | 13. 誰にも相談しない           |

問17. 身近な地域で、子育てに関する情報・相談の場があった場合、どのような場になってほしいと思いますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1. 母親や父親同士が集い、情報交換できる           |
| 2. 子どもに遊びを教えたり、しつけを教えてくれる       |
| 3. その場で相談したり、情報を得ることができる        |
| 4. 電話やインターネットで相談したり、情報を得ることができる |
| 5. 家庭訪問して、相談にのってくれる             |
| 6. 夜間や日曜でも相談したり、情報を得ることができる     |
| 7. その他( )                       |

問18. 身近な場所で、子育てに関する情報・相談を気軽に受けられるとしたら、どこが最もよいと思いますか。次の中から1つに○をつけてください。

- |                      |                |
|----------------------|----------------|
| 1. 学校                | 2. 保健所         |
| 3. 子どもスキップ・児童館・区民ひろば | 4. 子ども家庭支援センター |
| 5. 区役所・区民事務所         | 6. その他 ( )     |

問19. 現在、子育てに関してどのような情報が欲しい、あるいは不足していると感じますか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 子どもの病気や成長に関する情報           |
| 2. 子どもの食事や栄養に関する情報           |
| 3. 子どもの遊ばせ方やしつけに関する情報        |
| 4. 子どもと一緒に外出できる遊び場や施設等の情報    |
| 5. 虐待防止に関する情報                |
| 6. 子育て支援に関する区の施策や事業等に関する情報   |
| 7. 医療機関に関する情報                |
| 8. 子育てに関する相談窓口の情報            |
| 9. 子育てサークル等、親同士のネットワークに関する情報 |
| 10. その他 ( )                  |
| 11. 特にない                     |

問20. あなたは、子育てをする上で、地域の方々からの支援があればよいと感じたことはありますか。1つだけ○をつけてください。

- |             |             |          |
|-------------|-------------|----------|
| 1. 感じたことがある | 2. 感じたことはない | 3. わからない |
|-------------|-------------|----------|

問21. あなたは、地域全体で子育てを支援していく“地域の子育て力”を向上させるためには、今後どのような取り組みを進めることが有効だと思いますか。3つまで○をつけてください。

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 子どもを持つ人自身が主体的に行う情報交換や交流・活動など       |
| 2. 企業や商店街が行うイベント開催や施設提供、優待事業など        |
| 3. NPOが行う情報提供、イベント開催、子育て支援サービスの提供など   |
| 4. ボランティアによるさまざまな子育て支援サービスの提供など       |
| 5. 町内会・自治会等によるお祭りやイベント開催、防犯活動など       |
| 6. 隣り近所の人子どもと顔見知りになり、声を掛け合う関係をつくるなど   |
| 7. 専門家による助言や学習会開催、地域の子育てネットワークの構築支援など |
| 8. その他 ( )                            |

問22. あなたは、現在、地域の子育て支援活動に参加されていますか。1つだけ○をつけてください。

- |                            |
|----------------------------|
| 1. すでに参加している／参加したことがある     |
| 2. 参加していないが、将来、参加したい       |
| 3. 参加していないし、将来も参加しようとは思わない |

問23. あて名のお子さんのために、あるいはお子さんご自身が、以下の施設やサービスを利用することがありますか。また、利用したことがあれば、それぞれの満足度について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

	利用状況			利用した時の満足度 (利用した方のみ記入)		
	よく 利用する	たまに 利用する	利用しない	満足／どちら かと言えれば 満足	どちらでも ない	不満／どちら かと言えれば 不満
①子どもスキップ・児童館	1	2	3	1	2	3
②子ども家庭支援センター	1	2	3	1	2	3
③区のファミリー・サポート・センター	1	2	3	1	2	3
④区の公園	1	2	3	1	2	3
⑤区のスポーツ施設	1	2	3	1	2	3
⑥学校の校庭開放や施設開放	1	2	3	1	2	3

問24. 豊島区が平成18年3月に制定した「子どもの権利に関する条例」について、あなたにあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 内容をよく知っている
2. 内容をだいたい知っている
3. 内容を少し知っている
4. 名前は聞いたことがあるが、内容は知らない
5. 名前を聞いたことがない／知らない

問25. 子育て支援に関する施策や事業について、どのようなことを望みますか。以下の中から、あてはまるもの5つまで○をつけてください。

1. 母親や乳幼児の健康診査・予防接種等の母子健康事業の充実
2. 休日・夜間診療などの小児医療体制の充実
3. 子育て期の生活環境・住環境の整備
4. 子どもが安心して遊べる公園等の屋外遊び場の整備
5. 子どもが事故や犯罪に巻き込まれない環境整備
6. 幼稚園・小中学校における教育内容や教育環境の充実
7. 小学生、中高生が安心して過ごせる、子ども同士の交流・活動の場の整備
8. 子育てに関する手当の充実や子育てにかかる経済的負担の軽減
9. 在宅で子育てをしている家庭への支援サービスの充実
10. 障害のある子どもや、ひとり親家庭などへの特に配慮を必要とする支援の充実
11. 子育てに関する相談支援・情報提供・学習機会の充実
12. 仕事と子育ての両立を支援する保育サービスの充実
13. 育児休業制度の拡充、労働時間の短縮など企業の子育て支援の取り組みの促進
14. 家事・育児への男女共同参画の意識づくりの推進
15. 子育て支援グループや地域団体などの活動支援、ネットワークづくりの推進
16. 児童虐待やいじめなどの権利侵害に対する対応の強化
17. その他 ( )

問26. あなたは、豊島区の中での「子どもが育ち、子どもを育てていく環境」について、どのように感じますか。それぞれの項目ごとにあてはまるもの1つに○をつけてください。

	そう思う	少しは そう思う	どちらとも いえない	あまり 思わない	思わない	わからない
①子どもの権利*1を保障する取り組みが進んでいる	1	2	3	4	5	6
②子どもの遊び場が充実している	1	2	3	4	5	6
③安心して子どもを産む環境づくりができています	1	2	3	4	5	6
④職業生活と家庭生活を両立*2させるための支援が行われている	1	2	3	4	5	6
⑤子育てを視野にいれた住宅対策や道路・施設整備が行われている	1	2	3	4	5	6
⑥保育施設や幼稚園での保育・教育が充実している	1	2	3	4	5	6
⑦学校教育が充実している	1	2	3	4	5	6
⑧地域における子育て支援や見守り活動が活発に行われている	1	2	3	4	5	6

※1. 1989年に子どもの権利条約が国際連合で採択され、日本は1994年に条約を批准しました。「生きる権利／育つ権利／守られる権利／参加する権利」が、子どもの権利の柱となっています。

※2. 「職業生活と家庭生活を両立」とは、仕事と私生活の両方を重要視する考え方で、ワーク・ライフ・バランスとも呼ばれている。

問27. 豊島区の子育て支援について、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

～ご協力いただき、ありがとうございました～



**ー豊島区子どもプラン改定のためのアンケート調査ー**  
**(中学生・高校生などの保護者用)**

問1. この調査票を記入する方は、どなたですか。(※封筒のあて名のお子さんからみて)

1. 父親	2. 母親	3. その他 ( )
-------	-------	------------

問2. 封筒のあて名のお子さんの就学・就労状況について、あてはまるもの 1つに○をつけ、学生の場合は学年を記入してください。

1. 中学 ( ) 年生	2. 高校 ( ) 年生	3. 専門学校 ( ) 年生
4. 就労している	5. 無職	6. その他 ( )

問3. 何人兄弟・姉妹ですか。封筒のあて名のお子さんを含めた人数をお答えください。

1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人以上
-------	-------	-------	---------

問4. あて名のお子さんと同居されているご家族と、近くに住んでいらっしゃる\*方の状況について、あてはまるもの すべてに○をつけてください(続柄はあて名のお子さんからみた関係)。なお、父親または母親が単身赴任の場合は、その他に○をつけ、単身赴任している方がだれかをご記入ください。

(※「近く」とはおおむね30分以内で行き来できる範囲のこと)

1. 父母同居	2. 父親同居 (ひとり親家庭)
3. 母親同居 (ひとり親家庭)	4. 祖父同居
5. 祖母同居	6. 祖父母が近くに居住
7. 祖父のみ近くに居住	8. 祖母のみ近くに居住
9. その他 ( )	

問5. あて名のお子さんの父親と母親の現在の就労状況は次のどれにあてはまりますか(自営業、家族従事者も就労に含めてお答えください)。1つだけ○をつけてください。なお、ひとり親家庭の場合は、該当しない欄は記入する必要はありません。

①父親	1. フルタイムで就労	2. パートタイムで就労	3. 就労していない	4. その他 ( )
②母親	1. フルタイムで就労	2. パートタイムで就労	3. 就労していない	4. その他 ( )

問6. 現在、どの地区にお住まいですか。

1. 駒込	2. 巣鴨	3. 西巣鴨	4. 北大塚	5. 南大塚
6. 上池袋	7. 東池袋	8. 南池袋	9. 西池袋	10. 池袋
11. 池袋本町	12. 雑司が谷	13. 高田	14. 目白	15. 南長崎
16. 長崎	17. 千早	18. 要町	19. 高松	20. 千川

問7. 現在、主にあて名のお子さんの身の回りの世話をしている方は、どなたですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(封筒のあて名のお子さんからみて)

- |          |           |            |       |
|----------|-----------|------------|-------|
| 1. 父親    | 2. 母親     | 3. 祖父      | 4. 祖母 |
| 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他の親族 | 7. その他 ( ) |       |

問8. その方(主にお子さんの身の回りの世話をしている方)は、現在、お仕事をされていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。自営業・パート・アルバイト等も「就労している」に含めてお答えください。

- |                          |             |   |
|--------------------------|-------------|---|
| 1. 就労している(産休・育児休業中も含む)   | →問8-1、問8-2へ | ● |
| 2. 以前は就労していたが、現在は就労していない | →問8-3、問8-4へ | ★ |
| 3. これまで就労したことはない         | →問8-4へ      |   |
| 4. 学生である                 | →問8-4へ      | ■ |

● 問8-1. 就労の形態について、次の中からあてはまるものを選び1つだけ○をつけてください。現在、産休中・育児休業中の場合は、休業前の状況をご記入ください。

- |             |                    |        |
|-------------|--------------------|--------|
| 1. フルタイムの勤め | 2. パートタイム・アルバイトの勤め | 3. 自営業 |
| 4. 内職       | 5. その他 ( )         |        |

● 問8-2. 週おおよその就労日数、家を出る時間と家に着く時間、土曜日や日曜日・祝祭日の就労状況、通勤時間についてご記入ください。

※時間の記入については、24時間制(例：午後5時⇒17時)で記入してください。

①就労日数	週 ( ) 日
②家を出る時間と家に着く時間	時 分から 時 分まで
③土曜日の就労	1. 毎週休み 2. 月に ( ) 日就労
④日曜日・祝祭日の就労	1. すべて休み 2. 時々就労 3. ほとんど就労
⑤通勤時間	1. なし 2. 15分未満 3. 15分～30分未満 4. 30分～1時間未満 5. 1時間～1時間30分未満 6. 1時間30分以上

★ 問8-3. 問8で「2. 以前は就労していたが、現在は就労していない」とお答えになった方におうかがいします。

その方(主にお子さんの身の回りの世話をしている方)が仕事をやめた最も大きな理由は何ですか。次の中から1つだけ○をつけてください。

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 家事や育児の負担が大きくなったから                  |
| 2. 自分で子どもの保育をしたほうがよいと思ったから            |
| 3. 配偶者の転勤や住宅の購入等による転居などのため            |
| 4. 子どもを預けて働くことへの家族の理解が得られない           |
| 5. 勤務先において子育てしながら働き続けられる環境が整っていなかったから |
| 6. その他 ( )                            |

★

■問 8-4. 問 8 で「2. 以前は就労していたが、現在は就労していない」、「3. これまで就労したことはない」、「4. 学生である」とお答えになった方におうかがいします。あなたは、働く意思をお持ちですか。次の中から 1 つに○をつけてください。また、働きたい場合は、週あたりの日数、1 日あたりの時間を記入してください。さらに、子どもがある程度大きくなったら働きたい場合は、一番小さいお子さんが何歳くらいになった時なのかをご記入ください。

- |  |
|--|
| 1. すぐにもしくは1年以内に、フルタイムで働きたい   |
| 2. すぐにもしくは1年以内に、パートタイム・アルバイト等で働きたい<br>(→週あたり__日・1日あたり__時間)                                 |
| 3. 1年より先で、子どもがある程度大きくなったらフルタイムで働きたい<br><→子どもが__歳くらいになったら>                                  |
| 4. 1年より先で、子どもがある程度大きくなったら、パートタイム・アルバイト等で働きたい<br>(→週あたり__日・1日あたり__時間)<br><→子どもが__歳くらいになったら> |
| 5. 働くつもりはない  |
| 6. わからない   |

➤問 8-5. 問 8-4 で「1.」～「4.」とお答えになった方におうかがいします。

就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。もっともあてはまるもの 1 つに○をつけてください。

- |                             |
|-----------------------------|
| 1. 子育てしながら働ける適当な仕事がないため     |
| 2. 自分の知識や能力に合う仕事がないため       |
| 3. 子どもを預けて働くことへの家族の理解が得られない |
| 4. その他 ( )                  |

問 9. あて名のお子さんには、1 ヶ月におおよそどのくらいの費用がかかりますか。

①学校にかかる費用（授業料、給食費、教材費等）	月に約（ 万 千）円
②習い事や塾にかかる費用	月に約（ 万 千）円
③その他（医療、レジャー、被服費等）	月に約（ 万 千）円

問 10. 子育てに関して、特に不安なことや悩んでいることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 1. 病気や成長に関すること       | 2. 食事や栄養のこと        |
| 3. 成績のこと             | 4. 進学のこと           |
| 5. 就職のこと             | 6. 生活態度のこと         |
| 7. 子育てが精神的負担になっていること | 8. 仕事と子育ての両立に関すること |
| 9. 経済的なこと            | 10. その他 ( )        |
| 11. 特にない             |                    |

問 1 1. 子育てに関する不安や悩みをどなたに相談していますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。不安や悩みが特にない場合は、不安や悩みがあった場合を想定してお答えください。

1. 身内（親、配偶者、兄弟姉妹など）
2. 隣り近所の人
3. 職場の人や知人・友人
4. 学校の先生
5. 児童館・中高生センターの職員
6. 民生委員・児童委員
7. 子ども家庭支援センターの職員
8. 病院や診療所の医師
9. 保健所の職員
10. 専門のカウンセラー（区の相談員など）
11. インターネットによる子育てに関するホームページの相談コーナーやブログ等
12. その他（ )
13. 誰にも相談しない

問 1 2. 身近な地域で、子育てに関する情報・相談の場があった場合、どのような場になってほしいと思いますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 母親や父親同士が集い、情報交換できる
2. その場で相談したり、情報を得ることができる
3. 電話やインターネットで相談したり、情報を得ることができる
4. 家庭訪問して、相談にのってくれる
5. 夜間や日曜でも相談したり、情報を得ることができる
6. その他（ )

問 1 3. 身近な場所で、子育てに関する情報・相談を気軽に受けられるとしたら、どこが最もよいと思いますか。次の中から1つに○をつけてください。

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 学校          | 2. 保健所         |
| 3. 児童館・中高生センター | 4. 子ども家庭支援センター |
| 5. 区役所・区民事務所   | 6. その他（ )      |

問 1 4. 現在、子育てに関してどのような情報を欲しい、あるいは不足していると感じますか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

1. 子どもの病気や成長に関する情報
2. 子どもの進路や進学に関する情報
3. ひきこもりや不登校に関する情報
4. いじめに関する情報
5. 子どもの生活態度に関する情報
6. 子育てに関する相談窓口の情報
7. 子育てサークル等、親同士のネットワークに関する情報
8. 子育てに関する区の施策や事業等に関する情報
9. その他（ )
10. 特にない



問18. 豊島区が平成18年3月に制定した「子どもの権利に関する条例」について、あなたにあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 内容をよく知っている
2. 内容をだいたい知っている
3. 内容を少し知っている
4. 名前は聞いたことがあるが、内容は知らない
5. 名前を聞いたことがない／知らない

問19. 子育て支援に関する施策や事業について、どのようなことを望みますか。以下の中から、あてはまるもの5つまで○をつけてください。

1. 母親や乳幼児の健康診査・予防接種等の母子健康事業の充実
2. 休日・夜間診療などの小児医療体制の充実
3. 子育て期の生活環境・住環境の整備
4. 子どもが安心して遊べる公園等の屋外遊び場の整備
5. 子どもが事故や犯罪に巻き込まれない環境整備
6. 幼稚園・小中学校における教育内容や教育環境の充実
7. 小学生、中高生が安心して過ごせる、子ども同士の交流・活動の場の整備
8. 子育てに関する手当の充実や子育てにかかる経済的負担の軽減
9. 在宅で子育てをしている家庭への支援サービスの充実
10. 障害のある子どもや、ひとり親家庭などへの特に配慮を必要とする支援の充実
11. 子育てに関する相談支援・情報提供・学習機会の充実
12. 仕事と子育ての両立を支援する保育サービスの充実
13. 育児休業制度の拡充、労働時間の短縮など企業の子育て支援の取り組みの促進
14. 家事・育児への男女共同参画の意識づくりの推進
15. 子育て支援グループや地域団体などの活動支援、ネットワークづくりの推進
16. 児童虐待やいじめなどの権利侵害に対する対応の強化
17. その他（）

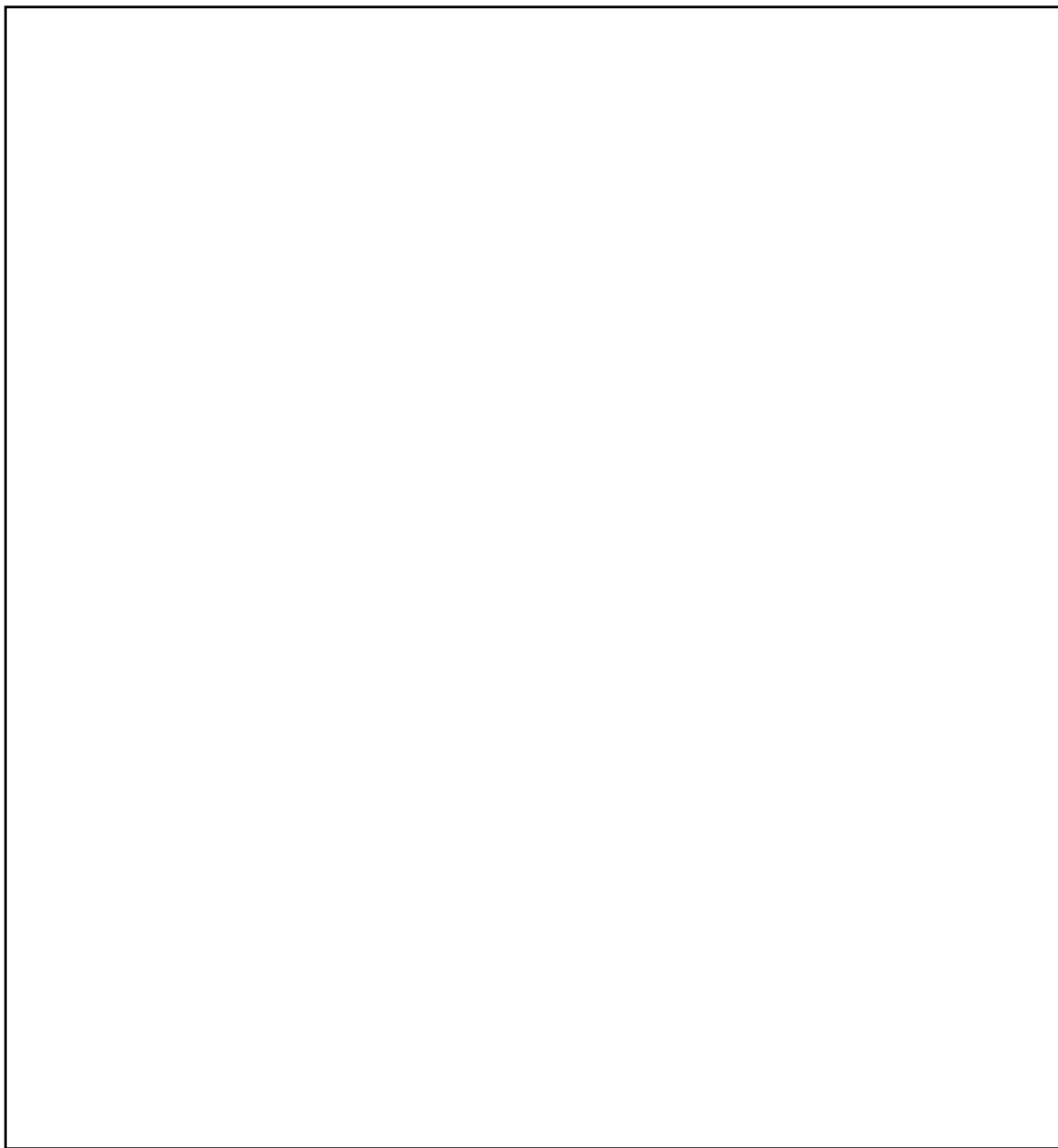
問20. あなたは、豊島区の中での「子どもが育ち、子どもを育てていく環境」について、どのように感じますか。それぞれの項目ごとにあてはまるもの1つに○をつけてください。

	そう思う	少しは そう思う	どちらとも いえない	あまり 思わない	思わない	わからない
①子どもの権利*1を保障する取り組みが進んでいる	1	2	3	4	5	6
②子どもの遊び場が充実している	1	2	3	4	5	6
③安心して子どもを産む環境づくりができている	1	2	3	4	5	6
④職業生活と家庭生活を両立*2させるための支援が行われている	1	2	3	4	5	6
⑤子育てを視野にいれた住宅対策や道路・施設整備が行われている	1	2	3	4	5	6
⑥保育施設や幼稚園での保育・教育が充実している	1	2	3	4	5	6
⑦学校教育が充実している	1	2	3	4	5	6
⑧地域における子育て支援や見守り活動が活発に行われている	1	2	3	4	5	6

※1. 1989年に子どもの権利条約が国際連合で採択され、日本は1994年に条約を批准しました。「生きる権利／育つ権利／守られる権利／参加する権利」が、子どもの権利の柱となっています。

※2. 「職業生活と家庭生活を両立」とは、仕事と私生活の両方を重要視する考え方で、ワーク・ライフ・バランスとも呼ばれている。

問 2 1. 豊島区の子育て支援について、ご意見がありましたらご自由にお書きください。



～ご協力いただき、ありがとうございました～



—豊島区子どもプラン改定のためのアンケート調査—

**あなたの声をお聞かせください**  
しょうがくせい かた  
**(小学生の方へのアンケートのお願い)**  
ねが



- ◆ 豊島区では、区内で子育てをする人や子どもたちのための計画づくりを進めています。
- ◆ このため、区内の小学生のみなさんからのご意見をお聞きするためのアンケートを実施いたします。
- ◆ みなさんのご意見をお聞かせください。ご協力よろしくお願いします。  
くこのアンケートは豊島区子ども家庭部子ども課が実施しています。>

※回答は、あてはまる番号に○印をつけてください。「その他（ ）」を選んだ場合は、その内容を具体的にお書きください。



問1. 性別はどちらですか？

1. 男	2. 女
------	------

問2. あなたは、何人兄弟・姉妹ですか？（あなたを含めて）

1. 1人	2. 2人
3. 3人	4. 4人以上

問3. あなたの家族は何人ですか？あなたを含めた人数を書いてください。

\_\_\_\_\_人（あなたを含めて）

問4. あなたは何年生ですか？

小学	年生
----	----

問5. あなたが通っている小学校は、次のどれですか？

1. 区立小学校	2. 私立小学校
3. 国立小学校	4. その他（ ）

問6. あなたが住んでいる地域はどこですか？（○は1つ）

1. 駒込	2. 巣鴨	3. 西巣鴨	4. 北大塚	5. 南大塚
6. 上池袋	7. 東池袋	8. 南池袋	9. 西池袋	10. 池袋
11. 池袋本町	12. 雑司が谷	13. 高田	14. 目白	15. 南長崎
16. 長崎	17. 千早	18. 要町	19. 高松	20. 千川

問7. 学校が終わってから、どこで過ごすことが多いですか？（あてはまるもの2つまでに○）

1. 自宅で1人で過ごす
2. 自宅で兄弟・姉妹や家族と過ごす
3. 自宅で友達と過ごす
4. 友だちの家で過ごす
5. 学校（校庭や体育館や図書室など）で過ごす
6. 近所の公園や区の図書館、子どもスキップ、児童館などで過ごす
7. 学習塾や習い事（ピアノなどの楽器、水泳・野球・サッカーなどのスポーツも含む）に行く
8. その他（ ）

問8. 友だちとは、だいたい週に何日くらい遊びますか？平日・土曜日・日曜日ごとにお答えください。（○は1つ）

①平日	1. 週に1～2日遊ぶ 3. ほとんど毎日遊ぶ	2. 週に3～4日遊ぶ 4. 遊ばない
②土曜日	1. 月に1～2日遊ぶ 3. 遊ばない	2. ほとんど毎週遊ぶ
③日曜日	1. 月に1～2日遊ぶ 3. 遊ばない	2. ほとんど毎週遊ぶ

問9. だれと遊ぶことが多いですか？（○は1つ）

1. クラスの友だち
2. 近所の同じ学年の友だち
3. 近所の学年の違う友だち
4. 兄弟・姉妹や親せきの子
5. その他（ ）
6. だれともいっしょに遊ばない

問10. どのような遊びをすることが多いですか？（○は3つまで）

1. スポーツなど体を動かすこと
2. 友だちとおしゃべりすること
3. まんがや本、雑誌を読むこと
4. テレビやビデオを見ること
5. ゲームをすること
6. パソコンやインターネットを見ること
7. その他（ ）

問 1 1. あなたは、<sup>がくしゅうじゅく</sup>学習塾<sup>なら</sup>や<sup>こと</sup>習い事<sup>がっき</sup>（ピアノなどの楽器、水泳・野球・サッカーなどのスポーツも含む）に<sup>ふく</sup>通<sup>かよ</sup>っていますか。それぞれ1つに○をつけてください。

① <sup>がくしゅうじゅく</sup> 学習塾	1. 週に1回 3. 週に3回 5. <sup>かよ</sup> 通っていない	2. 週に2回 4. 週に4回より多い
② <sup>なら</sup> 習い事 <sup>こと</sup>	1. 週に1回 3. 週に3回 5. <sup>かよ</sup> 通っていない	2. 週に2回 4. 週に4回より多い

問 1 2. 平日（<sup>へいじつ</sup>月曜日～<sup>きんやうびつ</sup>金曜日）に、<sup>ディーバイディー</sup>テレビやビデオ、<sup>ディーブイディー</sup>D V D などを<sup>いちにちなんじかん</sup>見る時間は1日何時間くらいですか？（○は1つ）

- |   |
|---|
| 1. 30分より短い<br>2. 30分から1時間の <sup>あいだ</sup> 間<br>3. 1時間から2時間の <sup>あいだ</sup> 間<br>4. 2時間から3時間の <sup>あいだ</sup> 間<br>5. 3時間より長い<br>6. ほとんど見ない |
|---|

問 1 3. 平日（<sup>へいじつ</sup>月曜日～<sup>きんやうびつ</sup>金曜日）に、ゲーム（<sup>けいたいでんわ</sup>テレビ、<sup>けいたいでんわ</sup>携帯電話、<sup>けいたいでんわ</sup>ポータブルゲーム機、<sup>パソコン</sup>パソコンなど）で<sup>いちにちなんじかん</sup>遊ぶ時間は1日何時間くらいですか？（○は1つ）

- |   |
|---|
| 1. 30分より短い<br>2. 30分～1時間の <sup>あいだ</sup> 間<br>3. 1時間～2時間の <sup>あいだ</sup> 間<br>4. 2時間～3時間の <sup>あいだ</sup> 間<br>5. 3時間より長い<br>6. ほとんど遊ばない |
|---|

問 1 4. <sup>けいたいでんわ</sup>携帯電話やパソコンでインターネットを使ったことはありますか？ (○は1つ)

- |                           |                        |
|---------------------------|------------------------|
| 1. ほとんど毎日、使っている →問 14-1 へ | 2. ときどき使っている →問 14-1 へ |
| 3. 何回か使ったことがある            | 4. ほとんど使ったことがない        |
| 5. 使ったことがない               |                        |

→問 14-1. インターネットでは、どのようなことをしていますか？ (あてはまるものすべてに○)

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. メールのやりとり                           |
| 2. ホームページやブログを見る                      |
| 3. ホームページやブログを作る                      |
| 4. 他の人のホームページやブログへの <sup>か</sup> 書き込み |
| 5. インターネットでのゲーム                       |
| 6. 音楽などのダウンロード                        |
| 7. その他 ( )                            |

問 1 5. あなたは、あなた専用の<sup>けいたいでんわ</sup>携帯電話を持っていますか？ (○は1つ)

- |                    |                |
|--------------------|----------------|
| 1. 持っている           | →問 15-1、15-2 へ |
| 2. 持っていないが欲しい      |                |
| 3. 持っておらず欲しいとは思わない |                |

→問 15-1. 毎日どれくらい<sup>けいたいでんわ</sup>携帯電話を使いますか？ (それぞれ1つに○)

①電 話	1. 毎日使う 2. 週に2回か3回くらい使う 3. ほとんど使わない
②メール	1. 毎日10通よりも多く、送ったり受け取ったりする 2. 毎日1～10通くらいを、送ったり受け取ったりする 3. 週に2～3通くらいを、送ったり受け取ったりする 4. メールはほとんどしない

問 15-2. 電話やメールの相手はどのような人ですか？ (あてはまるものすべてに○)

- |            |                             |
|------------|-----------------------------|
| 1. 学校の友だち  | 2. 学校以外 <sup>いがい</sup> の友だち |
| 3. 家族      | 4. ネットやメールで知り合った友だち         |
| 5. その他 ( ) |                             |

問 1 6. あなたは毎月どのくらいおこづかいをもらっていますか？ (1つに○)

- |                                   |                                   |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 1,000 円より少ない                   | 2. 1,000～3,000 円の間 <sup>あいだ</sup> |
| 3. 3,000～5,000 円の間 <sup>あいだ</sup> | 4. 5,000 円より多い                    |
| 5. もらっていない                        |                                   |

問 17. あなたが学校から帰ったときに、家におとながいますか？ (○は1つ)

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1. ほとんどいる →問 17-1 へ | 2. ときどきいる→問 17-1 へ |
| 3. ほとんどいない          |                    |

→問 17-1. あなたが家に帰ったとき、家にいるのはだれですか？ (あてはまるものすべてに○)

- |          |            |          |
|----------|------------|----------|
| 1. お父さん  | 2. お母さん    | 3. おじいさん |
| 4. おばあさん | 5. その他 ( ) |          |

問 18. あなたは、学校であったことなどについて、家族の人とよく話をしますか？ (○は1つ)

- |                                     |                                      |
|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. よく話を <sup>はなし</sup> する →問 18-1 へ | 2. たまに話を <sup>はなし</sup> する →問 18-1 へ |
| 3. あまり話を <sup>はなし</sup> しない →問 19 へ |                                      |

→問 18-1. おもにだれと話しますか？ (あてはまるものすべてに○)

- |          |   |                         |
|----------|---|-------------------------|
| 1. お父さん  | 2. お母さん                                   | 3. おじいさん                |
| 4. おばあさん | 5. 兄弟 <sup>きょうだい</sup> ・姉妹 <sup>しまい</sup> | 6. その他 <sup>た</sup> ( ) |

問 19. あなたは、平日<sup>へいじつ</sup> (月曜日から金曜日) に家族の人と 1 日何時間くらい話を<sup>はなし</sup>をしたり遊んだりしますか？ (○は1つ)

- |                                |                                |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 30 分より短 <sup>みじか</sup> い    | 2. 30 分~1 時間の <sup>あいだ</sup> 間 |
| 3. 1 時間~2 時間の <sup>あいだ</sup> 間 | 4. 2 時間~3 時間の <sup>あいだ</sup> 間 |
| 5. 3 時間より長 <sup>なが</sup> い     | 6. ほとんどない                      |

問 20. 家族全員がそろって夕食を食べる回数は、週にどれくらいですか？ (○は1つ)

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 週に 1~2 回くらい | 2. 週に 3~5 回くらい |
| 3. ほとんど毎日      | 4. ほとんどない      |

問 2 1. 学校は楽しいですか？ (○は1つ)

- |             |          |
|-------------|----------|
| 1. とても楽しい   | 2. 楽しい   |
| 3. あまり楽しくない | 4. 楽しくない |

問 2 2. 学校に行きたくないと思うことがありますか？ (○は1つ)

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1. よくある   | 2. たまにある  |
| 3. ほとんどない | 4. まったくない |

問 2 3. 悩んでいることや困っていることがありますか？あるとすればそれはどのようなことですか？ (あてはまるものすべてに○)

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 勉強のこと                 |
| 2. 進路や進学、将来のこと           |
| 3. 友だちとのこと               |
| 4. いじめられたりすること           |
| 5. 家族のこと                 |
| 6. ボーイフレンドやガールフレンドのこと    |
| 7. 顔や体型などのこと             |
| 8. 性格やくせのこと              |
| 9. その他 ( )               |
| 10. 特に悩んでいることや困っていることはない |

問 2 4. 悩んでいることや困っていることがあった場合、だれに相談していますか？

悩みや不安はないので相談する必要がない場合は、不安や悩みがあった場合を考えてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- |                         |
|-------------------------|
| 1. お父さん                 |
| 2. お母さん                 |
| 3. おじいさん、おばあさん          |
| 4. 兄弟・姉妹                |
| 5. 友だち                  |
| 6. 学校の先生                |
| 7. 学校のスクールカウンセラー        |
| 8. 塾や習い事の先生             |
| 9. 子どもスキップや児童館などの先生や指導員 |
| 10. その他 ( )             |
| 11. だれにも相談しない           |

問25. あなたは、この1年間に、次の活動に参加したことがありますか？（あてはまるものすべてに○）

1. ラジオ体操
2. 町会や育成委員会の運動会
3. 地域の祭り・盆踊り
4. キャンプなどの野外活動
5. スポーツ大会やスポーツ教室
6. 地域のスポーツチームでの活動
7. ボーイスカウト・ガールスカウトの活動
8. 地域の掃除、ごみ拾い、美化活動、老人ホームの訪問などのボランティア活動
9. その他（ ）
10. 参加したことはない

問26. あなたは、次の区の施設を使ったことがありますか？また、使った人は、施設を使った感想（満足したかどうか）についてお答えください。（施設ごとにあてはまるもの1つに○）

	使ったことがあるか？			使ったときの感想 (利用した方のみ記入)		
	よく使う	たまに使う	使わない	満足／どちらかと 言えば満足	どちらでも ない	不満／どちらかと 言えば不満
①子どもスキップ・児童館	1	2	3	1	2	3
②区の図書館	1	2	3	1	2	3
③区の公園	1	2	3	1	2	3
④区のスポーツ施設	1	2	3	1	2	3
⑤学校の校庭開放や施設開放	1	2	3	1	2	3

問27. 豊島区が平成18年3月に制定した「子どもの権利に関する条例」について、あなたにあてはまるものを選んでください。(1つに○)

1. 内容をよく知っている
2. 内容をだいたい知っている
3. 内容を少し知っている
4. 名前は聞いたことがあるが、内容は知らない
5. 名前を聞いたことがない/知らない

問28. あなたは、豊島区が好きですか？(1つに○)

1. 好き
2. どちらかといえば好き
3. あまり好きではない
4. きらい

問29. あなたは、おとなになっても豊島区に住み続けたいですか？(1つに○)

1. 住み続けたい
2. ほかに移りたい
3. わからない

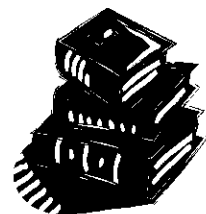
問30. あなたが、区役所や地域のおとなの人などにしてもらったことなどがあれば、自由に書いてください。

～ありがとうございました～



## あなたの声をお聞かせください

### (中学生・高校生などの方へのアンケートのお願い)



- ◆ 豊島区では、区内で子育てをする人や子どもたちのための計画づくりを進めています。
- ◆ このため、区内の中学生や高校生などのみなさんからのご意見をお聞きするためのアンケートを実施いたします。
- ◆ みなさんのご意見をお聞かせください。ご協力よろしくお願ひします。  
くこのアンケートは豊島区子ども家庭部子ども課が実施しています。>

※回答は、あてはまる番号に○印をつけてください。「その他(      )」を選んだ場合は、その内容を具体的にお書きください。

問1. 性別はどちらですか？

1. 男	2. 女
------	------

問2. あなたは、何人兄弟・姉妹ですか？(あなたを含めて)

1. 1人	2. 2人
3. 3人	4. 4人以上

問3. あなたの家族は何人ですか？あなたを含めた人数を書いてください。

人 (あなたを含めて)
-------------

問4. あなたが住んでいる地域はどこですか？(○は1つ)

1. 駒込	2. 巣鴨	3. 西巣鴨	4. 北大塚	5. 南大塚
6. 上池袋	7. 東池袋	8. 南池袋	9. 西池袋	10. 池袋
11. 池袋本町	12. 雑司が谷	13. 高田	14. 目白	15. 南長崎
16. 長崎	17. 千早	18. 要町	19. 高松	20. 千川

問5. あなたは現在、次のどれにあてはまりますか？学生の場合は、学年も記入してください。

- |            |                |
|------------|----------------|
| 1. 中学 年生   | →問5-1、問5-2、問6へ |
| 2. 高校 年生   | →問5-1、問5-2、問6へ |
| 3. 専門学校 年生 | →問5-1、問5-2、問6へ |
| 4. 就労している  | →問7へ           |
| 5. 無職      | →問7へ           |
| 6. その他 ( ) | →問7へ           |

→問5-1. あなたが通っている学校の種類を選んでください。

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. 豊島区内の公立学校 | 2. 豊島区外の公立学校 |
| 3. 私立・国立の学校  | 4. その他 ( )   |

→問5-2. 学校までの通学時間はどのくらいですか？

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 1. 15分以内     | 2. 15～30分以内 |
| 3. 30分～1時間以内 | 4. 1時間以上    |

→問6. 問5で「1. 中学生」、「2. 高校生」、「3. 専門学校生」と答えた人にお聞きします。  
学校のクラブ活動に参加していますか？（○は1つ）

- |                  |            |
|------------------|------------|
| 1. 参加している →問6-1へ | 2. 参加していない |
|------------------|------------|

→問6-1. クラブ活動は、だいたい週にどれくらい行っていますか？平日・土曜日・日曜日ごとで、  
日数と1日の活動時間のあてはまるものを選んでください。（○はそれぞれ1つ）

	日数	活動している場合の1日の活動時間
①平日	1. 週に1～2日 2. 週に3～4日 3. ほとんど毎日 4. 活動していない	1. 1時間未満 2. 1～2時間 3. 2～3時間 4. 3時間以上
②土曜日	1. 月に1～2日 2. ほとんど毎週 3. 活動していない	1. 1時間未満 2. 1～2時間 3. 2～3時間 4. 3時間以上
③日曜日	1. 月に1～2日 2. ほとんど毎週 3. 活動していない	1. 1時間未満 2. 1～2時間 3. 2～3時間 4. 3時間以上

問7. 放課後や自由時間はどこで過ごすことが多いですか？クラブ活動に参加している人はクラブ活動がない日についてお答えください。(あてはまるもの3つまでに○)

1. 自宅で1人で過ごす
2. 自宅で兄弟・姉妹や家族と過ごす
3. 自宅で友だちと過ごす
4. 友だちの家で過ごす
5. 学校(校庭や体育館、図書室など)で過ごす
6. 区の図書館や体育館、児童館、中高生センターなどの公共施設で過ごす
7. ファーストフード店、ファミリーレストラン、喫茶店などで過ごす
8. コンビニやデパート、ショッピングセンター、大型電気店、本屋などで過ごす
9. カラオケやゲームセンターなどで過ごす
10. 学習塾や習い事(ピアノなどの楽器、水泳・野球・サッカーなどのスポーツも含む)に行く
11. アルバイトをしている
12. その他( )

問8. 友だちとは、だいたい週に何日くらい遊びますか？平日・土曜日・日曜日ごとにお答えください。(○は1つ)

①平日	1. 週に1～2日遊ぶ 3. ほとんど毎日遊ぶ	2. 週に3～4日遊ぶ 4. 遊ばない
②土曜日	1. 月に1～2日遊ぶ 3. 遊ばない	2. ほとんど毎週遊ぶ
③日曜日	1. 月に1～2日遊ぶ 3. 遊ばない	2. ほとんど毎週遊ぶ

問9. だれと遊ぶことが多いですか？(○は1つ)

1. クラスの友だち
2. クラブ活動の友だち
3. 近所の同じ学年の友だち
4. 近所の学年の違う友だち
5. 兄弟・姉妹や親戚の子
6. その他( )
7. だれとも遊ばない

問10. どのような遊びをすることが多いですか？(○は3つまで)

1. スポーツなど体を動かすこと
2. 友だちとおしゃべりすること
3. まんがや本、雑誌を読むこと
4. テレビやビデオを見ること
5. ゲームをすること
6. パソコンやインターネットを見ること
7. お店を見たり、買い物すること
8. カラオケやゲームセンターに行くこと
9. 楽器の演奏や歌を歌うこと
10. その他( )

問 1 1. 平日（月曜日～金曜日）に、テレビやビデオ、DVDなどを見る時間は1日何時間くらいですか？（○は1つ）

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. 30分未満   | 2. 30分～1時間  |
| 3. 1時間～2時間 | 4. 2時間～3時間  |
| 5. 3時間以上   | 6. ほとんど遊ばない |

問 1 2. 平日（月曜日～金曜日）に、ゲーム（テレビ、携帯電話、ポータブルゲーム機、パソコンなど）で遊ぶ時間は1日何時間くらいですか？（○は1つ）

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. 30分未満   | 2. 30分～1時間  |
| 3. 1時間～2時間 | 4. 2時間～3時間  |
| 5. 3時間以上   | 6. ほとんど遊ばない |

問 1 3. 携帯電話やパソコンでインターネットを使ったことはありますか？（○は1つ）

- |                          |                       |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. ほとんど毎日、使っている →問 13-1へ | 2. ときどき使っている →問 13-1へ |
| 3. 何回か使ったことがある           | 4. ほとんど使ったことがない       |

→問 13-1. インターネットでは、どのようなことをしていますか？（あてはまるものすべてに○）

- |                         |   |
|-------------------------|---|
| 1. メールのやりとり             |   |
| 2. ホームページやブログの閲覧        |   |
| 3. ホームページやブログの作成        |   |
| 4. 他の人のホームページやブログへの書き込み |   |
| 5. インターネットでのゲーム         |   |
| 6. 音楽などのダウンロード          |   |
| 7. その他（                 | ） |

問 1 4. あなたは、あなた専用の携帯電話を持っていますか？（○は1つ）

- |                        |
|------------------------|
| 1. 持っている →問 14-1、14-2へ |
| 2. 持っていないが欲しい          |
| 3. 持っておらず欲しいとは思わない     |

→問 14-1. 毎日どれくらい携帯電話を使いますか？（それぞれ1つに○）

①電話	1. 毎日使う 2. 週に2回か3回くらい使う 3. ほとんど使わない
②メール	1. 毎日10通よりも多く、送ったり受け取ったりする 2. 毎日1～10通くらいを、送ったり受け取ったりする 3. 週に2～3通くらいを、送ったり受け取ったりする 4. メールはほとんどしない

→問 14-2. 電話やメールの相手はどのような人ですか？（あてはまるものすべてに○）

- |                     |             |
|---------------------|-------------|
| 1. 学校の友だち           | 2. 学校以外の友だち |
| 3. 特に仲のよい異性の友だち     | 4. 家族       |
| 5. ネットやメールで知り合った友だち | 6. その他（     |

問15. あなたは、学習塾や習い事（ピアノなどの楽器、水泳・野球・サッカーなどのスポーツ含む）に通っていますか？（それぞれ1つに○）

①学習塾	1. 週に1回 3. 週に3回 5. 通っていない	2. 週に2回 4. 週に4回以上
②習い事	1. 週に1回 3. 週に3回 5. 通っていない	2. 週に2回 4. 週に4回以上

問16. あなたは毎月どのくらいおこづかいをもらっていますか？（1つに○）

1. 1千円未満	2. 1千～3千円未満
3. 3千～5千円未満	4. 5千～8千円未満
5. 8千～1万円未満	6. 1万円以上
7. もらっていない	

問17. あなたが学校や仕事から帰ったときに、家におとながいますか？（○は1つ）

1. ほとんどいる →問17-1へ	2. ときどきいる →問17-1へ
3. ほとんどいない	

→問17-1. あなたが家に帰ったとき、家にいるのはだれですか？（あてはまるものすべてに○）

1. お父さん	2. お母さん	3. おじいさん
4. おばあさん	5. その他（	）

問18. あなたは、外であったことなどについて、家族の人とよく話をしますか？（○は1つ）

1. よく話をする →問18-1へ	2. たまに話をする →問18-1へ
3. あまり話をしない	

→問18-1. おもにだれと話しますか？（あてはまるものすべてに○）

1. お父さん	2. お母さん	3. おじいさん
4. おばあさん	5. 兄弟・姉妹	6. その他（
		）

問19. あなたが家族の人と話をする時間は1日何時間くらいですか？（○は1つ）

1. 30分未満	2. 30分～1時間
3. 1時間～2時間	4. 2時間～3時間
5. 3時間以上	6. ほとんどない

問20. 家族全員がそろって夕食を食べる回数は、週にどれくらいですか？（○は1つ）

1. 週に1～2回くらい	2. 週に3～5回くらい
3. ほとんど毎日	4. ほとんどない

問 2 1. 学校や仕事は楽しいですか？ (○は1つ)

- |             |          |
|-------------|----------|
| 1. とても楽しい   | 2. 楽しい   |
| 3. あまり楽しくない | 4. 楽しくない |

問 2 2. 学校や仕事に行きたくないと思うことがありますか？ (○は1つ)

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1. よくある   | 2. たまにある  |
| 3. ほとんどない | 4. まったくない |

問 2 3. 悩んでいることや困っていること、不安なことがありますか？あるとすればそれはどのようなことですか？ (あてはまるものすべてに○)

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 勉強のこと       | 2. 仕事のこと       |
| 3. 進路・進学、将来のこと | 4. 友だちとの人間関係   |
| 5. いじめられたりすること | 6. 家族のこと       |
| 7. お金や経済的なこと   | 8. 異性のこと       |
| 9. 顔や体型などのこと   | 10. 性格や癖のこと    |
| 11. その他 ( )    | 12. 特に悩みや不安はない |

問 2 4. 悩んでいることや困っていること、不安なことがあった場合、だれに相談していますか？  
悩みや不安はないので相談する必要がない場合は、不安や悩みがあった場合を考えてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- |                         |
|-------------------------|
| 1. 家族(親、兄弟・姉妹など)        |
| 2. 友だち・先輩               |
| 3. 学校の先生、職場の上司          |
| 4. 児童館・中高生センターの職員       |
| 5. 保健所の職員               |
| 6. 専門のカウンセラー(学校や区の相談員等) |
| 7. インターネット              |
| 8. 誰にも相談しない             |
| 9. その他 ( )              |

問 2 5. あなたは、この1年間に、次の活動に参加したことがありますか？ (あてはまるものすべてに○)

- |  |
|--|
| 1. 町会や育成委員会の運動会                        |
| 2. 地域の祭り・盆踊り                           |
| 3. 地域主催のキャンプなどの野外活動                    |
| 4. スポーツ大会やスポーツ教室                       |
| 5. 地域のスポーツチームでの活動                      |
| 6. ボーイスカウト、ガールスカウトの活動                  |
| 7. 地域の掃除、ごみ拾い、美化活動、老人ホームの訪問などのボランティア活動 |
| 8. その他 ( )                             |
| 9. 参加したことはない                           |

問 2 6. あなたは、以下の区の施設を利用したことがありますか？また、利用したことがある場合、施設ごとに満足度をお答えください。（施設ごとにあてはまるもの1つに○）

	利用状況			満足度 (利用した方のみ記入)		
	す よ く 利 用 す る	利 用 す る た ま に	利 用 し た こ と は な い	満 足 ／ ど ち ら か と 言 え ば 満 足	ど ち ら で も な い	不 満 ／ ど ち ら か と 言 え ば 不 満
①児童館	1	2	3	1	2	3
②中高生センター※ (ジャンプ東池袋)	1	2	3	1	2	3
③区の図書館	1	2	3	1	2	3
④区の公園	1	2	3	1	2	3
⑤区のスポーツ施設	1	2	3	1	2	3
⑥学校の校庭開放や施設開放	1	2	3	1	2	3

～※中高生センター“ジャンプ東池袋”とは～



ジャンプは、中学生・高校生が放課後の時間を使って、自主的に音楽・芸術・スポーツ活動、友だちとの語らいや情報交換、ボランティア活動などを行う場であり、中学生・高校生の自主的な活動を支援するところです。ダンスや卓球、ビリヤードなどができるホール、勉強などが出来る多目的室、防音完備で楽器もそろっている音楽室、バスケットボールやフットサルができる屋上、その他、図書コーナーや相談室があります。（豊島区東池袋2-38-10）

問 2 7. 問 26 で“中高生センター（ジャンプ東池袋）”を「利用したことはない」と答えた人にお聞きします。

利用しない主な理由は何ですか？（あてはまるものすべてに○）

- |                |                       |
|----------------|-----------------------|
| 1. 場所が不便、家から遠い | 2. 開館日や開館時間の都合が悪いから   |
| 3. 使いたい設備がないから | 4. 知っている人がいないと行きにくいから |
| 5. 興味がないから     | 6. 忙しくて行く時間がないから      |
| 7. 特に必要ない      | 8. 知らなかったから           |
| 9. その他（        | ）                     |

問28. 今後、中学生や高校生が利用できる施設が整備されるとしたら、どのような施設ができる  
とよいですか？あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- |                        |                                  |
|------------------------|----------------------------------|
| 1. 友人と雑談や飲食ができるスペースがある | 2. 気軽にスポーツができる                   |
| 3. ボランティアなど自主的な活動ができる  | 4. 気軽に勉強や読書ができる                  |
| 5. パソコンやインターネットができる    | 6. 音楽が気兼ねなくできる                   |
| 7. 料理や手工芸など趣味の活動ができる   | 8. ダンスができる                       |
| 9. 特に理由がなく居ることができる     | 10. その他 (                      ) |

問29. 豊島区が平成18年3月に制定した「子どもの権利に関する条例」について、あなたにあ  
てはまるものを選んでください。(1つに○)

- |                         |
|-------------------------|
| 1. 内容をよく知っている           |
| 2. 内容をだいたい知っている         |
| 3. 内容を少し知っている           |
| 4. 名前は聞いたことがあるが、内容は知らない |
| 5. 名前を聞いたことがない／知らない     |

問30. あなたは、豊島区が好きですか？(1つに○)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 好き        | 2. どちらかといえば好き |
| 3. あまり好きではない | 4. きらい        |

問31. あなたは、おとなになっても豊島区に住み続けたいですか？(1つに○)

- |           |            |          |
|-----------|------------|----------|
| 1. 住み続けたい | 2. ほかに移りたい | 3. わからない |
|-----------|------------|----------|

問32. 豊島区への要望などありましたら、ご自由にお書きください。

～ありがとうございました～



**「豊島区子どもプラン一次世代育成支援行動計画」  
改定のための区民意識・意向調査 報告書**

平成 21 年(2009 年)3月

発行:豊島区

編集:豊島区 子ども家庭部 子ども課

〒170-8422 東京都豊島区東池袋 1-18-1

電 話 03-3981-1381

F A X 03-5391-1400

(委託調査機関)パシフィックコンサルタンツ株式会社

社会政策本部 総合計画部

〒163-0730 東京都新宿区西新宿 2-7-1